

令和5年度
磯子区民意識調査
報告書

令和6年1月

横浜市磯子区役所

令和5年度 磯子区民意識調査報告書 目次

調査概要	1
Ⅰ. 回答者の属性	2
Ⅱ. 調査結果	12
1. 普段の生活について	12
(1) 生活意識	12
(2) 生活の心配ごと・困りごと	15
(3) 地域の方とのかかわり方	20
(4) 情報処理端末の利用	32
2. 地域への愛着や、地域での活動について	41
(1) 愛着や誇り	41
(2) 磯子区の魅力	45
(3) 定住意向	48
(4) 活動への参加	51
3. 生活環境について	63
(1) 生活環境（満足度）	63
(2) 生活環境（以前との比較）	68
(3) 生活環境（重要度）	75
(4) 区役所が取り組む課題	78
(5) 生活環境の満足度×以前との比較	81
(6) 生活環境の満足度×重要度	83
(7) 生活環境の重要度×区役所への期待	84
4. 災害対策について	85
(1) 大地震時に心配なこと	85
(2) 大地震に対する準備	87
(3) 災害時の避難支援	89
(4) 災害時の避難情報	92
5. 地域福祉保健について	94
(1) 福祉保健に関する取組	94
(2) 子どもたちに対する取組	97
(3) 誰もがいきいきと暮らすための取組	100
6. 健康づくりについて	102
(1) 最近の健康状態	102
(2) 健康のために気を付けていること	103
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大時の健康意識の変化	104

7. 区政運営や住まいの地域を良くするための意見・提案(自由記述)	109
III. 調査票	110

調査概要

- ◆調査の目的
磯子区の生活環境や地域活動などについて、区民の皆さまの意識やご意見、ご要望を把握することにより、今後も住みよいまちをつくるための基礎資料とする。
- ◆調査対象
磯子区内に居住する18歳以上の男女3,500人（外国人115人含む）
（住民基本台帳からの無作為抽出）
- ◆調査方法
郵送配付、郵送・インターネット回収
- ◆回答方式
無記名、選択式（一部記入式）
- ◆調査期間
令和5年6月1日（木）～6月30日（金）
- ◆回収数
1,485件（回収率 42.4 %）
- ◆調査実施機関
株式会社 ミントス

【集計結果の見方】

1. 図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

【参考 地区・町丁目対応表】

本報告書において、地区と町丁目の対応は以下のとおり

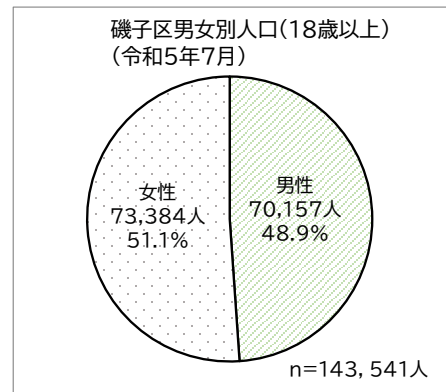
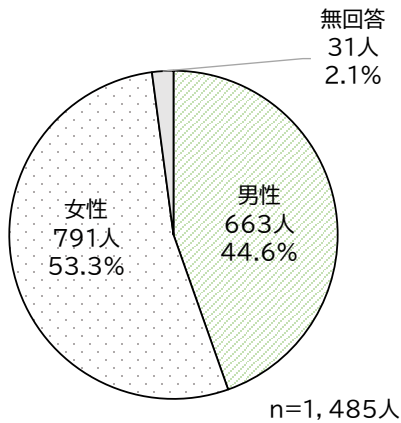
根岸地区	上町、馬場町、坂下町、下町、原町、西町、東町、鳳町
滝頭地区	丸山一・二丁目、滝頭一～三丁目、岡村一丁目、中浜町
岡村地区	岡村二～八丁目
磯子地区	磯子一～八丁目、磯子台、広地町、久木町、新磯子町
汐見台地区	汐見台1～3丁目
屏風ヶ浦地区	森一～六丁目、中原一～四丁目、新中原町、森が丘一・二丁目、新森町
杉田地区	杉田一～九丁目、杉田坪呑、新杉田町
上笹下地区	田中一・二丁目、栗木一～三丁目、上中里町、峰町、氷取沢町
洋光台地区	洋光台一～六丁目

I. 回答者の属性

F1 性別

「女性」が「男性」より 8.3 ポイント高い

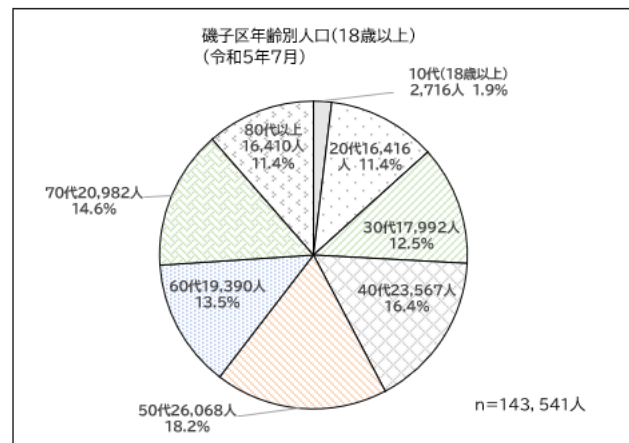
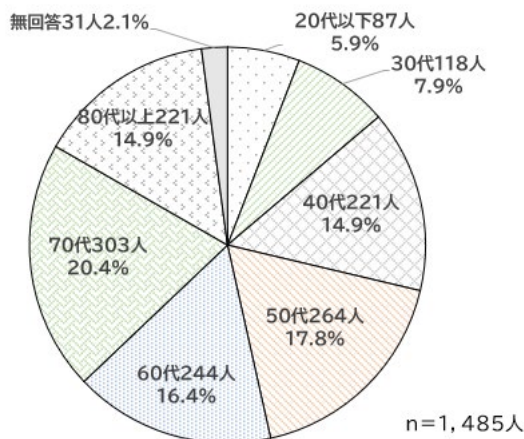
- 「女性」が 53.3% で、「男性」44.6% より 8.7 ポイント高くなっている。



F2 年齢

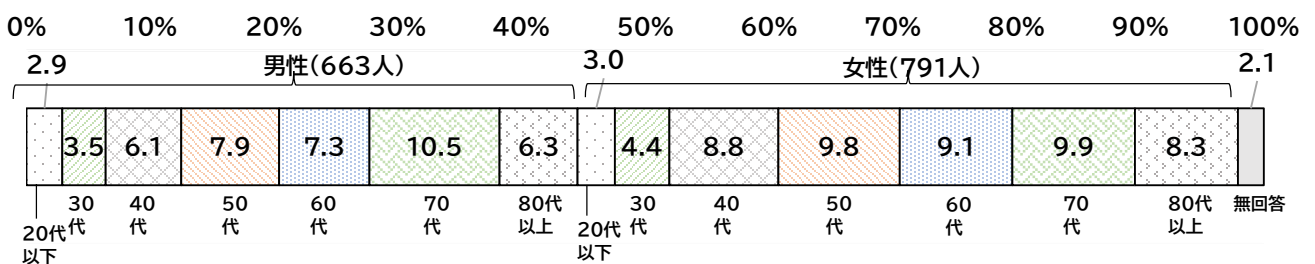
60代以上が 51.4%

- 「70代」が 20.4% で最も多く、次いで「50代」の 17.8% である。60代以上は 51.4% となっている。
- 50代以上では人口比より高く、40代以下では人口比より低い割合となっている。



【性年代別】

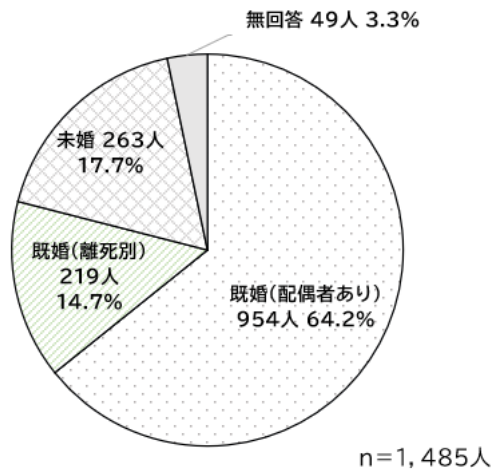
男性、女性ともに「70代」が、最も多い



F3 婚姻の有無

「既婚(配偶者あり)」が 64.2%

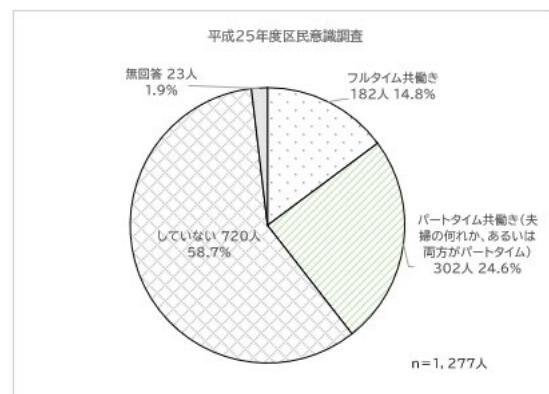
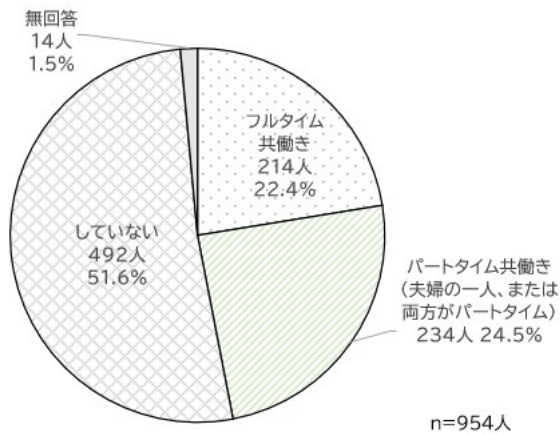
- 最も多いのは「既婚(配偶者あり)」の64.2%。次いで「未婚」(17.7%)、「既婚(離死別)」(14.7%)の順となっている。



F3-1 共働きか否か(F3で「既婚(配偶者あり)」と回答)

何らかの形で共働きをしているのは 46.9%

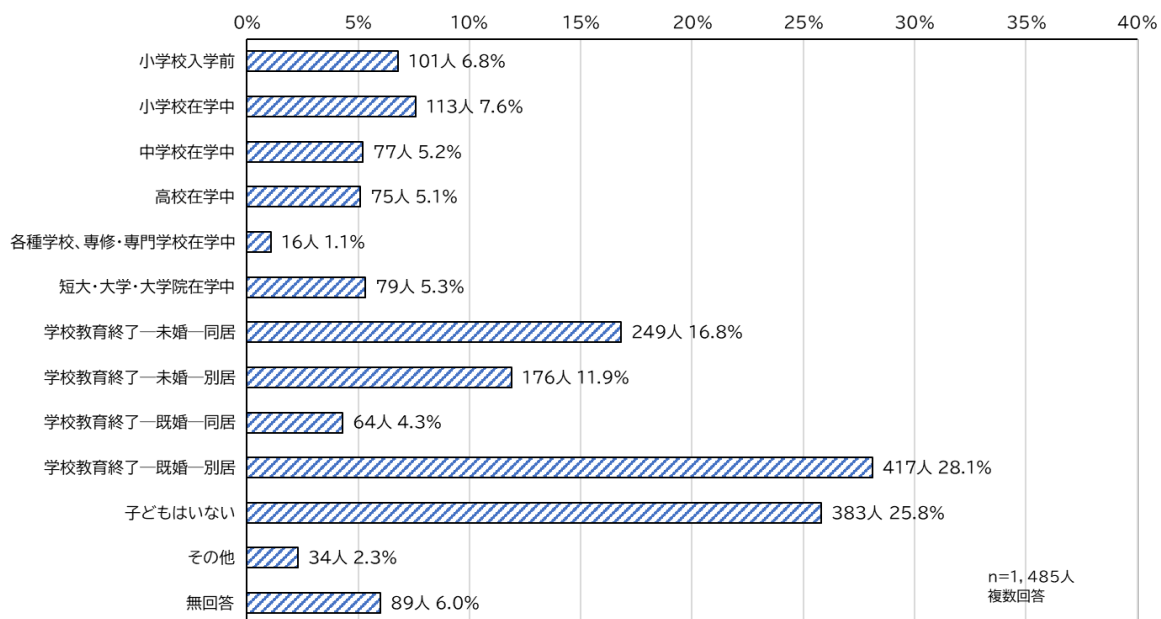
- 「既婚(配偶者あり)」のうち、共働きについては、51.6%が「していない」としている。次いで「パートタイム共働き」(24.5%)、「フルタイム共働き」(22.4%)となっており、何らかの形で共働きをしているのは全体の46.9%である。
- 10年前の平成25年度調査と比較すると、何らかの形で共働きをしている人が、7.5ポイント高い。



F4 子どもの有無・年齢(複数回答)

「子どもはいない」が 20.4%

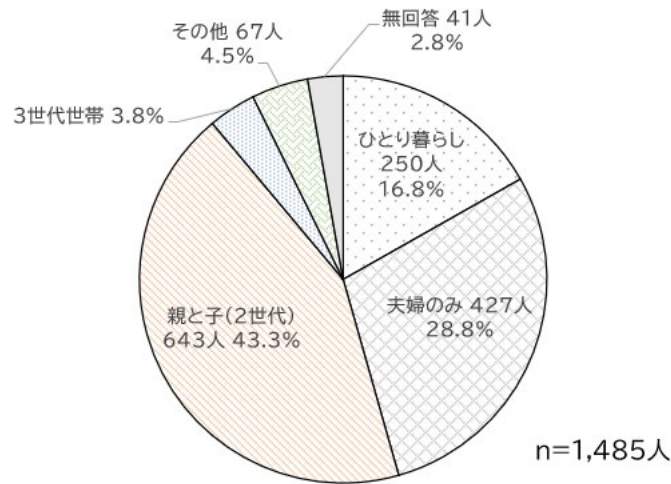
- 最も多いのは「学校教育を終了し、結婚して別居」の 28.1%。次いで「子どもはいない」(25.8%)、「学校教育を終了し、未婚で同居」(16.8%)の順となっている。



F5 家族構成

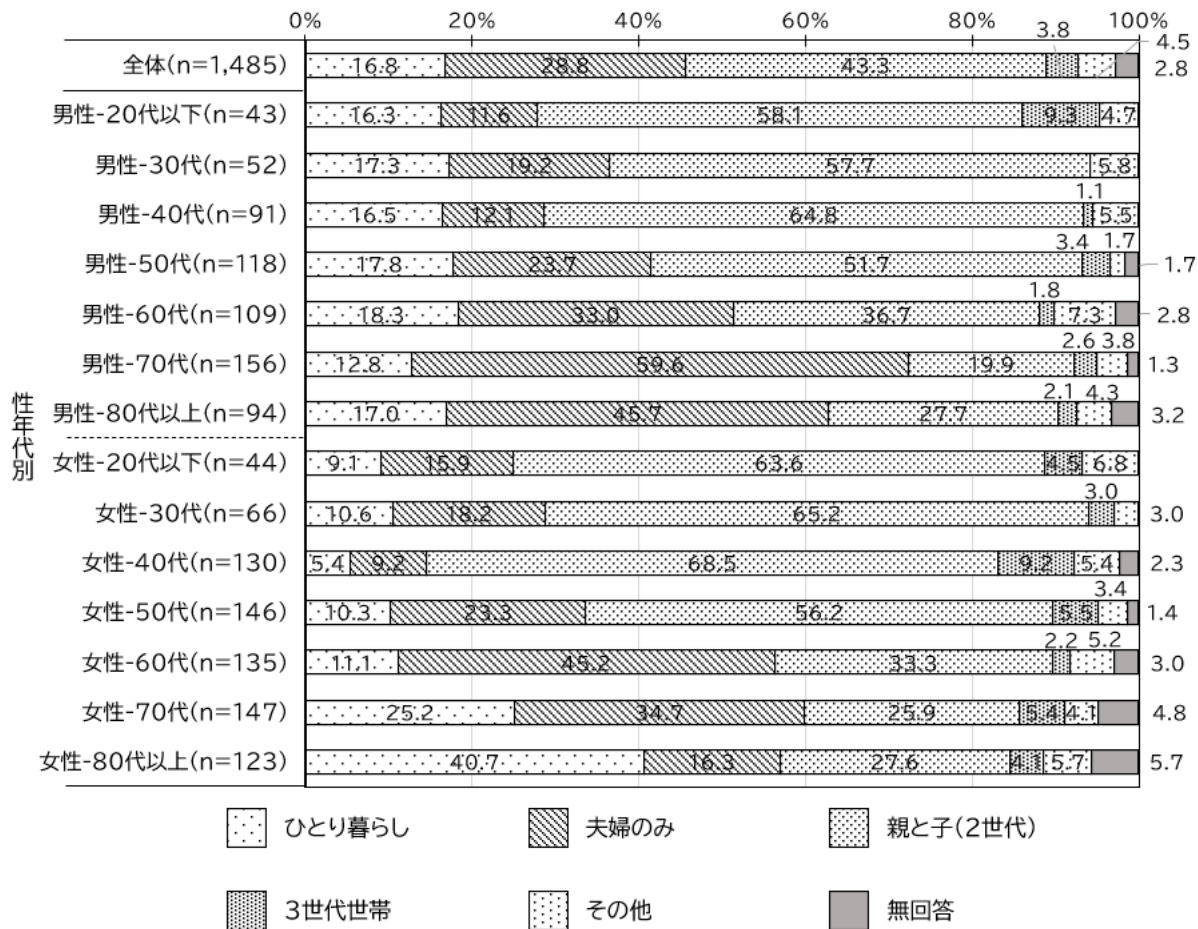
「親と子(2世代)」が 43.3%

- ・ 「親と子(2世代)」が 43.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(28.8%)、「ひとり暮らし」(16.8%)の順となっている。



■ 性年代別 家族構成

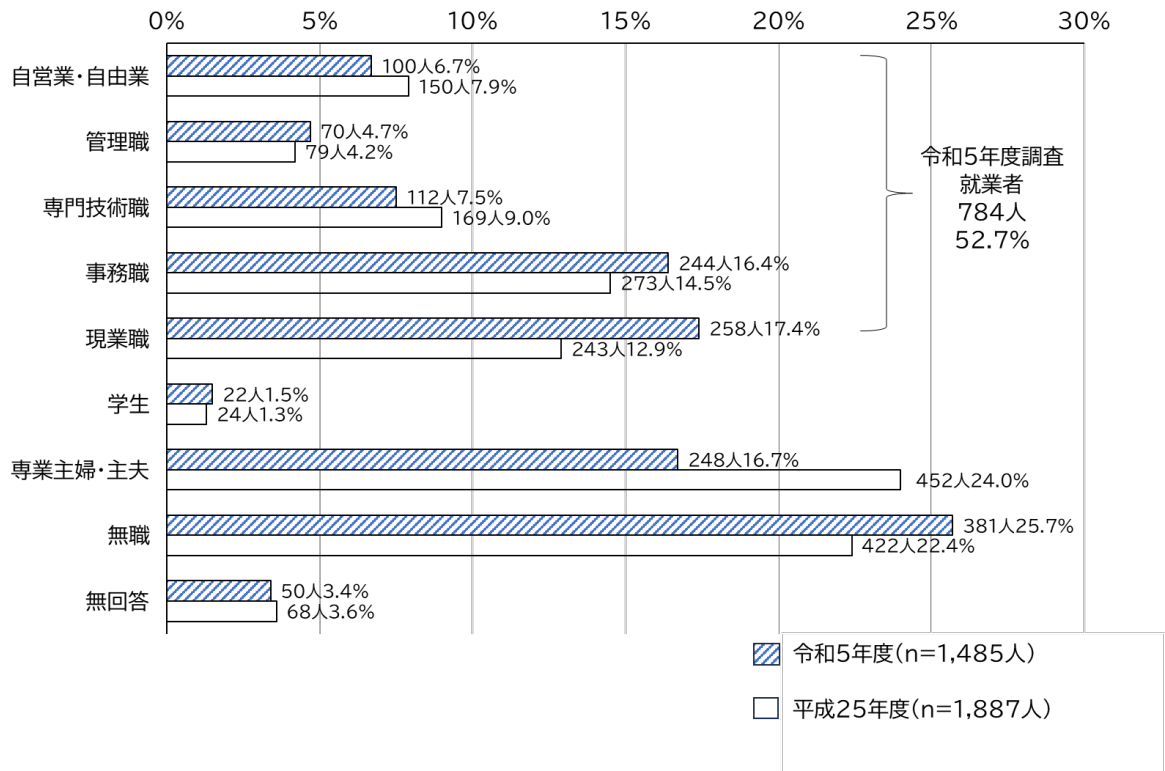
「女性 80 代以上」の 40.7%が「ひとり暮らし」で、「男性 80 代以上」の 17.0%より 23.7 ポイント高い



F6 職業

就業者は52.7%、「無職」は25.7%、「専業主婦・主夫」の割合は10年前に比べて7.3ポイント減

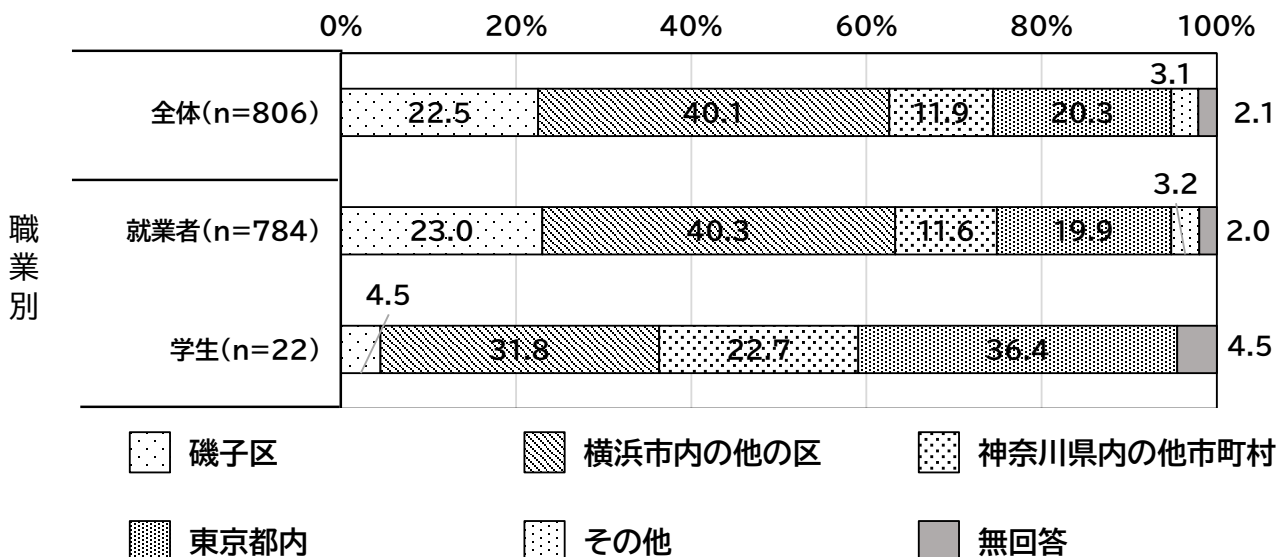
- ・ 全体の52.7%が就業している。一方、「無職」は25.7%となっている。
- ・ 平成25年度調査と比較すると、「専業主婦・主夫」が、7.3ポイント低い。



F6-1 通勤地や通学している場所 (F6で「就業者」又は「学生」と回答)

■ 職業別 通勤・通学場所

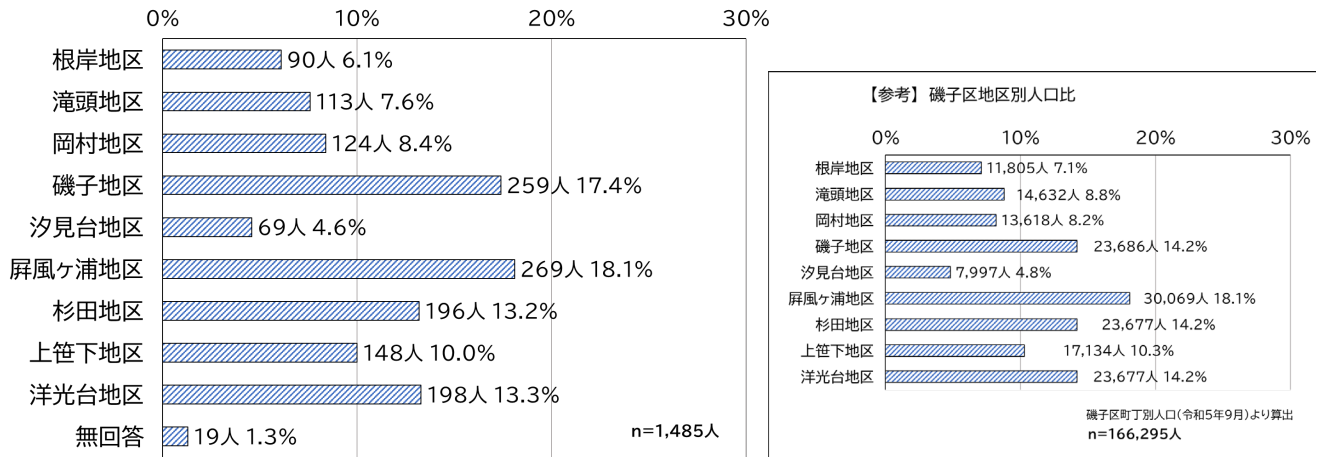
就業者の63.3%が横浜市内で就業、「学生」は36.4%が東京都内への通学。



F7 居住地域

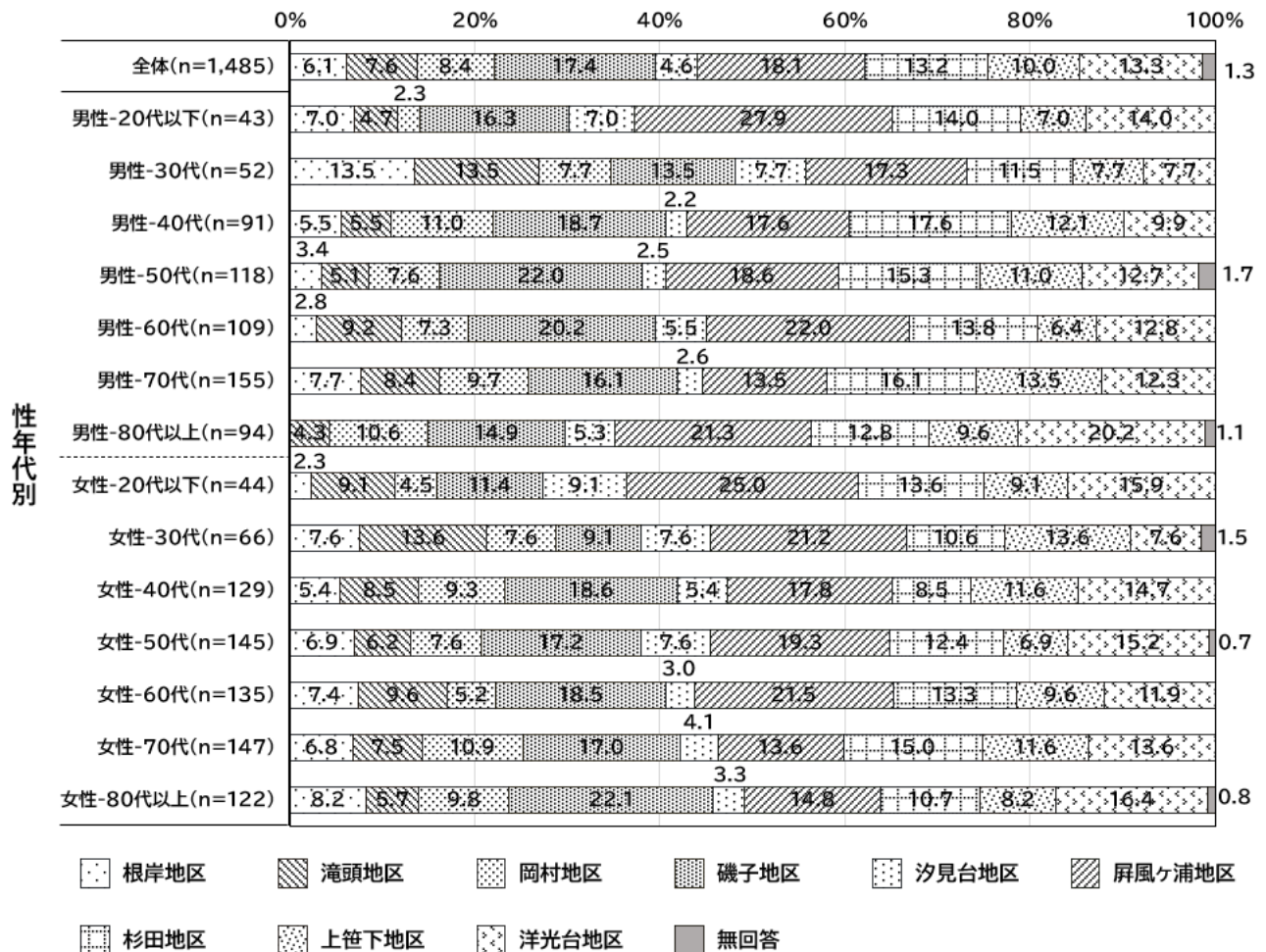
最も多いのは「屏風ヶ浦地区」、次に「磯子地区」で、回答率は人口比にほぼ比例

- 最も多いのは「屏風ヶ浦地区」の 18.1%。次いで「磯子地区」(17.4%)、「洋光台地区」(13.3%)の順となっている。



■ 性年代別 居住地域

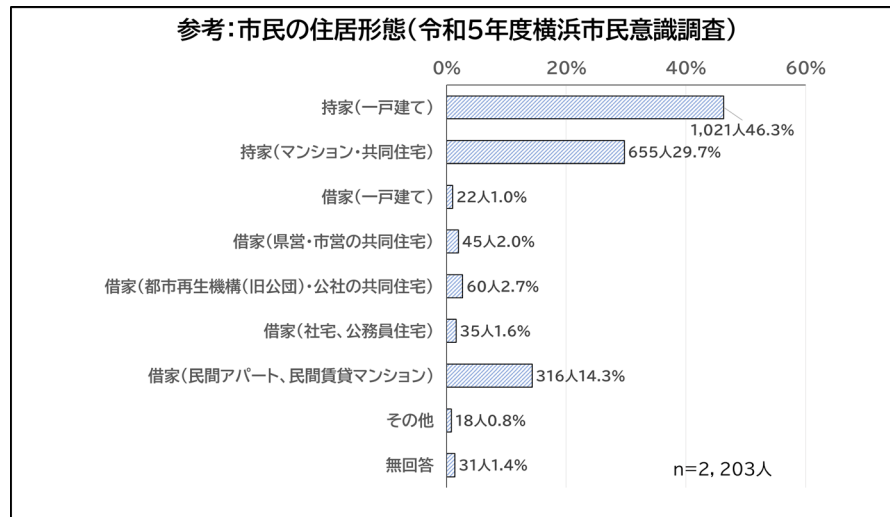
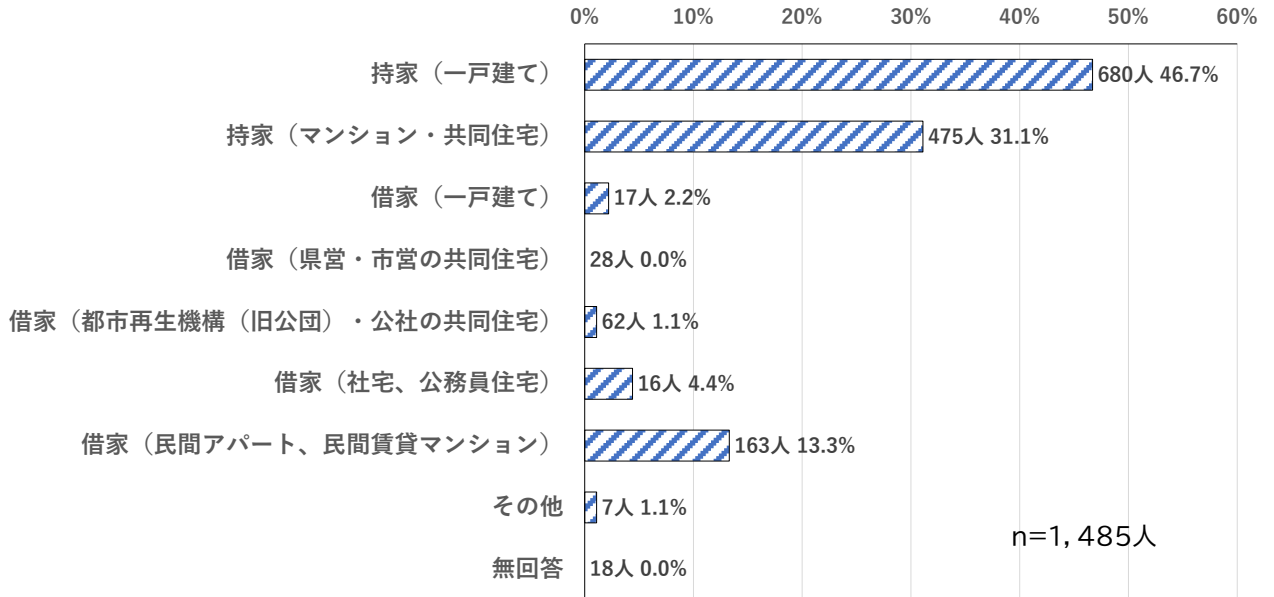
性年代別の居住割合を全体と比較すると、根岸地区で「男性 30 代」、滝頭地区で「女性 30 代」、屏風ヶ浦地区で「男性 20 代以下」と「女性 20 代以下」、洋光台地区で「男性 80 代以上」が高い



F8 住居形態

持家率は78.2%

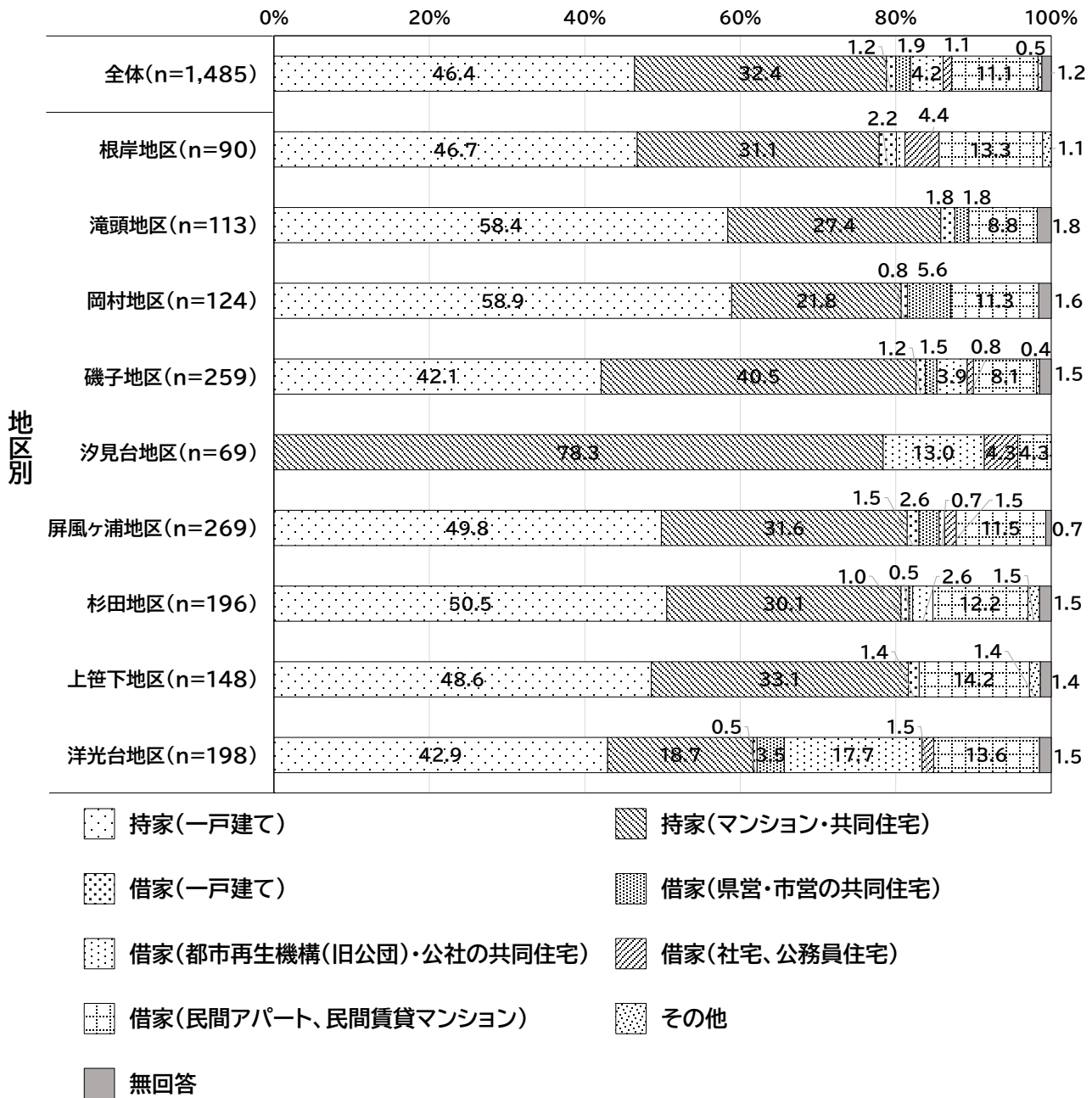
- 最も多いのは「持家(一戸建て)」の46.7%。次いで「持家(マンション・共同住宅)」が31.1%であり、これらを合わせると持ち家率は77.8%となっている。
- 横浜市民意識調査と比較すると、「持家(マンション・共同住宅)」が2.4ポイント高く、「借家(民間アパート、民間賃貸マンション)」が1.4ポイント低い。



■ 地区別 住居形態

「滝頭地区」と「岡村地区」は「持家(一戸建て)」が、「汐見台地区」は「持家(マンション・共同住宅)」が、「洋光台地区」は「借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)」が全体より高い

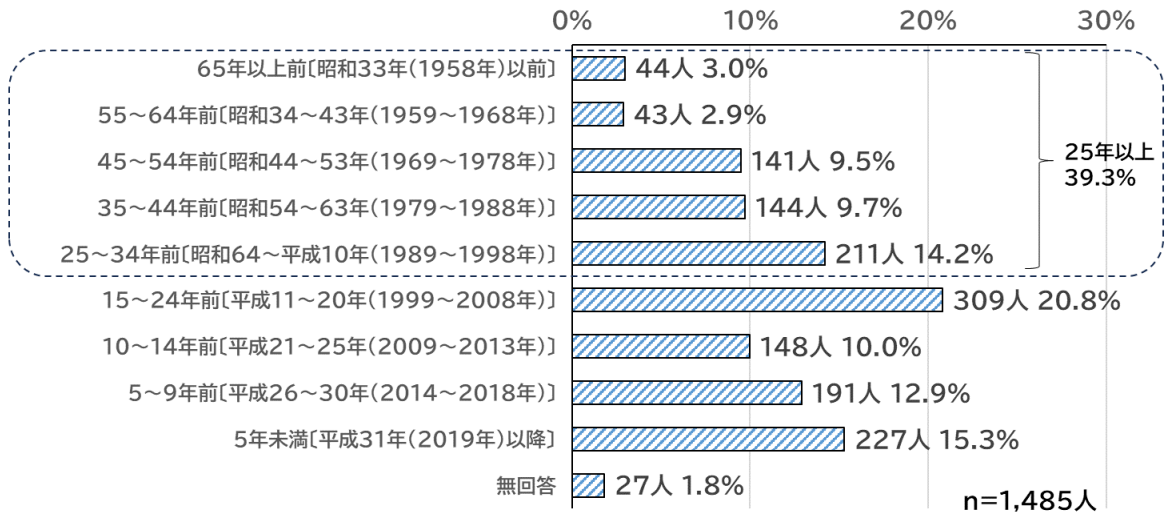
- ・ 特に汐見台地区は 78. 3%が持家(マンション・共同住宅)となっている。



F9 居住期間

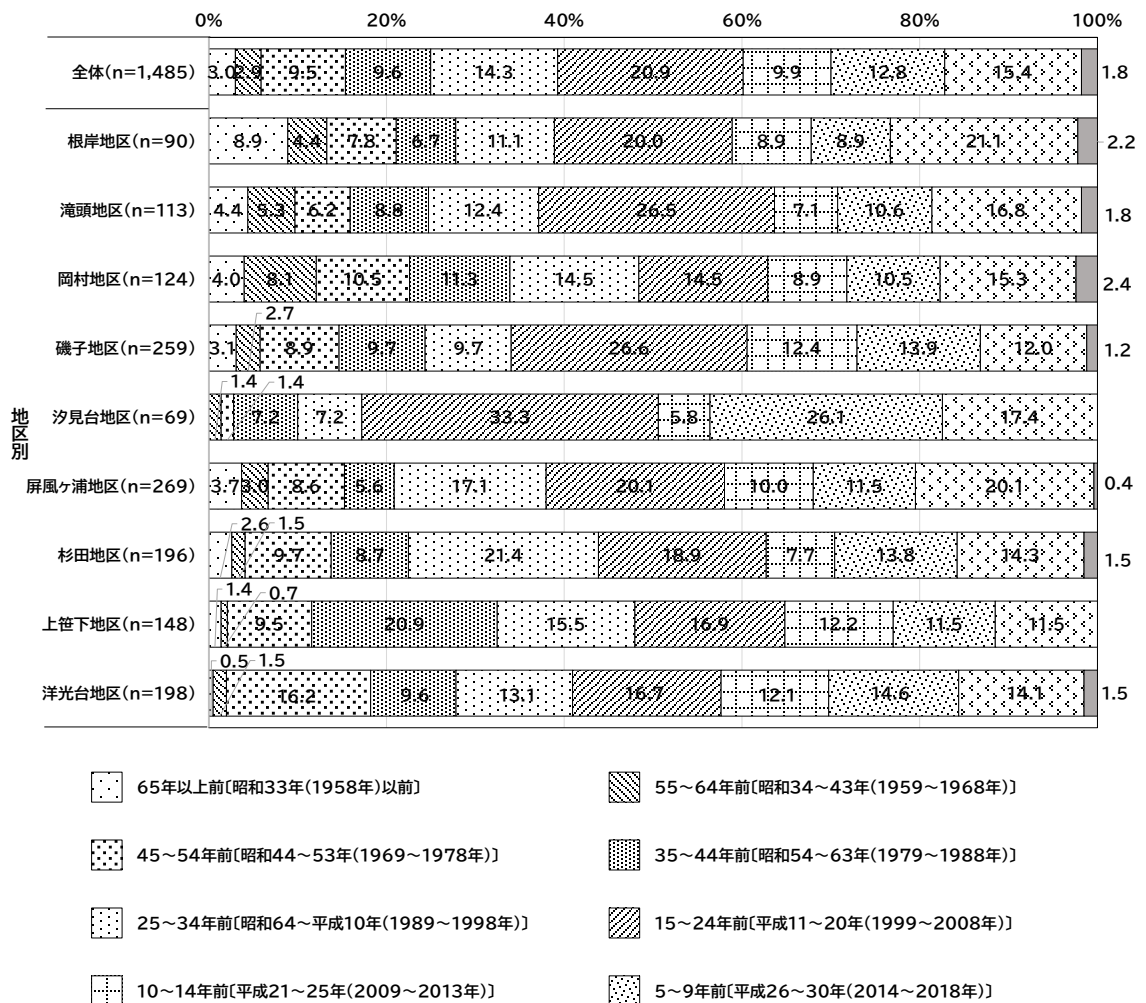
25年以上住んでいる方は 39.3%

- 最も多いのは「15～24年前〔平成11～20年(1999～2008年)〕」の20.8%。次いで「5年未満〔平成31年(2019年)以降)〕」(15.3%)、「25～34年前〔(1989～1993年)〕」(14.2%)の順となっている。



■ 地区別 居住期間

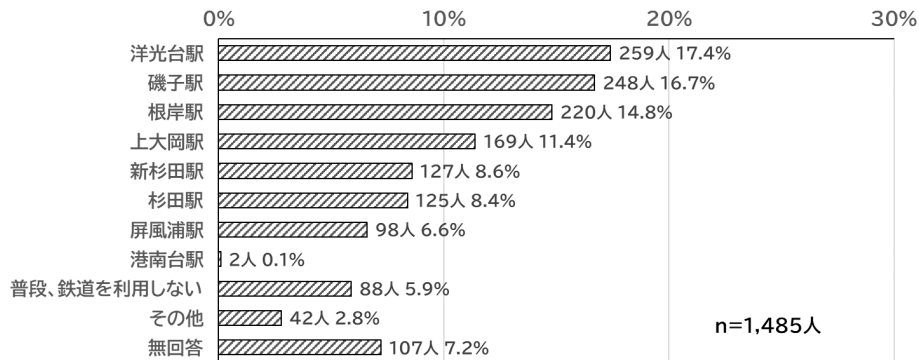
「岡村地区」は 48.4%、「上笹下地区」は 48.0%、「杉田地区」は 43.9%が 25年以上(平成10年以前から)住んでおり、「汐見台地区」は 43.5%が住み始めて10年未満(平成26年以降から)



F10 普段利用している鉄道駅

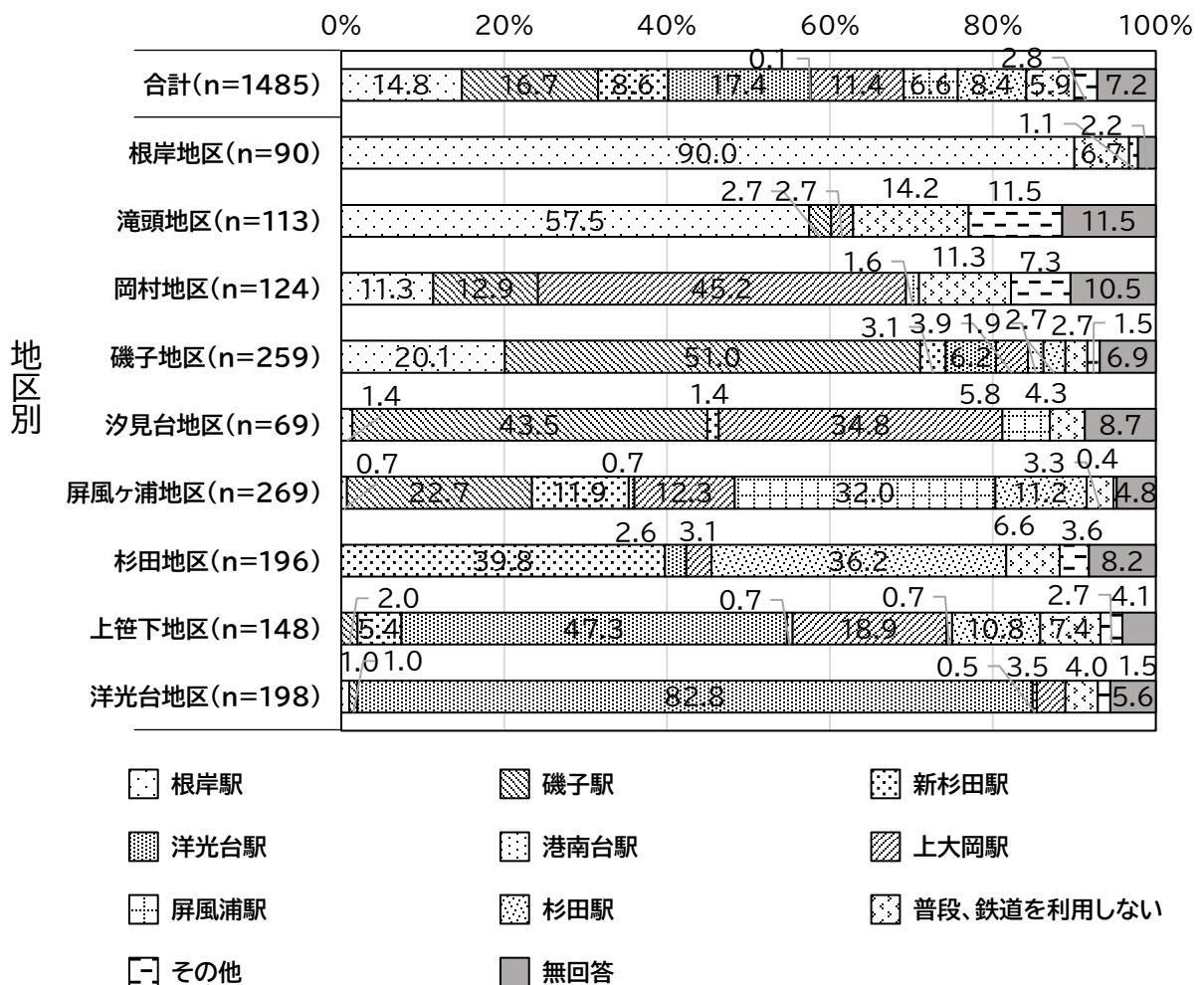
「洋光台駅」、「磯子駅」及び「根岸駅」の3駅で全体の半数近くを占める

- 最も多いのは「洋光台駅」の17.4%。次いで「磯子駅」(16.7%)、「根岸駅」(14.8%)の順となっており、この3駅で48.9%を占めている。



■ 地区別 普段利用している鉄道駅

地区別に最も多く利用している駅は、「根岸地区」は「根岸駅」(90.0%)、「滝頭地区」は「根岸駅」(57.5%)、「岡村地区」は区外の「上大岡駅」(45.2%)、「磯子地区」は「磯子駅」(51.0%)、「汐見台地区」は「磯子駅」(43.5%)、「屏風ヶ浦地区」は「屏風浦駅」(32.0%)、「杉田地区」は「新杉田駅」(39.8%)、「上笹下地区」は「洋光台駅」(47.3%)、「洋光台地区」は「洋光台駅」(82.8%)



Ⅱ. 調査結果

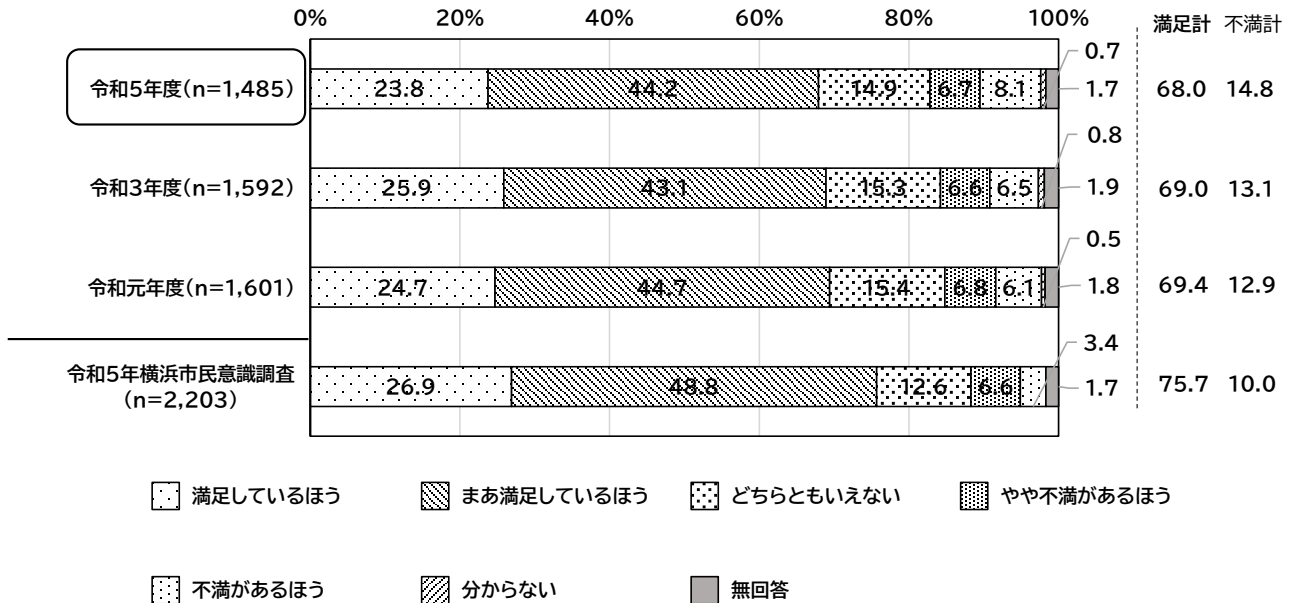
1. 普段の生活について

(1) 生活意識

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。

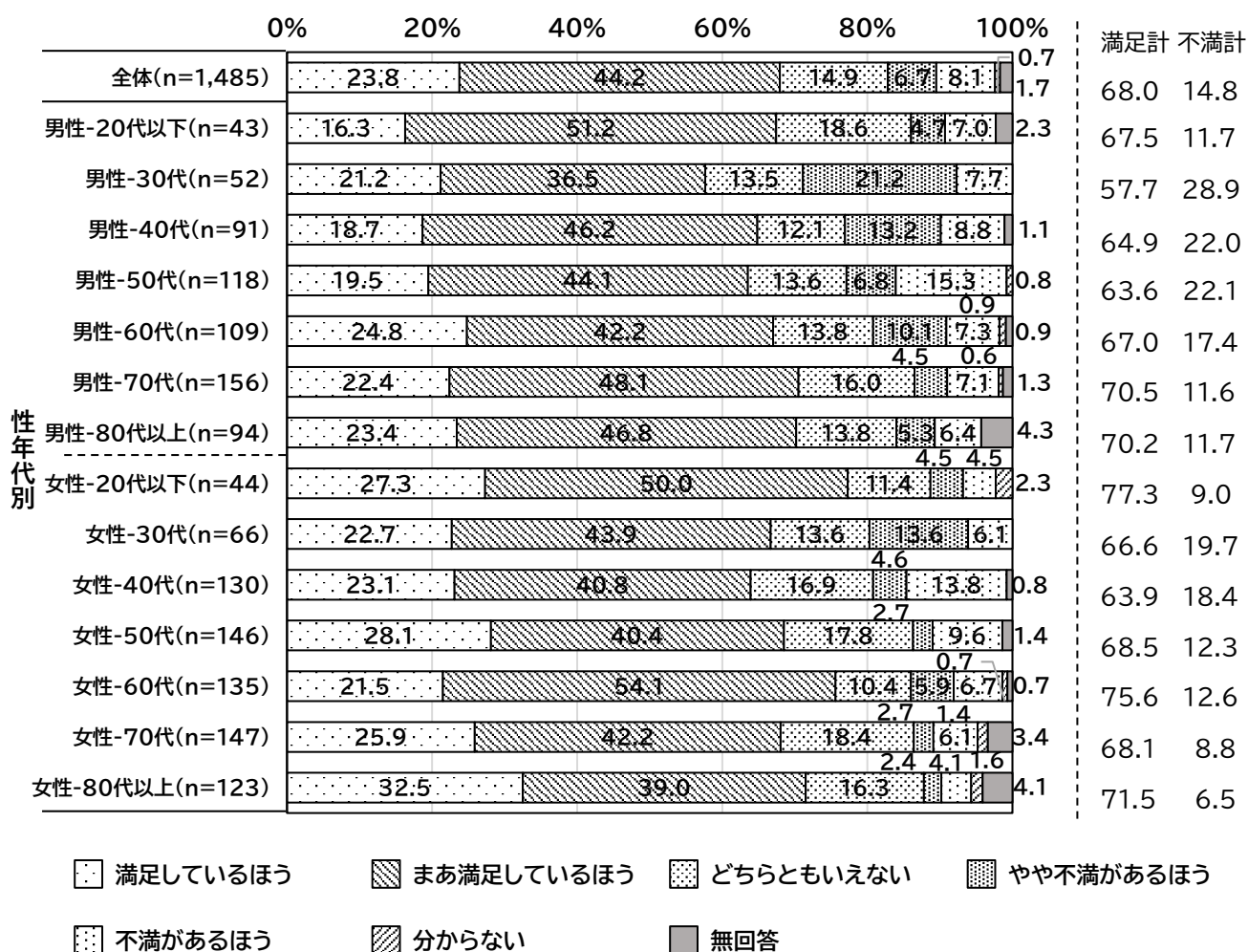
『満足計（「満足しているほう」＋「まあ満足しているほう」）』は68.0%

- ・ 経年で比較すると、「満足しているほう」の割合は、横ばいとなっている。
- ・ 横浜市民意識調査と比較すると『満足計』は、7.7ポイント低い。



■ 性年代別 生活の満足度

- ・ 性年代別では、「満足しているほう」が「男性 60 代」、女性の「20 代以下」「50 代」「70 代」及び「80 代以上」で全体より上回っている。
- ・ 『満足計』は、男性では 70 代以上、女性で「20 代以下」、「60 代」、「80 代以上」が7割を超えている。
- ・ 『不満計』は、男性の 30 代～50 代が2割を超えている。

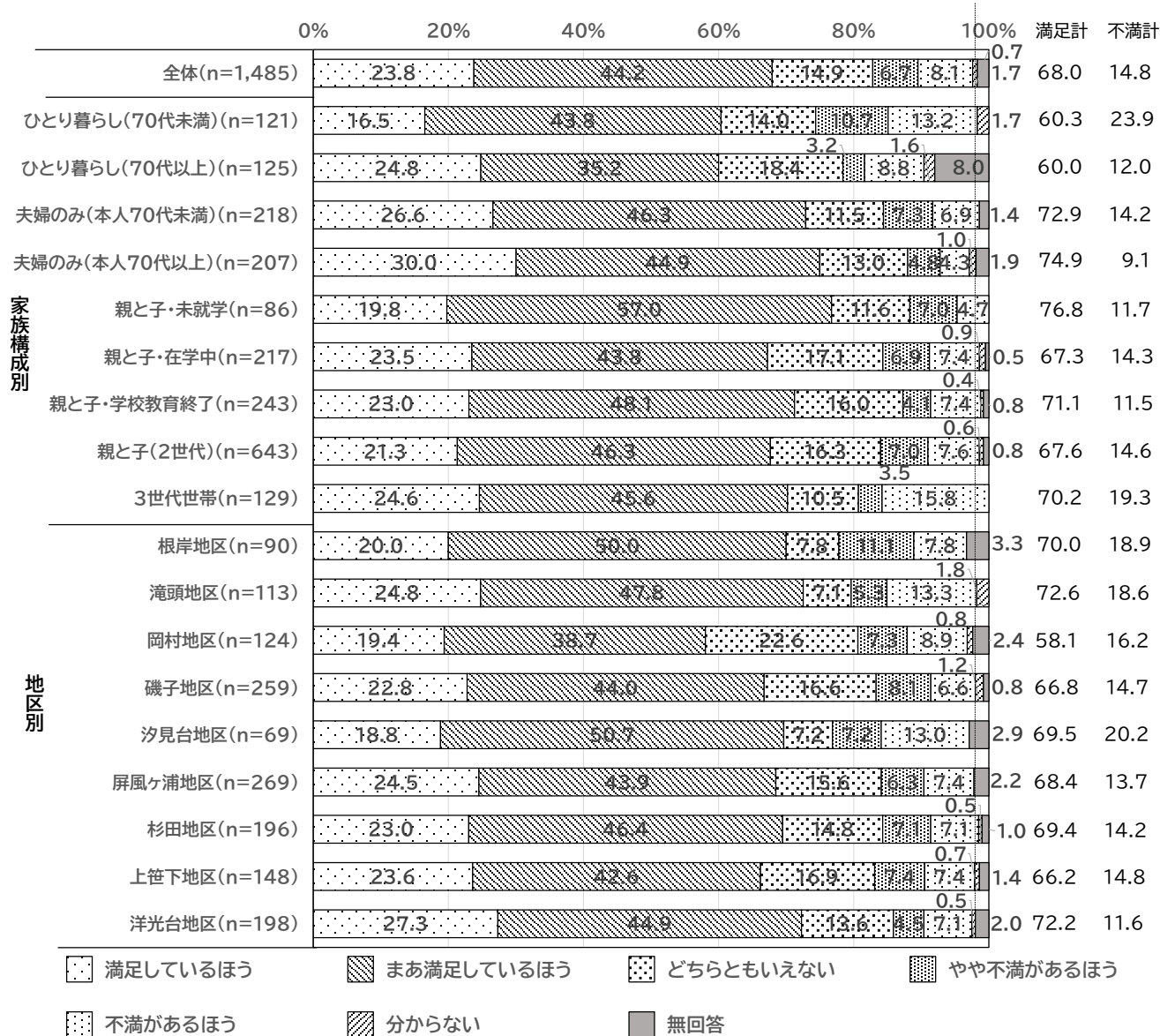


■ 家族構成別 生活の満足度

- ・ 家族構成別では、『満足計』では、「親子・未就学」が76.8%で、最も高い。
- ・ 『不満計』では、「ひとり暮らし(本人70代以上)」が23.9%で、最も高い。

■ 地区別 生活の満足度

- ・ 地区別では、『満足計』は、「滝頭地区」(72.6%)で最も高く、次に「洋光台地区」(72.2%)、「根岸地区」(70.0%)で7割以上となっている。

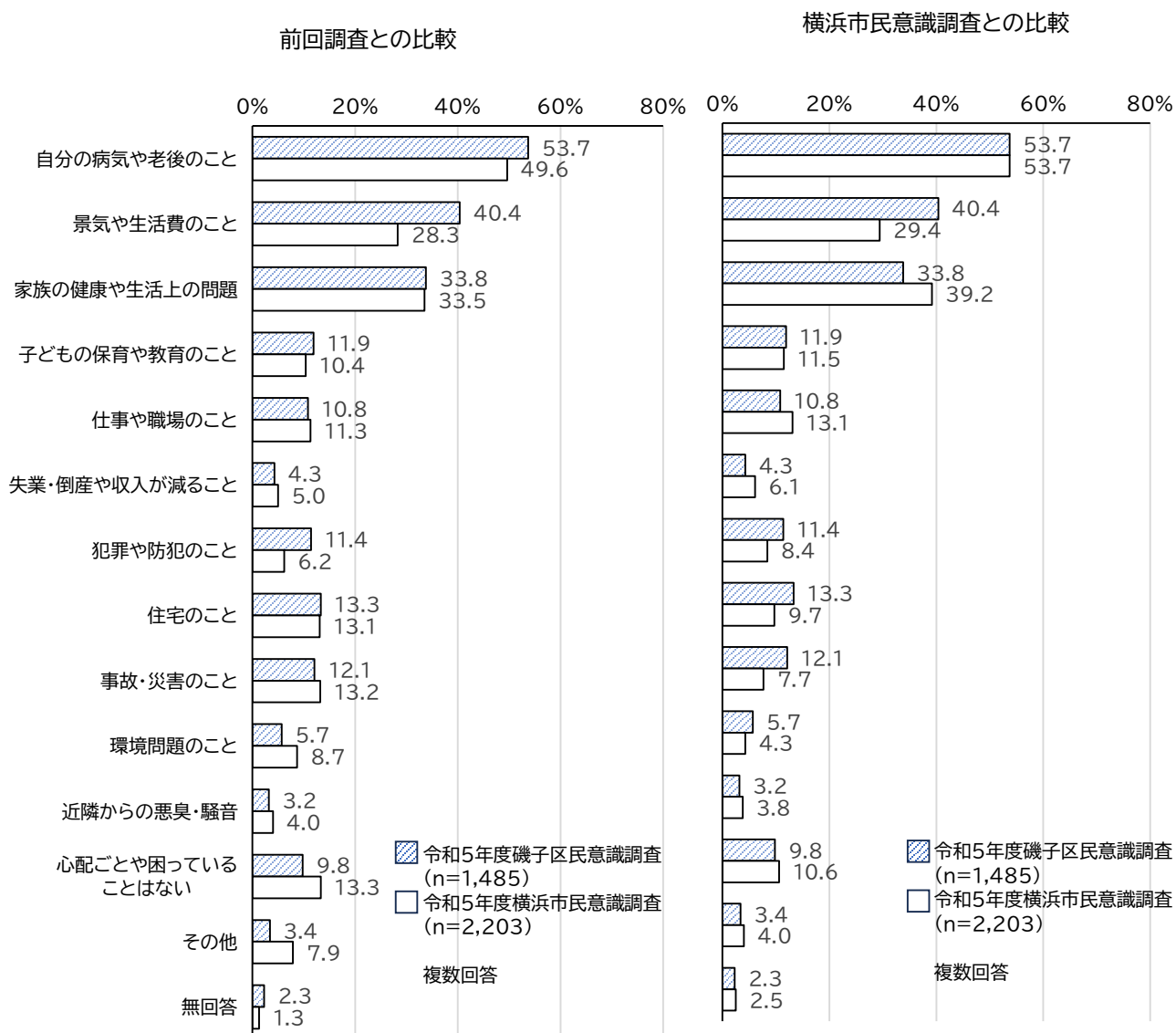


(2) 生活の心配ごと・困りごと

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

全体の53.7%が「自分の病気や老後のこと」を挙げ、「景気や生活費のこと」、「家族の健康や生活上の問題」が上位3項目となっている

- 「自分の病気や老後のこと」が半数以上の53.7%と最も多い。次いで「景気や生活費のこと」(40.4%)、「家族の健康や生活上の問題」(33.8%)の順である。前回調査と比較すると「景気や生活費のこと」が高くなっている。
- 横浜市民意識調査と比較すると、「景気や生活費のこと」は11ポイント高く、「事故・災害のこと」は4.4ポイント高く、「家族の健康や生活の問題」は5ポイント以上高い。



■ 性年代別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- ・ 性年代別では、「自分の病気や老後のこと」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より低い。
- ・ 「景気や生活費のこと」は、男性は 50 代以下が、女性は 40 代以下が全体より高くなっている。
- ・ 「子どもの保育や教育のこと」は、男性、女性ともに 30～40 代で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
自分の病気や老後のこと	53.7	-16.5	-22.9	-13.0	3.9	12.4	13.6	25.0	-35.5	-21.9	-16.0	-0.3	3.3	-1.3	17.0
景気や生活費のこと	40.4	29.4	21.1	9.1	3.7	-4.6	-6.4	-7.4	11.9	23.7	5.8	-0.7	-1.1	-11.1	-17.6
家族の健康や生活上の問題	33.8	-5.9	-12.6	-3.0	9.4	-0.8	-1.1	18.3	-17.9	-3.5	2.4	7.3	-2.7	-2.5	-7.8
子どもの保育や教育のこと	11.9	2.1	22.7	27.7	-1.7	-10.1	-10.6	-11.9	-7.4	29.0	24.3	1.1	-11.2	-11.2	-11.1
仕事や職場のこと	10.8	14.8	14.2	2.4	8.7	-4.4	-9.5	-3.7	23.3	11.9	3.0	2.9	-1.2	-8.1	-10.8
失業・倒産や収入が減ること	4.3	-2.0	9.2	4.5	4.2	0.3	-3.0	-3.2	2.5	-1.3	1.9	-0.2	1.6	-2.3	-4.3
犯罪や防犯のこと	11.4	-2.1	4.0	0.7	-3.8	-2.2	1.4	-6.1	-6.9	5.3	2.4	-1.8	1.2	-1.2	7.3
住宅のこと	13.3	3.0	0.2	-2.3	3.6	3.2	0.2	-3.7	0.3	-4.2	-1.8	-1.0	0.8	-0.4	-0.3
事故・災害のこと	12.1	4.2	1.4	-7.7	-3.6	5.3	-0.6	-3.6	-0.7	-3.0	-1.3	-5.3	4.2	1.5	7.4
環境問題のこと	5.7	-3.4	0.1	-1.3	-4.0	0.7	0.1	-1.4	-3.4	-2.7	-1.1	-0.2	5.4	5.9	-2.4
近隣からの悪臭・騒音	3.2	3.4	2.6	-1.0	1.0	1.4	-1.3	-1.1	3.2	-1.7	2.2	0.2	-1.0	-2.5	-2.4
心配ごとや困っていることはない	9.8	-2.8	-7.9	-1.0	-0.5	-1.5	1.7	1.9	6.1	-0.7	-2.1	-0.9	-4.6	4.5	3.2
その他	3.4	-3.4	4.3	-2.3	-0.9	3.0	-0.2	-3.4	-3.4	-0.4	0.4	1.4	1.0	0.0	-1.0

■ 地区別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- ・ 地区別では、「自分の病気や老後のこと」は、「岡村地区」で全体より高い。
- ・ 「住宅のこと」は、「滝頭地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す（■：全体より高い／■：全体より低い）

	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198
自分の病気や老後のこと	53.7	-12.6	-5.0	6.8	5.4	-1.5	-2.4	-4.7	3.1	-1.2
景気や生活費のこと	40.4	-7.1	0.3	7.2	-2.6	0.2	5.0	-6.7	0.1	0.0
家族の健康や生活上の問題	33.8	-4.9	-5.5	-7.2	0.6	-0.5	-2.9	-2.2	11.5	2.6
子どもの保育や教育のこと	11.9	0.3	2.3	0.2	-1.9	1.1	0.7	-3.2	0.3	1.7
仕事や職場のこと	10.8	-1.9	-1.1	3.7	-0.4	-2.1	-1.1	-1.1	-0.7	4.4
失業・倒産や収入が減ること	4.3	-3.2	-0.8	0.5	-0.1	-2.9	-0.2	1.3	-0.9	1.3
犯罪や防犯のこと	11.4	-1.4	2.8	-0.1	0.6	-2.7	-0.6	2.4	-1.3	-1.3
住宅のこと	13.3	-3.9	7.1	-2.0	0.2	-3.2	0.8	-0.5	0.9	-3.7
事故・災害のこと	12.1	-1.0	-2.4	-1.6	-0.1	2.4	1.3	-2.9	6.1	-3.0
環境問題のこと	5.7	2.1	3.1	-1.7	-2.6	1.5	-0.5	3.0	0.4	-2.2
近隣からの悪臭・騒音	3.2	2.4	2.1	0.8	-0.9	-3.2	0.5	-0.1	-1.2	-0.2
心配ごとや困っていることはない	9.8	-2.0	-1.0	-0.9	-0.5	4.7	-0.1	1.9	1.0	-1.2
その他	3.4	-1.2	1.0	-0.2	1.2	-0.5	-0.4	0.7	0.0	-1.9

■ 家族構成別 生活の心配ごと・困りごと (〇は3つまで)

- ・ 家族構成別では、「自分の病気や老後のこと」は、「ひとり暮らし(本人70代以上)」で全体より高く、「子と同居・第一子未就学」、「子と同居・第一子在学中」「親と子2世代」「3世代世帯」で全体より低い。
- ・ 「家族の健康や生活上の問題」は、「三世代世帯」で全体より高く、ひとり暮らしでは年代を問わず低い。
- ・ 「景気や生活費のこと」では、「親と子・未就学」を除き他のすべての家族構成で全体より低い。「住宅のこと」は、すべての家族構成で全体より低い。
- ・ 「子どもの保育や教育のこと」は、「親と子・未就学」「親と子・就学中」で全体より高い。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし (70代未満)	ひとり暮らし (70代以上)	夫婦のみ (本人70代未満)	夫婦のみ (本人70代以上)	親と子・未就学	親と子・在学中	親と子・学校教育終了	親と子 (2世代)	3世代世帯
n=	1,485	121	125	218	207	86	217	243	643	57
自分の病気や老後のこと	53.7	9.9	18.3	3.2	9.6	-32.8	-24.2	0.2	-10.9	-4.6
景気や生活費のこと	40.4	6.7	-2.0	5.5	-16.2	16.6	5.7	-2.1	2.7	-5.3
家族の健康や生活上の問題	33.8	-18.1	-24.2	2.9	4.8	-4.7	-3.4	2.4	2.7	20.6
住宅のこと	13.3	3.2	-0.5	0.5	-3.6	-2.8	-0.9	3.6	-0.1	-4.5
事故・災害のこと	12.1	-3.8	3.9	0.7	0.0	-1.6	-5.2	3.1	-0.3	-6.8
子どもの保育や教育のこと	11.9	-8.6	-11.9	-5.5	-10.5	55.5	34.6	-7.0	10.3	3.9
犯罪や防犯のこと	11.4	-0.7	0.6	1.0	-0.3	2.6	-0.3	1.4	0.1	6.1
仕事や職場のこと	10.8	-13.2	-7.6	4.3	-10.3	-0.3	-0.7	-5.9	0.1	1.5
心配ごとや困っていることはない	9.8	-2.4	-1.0	-3.8	7.1	-1.7	1.7	1.7	0.8	-1.0
環境問題のこと	5.7	-4.0	-0.9	0.7	2.5	-2.2	-1.6	2.5	-0.1	-2.2
失業・倒産や収入が減ること	4.3	6.4	-2.7	2.1	-3.8	-3.1	-2.0	-2.2	-0.4	1.0
その他	3.4	0.7	-1.8	-0.2	0.5	-1.1	-1.1	1.1	-0.3	3.6
近隣からの悪臭・騒音	3.2	2.6	-3.2	0.0	-0.8	-0.9	0.5	-0.7	0.2	7.3

■ 生活の満足度別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- 生活の満足度別では、「景気や生活費のこと」は『どちらともいえない・不満がある計』が『満足計』より15ポイント以上高い。

※全体は回答の%、生活の満足度は全体との差を表す（■：全体より高い／■：全体より低い）

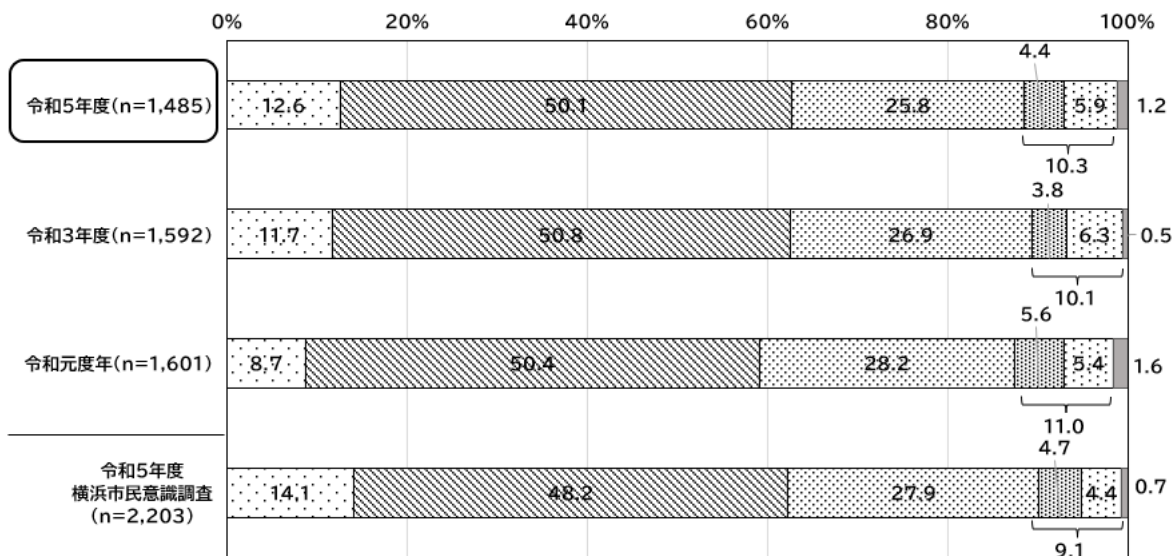
	全体 (%)	生活の満足度							
		満足して いるほう	まあ満足 している ほう	どちら ともい えない	やや不満 があるほう	不満が あるほう	分からない	満足計	どちらとも いえない・ 不満がある計
n=	1,485	353	656	221	99	121	10	1,009	441
自分の病気や老後のこと	53.7	-16.3	-6.3	5.1	-3.2	5.0	16.3	-9.8	3.2
景気や生活費のこと	40.4	-17.7	-13.7	4.4	16.2	22.4	-10.4	-15.1	12.0
家族の健康や生活上の問題	33.8	-11.7	-3.0	-4.4	-2.5	3.4	-3.8	-6.0	-1.8
住宅のこと	13.3	-3.1	-1.1	4.3	3.9	11.5	-3.3	-1.8	6.2
事故・災害のこと	12.1	2.1	3.9	3.3	-4.0	-7.1	-2.1	3.3	-1.2
子どもの保育や教育のこと	11.9	-3.4	-0.8	-0.6	3.3	-1.2	8.1	-1.7	0.1
犯罪や防犯のこと	11.4	-4.0	0.3	-0.5	-5.3	-4.8	-1.4	-1.2	-2.8
仕事や職場のこと	10.8	-4.3	-4.9	-1.8	7.4	4.9	-0.8	-4.7	2.1
環境問題のこと	5.7	1.4	2.8	-0.3	2.4	-3.2	-5.7	2.3	-0.5
失業・倒産や収入が減ること	4.3	-2.3	-2.3	1.1	1.8	9.7	-4.3	-2.3	3.6
近隣からの悪臭・騒音	3.2	4.4	1.8	4.5	4.9	2.6	6.8	2.7	4.1
心配ごとや困っていることはない	9.8	9.5	-0.2	-7.5	-6.8	-9.8	-9.8	3.2	-8.0
その他	3.4	2.8	4.5	2.9	5.7	2.4	-3.4	3.9	3.4

(3) 地域の方とのかかわり方

問3 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。

50.1%が「道で会えば挨拶ぐらいする」を挙げ、「顔もよく知らない」は12.6%

- ・ 「道で会えば挨拶ぐらいする」(50.1%)が最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(25.8%)となっている。
- ・ 一方、「顔もよく知らない」は12.6%。
- ・ 「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」(4.4%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(5.9%)を合わせた『比較的親密な付き合い方』は10.3%である。
- ・ 横浜市民意識調査と比較すると、『比較的親密な付き合い方』が1.2ポイント高く、「顔もよく知らない」が1.5



『比較的親密な付き合い方』

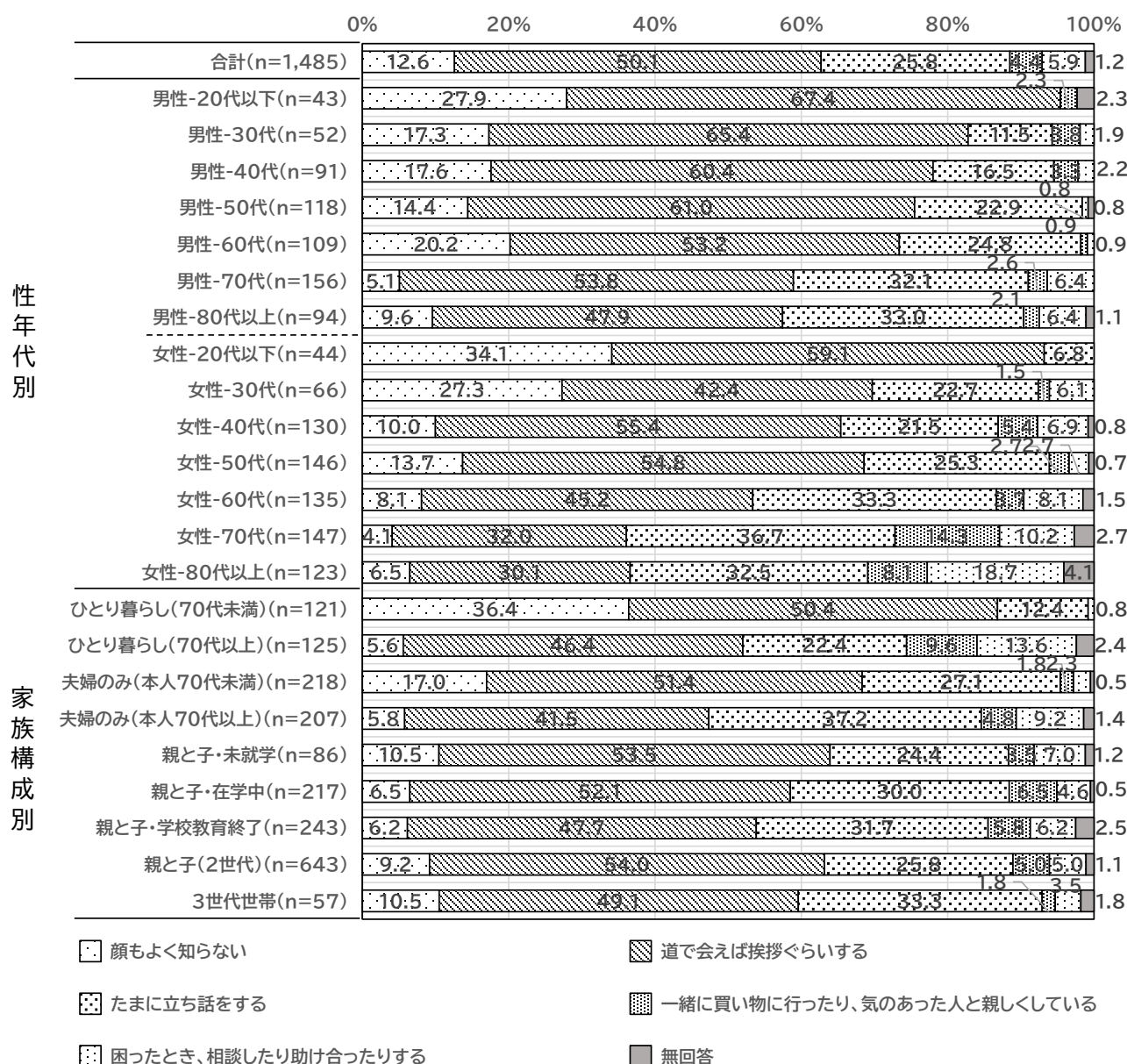
- 顔もよく知らない
- 道で会えば挨拶ぐらいする
- たまに立ち話をする
- 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている
- 困ったとき、相談したり助け合ったりする
- 無回答

■ 性年代別 隣近所との付き合い方

- ・ 性年代別では、「たまに立ち話をする」は、「女性 70 代」(36.7%)、「女性 80 代以上」(32.5%)で最も多く、他の性年代は「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多い。
- ・ さらに、「たまに立ち話をする」は、男性より女性のほうが、また、男性、女性ともに年代が上がるほど多い傾向がある。
- ・ 「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」を合わせた『比較的親密な付き合い方』は、男性より女性のほうが多い傾向がある。

■ 家族構成別 隣近所との付き合い方

- ・ 家族構成別では、「道で会えば挨拶ぐらいする」は、「親と子(2 世代)」が 54.0%で最も多く、次いで「親と子・未就学」(53.5%)、「親と子・在学中」(52.1%)の順となっている。
- ・ 「顔もよく知らない」は、「ひとり暮らし(本人 70 代未満)」(36.4%)で全体(12.6%)より 23.8 ポイント高い。



■ 地区別 隣近所との付き合い方

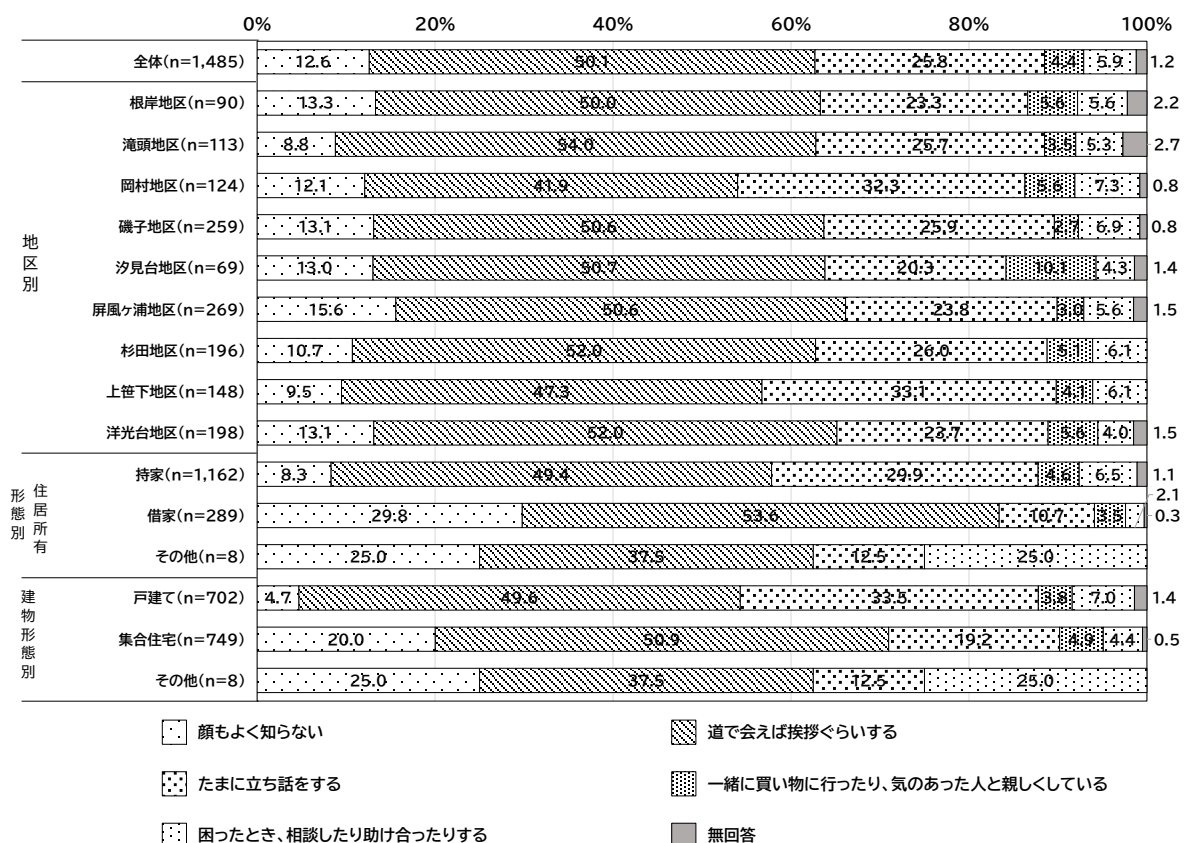
- ・ 地区別では、すべての地区で「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多く、次いで「たまに立ち話をする」の順となっている。

■ 住居所有形態別 隣近所との付き合い方

- ・ 住居所有形態別では、「顔もよく知らない」では「持家」が 8.3%、「借家」が 29.8%と、「借家」が 21.5 ポイント高い。

■ 建物形態別 隣近所との付き合い方

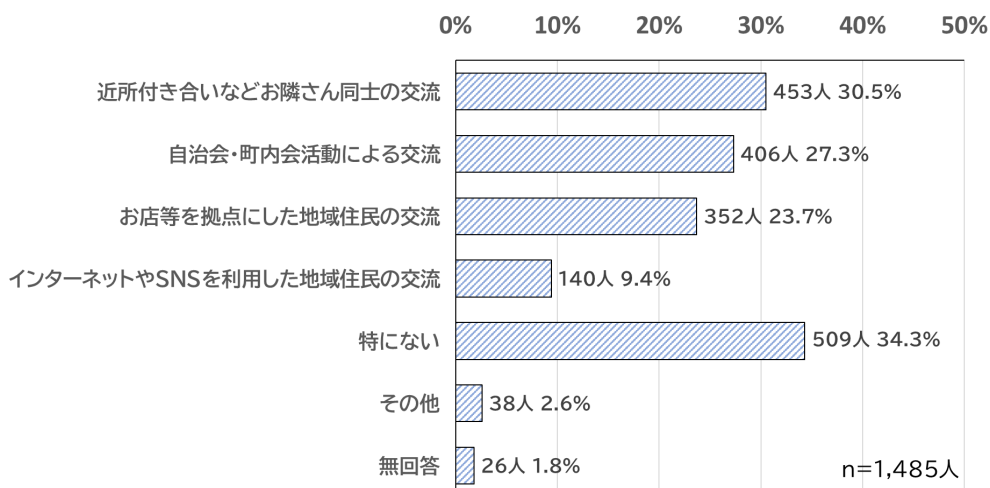
- ・ 建物形態別では、「顔もよく知らない」では「戸建て」が 4.7%、「集合住宅」が 20.0%と、「集合住宅」が 15.3 ポイント高い。



問4 あなたの生活が豊かになるために、住んでいる地域でどのような交流が充実すると良いと思いますか。
(複数回答)

「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」(30.5%) が最も多い

- ・「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」が 30.5%で最も多く、次いで「自治会・町内会活動による交流」(27.3%)、「お店等を拠点にした地域住民の交流」(23.7%)、「インターネットやSNSを利用した地域住民の交流」(9.4%)の順となっている。



■ 年代別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- ・年代別では、「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」は、60代以上で全体より高い。
- ・「自治会・町内会活動による交流」は、50代以下で全体より低い。
- ・「お店等を拠点にした地域住民の交流」は、70代以上で全体より低い。

※全体は回答の%、年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	年代						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	87	118	221	264	244	303	217
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	30.5	-16.7	-11.0	-4.7	-3.2	0.2	3.2	19.3
自治会・町内会活動による交流	27.3	-18.1	-14.6	-6.9	-9.1	3.0	9.0	18.8
お店等を拠点にした地域住民の交流	23.7	6.2	17.0	4.4	8.1	0.1	-10.5	-12.6
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.4	5.5	7.5	2.4	5.0	0.8	-6.4	-7.6
特にない	34.3	15.1	-0.4	3.3	0.2	0.1	1.0	-9.9
その他	2.6	-1.5	-0.1	0.1	0.1	-1.0	1.7	-1.2

■ 職業(就労の有無)別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- 職業(就労の有無)別では、「お店等を拠点にした地域住民の交流」、「インターネットやSNSを利用した地域住民の交流」が、「学生」で全体より高い。

※全体は回答の%、職業(就労の有無)別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	職業(就労の有無)			
		就業者	学生	専業主婦・主夫	無職
n=	1,485	997	31	344	475
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	30.5	-5.1	-7.8	9.0	3.6
自治会・町内会活動による交流	27.3	-6.6	-13.7	7.4	9.4
お店等を拠点にした地域住民の交流	23.7	5.5	21.8	-1.5	-10.8
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.4	3.5	8.8	-2.5	-5.5
特にない	34.3	0.3	6.6	-1.6	0.3
その他	2.6	0.5	-2.6	-0.2	-0.5

■ 居住期間(統合)別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- 居住期間別では、居住期間が長いほど「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」や「自治会・町内会活動による交流」が高い傾向にある。

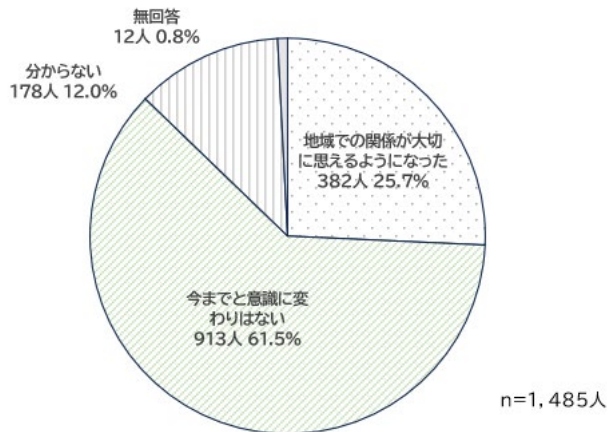
※全体は回答の%、居住期間(統合)別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	居住期間(統合)			
		45年以上前	25~44年前	10~24年前	10年未満
n=	1,485	314	466	591	511
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	30.5	19.9	6.1	-3.8	-11.8
自治会・町内会活動による交流	27.3	17.0	3.1	-1.7	-9.4
お店等を拠点にした地域住民の交流	23.7	-9.2	-4.0	1.9	7.2
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.4	-6.8	-1.2	2.4	2.1
特にない	34.3	-10.6	-1.6	0.7	6.1
その他	2.6	-0.4	-0.1	0.9	-0.7

問5 あなたは、地震・大雨・台風などの災害やコロナ禍で地域住民同士のかかわりに対する意識に変化がありましたか。

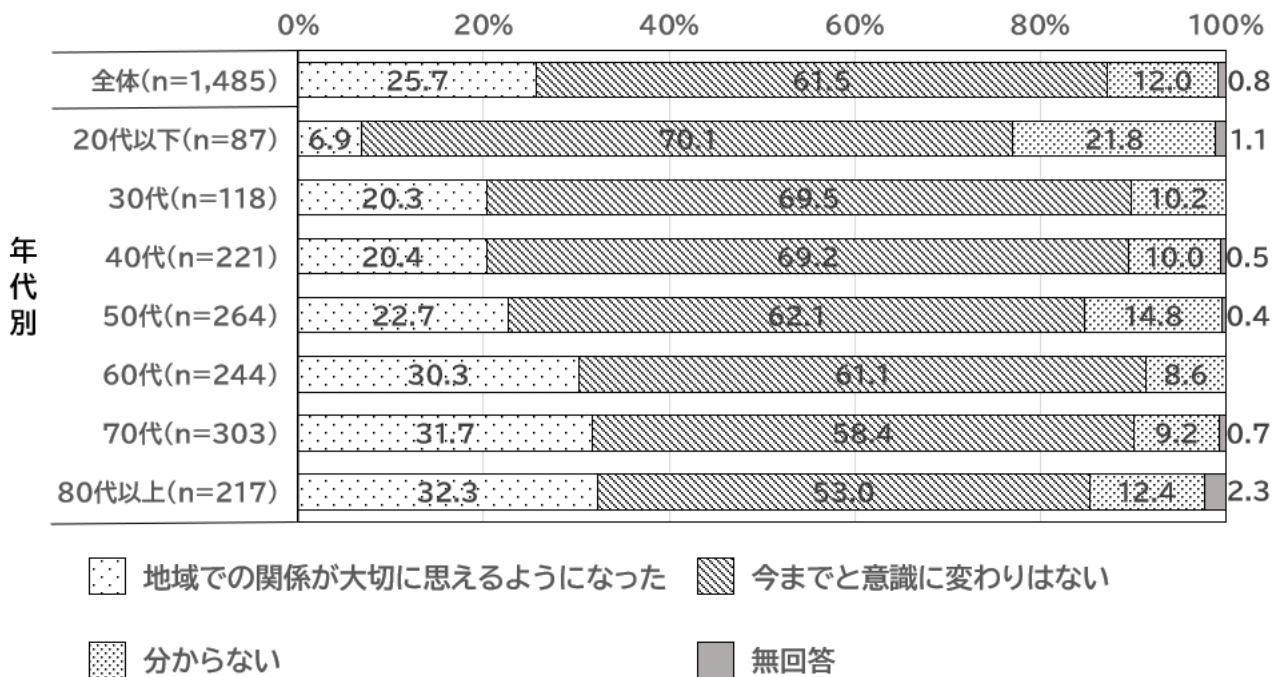
「地域での関係が大切に思えるようになった」は25.7%

- 「今までと意識に変わりはない」が61.5%で最も多く、次いで「地域での関係が大切に思えるようになった」(25.7%)、「分からない」(12.0%)の順となっている。



■ 年代別 災害やコロナ禍での意識変化

- 年代別では、年代が上がるほど「地域での関係が大切に思えるようになった」の割合が高い傾向がある。



■ 家族構成別 災害やコロナ禍での意識変化

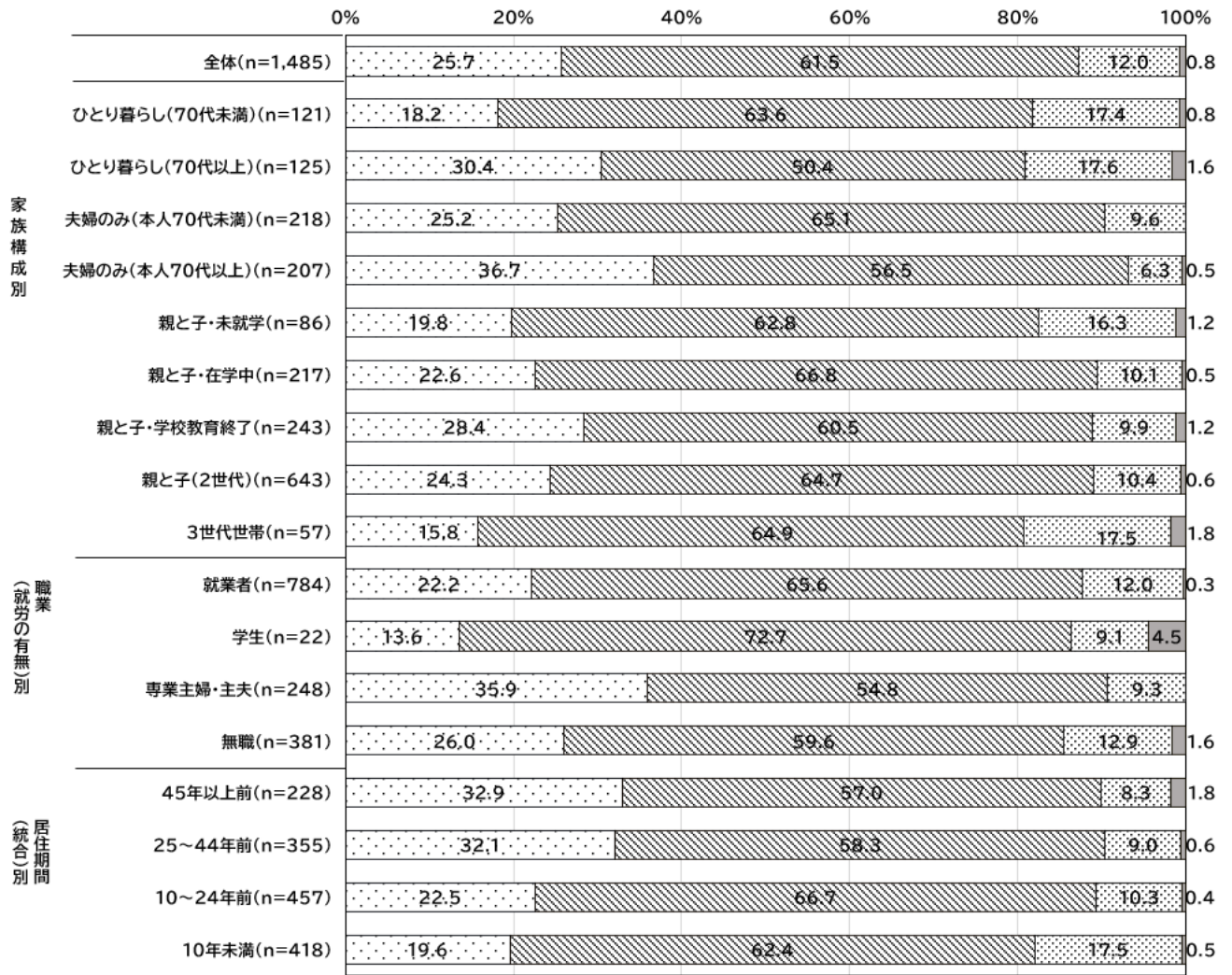
- ・ 家族構成別では、「夫婦のみ(本人70代以上)」で「地域での関係が大切に思えるようになった」が全体より10ポイント以上高い。

■ 職業(就労の有無)別 災害やコロナ禍での意識変化

- ・ 職業(就労の有無)別では、「専業主婦・主夫」で「地域での関係が大切に思えるようになった」が3割を超えている。

■ 居住期間(統合)別 災害やコロナ禍での意識変化

- ・ 居住期間(統合)別では、居住期間が長いほど「地域での関係が大切に思えるようになった」が高くなる傾向がある。



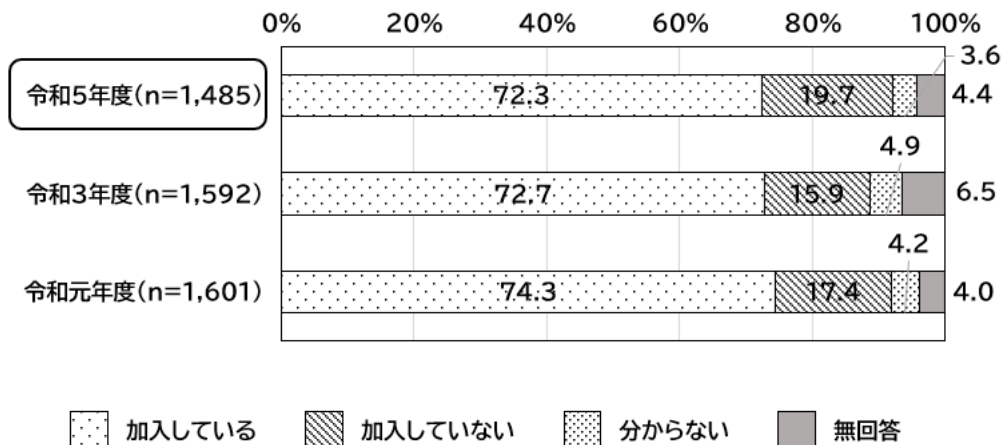
地域での関係が大切に思えるようになった
 今までと意識に変わりはない

分からない
 無回答

問6 あなたは自治会・町内会に加入していますか。

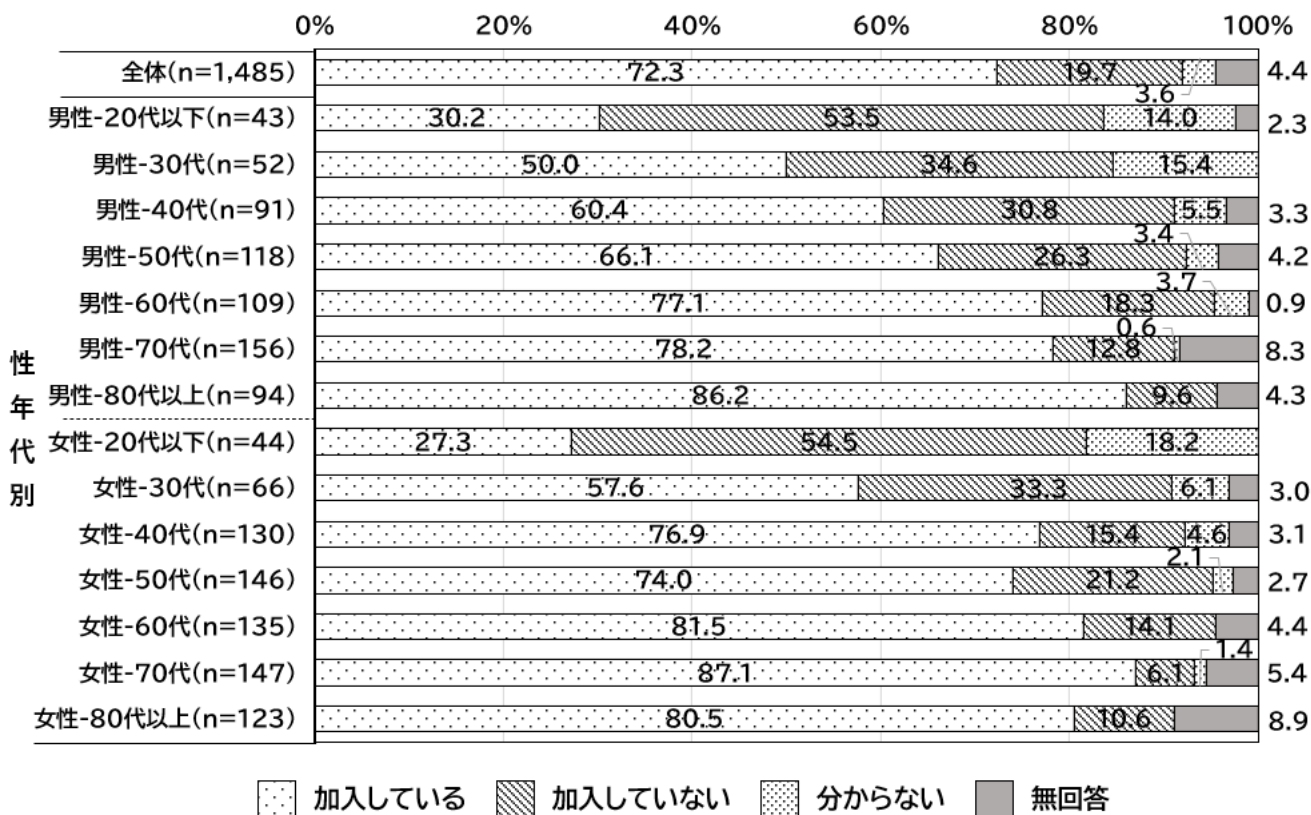
72.3%が自治会・町内会に「加入している」

- ・「加入している」が72.3%、「加入していない」は19.7%、「分からない」は3.6%となっている。
- ・経年で比較すると、「加入している」は減少傾向にある。



■ 性年代別 自治会・町内会の加入率

- ・性年代別では、男性、女性ともに60代までは年代が上がるほど「加入している」が高くなる傾向にある。
- ・80代以上と20代以下を除いて、女性の方が男性よりも加入率が高く、年代が上がるほどその差は小さくなる傾向にある。

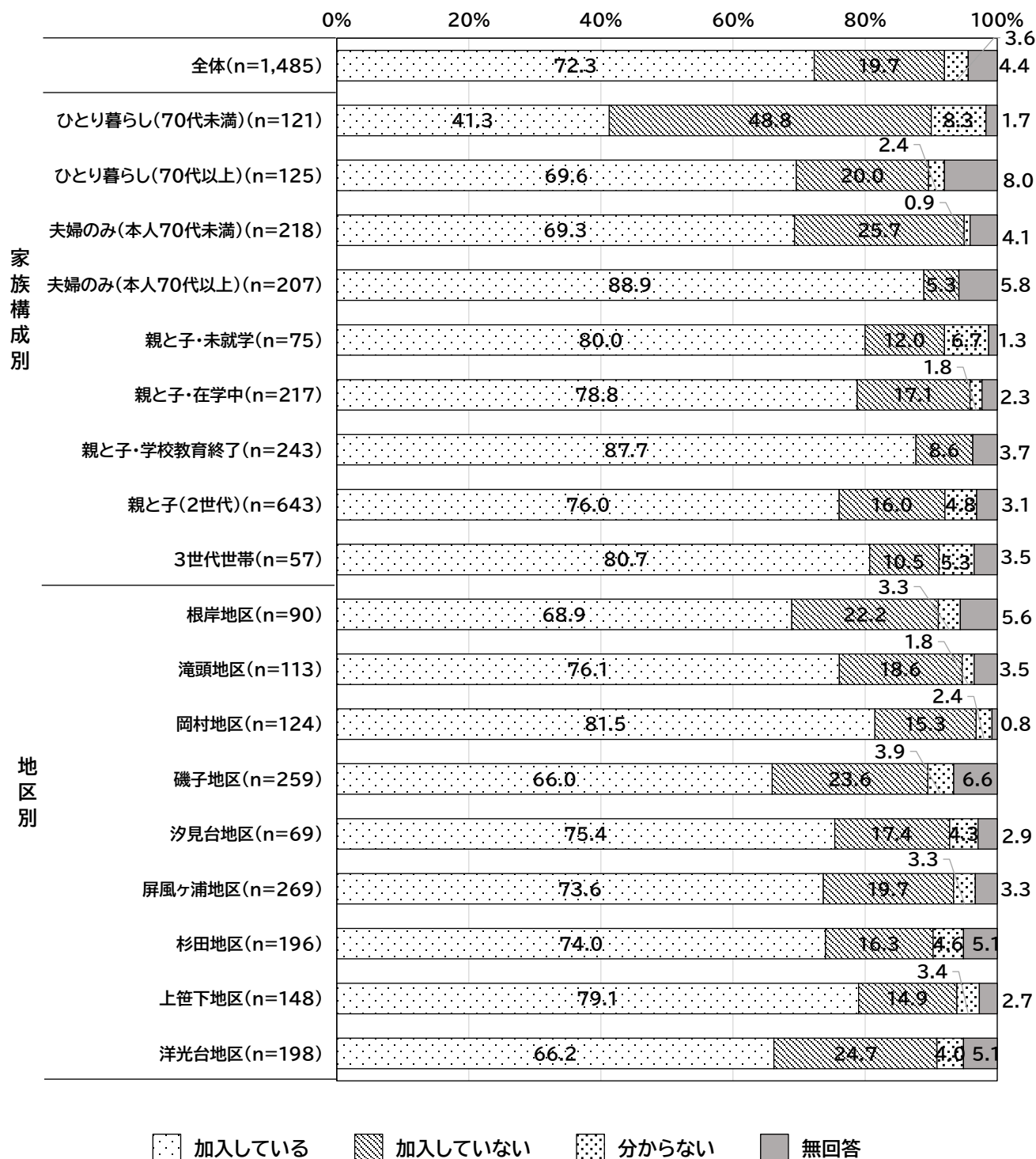


■ 家族構成別 自治会・町内会の加入率

・ 家族構成別では、「ひとり暮らし(本人 70 代未満)」で「加入していない」(48.8%)が最も多い。

■ 地区別 自治会・町内会の加入率

・ 地区別では、「岡村地区」で加入者が8割を超える。一方、「根岸地区」、「磯子地区」、「洋光台地区」で「加入していない」が2割を超える。



■ **住居所有形態別・建物形態別 自治会・町内会の加入率**

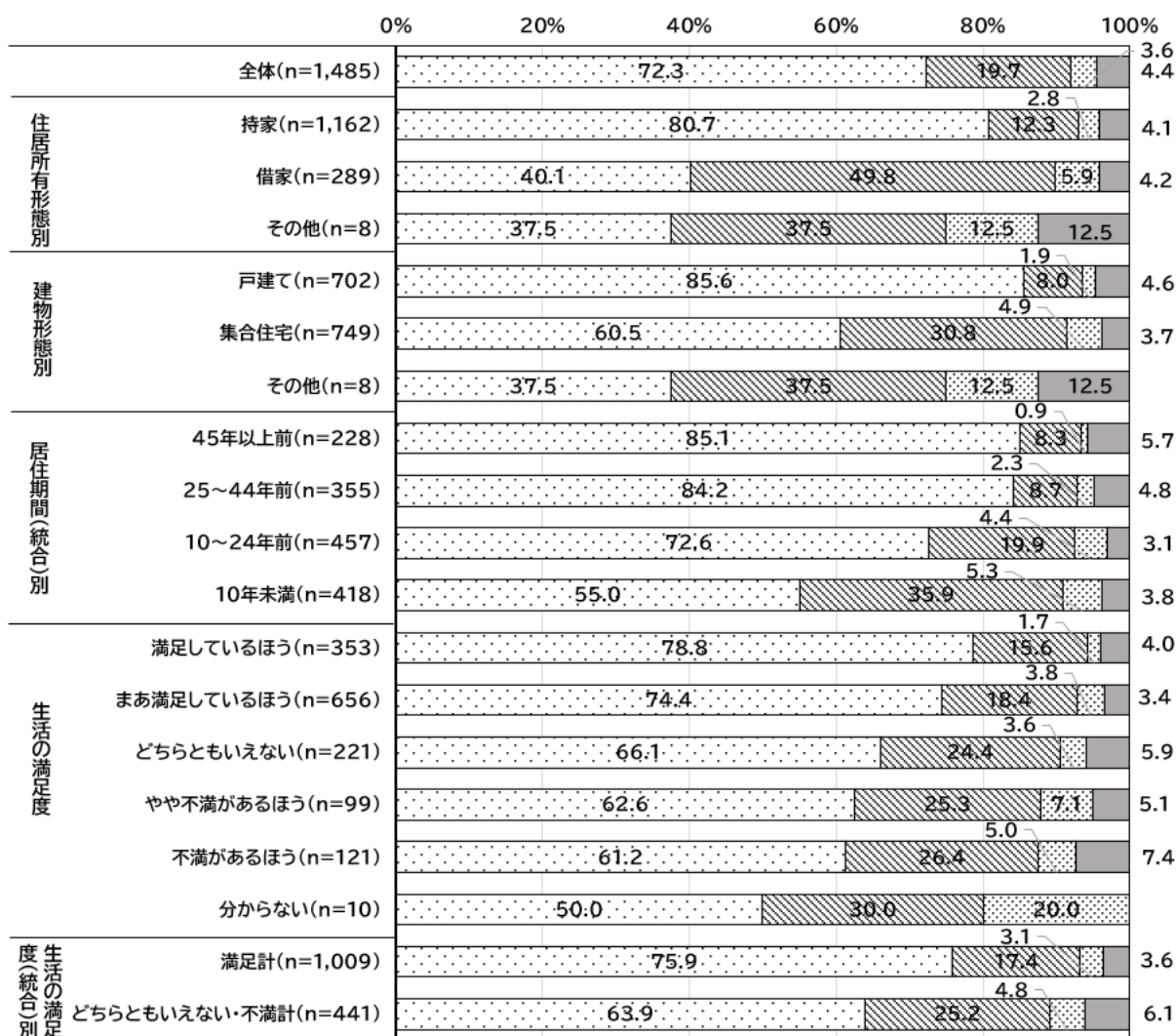
- ・ 住居所有形態別では、「加入している」は、「持家」で80.7%、「借家」で40.1%となっている。
- ・ 建物形態別では、「加入している」のは、「戸建て」で85.6%、「集合住宅」で60.5%となっている。

■ **居住期間(統合)別 自治会・町内会の加入率**

- ・ 居住期間(統合)別では、居住期間が長くなるほど「加入している」割合が高くなる傾向がある。居住期間が「10年未満」では「加入している」が全体より17.3ポイント低い。

■ **生活の満足度(統合)別 自治会・町内会の加入率**

- ・ 生活の満足度(統合)別では、『満足計』で「加入している」が全体より3.6ポイント高く、『どちらともいえない・不満計』で「加入していない」が全体より5.5ポイント高い。



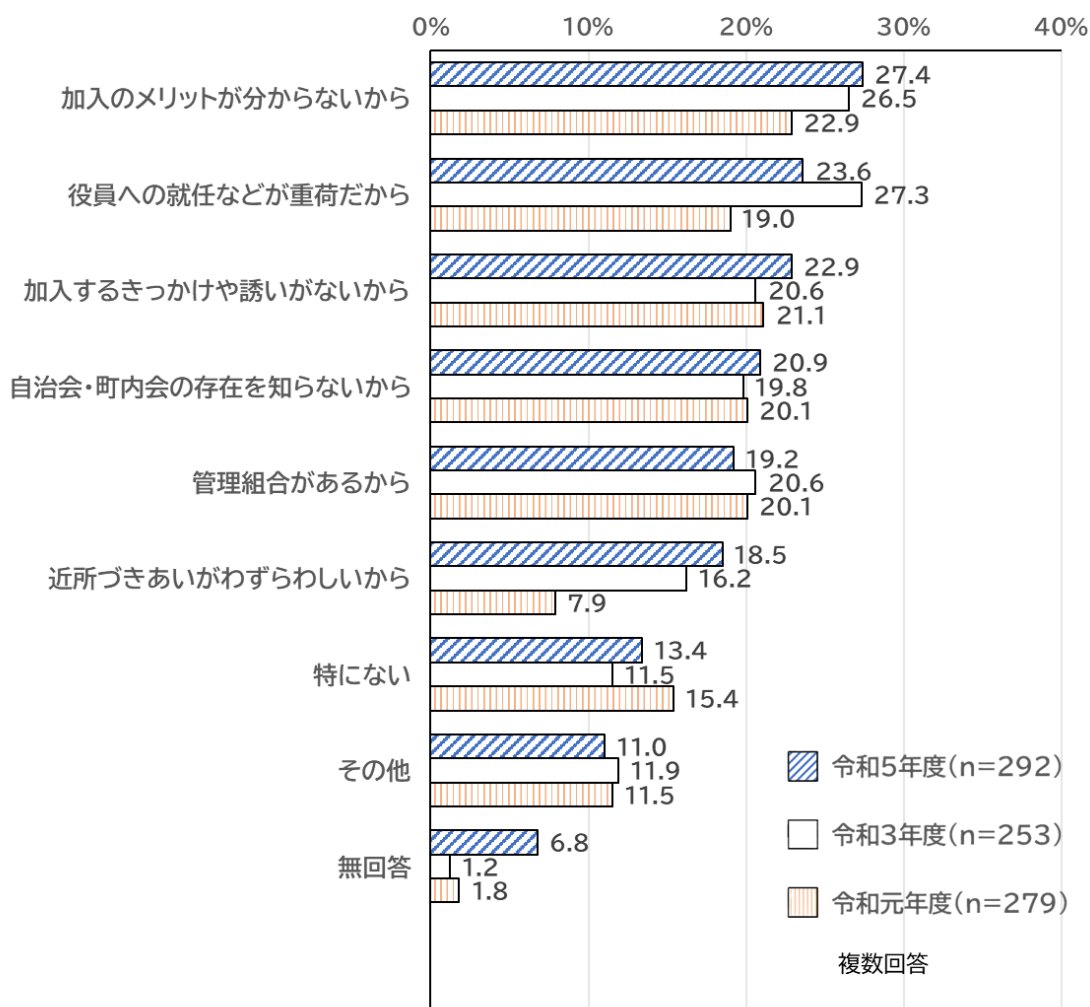
加入している
 加入していない
 分からない
 無回答

問6で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問6-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(複数回答)

「加入のメリットが分からないから」が27.4%で最も多く、次いで「役員への就任などが重荷だから」が23.6%

- ・ 「加入のメリットが分からないから」が27.4%で最も多く、次いで「役員への就任などが重荷だから」が23.6%、「加入するきっかけや誘いがないから」(22.9%)、「自治会・町内会の存在を知らないから」(20.9%)、「管理組合があるから」(19.2%)の順となっている。
- ・ 一方で、「特にない」は13.4%である。
- ・ 経年で比較すると、「加入のメリットがわからないから」、「近所づきあいが煩わしいから」は増加傾向にある。
- ・ 「役員への就任が重荷だから」は、前回調査から、3.7ポイント減少となっている。

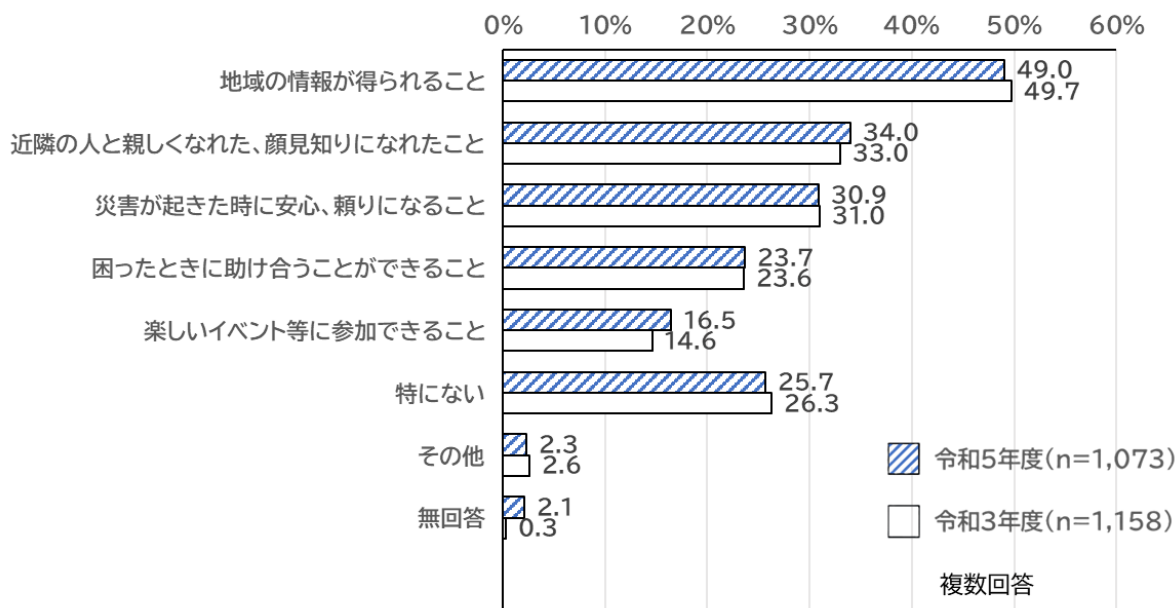


問6で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

問6-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(複数回答)

「地域の情報が得られること」が49.0%で最も多い

- ・ 「地域の情報が得られること」が49.0%で最も多く、次いで「近隣の人と親しくなれた、顔見知りになれたこと」(34.0%)、「災害が起きた時に安心、頼りになること」(30.9%)、「困ったときに助け合うことができること」(23.7%)、「楽しいイベント等に参加できること」(16.5%)の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「楽しいイベント等に参加できること」は1.9ポイント増加している。

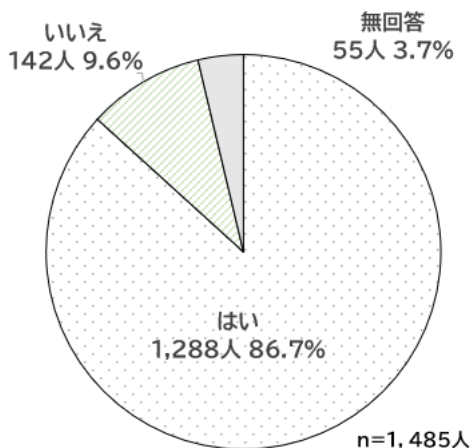


(4) 情報処理端末の利用

問7 横浜市では行政サービスの提供にあたって、利便性の向上のためにスマートフォン・タブレットやパソコンの活用を進めています。あなたは、スマートフォン・タブレットやパソコンをお持ちですか。(〇は1つ)

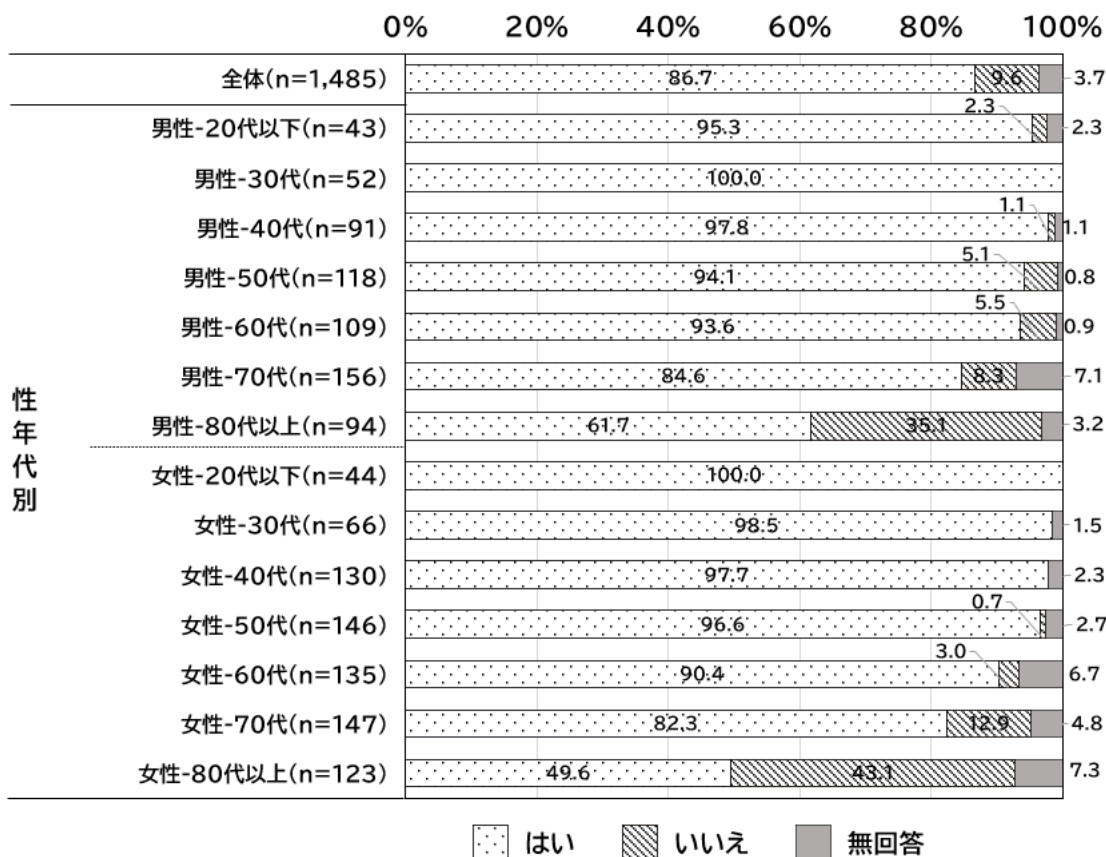
スマートフォン・タブレットやパソコンを持っている方は、全体の86.7%

- ・ 「はい」が86.7%、「いいえ」は9.6%となっている。



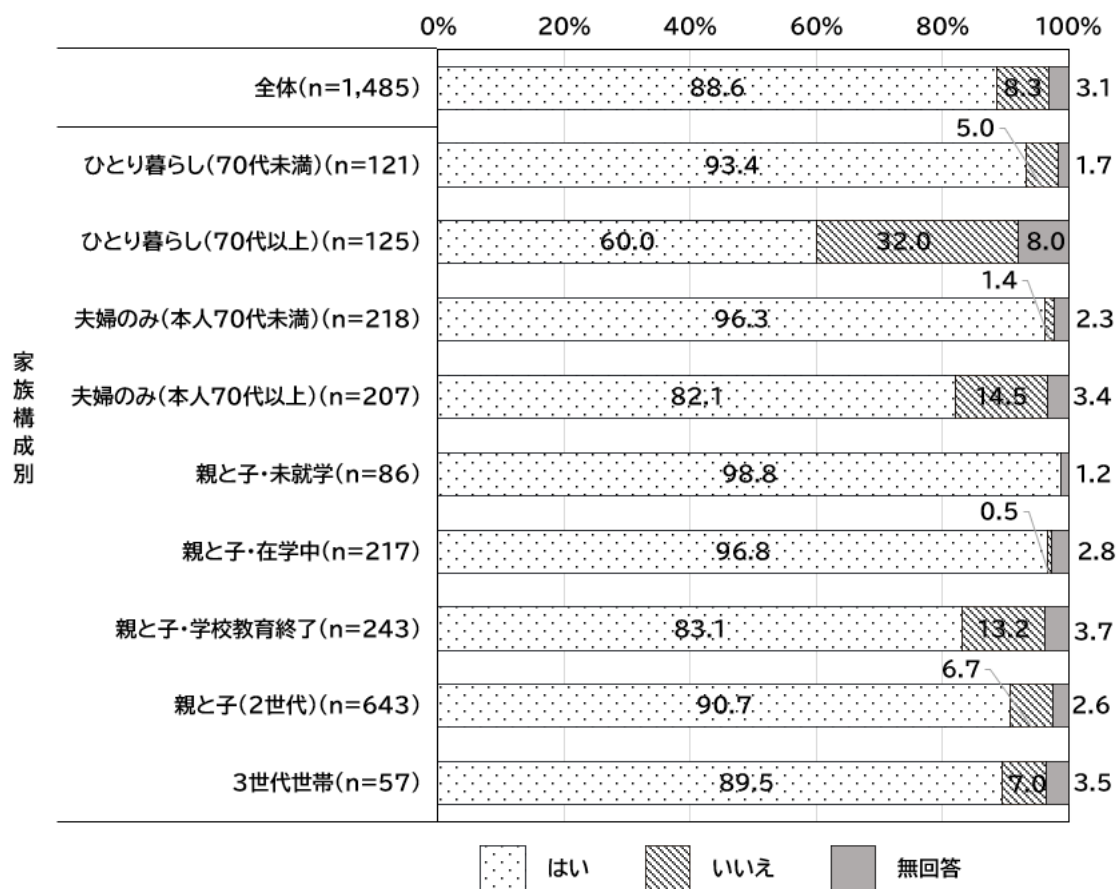
■ 性年代別 スマートフォン等の所有率

- ・ 性年代別では、男性、女性ともに50代以上で「いいえ」が他の年代より高くなっている。特に「女性80代以上」で「いいえ」が43.1%と高い。



■ 家族構成別 スマートフォン等の所有率

- ・ 家族構成別では、「いいえ」が、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」は 32.0%、と、全体より 10 ポイント以上高くなっている。

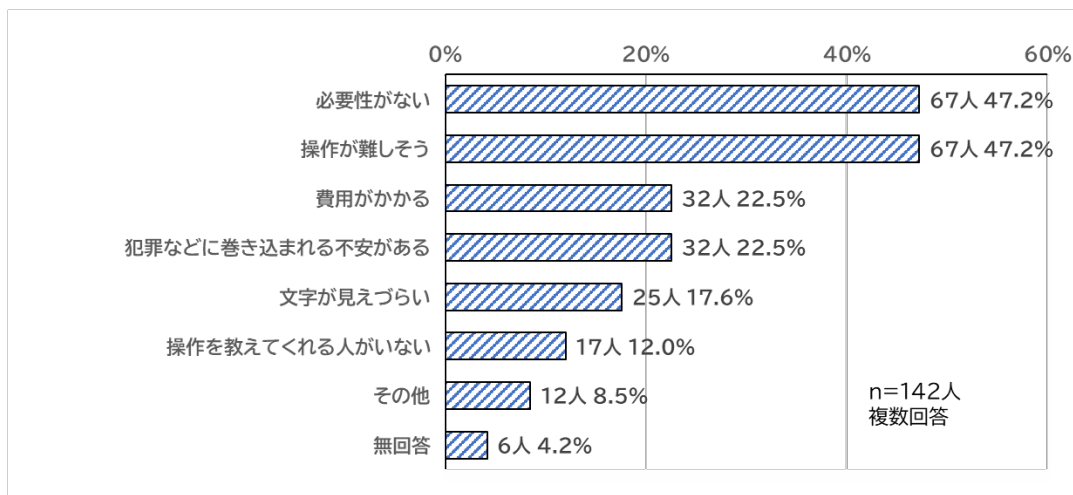


問7-1 問7で「2 いいえ」と答えた方にお伺いします。

問7-1-1 持っていない理由は何ですか。(複数回答)

「必要性がない」が47.2%、「操作が難しそう」が47.2%

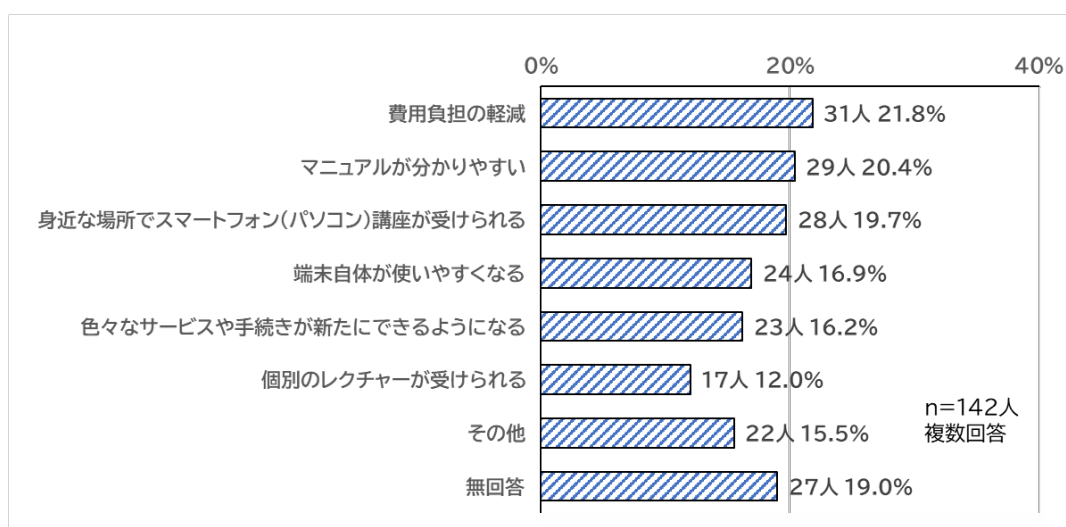
- ・ 「必要性がない」、「操作が難しそう」が同じ47.2%、次いで「費用がかかる」、「犯罪などに巻き込まれる不安がある」が同じ22.5%、「文字が見えづらい」(17.6%)、「操作を教えてくれる人がいない」(12.0%)の順となっている。



問7-1-2 どうすれば持ちたい・使いたいと思いますか。(複数回答)

「費用負担の軽減」が21.8%で最も多い

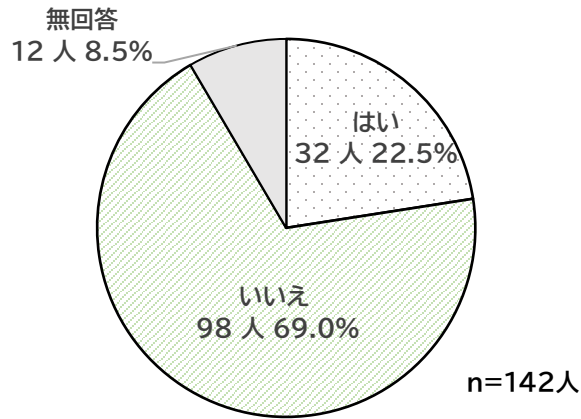
- ・ 「費用負担の軽減」が21.8%で最も多く、次いで「マニュアルが分かりやすい」(20.4%)、「身近な場所でスマートフォン(パソコン)講座が受けられる」(19.7%)、「端末自体が使いやすくなる」(16.9%)、「色々なサービスや手続きが新たにできるようになる」(16.2%)、「個別のレクチャーが受けられる」(12.0%)の順となっている。



問7-1-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(〇は1つ)

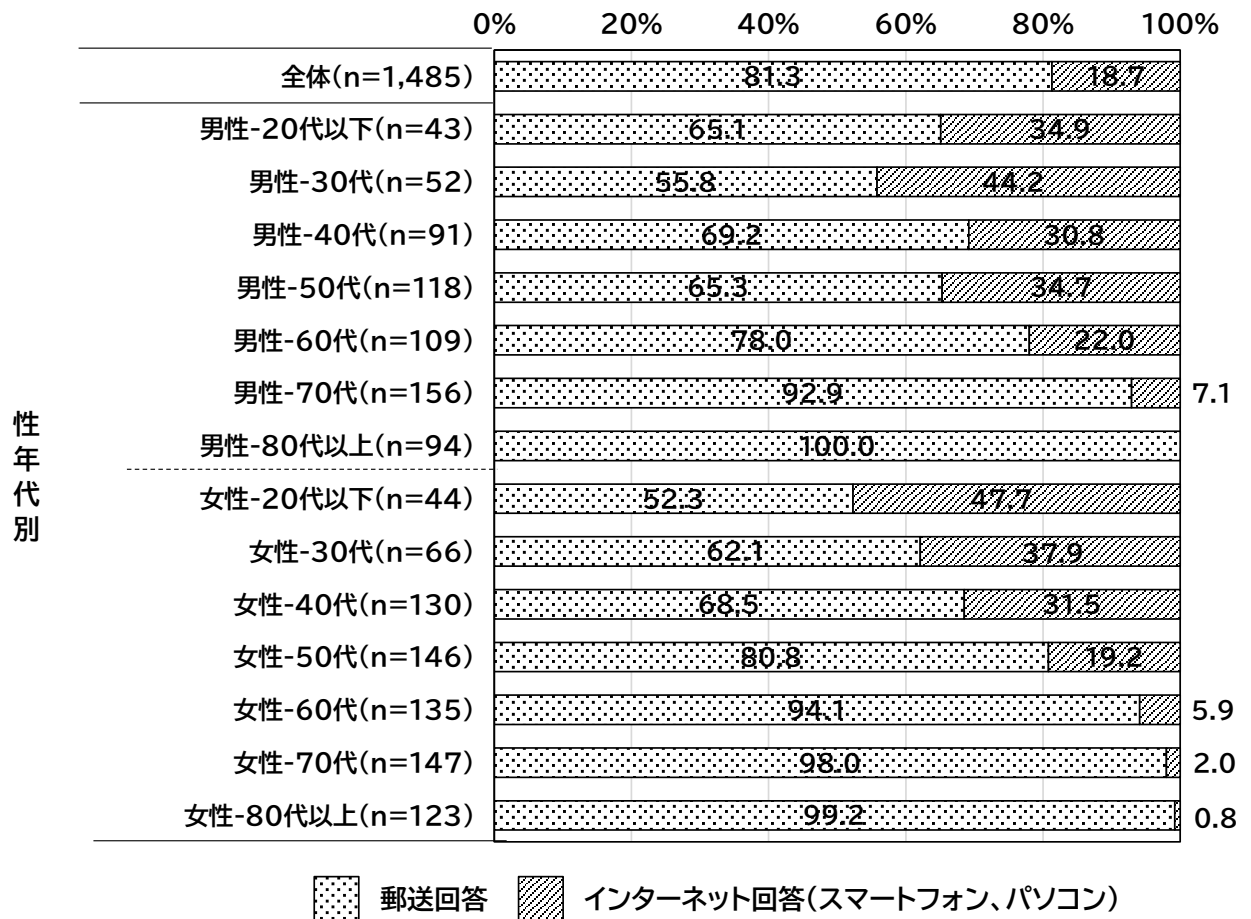
スマホやPCを持っていない方のうち、今後、スマートフォン、パソコンなどを活用して、行政サービスを調べたり手続きを行いたいと思っている方は、全体の22.5%

- ・「はい」が22.5%、「いいえ」は69.0%となっている。



■ 【参考】今回調査の回答方法別分析

- ・ 回答方法は、「インターネット回答(スマートフォン、パソコン)」は、男性は30代が最も高く、女性は20代以下が最も高い。
- ・ 「郵送回答」は男性、女性ともに30代以上で年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、特に70代以上では9割を超えている。

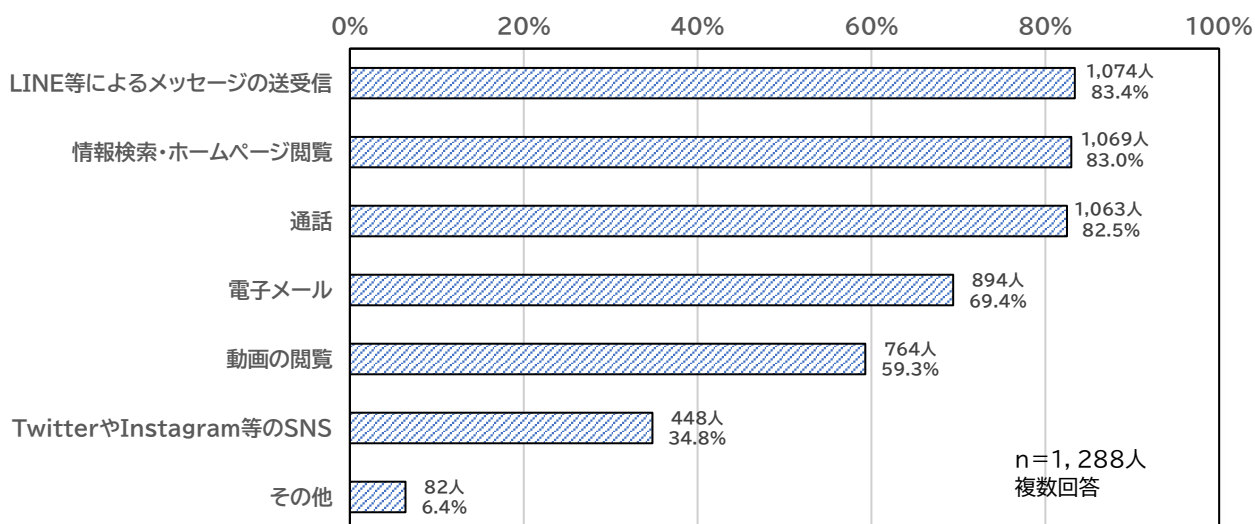


問7-2 問7で「1 はい」と答えた方にお伺いします。

問7-2-1 日ごろスマートフォン・タブレットやパソコンで行っていることは何ですか。(複数回答)

「LINE 等によるメッセージの送受信」、「情報検索・ホームページ閲覧」、「通話」が8割を超えている

- 「LINE 等によるメッセージの送受信」が 83.4%で最も多く、次いで「情報検索・ホームページ閲覧」(83.0%)、「通話」(82.5%)、「電子メール」(69.4%)、「動画の閲覧」(59.3%)の順となっている。



■ 性年代別 日ごろスマホ、PC 等で行っていること (複数回答)

- 「LINE 等によるメッセージの送受信」では、男性より女性のほうが全ての年代で高くなっている。
- 「動画の閲覧」では、男性、女性ともに年代が下がるほど高くなる傾向がある。
- 「電子メール」では、「男性 50代」で全体より高い。

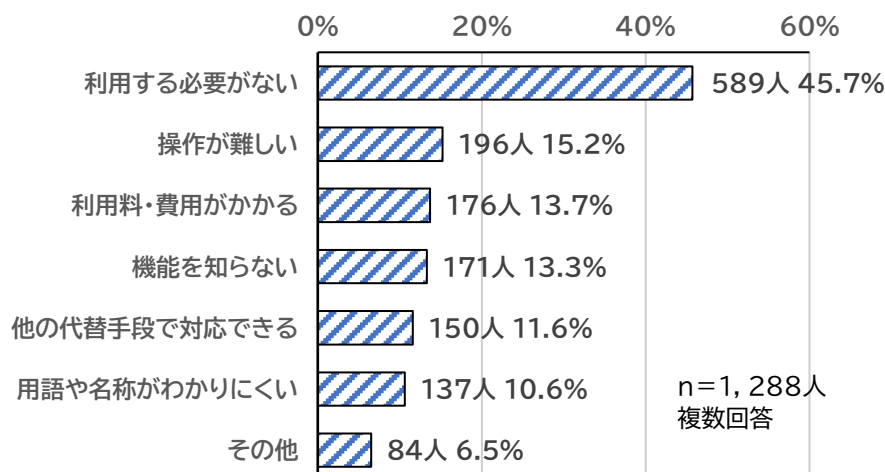
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体(%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,288	41	52	89	111	102	132	58	44	65	127	141	122	121	61
LINE等によるメッセージの送受信	83.4	16.6	7.0	3.1	-1.4	-3.0	-17.5	-40.3	15.6	15.1	12.7	3.8	11.7	-2.4	-32.6
情報検索・ホームページ閲覧	83.0	7.2	7.4	6.9	9.8	7.2	-2.7	-29.6	10.2	10.8	9.1	9.9	3.9	-22.7	-40.4
通話	82.5	7.7	-1.7	-1.6	4.0	-3.1	3.9	2.0	-7.5	-4.0	-2.2	-0.2	0.3	5.1	-3.8
電子メール	69.4	6.2	3.7	8.1	17.1	9.0	1.8	-12.5	-3.0	1.4	3.8	4.4	-3.0	-20.6	-23.5
動画の閲覧	59.3	33.4	25.3	22.7	15.5	-5.4	-19.1	-43.8	24.8	22.2	13.9	9.5	-1.1	-29.5	-44.5
TwitterやInstagram等のSNS	34.8	48.1	24.8	13.5	-6.9	-20.1	-25.7	-31.4	60.7	48.3	25.6	6.3	-11.0	-30.7	-29.9
その他	6.4	0.9	5.1	2.6	-2.8	-1.5	-1.1	-1.2	-4.1	2.8	0.7	2.8	0.2	-2.3	-1.5

問7-2-2 問7-2-1で利用していないサービスや用途があるのはなぜですか。(複数回答)

「利用する必要がない」が45.7%で最も多い

- 「利用する必要がない」が45.7%で最も多く、次いで「操作が難しい」(15.2%)、「利用料・費用がかかる」(13.7%)、「機能を知らない」(13.3%)、「他の代替手段で対応できる」(11.6%)、「用語や名称がわかりにくい」(10.6%)の順となっている。



■ 性年代別 利用していないサービスや用途がある理由 (複数回答)

- 男性、女性ともに70代以上では、「機能を知らない」、「操作が難しい」、「用語や名称がわかりにくい」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体(n=1,288)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
利用する必要がない	45.7	-9.1	6.2	2.6	12.0	8.2	5.8	-9.5	-13.9	-7.2	0.0	-0.3	0.2	-1.1	-14.6
操作が難しい	15.2	-12.8	-15.2	-13.0	-8.0	-0.5	8.3	27.9	-15.2	-10.6	-11.3	-3.8	3.6	19.5	22.5
利用料・費用がかかる	13.7	3.4	-4.1	-0.2	4.3	3.9	-1.6	1.8	-4.6	-1.4	-5.8	-0.2	-3.0	4.5	4.3
機能を知らない	13.3	-8.4	-11.4	-3.8	2.0	1.4	4.9	9.1	-3.8	-10.2	-3.6	-5.5	1.5	16.5	16.2
他の代替手段で対応できる	11.6	0.6	9.6	3.4	-0.8	-0.8	2.0	0.5	5.6	0.7	-2.9	-5.2	-5.0	0.0	4.8
用語や名称がわかりにくい	10.6	-10.6	-10.6	-9.5	-3.4	-2.8	10.6	11.8	-10.6	-10.6	-8.2	-7.1	2.5	16.7	23.8
その他	6.5	3.3	3.1	1.4	1.6	1.3	-0.4	-3.1	0.3	7.3	-3.4	2.0	-1.6	-3.2	-3.2

■ 家族構成別 利用していないサービスや用途がある理由（複数回答）

- ・「利用料・費用がかかる」は、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」で全体より高くなっている。
- ・「用語や名称がわかりにくい」は、「ひとり暮らし 70 代以上」、「夫婦のみ代 70 以上」、「親と子・学校教育終了」で全体より高くなっている。

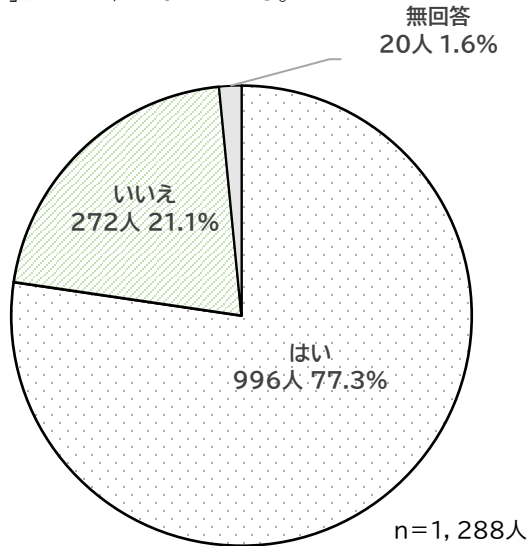
※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体(%)	家族構成								
		ひとり暮らし(70代未満)	ひとり暮らし(70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	親と子・未就学	親と子・在学中	親と子・学校教育終了	親と子(2世代)	3世代世帯
n=	1,288	113	75	210	170	85	210	202	583	51
利用する必要がない	45.7	-6.8	-8.4	5.3	3.1	-6.9	7.2	7.8	3.7	-6.5
操作が難しい	15.2	-9.9	-12.5	-11.4	-11.1	-11.7	-10.0	-9.3	-10.2	-5.4
利用料・費用がかかる	13.7	-0.4	13.0	-0.4	3.9	-3.1	-3.2	2.6	-0.5	-7.8
機能を知らない	13.3	-1.8	16.0	-2.8	9.6	-9.8	-7.1	10.0	-0.6	-5.5
他の代替手段で対応できる	11.6	-2.8	1.7	0.3	1.3	2.5	-2.1	1.3	0.4	4.1
用語や名称がわかりにくい	10.6	-7.1	24.1	-3.5	14.1	-9.4	-7.7	7.7	-1.9	-2.8
その他	6.5	1.5	-1.2	1.1	-1.8	0.6	1.1	-2.0	0.0	3.3

問7-2-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(〇は1つ)

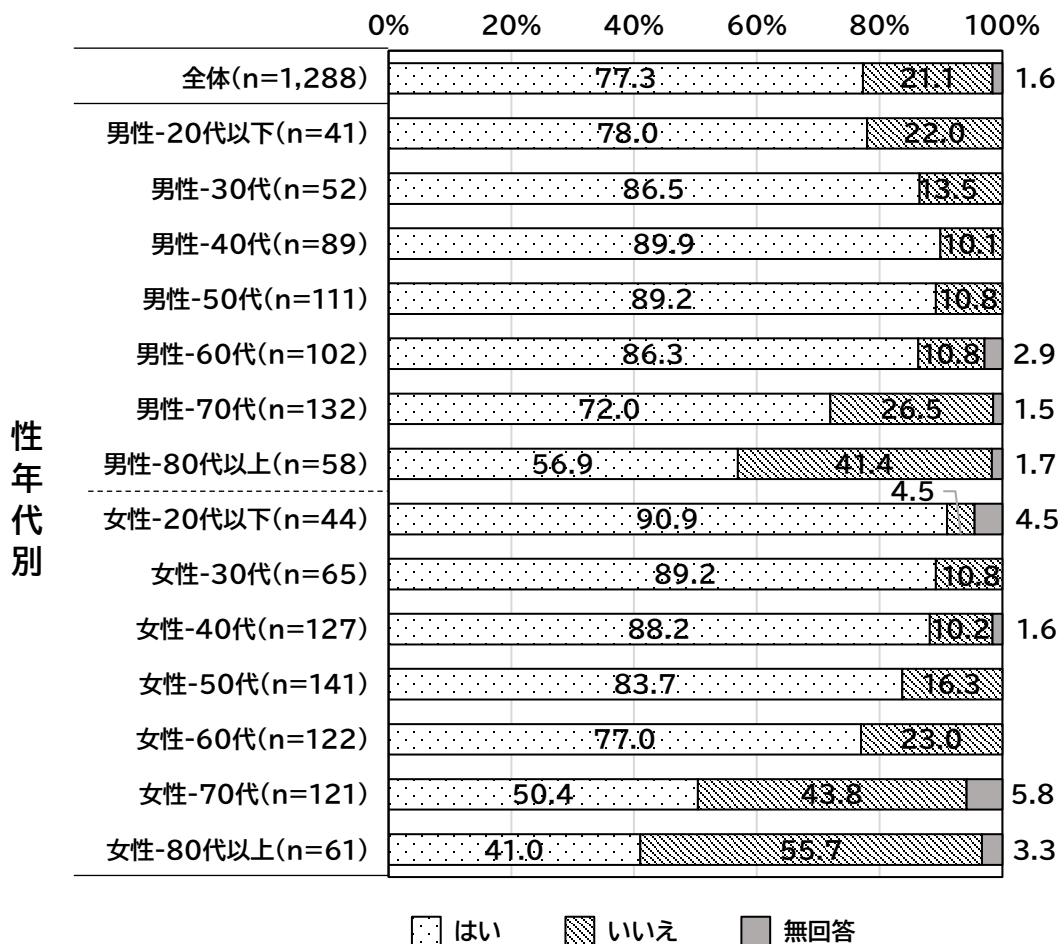
スマホやPCを持っている方では、スマートフォン、パソコンなどを活用して、行政サービスを調べたり手続きを行いたいと思っている方は、全体の77.3%

- ・ 「はい」が77.3%、「いいえ」は21.1%となっている。



■ 性年代別 スマートフォン、パソコンなどを活用した手続き

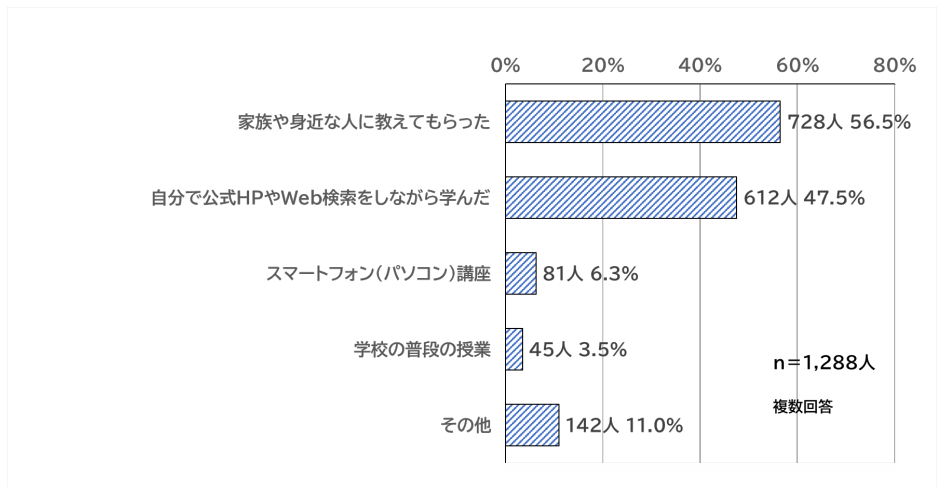
- ・ 性年代別では、女性は年代が下がるほど利用意向が高くなる傾向がある。
- ・ 男性は女性と比較すると、50代以降の利用意向が高い。



問7-2-4 スマートフォン・タブレット、パソコンなどの使い方はどのように学びましたか。(複数回答)

「家族や身近な人に教えてもらった」(56.5%)と「自分で公式HPやWeb 検索をしながら学んだ」(47.5%)が上位2項目

- 「家族や身近な人に教えてもらった」が 56.5%で最も多く、次いで「自分で公式HPやWeb 検索をしながら学んだ」(47.5%)、「スマートフォン(パソコン)講座」(6.3%)の順となっている。



■ 性年代別 スマートフォンなどの使い方の学び方 (複数回答)

- 性年代別では、男性、女性ともに年代が上がるほど、「家族や身近な人に教えてもらった」の割合が高く、「自分で学んだ」の割合が低くなる傾向にある。
- また、「家族や身近な人に教えてもらった」では、男性より女性の割合が高く、「自分で学んだ」では女性より男性の割合が高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,288	41	52	89	111	102	132	58	44	65	127	141	122	121	61
家族や身近な人に教えてもらった	56.5	-22.4	-33.4	-18.3	-12.4	-4.5	1.1	-4.8	-13.3	-15.0	-6.9	5.2	32.0	24.5	27.1
自分で公式HPやWeb検索をしながら学んだ	47.5	25.7	39.0	21.0	19.2	7.4	-7.3	-25.8	16.1	17.1	15.5	2.9	-20.5	-37.6	-39.3
スマートフォン(パソコン)講座	6.3	-3.9	-5.3	-1.8	-5.4	-1.4	3.5	9.2	-6.3	-6.3	-1.6	0.1	-0.6	5.3	11.7
学校の普通の授業	3.5	13.6	4.2	7.7	-3.5	-2.5	-2.7	-3.5	17.0	2.7	1.2	-2.1	-3.5	-3.5	-3.5
その他	11.0	-3.7	-3.3	-0.9	4.3	3.7	4.2	5.2	-8.7	-1.8	-3.1	-0.4	-1.2	-1.9	-4.4

■ 家族構成別 スマートフォンなどの使い方の学び方 (複数回答)

- 家族構成別では、「家族や身近な人に教えてもらった」は、「ひとり暮らし(本人70代未満)」のみが全体より高くなっている。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし(70代未満)	ひとり暮らし(70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	親と子・未就学	親と子・在学中	親と子・学校教育終了	親と子(2世代)	3世代世帯
n=	1,288	113	75	210	170	85	210	202	583	51
家族や身近な人に教えてもらった	56.5	-14.0	14.2	2.5	10.6	-15.3	-7.5	23.2	0.8	18.0
自分で公式HPやWeb検索をしながら学んだ	47.5	18.0	-31.5	9.6	-18.1	19.6	16.3	-13.3	5.7	-6.3
スマートフォン(パソコン)講座	6.3	-1.9	8.4	-3.9	7.2	-5.1	-2.5	0.1	-1.3	-0.4
学校の普通の授業	3.5	1.8	-3.5	-3.0	-2.9	8.3	-0.2	-3.5	2.0	2.4
その他	11.0	3.2	5.0	-0.5	1.4	-7.5	0.9	-1.6	-2.3	2.7

2. 地域への愛着や、地域での活動について

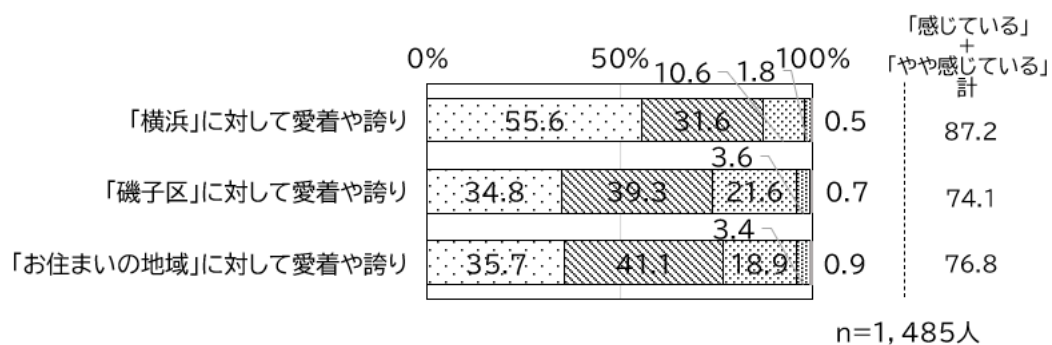
(1) 愛着や誇り

問8 あなたは、「横浜」や「磯子区」、「お住まいの地域」に対して、愛着や誇りを感じていますか。

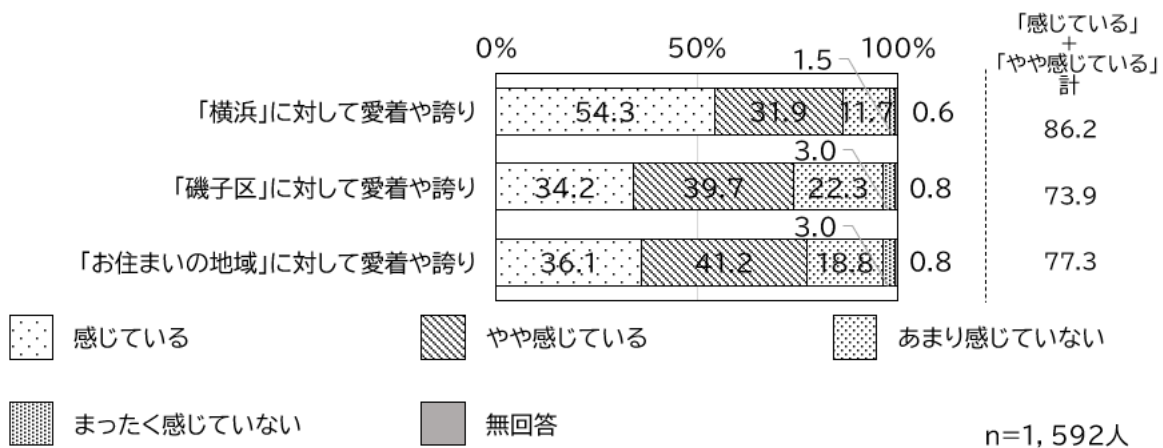
「横浜」に対して愛着や誇りを「感じている」の割合が、「磯子区」や「お住まいの地域」と比べて約20ポイント高い

- ・ 「磯子区」、「お住まいの地域」に対しての愛着や誇りを「感じている」がそれぞれ 34.8%、35.7%であるのに対し、「横浜」では55.6%と約20ポイント高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『感じている計(「感じている」+(やや感じている))』では、「横浜」については、1ポイント高く、「磯子区」、「お住まいの地域」について増加傾向である。

令和5年度調査



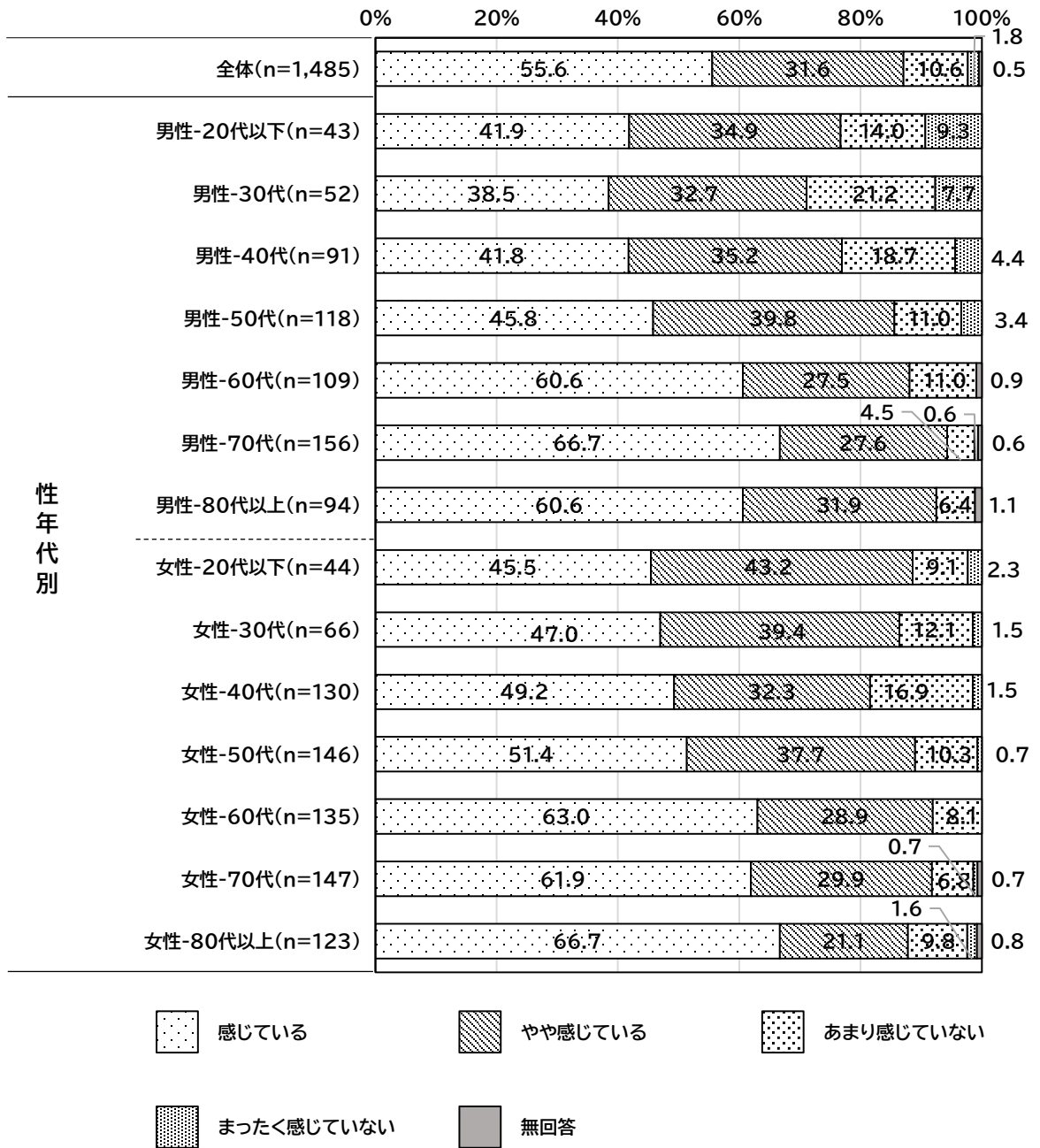
令和3年度調査



<横浜に対して、愛着や誇り>

■ 性年代別 横浜への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、男性の「感じている」は、30代から70代までは増加傾向にあり、80代以上はやや減少している。
- ・ 女性は男性と比較すると、70代を除き「感じている」が高い傾向にある。



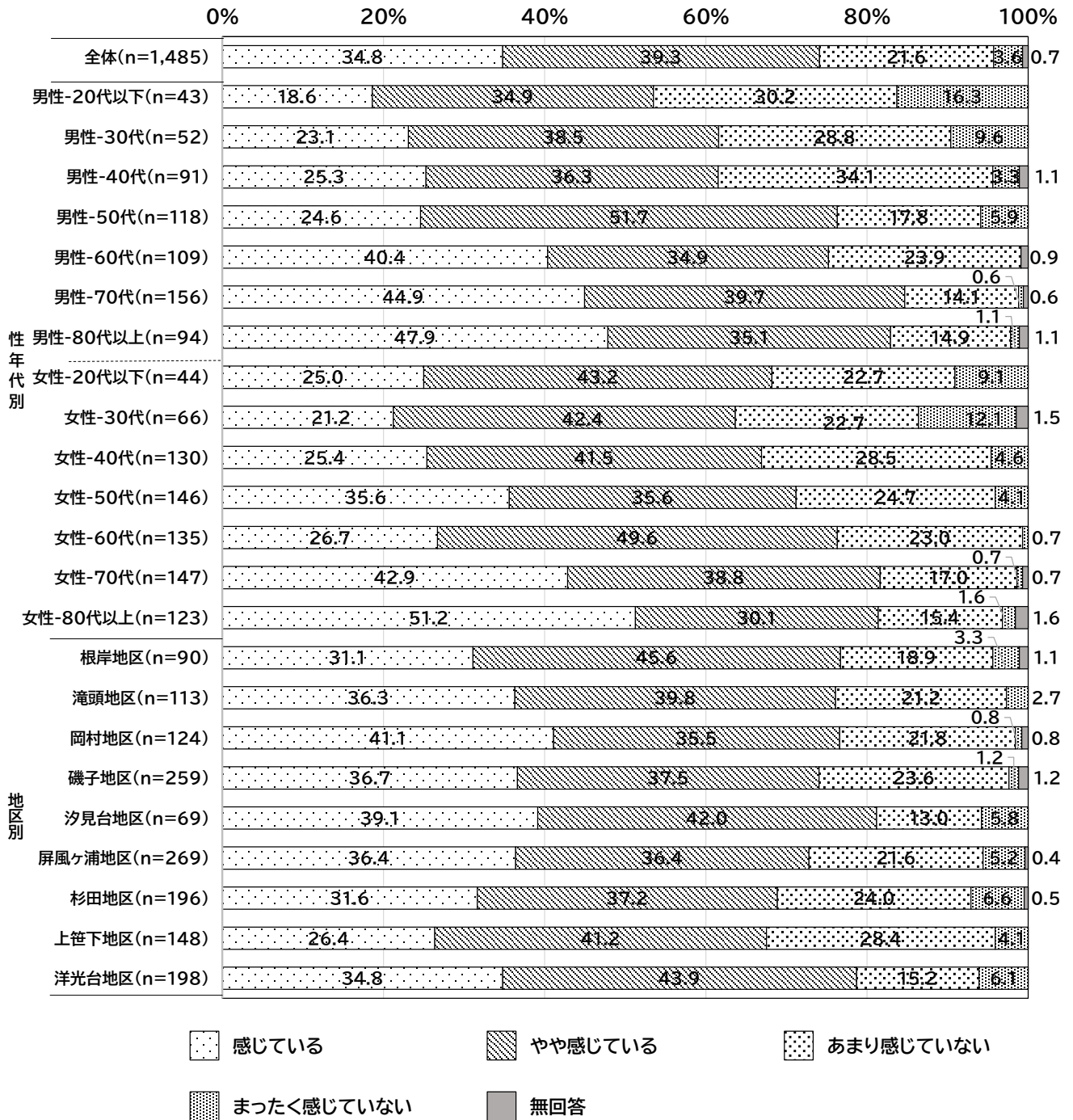
<磯子区に対して、愛着や誇り>

■ 性年代別 磯子区への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、「感じている」の割合は、男性は年代が上がるほど高くなる傾向がある。女性は50代、70代、80代以上で特に高い。

■ 地区別 磯子区への愛着や誇り

- ・ 地区別では、「感じている」が「岡村地区」で41.1%と最も高くなっている。



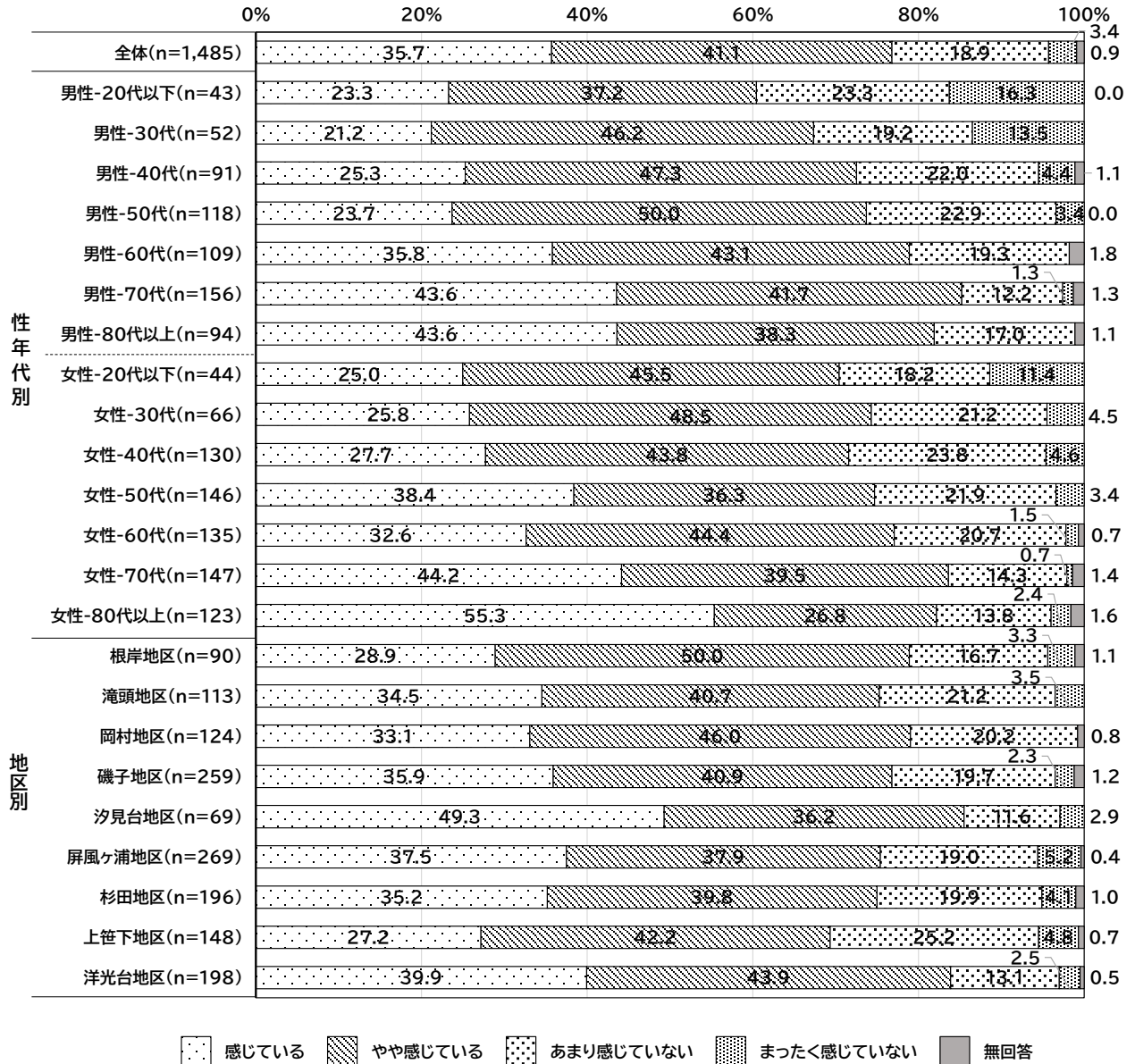
<お住まいの地域への愛着や誇り>

■ 性年代別 お住まいの地域への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、「感じている」の割合は、男性は年代が上がるほど高くなる傾向がある。
- ・ 女性は70代以上で特に高い。

■ 地区別 お住まいの地域への愛着や誇り

- ・ 地区別では、「感じている」が「汐見台地区」で49.3%と最も高くなっている。

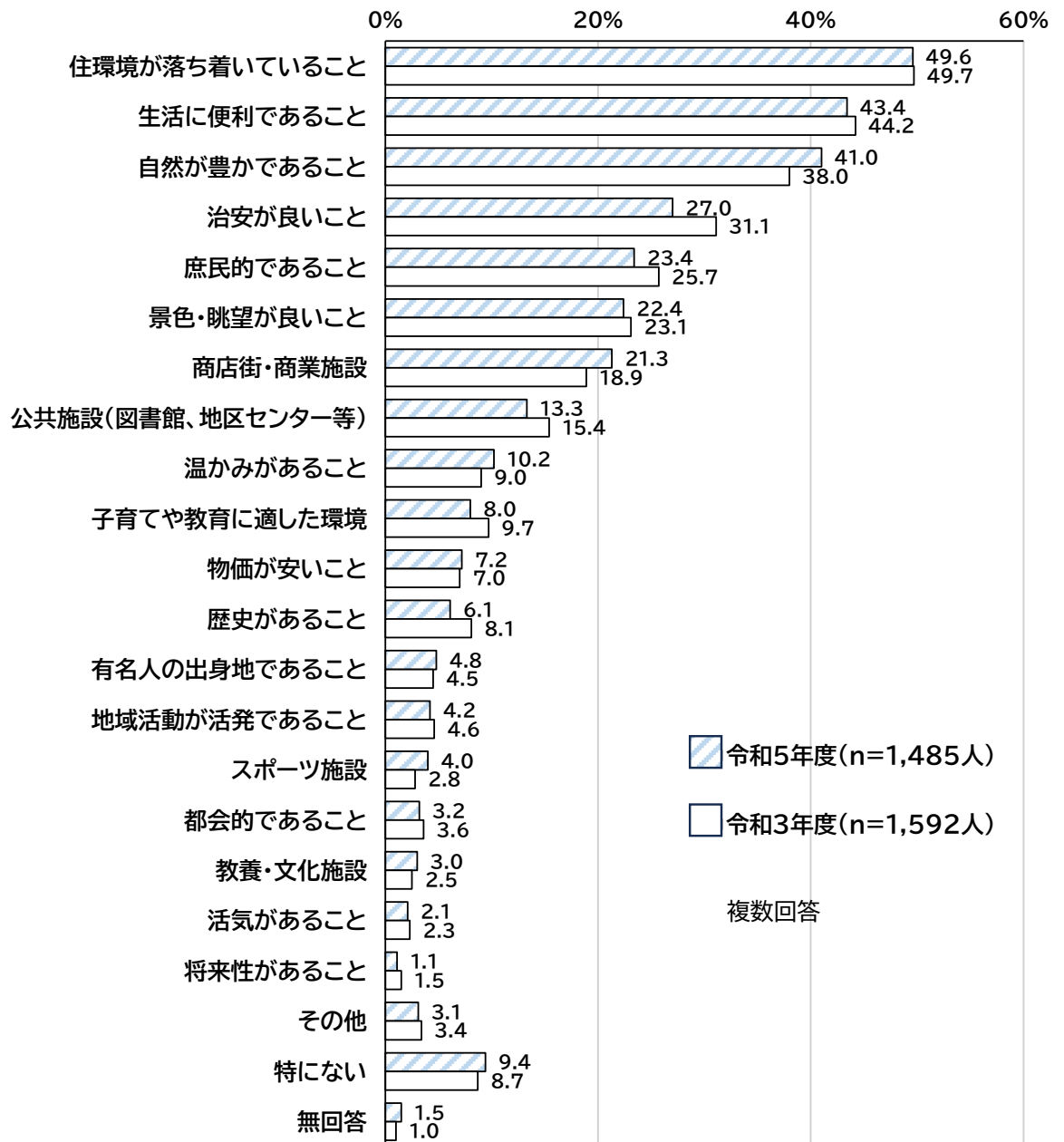


(2) 磯子区の魅力

問9 磯子区の魅力は何だと思いますか。(複数回答)

「生活に便利であること」が43.4%で最も多い

- ・ 上位 5 項目は、「住環境が落ち着いていること」(49.6%)、「生活に便利であること」(43.4%)、「自然が豊かであること」(41.0%)、「庶民的であること」(27.0%)、「治安が良いこと」(23.4%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「治安が良いこと」が 7.7 ポイント下がり、「庶民的であること」が 1.3 ポイント上がったことにより、順位が入れ替わっている。



■ 性年代別 磯子区の魅力（複数回答）

- ・ 「庶民的である」、「子育てや教育に適した環境」は「女性 30 代」で特に全体より高い。
- ・ 「都会的であること」は男性は全体より高く、女性は全体より低い傾向がある。

全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す（■：全体より高い／■：全体より低い）

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
住環境が落ち着いていること	49.6	-12.4	-3.4	-6.7	2.1	7.3	6.8	-1.7	0.4	-7.2	0.4	-0.3	2.3	-2.0	0.0
生活に便利であること	43.4	-20.1	2.8	-3.8	-9.5	4.3	2.1	7.7	-4.8	-8.6	-1.9	3.2	0.3	1.5	8.6
自然が豊かであること	41.0	-22.4	-2.5	-2.5	-5.4	-2.5	5.2	10.1	-20.5	-7.7	-4.1	2.2	0.5	8.7	8.6
治安が良いこと	27.0	-3.7	-3.9	-7.2	-3.3	-2.2	1.2	10.2	-4.3	4.8	-4.7	-1.0	-3.3	3.6	10.4
庶民的であること	23.4	-0.1	1.6	-2.5	0.3	-8.7	-0.3	-2.1	-0.7	16.0	2.8	-2.9	4.7	-1.6	4.2
景色・眺望が良いこと	22.4	-15.4	2.6	0.7	3.0	4.2	0.7	-1.1	-13.3	-5.7	-6.2	-1.2	-0.2	3.5	10.1
商店街・商業施設	21.3	-5.0	9.5	-2.6	-1.0	5.3	-2.7	6.4	-7.7	2.9	-8.2	0.6	-2.0	2.5	5.5
公共施設(図書館、地区センター等)	13.3	-8.6	-5.6	-6.7	-2.3	-6.9	1.4	0.5	0.3	-5.7	-1.8	1.1	0.8	5.7	10.3
温かみがあること	10.2	-0.9	-0.6	-4.7	-3.4	0.8	-2.5	-1.7	-1.1	-1.1	-1.0	0.8	1.7	5.4	4.4
子育てや教育に適した環境	8.0	-3.3	1.6	3.0	0.5	3.9	-4.8	-6.9	-1.2	13.2	7.4	1.6	-3.6	-2.6	-2.3
物価が安いこと	7.2	-4.9	0.5	0.5	2.1	-4.4	-2.1	-1.9	-0.4	-1.1	-1.8	1.0	-0.5	4.4	4.2
歴史があること	6.1	3.2	1.6	-0.6	-0.2	-3.3	-1.6	-2.9	-3.8	0.0	-3.0	0.7	1.3	2.7	2.8
有名人の出身地であること	4.8	-2.5	6.7	-0.4	1.1	-0.2	-2.2	-1.6	2.0	8.8	2.1	-0.7	1.9	-2.1	-4.0
地域活動が活発であること	4.2	-4.2	-0.4	-3.1	-3.4	-1.4	0.9	2.2	-4.2	-2.7	1.2	0.6	-2.0	3.3	6.4
スポーツ施設	4.0	-4.0	1.8	-0.7	1.9	-3.1	-1.4	2.4	-1.7	-2.5	-2.5	2.2	-1.0	3.5	1.7
都会的であること	3.2	1.5	0.6	1.2	0.2	1.4	0.0	1.1	-3.2	-1.7	-0.1	-0.5	-3.2	-0.5	0.9
教養・文化施設	3.0	-0.7	-3.0	0.3	-3.0	1.6	-2.4	2.3	-3.0	-1.5	-2.2	1.8	2.9	1.1	2.7
活気があること	2.1	2.6	-2.1	-1.0	-0.4	-0.3	-1.5	0.0	0.2	0.9	1.7	-1.4	-0.6	0.6	2.0
将来性があること	1.1	-1.1	0.8	-1.1	-1.1	0.7	0.2	0.0	-1.1	-1.1	-0.3	1.0	-0.4	0.9	1.3
特にない	9.4	9.2	6.0	6.0	5.0	1.6	-1.1	-3.0	-0.3	2.7	-2.5	-1.2	-5.0	0.1	-6.1
その他	3.1	-0.8	-1.2	4.6	1.1	-0.3	-2.5	0.1	-3.1	-1.6	-0.8	1.7	-1.6	1.7	1.0

■ 地区別 磯子区の魅力（複数回答）

- ・ 地区別では、「住環境が落ち着いていること」は、「岡村地区」、「磯子地区」、「汐見台地区」、「洋光台地区」で全体より高い。
- ・ 「生活に便利であること」は、「屏風ヶ浦地区」、「杉田地区」、「洋光台地区」で全体より高い。
- ・ 「自然が豊かであること」は、「岡村地区」、「汐見台地区」、「上笹下地区」、「洋光台地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

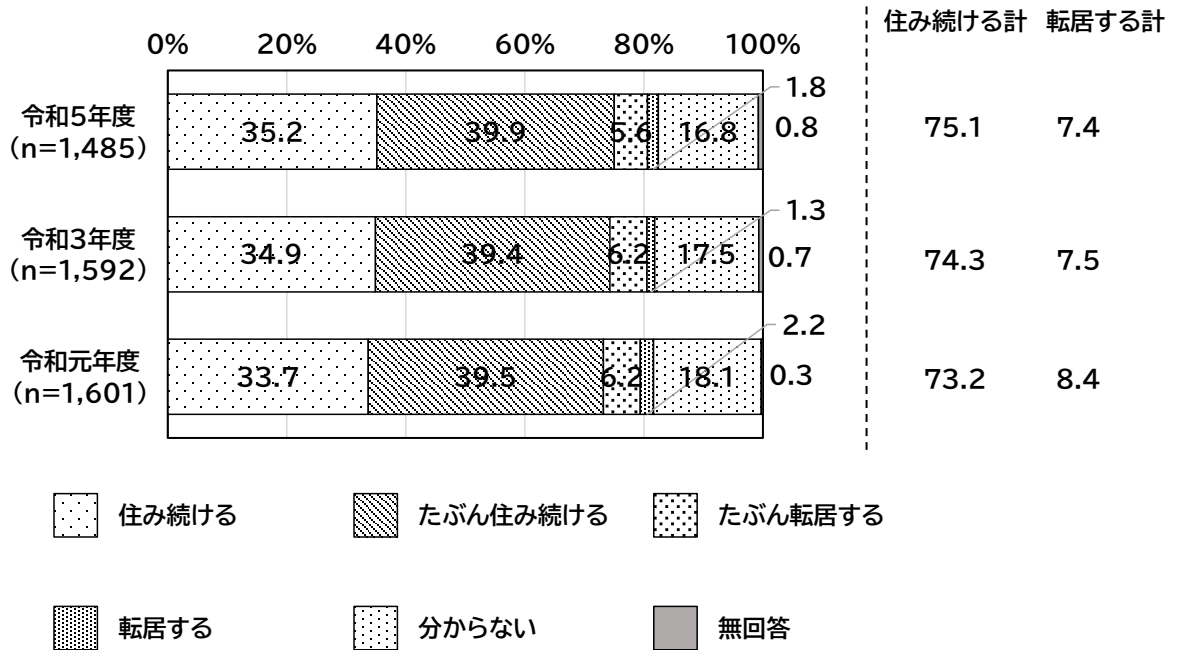
	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198	
住環境が落ち着いていること	49.6	-2.1	-5.4	3.6	7.2	16.4	-4.6	-16.7	-2.2	15.3	
生活に便利であること	43.4	-0.2	-7.9	-16.6	0.1	-14.9	11.5	9.1	-8.6	5.6	
自然が豊かであること	41.0	-10.3	-4.0	12.1	-2.1	33.6	-8.3	-13.8	13.1	9.7	
治安が良いこと	27.0	7.1	-2.3	-5.2	2.4	4.2	1.3	-6.3	0.8	3.1	
庶民的であること	23.4	1.4	8.9	-4.5	-1.0	-12.9	4.1	4.0	-3.4	-1.8	
景色・眺望が良いこと	22.4	0.1	-6.2	9.4	-2.0	27.2	-1.7	-2.2	-2.5	-0.9	
商店街・商業施設	21.3	-12.0	-4.1	-11.2	-0.4	-6.4	4.8	19.9	-6.7	-1.7	
公共施設(図書館、地区センター等)	13.3	0.1	1.8	-4.3	4.9	2.7	3.5	-1.0	-3.1	-6.1	
温かみがあること	10.2	-1.0	-0.2	1.4	0.9	3.1	-1.3	0.3	-2.5	1.7	
子育てや教育に適した環境	8.0	4.3	-3.5	-3.1	-0.6	8.0	-0.8	-2.8	-1.8	5.7	
物価が安いこと	7.2	-0.5	-0.1	-3.2	-2.2	-7.2	1.4	11.7	-5.2	-1.1	
歴史があること	6.1	0.8	-0.6	3.8	-0.5	-4.5	3.8	-0.3	-1.8	-2.9	
有名人の出身地であること	4.8	1.9	6.7	7.3	-0.6	-1.9	-0.7	-3.3	-2.8	-0.8	
地域活動が活発であること	4.2	-2.0	1.1	-1.0	0.0	0.1	-1.6	2.4	-0.1	1.4	
スポーツ施設	4.0	-2.9	1.3	-3.2	0.2	-4.0	2.7	2.6	0.7	-3.0	
都会的であること	3.2	1.4	-0.3	2.6	0.1	2.8	-1.1	0.6	-0.3	-1.5	
教養・文化施設	3.0	-1.9	-2.1	-2.2	1.2	-0.1	0.0	1.1	-0.3	1.0	
活気があること	2.1	0.1	-0.3	-1.3	-0.6	-0.7	0.1	2.5	-1.4	0.4	
将来性があること	1.1	0.0	-0.2	-1.1	0.4	0.3	-0.4	0.4	-0.4	0.9	
特にない	9.4	-2.3	3.4	-2.5	-0.5	-4.7	0.7	4.3	3.8	-3.9	
その他	3.1	0.2	-1.3	0.1	1.5	-3.1	1.0	0.0	-1.1	-0.6	

(3) 定住意向

問 10 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると75.1%が住み続ける意向

- ・ 「住み続ける」(35.2%)と「たぶん住み続ける」(39.9%)を合わせた『住み続ける計』は75.1%となっている。
- ・ 一方、「転居する」(1.8%)と「たぶん転居する」(5.6%)を合わせた『転居する計』は7.4%である。
- ・ 経年で比較すると、『住み続ける計』は増加傾向にあり、『転居する計』は減少傾向にある。

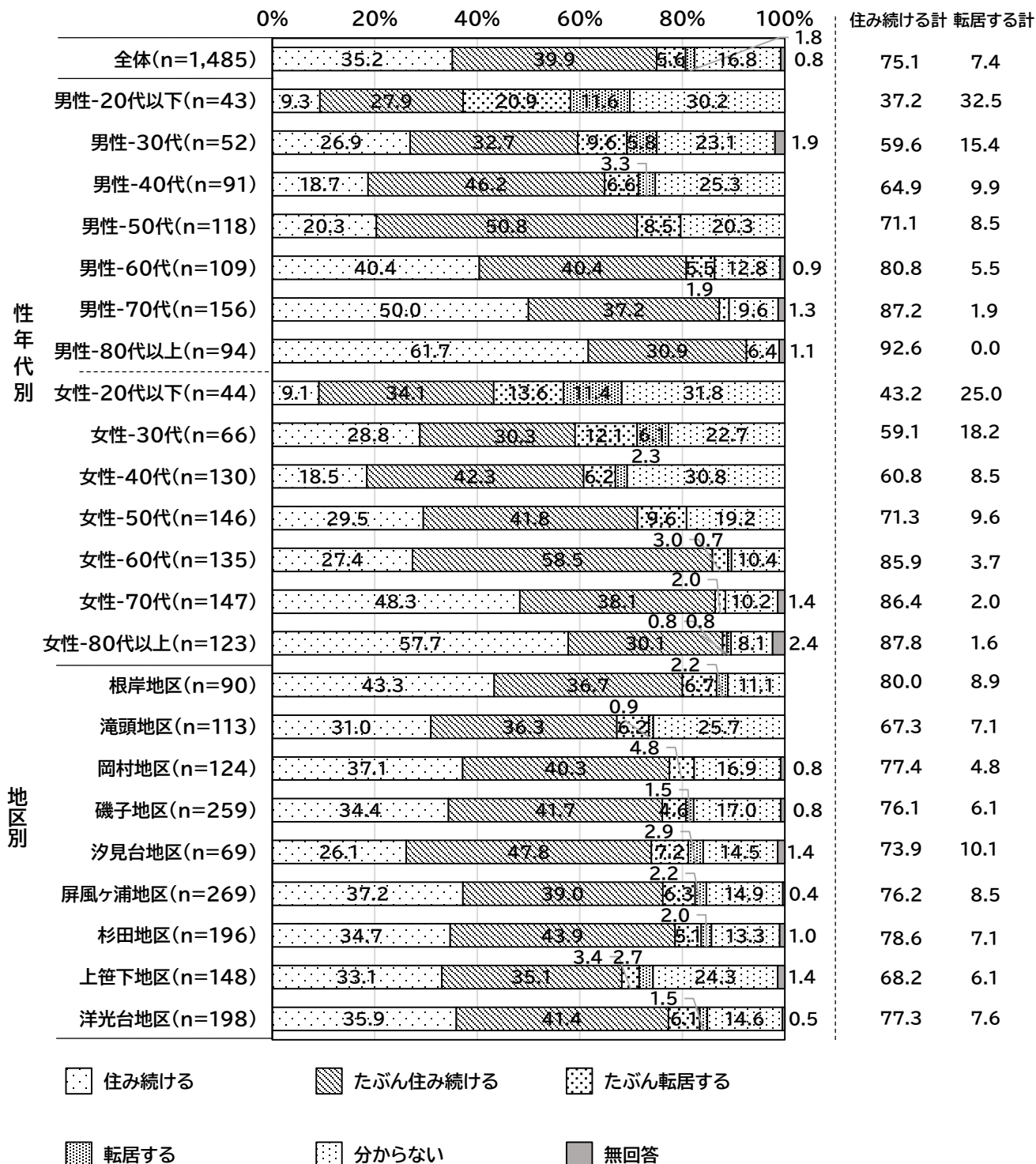


■ 性年代別 磯子区への定住意向

・ 性年代別では、男性、女性ともに年代が上がるほど「住み続ける」が高くなる傾向がある。

■ 地区別 磯子区への定住意向

・ 地区別では、「根岸地区」で『住み続ける計』が80.0%と最も高い。

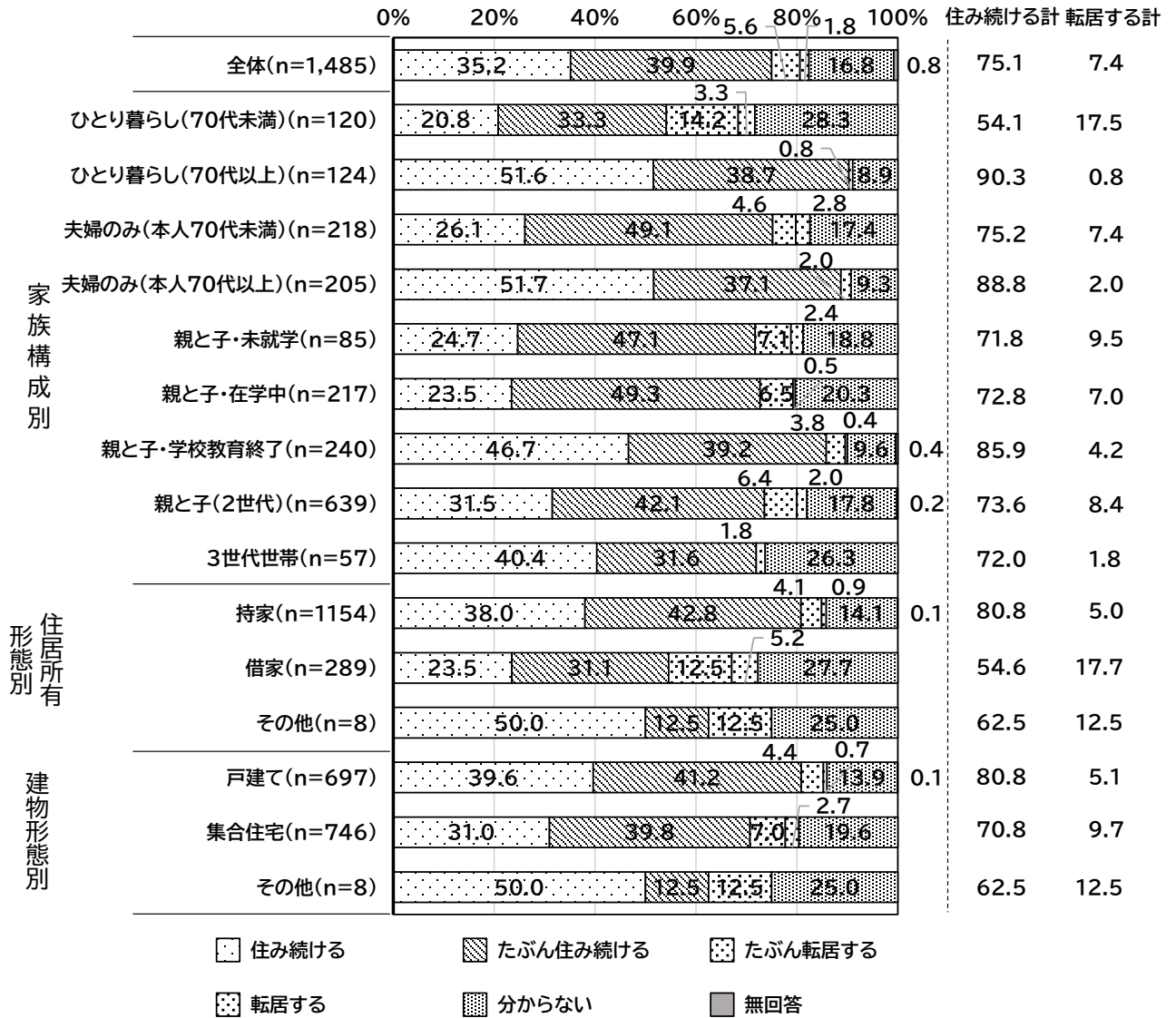


■ 家族構成別 磯子区への定住意向

- ・ 家族構成別では、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」、「夫婦のみ(本人 70 代以上)」「親と子・学校教育終了」で、『住み続ける計』が8割を超える。

■ 住居所有形態別・建物形態別 磯子区への定住意向

- ・ 住居所有形態別では「持家」で、建物形態別では「戸建て」で、『住み続ける計』が8割を超える。

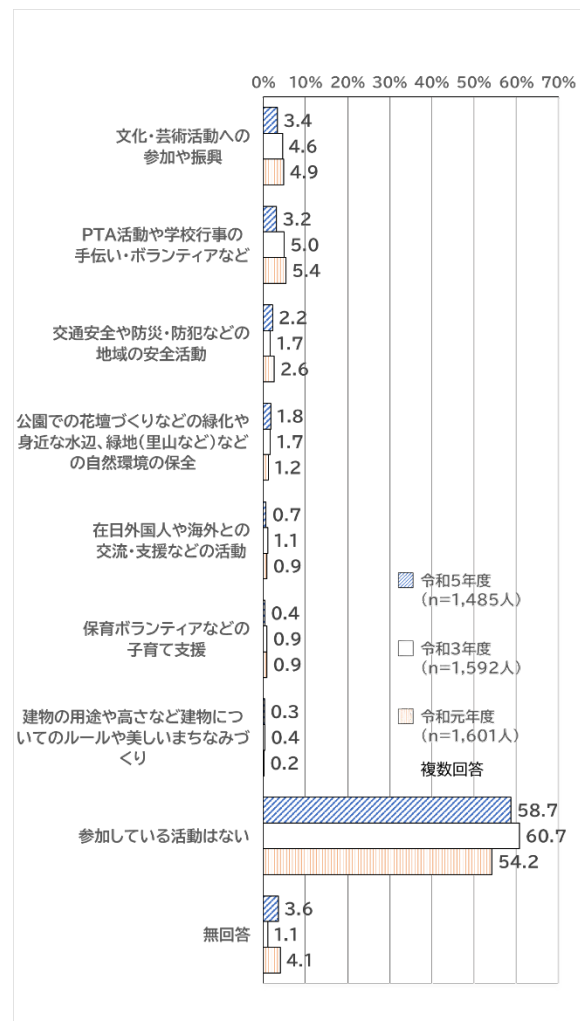
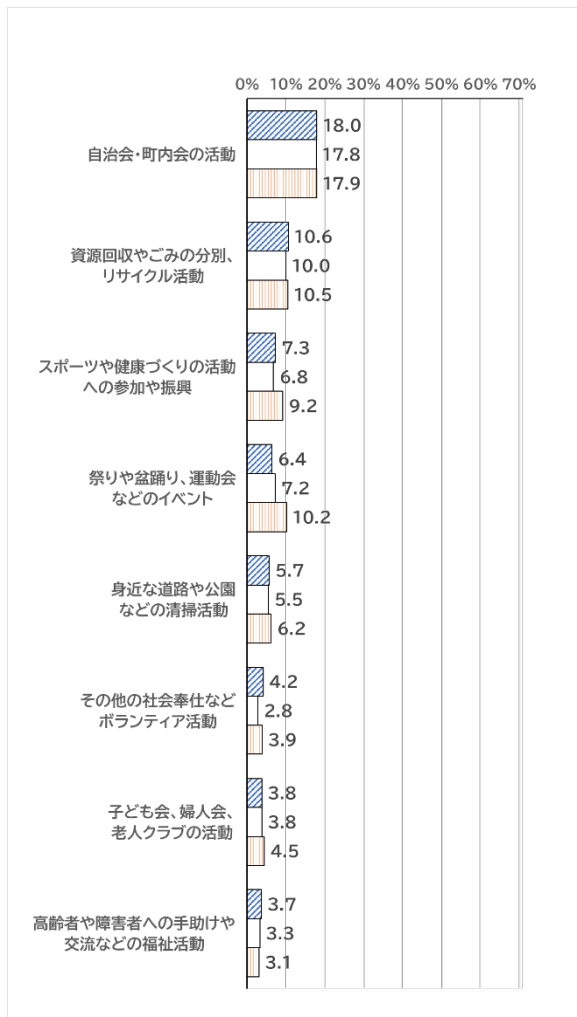


(4) 活動への参加

問 11 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(複数回答)

「自治会・町内会の活動」が 18.0%で最も多い

- ・ 「自治会・町内会の活動」が 18.0%で最も多く、次いで「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(10.6%)、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」(7.3%)、「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」(6.4%)「身近な道路や公園などの清掃活動」(5.7%)の順となっている。
- ・ 一方、「参加している活動はない」は 58.7%で、無回答(3.6%)を除く 37.7%の方は何らかの活動をしている。



■ 性年代別 参加している活動（複数回答）

- ・ 性年代別では、「PTA活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど」は、「女性 40代」「女性 50代」で全体より高い。
- ・ 「参加している活動はない」では、全ての年代で女性より男性の割合が高く、男性、女性ともに年代が下がるに割合が高くなる傾向がある。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

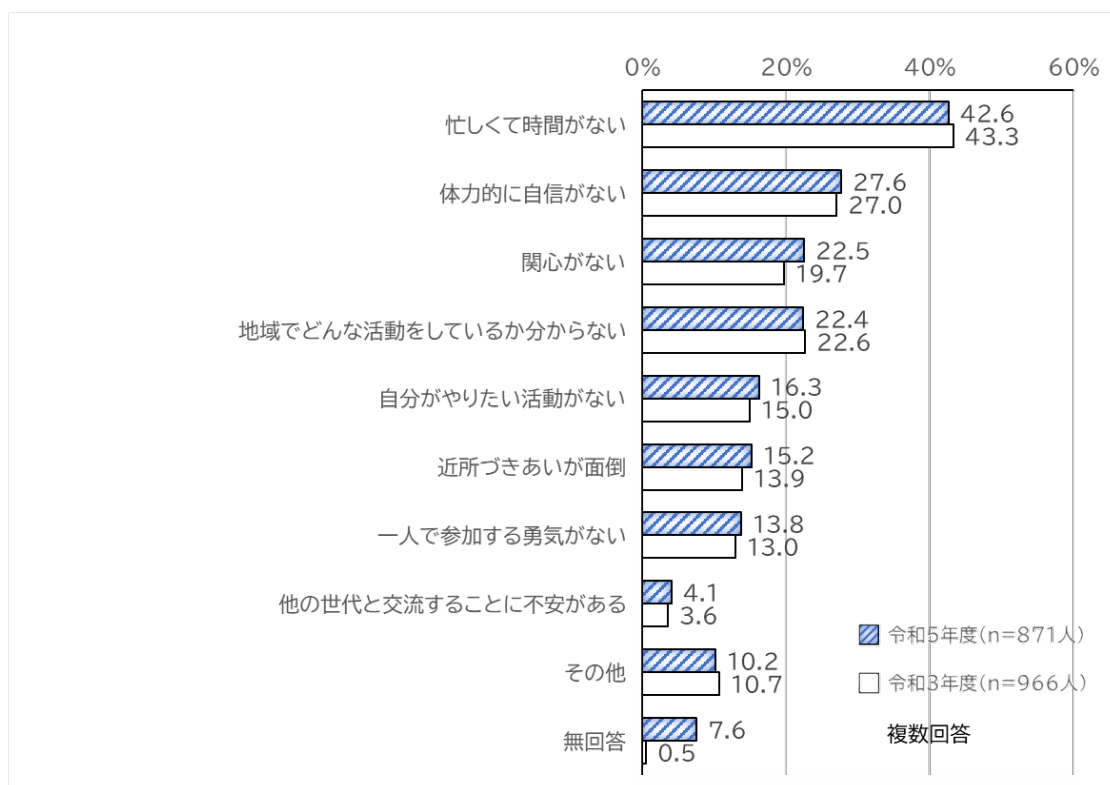
	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
自治会・町内会の活動	18.0	-18.0	-4.5	2.9	-7.0	-6.1	-0.1	1.1	-15.7	-10.4	2.0	2.5	7.9	7.2	8.8
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	10.6	-8.3	-1.0	-2.9	-1.3	-1.4	-1.6	-1.0	-3.8	-1.5	1.7	3.1	6.4	2.3	1.7
スポーツや健康づくりの活動への参加や振興	7.3	2.6	-3.5	-2.9	-1.4	-1.8	-0.2	2.3	7.3	-5.8	-5.8	0.2	-1.4	15.1	2.5
祭りや盆踊り、運動会などのイベント	6.4	6.4	-4.5	4.6	-2.2	-3.6	0.0	-1.1	4.1	-0.3	2.8	-2.3	-0.5	3.1	5.0
身近な道路や公園などの清掃活動	5.7	3.4	-3.8	-3.5	-1.5	0.7	3.9	6.0	3.4	-4.2	-2.6	-3.6	2.4	0.4	4.9
その他の社会奉仕などボランティア活動	4.2	-1.9	-4.2	-0.9	-3.4	0.4	-1.0	-1.0	0.3	4.2	-0.4	0.6	2.5	2.6	0.1
子ども会、婦人会、老人クラブの活動	3.8	3.8	0.0	1.7	-3.8	-3.8	-1.9	1.5	-3.8	2.3	5.4	-2.4	-2.3	3.0	6.0
高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	3.7	3.7	-3.7	-3.7	-3.7	1.8	0.8	-2.6	-3.7	-2.2	-2.9	0.4	3.7	6.5	2.0
文化・芸術活動への参加や振興	3.4	-1.1	-1.5	-2.3	-0.9	1.2	1.1	-1.3	-1.1	-0.4	-3.4	1.4	3.3	0.0	1.5
PTA活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど	3.2	3.2	-1.3	3.4	-1.5	-2.3	-2.6	-3.2	3.2	1.3	9.9	5.0	-3.2	-1.8	1.6
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	2.2	2.2	-2.2	0.0	-2.2	0.6	2.9	3.1	2.2	-0.7	-1.4	-0.1	-1.5	2.6	-0.6
公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)などの自然環境の保全	1.8	-1.8	-1.8	-1.8	0.7	-0.9	-1.2	0.3	-1.8	-1.8	-0.3	1.6	-1.1	-0.4	5.5
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	0.7	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7	0.2	-0.1	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7	1.4	1.5	-0.7	0.1
保育ボランティアなどの子育て支援	0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	0.5	-0.4	-0.4	1.9	-0.4	-0.4	0.3	-0.4	1.6	-0.4
建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	0.3	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	0.6	-0.3	0.8	-0.3	-0.3	0.5	-0.3	-0.3	-0.3	1.3
参加している活動はない	58.7	25.0	16.3	0.6	12.5	9.2	0.3	-5.5	4.9	15.5	9.5	1.6	-1.7	6.3	10.7

問 11-1 問 11 で「16 参加している活動はない」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-1-1 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(複数回答)

「忙しくて時間がない」(42.6%) が最も多い

- ・ 「忙しくて時間がない」が 42.6% で最も多く、次いで「体力的に自信がない」(27.6%)、「関心がない」(22.5%)、「地域でどんな活動をしているか分からない」(22.4%)、「自分がやりたい活動がない」(16.3%) の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「関心がない」が 2.8 ポイント増加しており、「忙しくて時間がない」が 0.7 ポイント減少している。



■ 性年代別 活動に参加していない理由（複数回答）

- ・ 性年代別では、「忙しくて時間がない」は、男性、女性ともに 50 代以下で全体より高い。
- ・ 「体力的に自信がない」は、男性、女性ともに 70 代以上で全体より高い。
- ・ 「男性 20 代以下」、「男性 40 代」、「男性 50 代」及び「女性 20 代以下」では、「関心がない」が他と比べて高くなっている。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

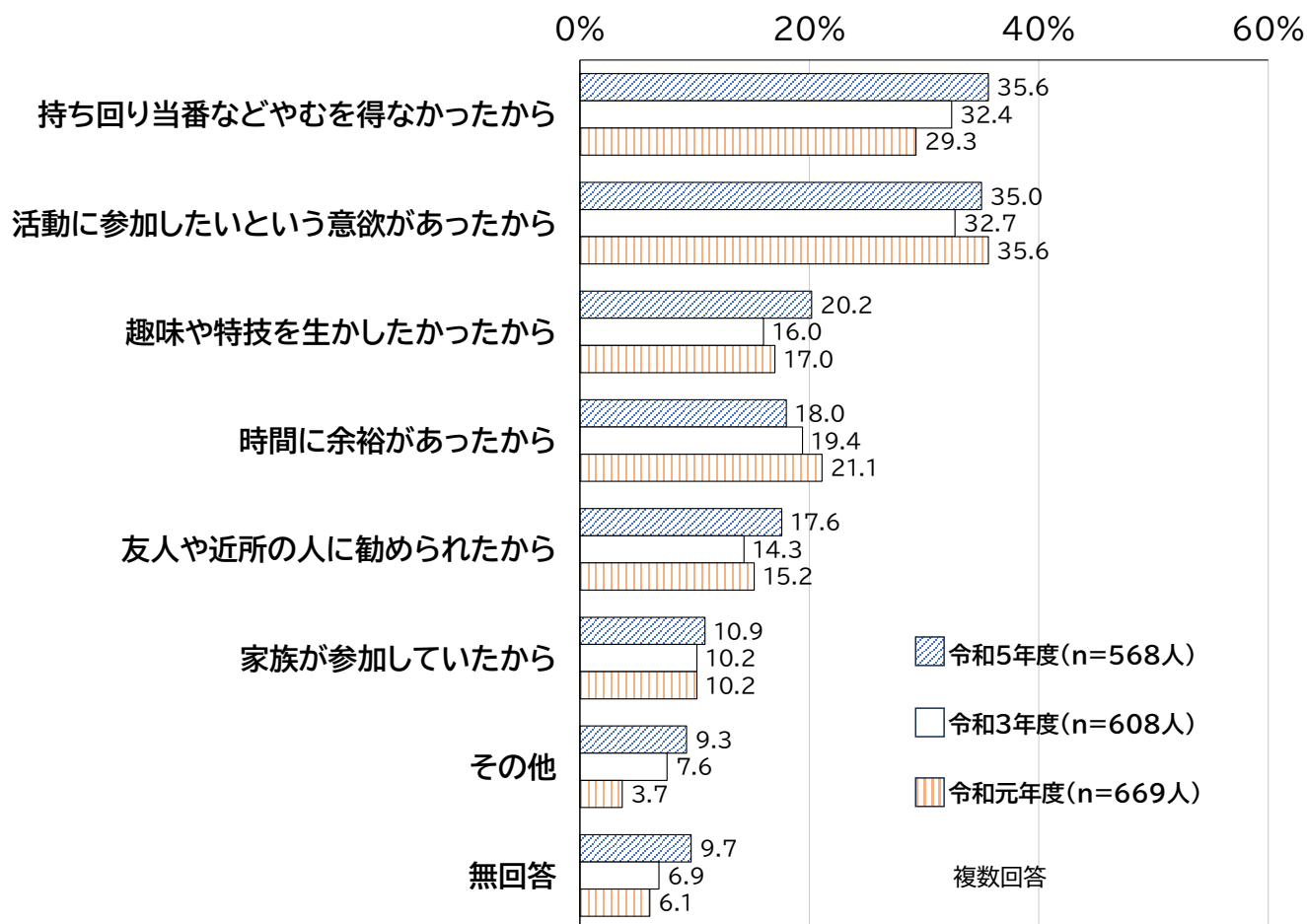
	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
忙しくて時間がない	42.6	7.4	29.2	13.0	12.2	2.0	-20.9	-36.6	25.3	22.7	35.5	13.1	-14.0	-27.0	-35.8
体力的に自信がない	27.6	-13.7	-9.7	-12.8	-9.7	-12.7	7.2	32.4	-24.0	-13.3	-4.2	-9.4	-2.9	8.8	41.9
関心がない	22.5	24.7	0.6	20.1	10.8	3.2	-1.8	-8.5	13.2	-4.1	-8.4	-6.6	-4.3	-12.1	-8.9
地域でどんな活動をしているか分からない	22.4	13.7	3.2	1.7	0.2	-3.5	-0.7	-12.4	9.7	10.3	2.6	4.9	-4.2	-9.4	-8.8
自分がやりたい活動がない	16.3	8.7	1.6	5.9	-2.0	4.0	13.0	-4.3	-5.6	-3.1	-5.4	-7.2	4.5	-3.3	-9.5
近所づきあいが面倒	15.2	4.2	-2.4	1.5	1.5	-0.3	-3.2	-3.2	6.2	3.2	8.2	-0.4	-2.2	-2.2	-10.1
一人で参加する勇気がない	13.8	-2.7	4.1	-0.8	-3.1	-5.7	0.3	-3.8	11.2	2.5	3.1	1.0	3.1	-6.0	-3.6
他の世代と交流することに不安がある	4.1	1.5	3.7	1.5	-0.5	-4.1	-1.9	-0.1	6.6	-2.1	2.2	-0.7	2.4	-4.1	-0.7
その他	10.2	-7.4	0.1	-6.5	-4.2	4.7	1.8	9.8	-3.1	-2.0	-3.9	-3.4	-2.4	0.2	8.4

問 11-2 問 11 で「1」～「15」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-2-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(複数回答)

「持ち回り当番などやむを得なかったから」(35.6%)と「活動に参加したいという意欲があったから」(35.0%)が上位2項目

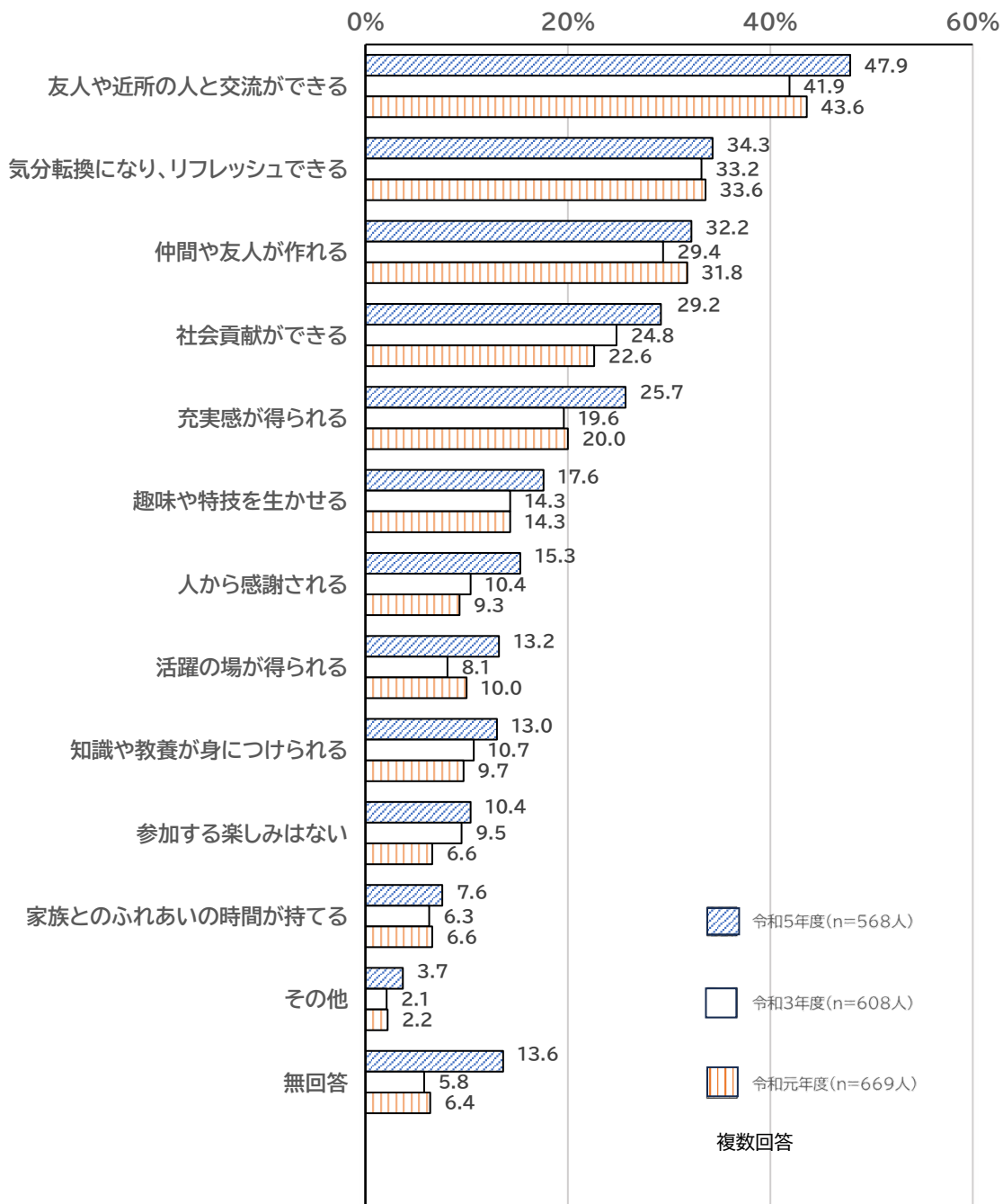
- ・ 「持ち回り当番などやむを得なかったから」(35.6%)が最も多く、次いで「活動に参加したいという意欲があったから」(35.0%)、「趣味や特技を生かしたかったから」(20.2%)、「時間に余裕があったから」(18.0%)、「友人や近所の人に勧められたから」(17.6%)の順となっている。



問 11-2-2 活動に参加する楽しみは何ですか。(複数回答)

「友人や近所の人と交流ができる」が47.9%で最も多い

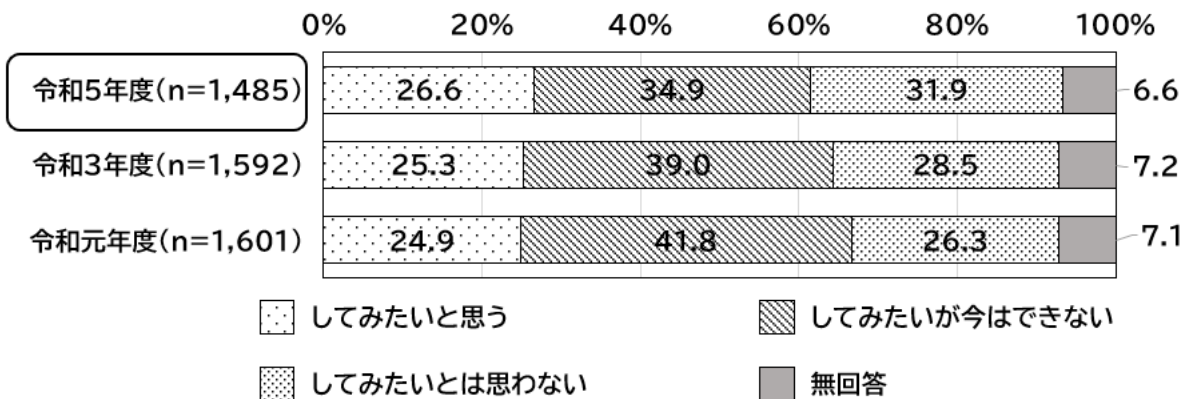
- 「友人や近所の人と交流ができる」が 47.9%で最も多く、次いで「気分転換になり、リフレッシュできる」(34.3%)、「仲間や友人が作れる」(32.2%)、「社会貢献ができる」(29.2%)、「充実感が得られる」(25.7%)の順となっている。



問 12 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

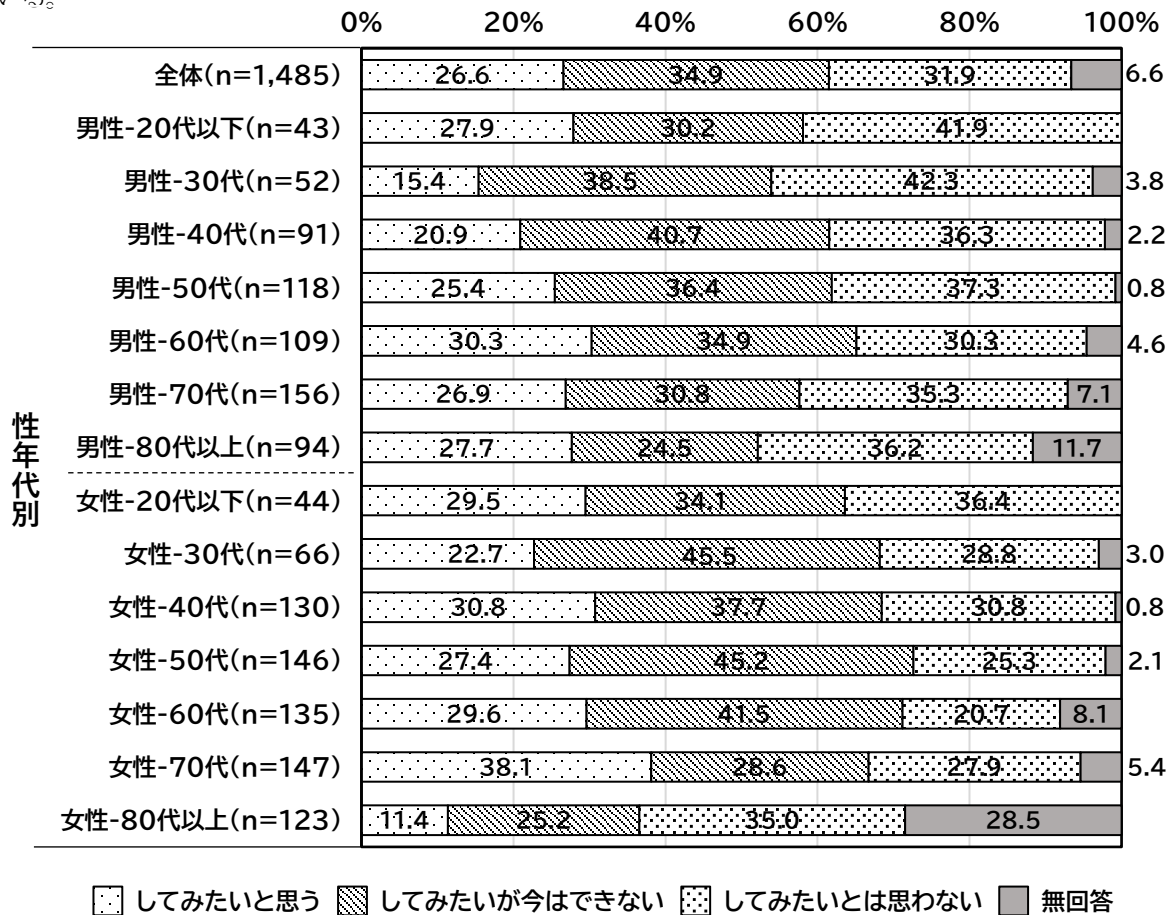
「してみたいが今はできない」が34.9%で最も多い

- ・ 「してみたいが今はできない」が34.9%で最も多く、次いで「してみたいと思わない」(31.9%)、「してみたいと思う」(26.6%)の順となっている。



■ 性年代別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- ・ 性年代別では、男性では30代から60代までは年代が上がるほど「してみたいと思う」が高くなっている。
- ・ 一方、「してみたいとは思わない」は男性の30代以下で4割以上、40代以上で3割以上と割合が高くなっている。

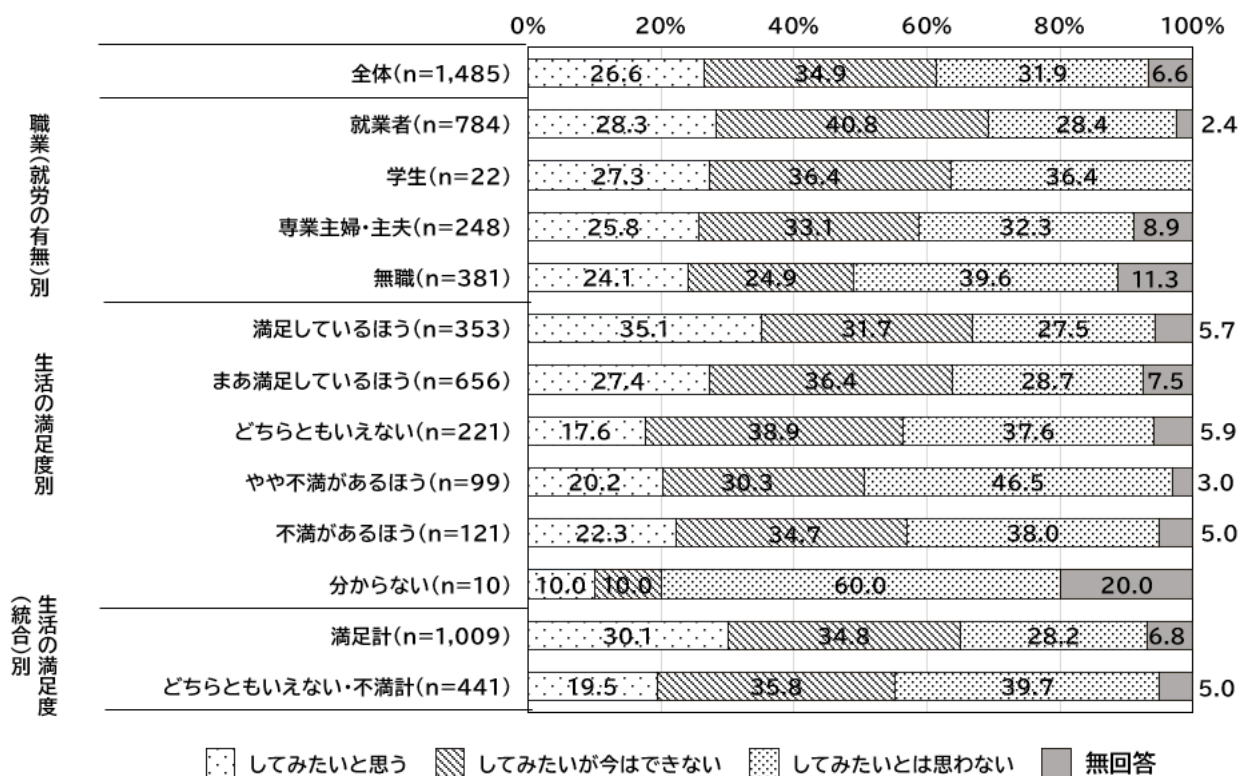


■ 職業(就労の有無)別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- 職業(就労の有無)別では、「してみたいと思う」は、「就業者」が 28.3%と最も高く、次いで「学生」(27.3%)、「専業主婦・主夫」(25.8%)の順となっている。

■ 生活の満足度(統合)別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- 生活の満足度(統合)別では、「してみたいと思う」は、『満足計』が 30.1%、『どちらともいえない・不満計』が 19.5%で、『満足計』が 10 ポイント以上高くなっている。

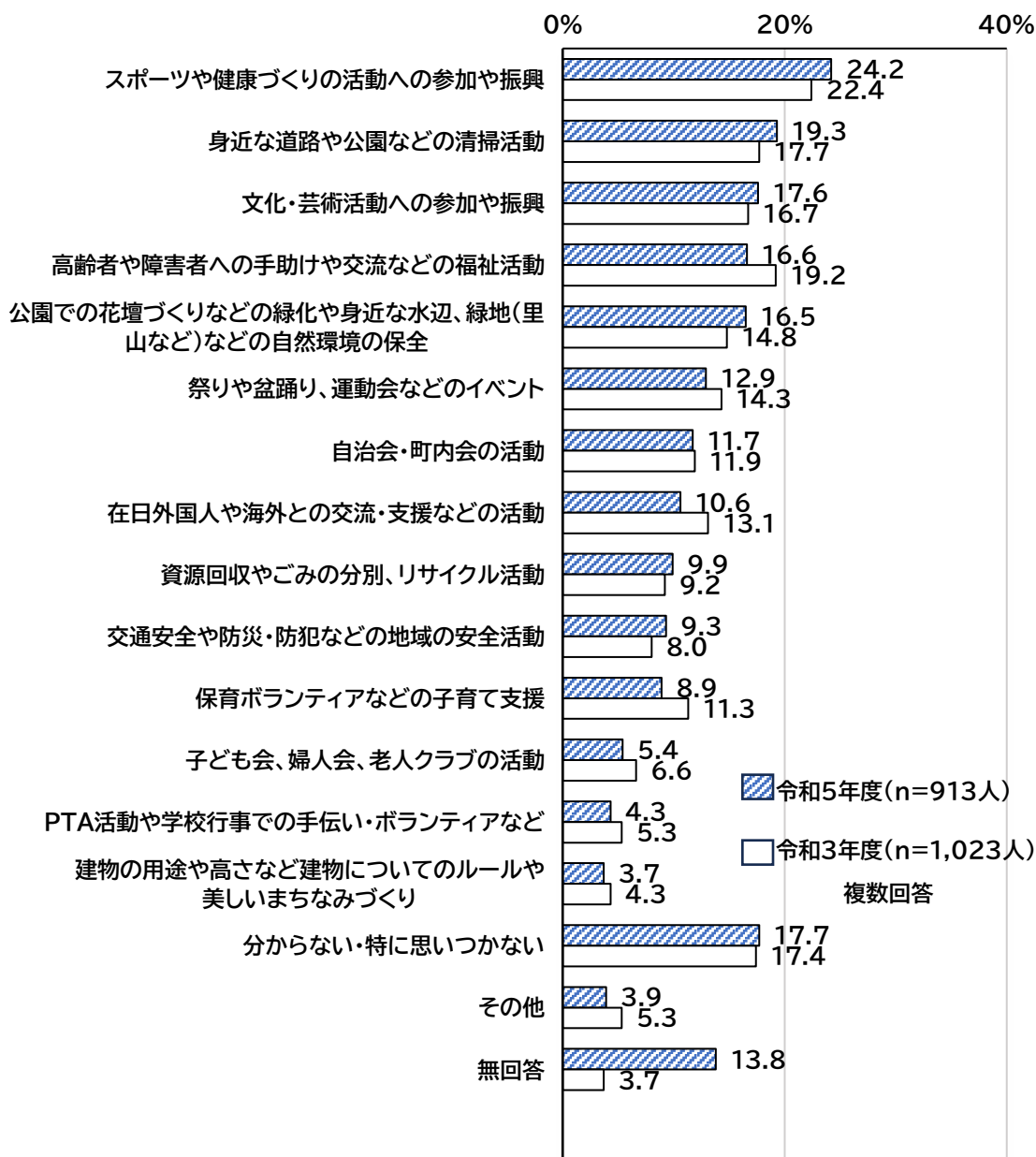


問 12 で「1」、「2」と答えた方にお伺いします。

問 12-1 どのような活動であれば参加できますか。(複数回答)

「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が 24.2%で最も多い

- ・ 「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が 24.2%で最も多く、次いで「身近な道路や公園などの清掃活動」(19.3%)、「文化・芸術活動への参加や振興」(17.6%)、「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」(16.6%)、「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)などの自然環境の保全」(16.5%)、の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」、「保育ボランティアなどの子育て支援」は2ポイント以上減少している。



■ 性年代別 参加できる活動（複数回答）

- ・ 性年代別では、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」は、「男性 20 代以下」、「男性 50 代」、女性 70 代以上で全体より高い。
- ・ 「身近な道路や公園などの清掃活動」は、「男性 50 代」、「女性 20 代以下」、「女性 60 代」で全体より高い。
- ・ 「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」は、男性 40 代以下、女性 30 代以下で全体より高い。

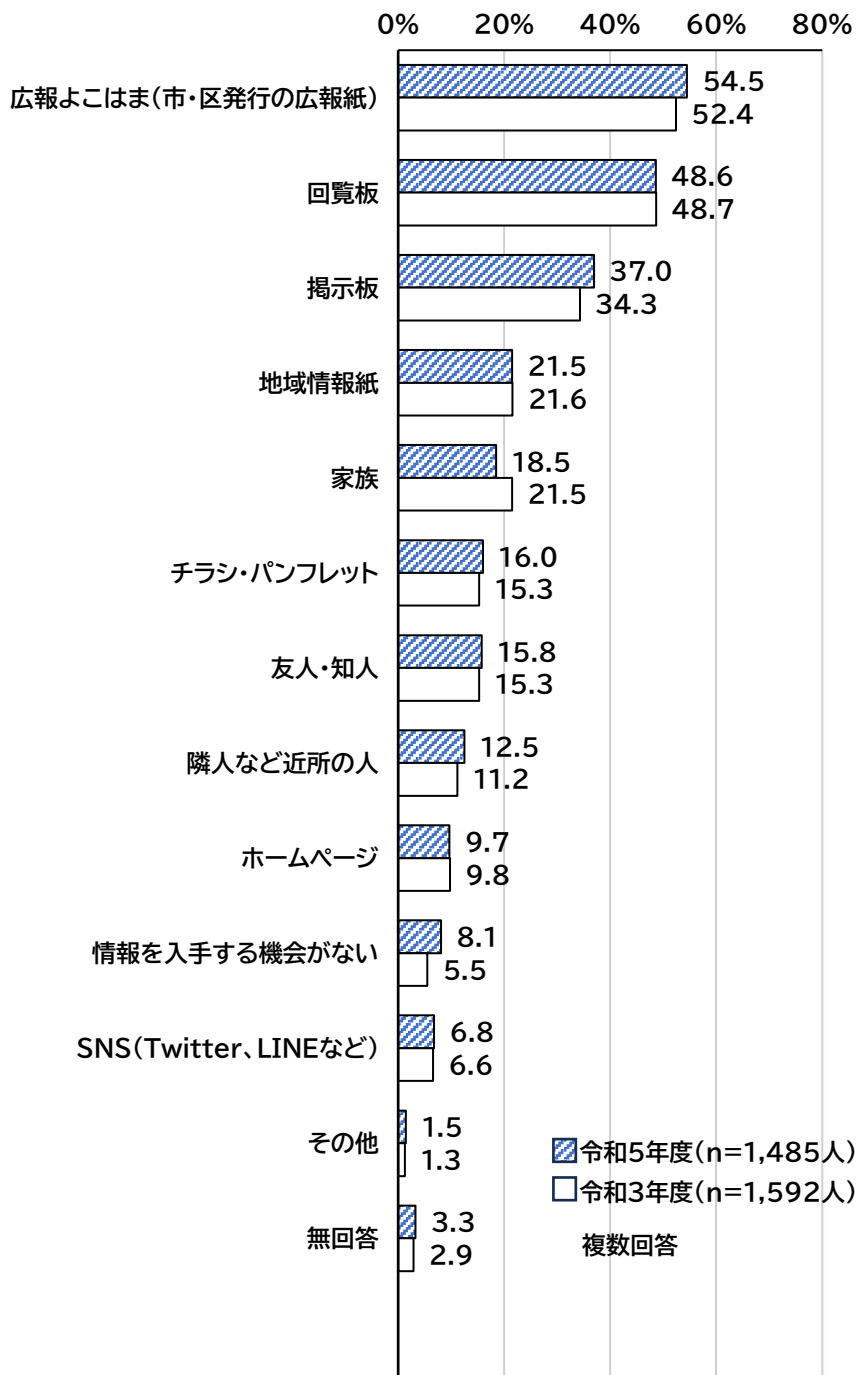
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	913	25	28	56	73	71	90	49	28	45	89	106	96	98	45
スポーツや健康づくりの活動への参加や振興	24.2	11.8	-2.8	-1.0	8.7	1.2	2.5	-3.8	-9.9	-8.6	-2.9	-1.6	-4.4	7.4	4.7
身近な道路や公園などの清掃活動	19.3	-15.3	-5.0	-1.4	5.4	-1.0	1.8	-0.9	9.3	2.9	-1.3	-2.3	7.8	-0.9	-6.0
文化・芸術活動への参加や振興	17.6	-5.6	7.4	0.3	8.4	-0.7	-3.2	-5.4	-3.3	4.6	-4.1	5.0	4.3	0.8	-13.2
高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	16.6	-8.6	-9.5	-11.2	-1.5	-2.5	2.3	-6.4	1.3	-7.7	7.0	2.3	7.4	7.9	-5.5
公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)などの自然環境の保全	16.5	-0.5	-9.4	3.1	4.0	0.4	-3.2	1.9	-12.9	3.5	-5.3	2.4	8.5	-1.2	-0.9
祭りや盆踊り、運動会などのイベント	12.9	3.1	5.0	12.1	-0.6	-4.4	2.7	-4.7	26.4	11.5	0.6	-9.1	-5.6	-0.7	-1.8
自治会・町内会の活動	11.7	-3.7	-4.6	7.9	-4.9	-1.8	3.9	10.7	-11.7	-9.5	-1.6	-7.9	1.8	6.7	10.5
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	10.6	1.4	3.7	-1.7	14.1	0.7	-0.6	-10.6	10.8	-3.9	5.1	2.6	-3.3	-5.5	-8.4
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	9.9	-5.9	-2.8	4.4	2.4	-1.4	-1.0	4.4	4.4	-3.2	-3.2	-5.2	5.7	-3.8	10.1
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	9.3	-1.3	-5.7	6.8	7.1	6.2	11.8	5.0	-9.3	-2.6	-8.2	-2.7	-3.0	-2.2	-9.3
保育ボランティアなどの子育て支援	8.9	-0.9	-1.8	5.4	-8.9	-7.5	-5.6	-8.9	5.4	13.3	5.7	7.1	3.6	-0.7	-6.7
子ども会、婦人会、老人クラブの活動	5.4	-5.4	-1.8	1.7	-5.4	-1.2	1.3	-1.3	1.7	10.2	1.3	-4.5	-0.2	0.7	7.9
PTA活動や学校行事での手強いボランティアなど	4.3	-4.3	-0.7	4.6	-0.2	-1.5	-1.0	-4.3	6.4	9.0	4.7	0.4	-3.3	-3.3	-2.1
建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	3.7	-3.7	10.6	-0.1	4.5	0.5	4.1	-1.7	-3.7	-1.5	-2.6	0.1	-1.6	-1.7	-3.7
分からない・特に思いつかない	17.7	-1.7	14.4	0.2	0.1	0.6	2.3	2.7	-3.4	6.7	-3.1	5.9	-3.1	-2.4	-11.0
その他	3.9	0.1	-3.9	1.5	-1.2	-1.1	2.8	-1.9	-3.9	-3.9	-2.8	-1.1	3.4	0.2	7.2

問 13 あなたは地域の活動に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」が54.5%で最も多い

- ・ 「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」が 54.5%で最も多く、次いで「回覧板」(48.6%)、「掲示板」(37.0%)、「地域情報紙」(21.5%)、「家族」(18.5%)の順となっている。
- ・ 一方、「情報を入手する機会がない」は8.1%となっており、前回調査と比較すると2.6ポイント増加している。



■ 性年代別 地域活動の情報を得る媒体（複数回答）

- ・ 性年代別では、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」、「回覧板」、「地域情報紙」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、「家族」、「SNS(Twitter、LINE など)」では年代が下がるほど増加する傾向にある。
- ・ 「情報を入手する機会がない」は、男性 50 代以下、女性 40 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
広報よこはま(市・区発行の広報紙)	54.5	-40.5	-19.9	-12.7	-7.0	-5.9	9.0	4.0	-40.9	-27.2	1.7	10.6	17.4	15.6	8.9
回覧板	48.6	-25.3	-19.8	-9.0	-2.0	-0.9	11.0	12.0	-23.6	-27.4	6.8	0.0	5.5	11.3	4.2
掲示板	37.0	-16.1	-15.8	-11.7	-2.3	6.1	5.9	5.6	-9.7	13.0	-1.6	0.7	-1.4	3.8	3.7
地域情報紙	21.5	-12.2	-6.1	-6.1	-3.7	10.6	-0.3	11.5	-17.0	-6.3	-6.9	5.2	2.9	3.0	2.1
家族	18.5	14.1	-3.9	7.9	6.9	11.8	0.1	7.0	11.0	1.2	1.5	-3.2	-11.8	-6.3	-5.5
チラシ・パンフレット	16.0	-9.0	-0.6	-0.6	0.1	-1.3	5.1	2.1	-11.5	5.2	4.8	3.2	3.3	1.0	-2.2
友人・知人	15.8	-4.2	-4.3	-2.6	-9.0	-3.5	-4.3	-5.2	-4.4	3.4	5.7	2.7	-1.0	10.1	5.3
隣人など近所の人	12.5	-7.8	-2.9	-0.4	-9.1	-2.4	1.0	10.9	-3.0	-0.4	-1.0	-0.2	-1.4	7.9	3.8
ホームページ	9.7	4.3	3.8	-0.9	6.4	0.4	-0.7	-7.6	-2.9	-0.6	1.8	6.1	5.9	-6.3	-3.9
情報を入手する機会がない	8.1	19.8	20.7	3.4	3.8	-2.6	-4.3	-6.0	23.7	5.5	1.1	-3.3	-6.6	-6.1	-4.8
SNS(Twitter、LINEなど)	6.8	11.8	10.5	2.0	0.0	-5.9	-4.2	-5.7	6.8	15.9	4.0	1.4	-3.8	-5.4	-5.2
その他	1.5	-1.5	0.4	1.8	0.2	-0.6	-0.2	-0.4	-1.5	0.0	1.6	0.6	-0.8	-0.1	0.1

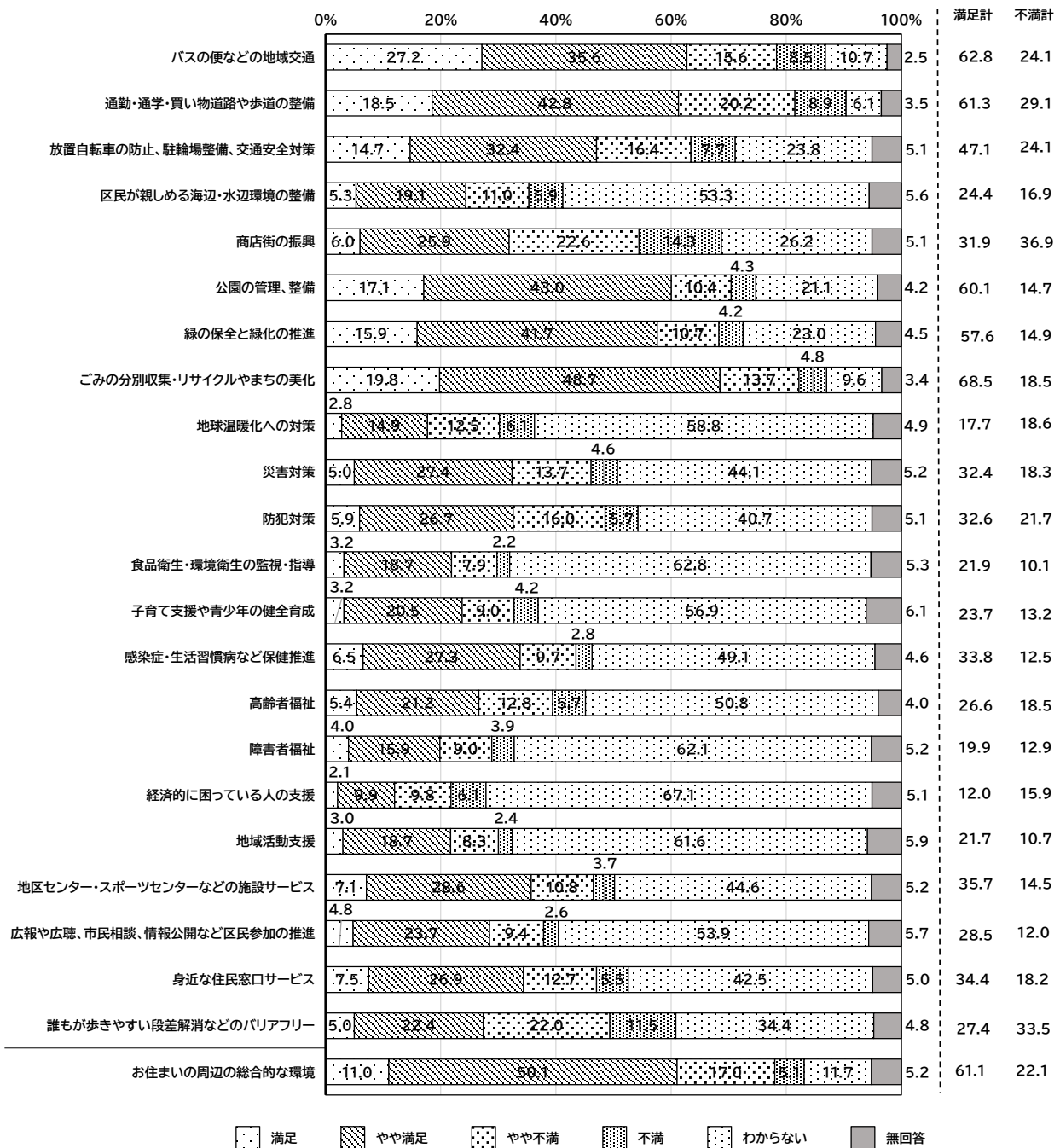
3. 生活環境について

(1) 生活環境(満足度)

問 14 現在のお住まいの周辺の環境にどの程度満足していますか。

交通環境や住環境などの都市整備、行政サービスに関する項目は比較的満足度が高く、衛生・福祉・商業に関する項目は満足度が低い傾向

- 『満足計(「満足」+「やや満足」)』が、『不満計(「やや不満」と「不満」)』より高くなっているのは、22項目中21項目である。
- 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「やや満足」が50.1%と最も多く、『満足計』が『不満計』を大きく上回っている。



n=1,485人

■ 性年代別 生活環境(満足度)

<満足計(「満足」+「やや満足」)>

- ・ 性年代別では、「バスの便などの地域交通」は、男性、女性ともに、70代以上で全体より満足度が高い。
- ・ 「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、男性、女性ともに30代以下で全体より満足度が高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性								女性							
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上		
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123		
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	68.5	-3.4	6.5	1.8	-5.8	3.1	7.1	8.1	4.9	-10.9	-0.8	-3.4	4.1	-0.5	-3.5		
バスの便などの地域交通	62.8	7.0	-9.0	-1.3	-9.4	-3.2	12.8	9.5	3.1	-0.7	-9.0	-7.3	-3.5	10.7	3.1		
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	61.3	8.5	0.2	-4.2	-5.4	-8.1	-0.4	11.0	13.7	5.4	0.2	0.3	0.9	2.0	-2.0		
公園の管理、整備	60.1	-13.6	3.4	2.5	-5.0	-2.3	6.6	1.6	-3.3	9.6	3.7	5.0	4.3	-5.0	-8.9		
緑の保全と緑化の推進	57.6	-1.8	-5.7	2.8	-1.7	-9.0	3.3	-2.3	7.6	9.1	4.7	4.0	5.4	1.6	-7.2		
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	47.1	6.4	-6.7	-2.0	2.9	3.4	0.3	-5.6	7.4	4.4	-2.5	7.0	5.5	-2.2	-9.7		
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	35.8	6.1	2.7	7.1	1.5	-3.3	-6.3	-0.7	0.6	11.2	6.5	5.3	2.0	-2.5	-10.6		
身近な住民窓口サービス	34.4	-1.8	-1.7	-3.0	-4.7	0.5	5.3	3.2	-2.6	-2.6	-2.1	-0.2	1.9	2.3	-0.3		
感染症・生活習慣病など保健推進	33.8	-1.2	-3.8	-0.8	2.6	-0.8	4.7	4.5	6.5	-5.0	-3.8	-2.3	0.3	6.3	1.2		
防犯対策	32.6	-4.7	2.0	-2.9	-2.9	-2.3	3.4	13.1	-14.4	-0.8	-1.8	-1.1	-3.7	1.4	-0.9		
災害対策	32.4	2.5	0.3	7.2	0.7	-2.1	2.9	3.8	6.2	0.9	-0.1	-0.9	-1.3	-1.8	-9.6		
商店街の振興	31.9	14.6	3.5	4.4	0.3	-2.5	0.2	-3.2	-0.1	7.5	-4.2	-3.1	-4.5	1.4	3.1		
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	28.5	-0.6	0.3	-3.2	0.3	-4.6	4.2	1.3	-12.6	9.4	0.0	5.1	-0.4	2.1	-6.5		
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	27.3	9.9	-8.1	-2.0	1.5	-4.8	-2.3	5.7	13.6	0.0	1.2	-4.7	-5.1	-0.8	-1.3		
高齢者福祉	26.6	-1.0	-1.2	-9.0	-3.7	-1.8	5.5	9.6	-10.7	-5.4	-5.1	-0.6	-2.2	5.4	11.6		
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	24.3	3.6	2.6	9.8	4.5	-3.2	0.7	0.2	-12.9	4.5	-1.2	2.4	-1.3	3.6	-12.1		
子育て支援や青少年の健全育成	23.8	-0.5	3.1	7.0	0.8	-2.7	-5.2	-2.5	-7.9	15.6	9.3	5.0	-1.6	-1.4	-11.6		
食品衛生・環境衛生の監視・指導	22.0	3.6	-6.6	3.3	1.7	-2.7	1.1	2.9	6.1	0.7	5.7	-0.8	0.2	-0.2	-3.3		
地域活動支援	21.8	3.4	5.1	1.3	-1.5	-6.2	3.8	-0.5	-1.3	4.0	-1.8	-0.6	-1.1	4.1	-5.5		
障害者福祉	19.9	12.7	-6.4	-3.4	1.3	-0.6	2.5	7.8	0.6	-1.7	2.4	-2.8	-3.6	-1.5	-3.6		
地球温暖化への対策	17.7	10.2	-2.3	-0.1	-1.6	-0.3	0.9	3.6	4.1	2.0	0.8	2.8	-4.4	-2.1	-3.1		
経済的に困っている人の支援	12.0	11.3	-2.4	2.3	5.8	1.8	-3.7	-2.4	-2.9	1.6	1.1	-0.4	-0.9	-2.5	-3.1		
お住まいの周辺の総合的な環境	61.1	-12.3	4.3	3.7	-3.5	-7.0	6.8	1.7	0.3	7.1	-0.3	4.0	6.3	-6.7	-1.8		

■ 地区別 生活環境(満足度)

<満足計(「満足」+「やや満足」)>

- ・ 地区別では、「洋光台地区」、「汐見台地区」で、全体より満足度の高い項目が多い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、「岡村地区」、「洋光台地区」で全体より満足度が高い。
- ・ 「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」は、「滝頭地区」、「汐見台地区」、「洋光台地区」で全体より満足度が高い。

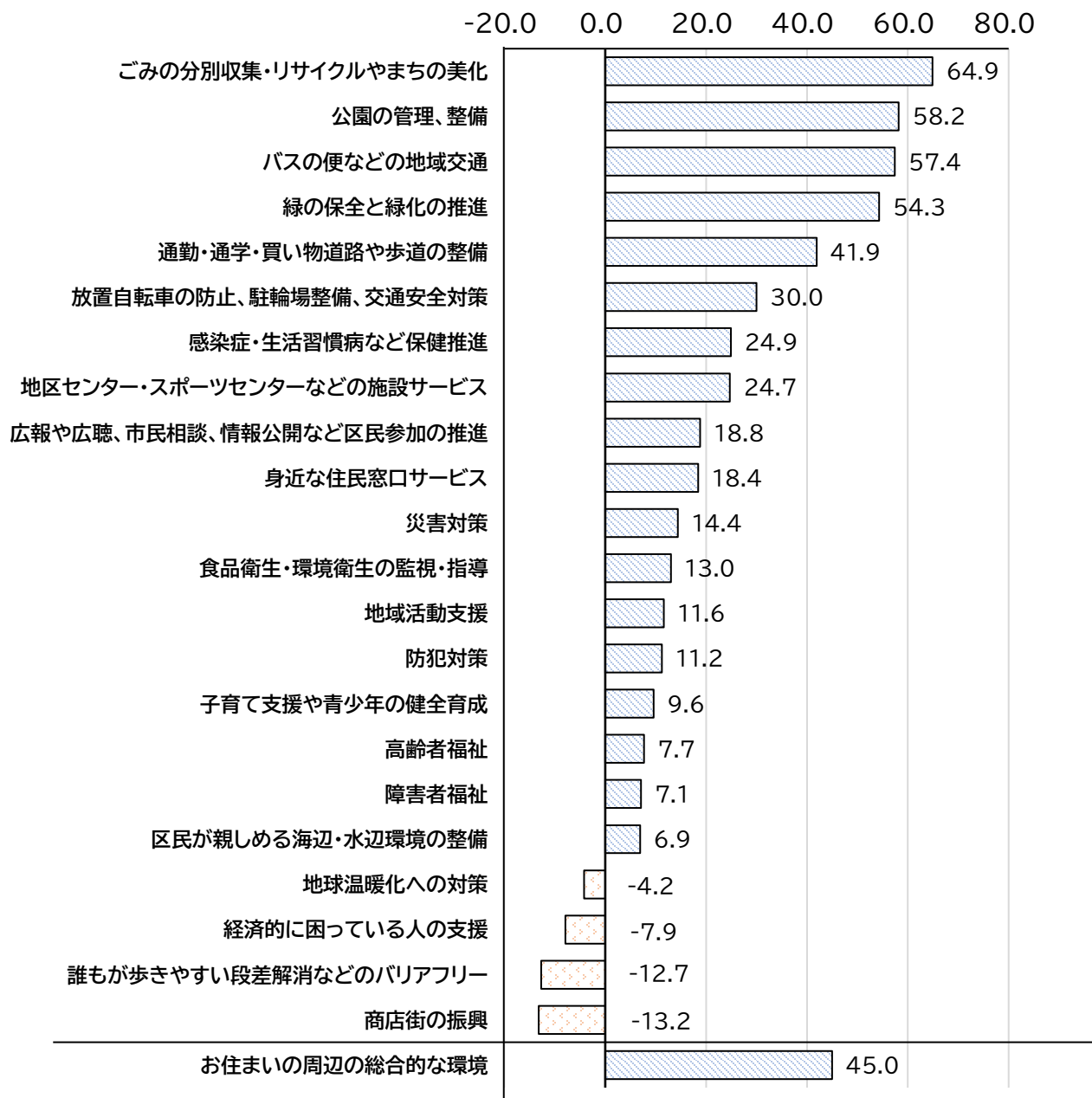
※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上管下	洋光台
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	68.5	-14.1	2.3	5.7	-3.6	1.1	-2.7	-0.6	-1.6	10.8
バスの便などの地域交通	62.8	-5.0	0.9	6.6	2.5	2.4	-9.3	1.1	-2.7	7.4
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	61.3	-8.0	-8.2	-8.9	-0.7	5.4	-4.8	-2.1	1.5	18.0
公園の管理、整備	60.1	-11.2	7.2	3.6	-6.8	13.8	-5.1	-1.4	-2.0	10.6
緑の保全と緑化の推進	57.6	-7.6	2.6	-2.0	1.1	12.0	-8.2	-4.0	-3.5	13.6
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	47.1	-4.9	-9.0	-6.8	1.2	3.6	1.2	-1.7	-8.6	12.0
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	35.8	-10.2	3.1	-6.8	-2.6	-3.9	2.5	5.5	3.4	1.1
身近な住民窓口サービス	34.4	-4.4	5.4	-2.1	-0.4	10.5	0.2	-2.3	-1.3	1.0
感染症・生活習慣病など保健推進	33.8	-13.8	3.7	-4.8	-2.5	3.9	-0.7	0.4	6.1	3.1
防犯対策	32.6	-14.8	1.0	-2.0	0.2	9.4	-4.7	2.6	1.9	6.3
災害対策	32.4	-15.7	0.3	-1.8	-3.8	15.4	-2.7	4.8	2.1	5.5
商店街の振興	31.9	-13.0	-12.4	-6.1	-3.3	-7.3	3.0	14.5	0.5	5.0
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	28.5	-10.7	3.4	-2.7	-0.7	9.2	-5.8	2.6	2.6	4.8
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	27.3	-2.9	1.9	-7.1	-1.8	0.2	-2.0	-2.8	1.1	11.1
高齢者福祉	26.6	-7.7	4.4	-1.6	-2.3	-0.5	-2.1	-0.1	3.1	6.2
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	24.3	-2.1	2.2	-4.1	-0.4	-1.1	-0.9	5.8	0.0	-1.1
子育て支援や青少年の健全育成	23.8	-6.0	5.4	-5.3	-3.3	8.1	-1.5	-2.9	1.2	8.5
食品衛生・環境衛生の監視・指導	22.0	-7.6	3.1	-6.7	-2.7	7.0	-1.2	-0.1	-0.4	5.8
地域活動支援	21.8	-9.6	4.7	-4.9	-1.3	1.4	-1.4	0.6	1.2	6.0
障害者福祉	19.9	-8.8	7.5	1.1	-0.2	0.4	-2.8	-1.5	1.7	2.3
地球温暖化への対策	17.7	-4.4	0.9	-0.8	-0.7	4.0	-1.3	-0.9	-1.5	4.0
経済的に困っている人の支援	12.0	-4.2	6.6	-1.5	0.0	2.5	-2.0	-1.8	0.2	2.6
お住まいの周辺の総合的な環境	61.1	-15.5	-0.9	-4.6	-0.9	5.6	-0.5	-0.4	0.4	9.1

■ 生活環境(満足度) 加重平均

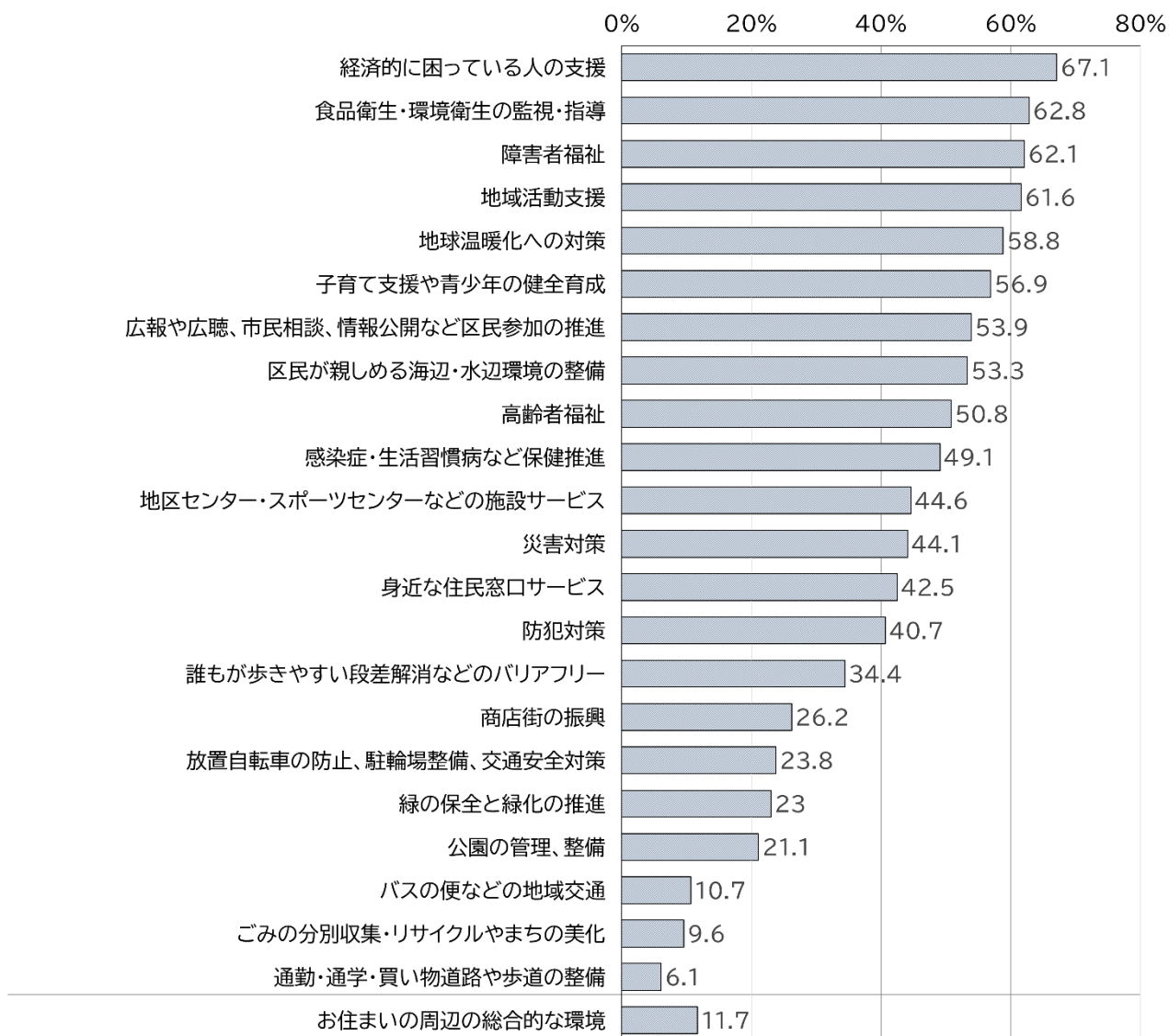
※回答に、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を加算し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

- ・ 上位5項目は、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「公園の管理、整備」、「バスの便などの地域交通」、「緑の保全と緑化の推進」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」である。



生活環境(満足度)「わからない」の回答割合

- 「経済的に困っている人の支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「障害者福祉」、「地域活動支援」、「地球温暖化への対策」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」、「高齢者福祉」は半数以上の人が「わからない」と回答している。

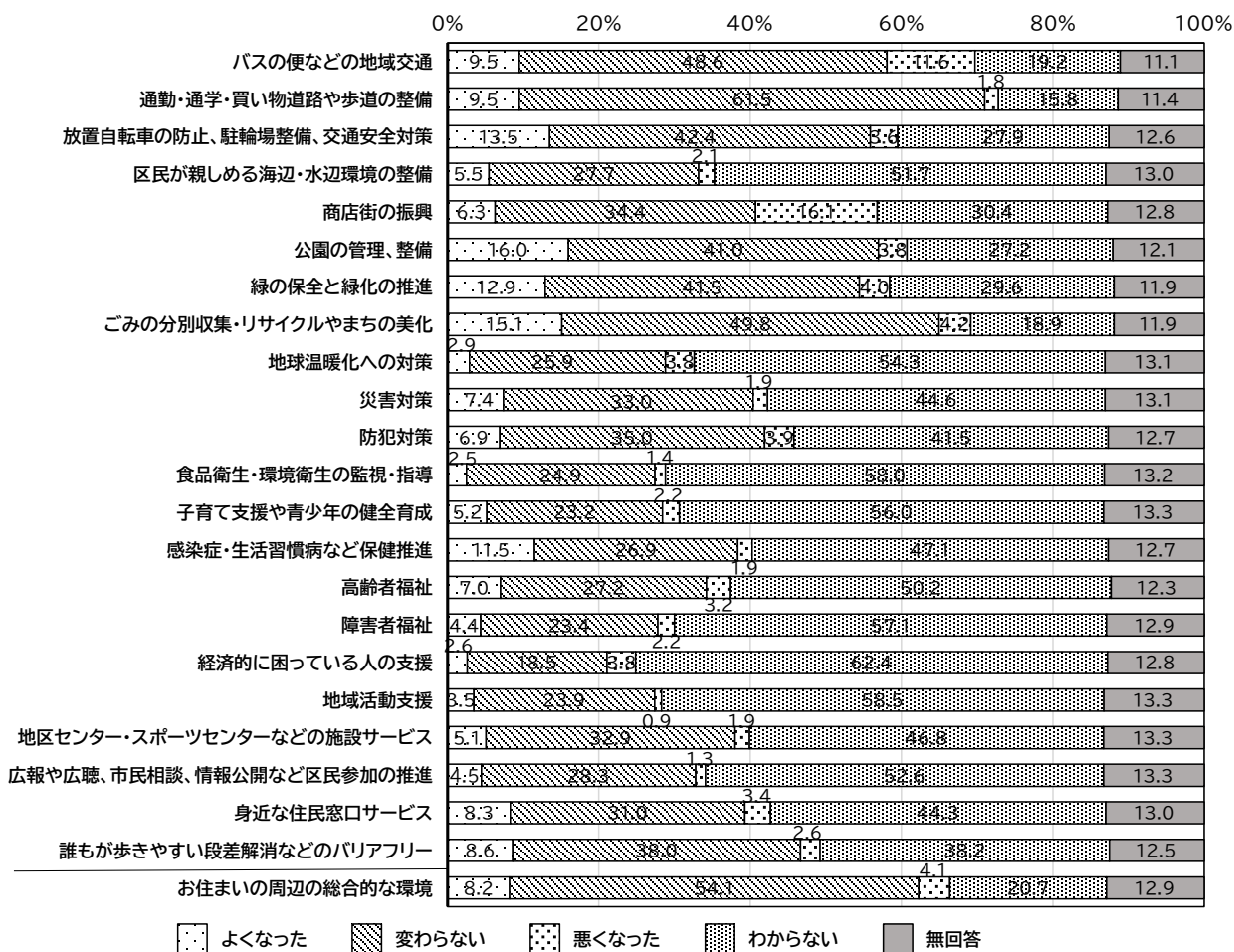


(2) 生活環境(以前との比較)

問 14 現在のお住まいの周辺の環境は、以前(4~5年前)と比べてどのように変わりましたか。

「よくなった」とする割合が高かった上位5項目は「公園の管理、整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「緑の保全と緑化の推進」、「感染症・生活習慣病など保健推進」

- ・ 「変わらない」とする割合が高かった上位5項目は「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「バスの便などの地域交通」、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「緑の保全と緑化の推進」である。
- ・ 「悪くなった」とする割合が高かった上位5項目は「商店街の振興」、「バスの便などの地域交通」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」、「防犯対策」である。
- ・ 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「変わらない」が 54.1%と最も多く、次いで「わからない」(20.7%)、「よくなった」(8.2%)、「悪くなった」(4.1%)の順となっている。



n=1,485人

■ 性年代別 生活環境（以前との比較）

<よくなった>

- ・ 性年代別では、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」は男性 70 代以上、女性 60 代以上で全体より高い。
- ・ 「緑の保全と緑化の推進」は、「男性 70 代」、女性 40 代以上で全体より高い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、男性、女性ともに 70 代以上で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
公園の管理、整備	16.0	-9.0	-2.5	-2.8	-6.7	1.4	-1.3	2.1	-0.1	-6.9	4.8	1.1	2.5	3.7	2.7
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	15.1	-10.4	-7.4	-8.5	-2.4	-2.3	4.8	11.5	-10.6	-10.6	-2.0	-2.8	4.9	5.3	6.0
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.5	-1.9	-7.7	-4.7	-3.3	2.1	-2.0	-5.0	-6.7	-12.0	4.2	2.3	5.0	2.1	7.6
緑の保全と緑化の推進	12.9	-10.6	-5.2	-5.2	-7.8	-4.6	3.8	-0.1	-3.8	-8.4	4.8	3.5	4.1	5.5	4.2
感染症・生活習慣病など保健推進	11.5	-4.5	3.9	-1.6	0.4	0.4	0.0	1.3	-2.4	-3.9	-3.8	-2.6	3.3	2.1	3.9
バスの便などの地域交通	9.5	-4.8	-5.7	-1.8	-6.1	-2.2	3.3	6.5	-7.2	-8.0	-4.1	-0.6	-2.1	9.5	6.8
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	9.5	-2.5	0.1	-5.1	-2.7	-1.2	-1.8	6.5	1.9	-6.5	3.6	-2.0	1.6	4.1	1.9
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	8.6	-6.3	-4.8	-3.1	-0.1	3.3	1.7	-2.2	2.8	-2.5	-0.1	-2.4	2.5	0.9	3.6
身近な住民窓口サービス	8.3	-6.0	3.2	-6.1	-4.1	0.0	2.6	2.3	-8.3	-8.3	0.9	-0.8	-0.9	5.3	6.3
災害対策	7.4	-0.4	-5.5	2.5	-3.2	-1.9	-0.3	-1.0	4.0	-2.9	4.9	0.1	2.2	0.1	-1.7
高齢者福祉	7.0	-4.7	-5.1	-5.9	-1.9	0.3	0.7	4.7	-7.0	-2.5	1.5	-0.8	1.9	1.8	2.8
防犯対策	6.9	-2.2	-6.9	0.8	-4.4	-2.3	-0.5	0.5	-4.6	-3.9	3.1	1.3	2.0	3.3	-0.4
商店街の振興	6.3	-1.6	-0.5	2.5	-2.1	-0.8	-2.5	0.1	0.5	-0.2	6.0	-0.8	1.1	-0.2	-1.4
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.5	-5.5	2.2	0.0	-4.7	1.8	0.3	0.9	-3.2	-4.0	0.7	2.7	1.2	1.3	-0.6
子育て支援や青少年の健全育成	5.2	-5.2	-3.3	1.4	-2.7	1.2	-1.4	0.1	-0.7	-0.7	4.0	-0.4	1.5	1.6	-1.9
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	5.1	-5.1	-5.1	-4.0	-2.6	-0.5	2.0	3.4	1.7	-2.1	0.3	-0.3	0.8	2.4	2.2
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.5	-2.2	-2.6	-2.3	-2.8	-2.7	-0.7	2.9	-2.2	-3.0	0.1	1.7	0.7	3.7	2.8
障害者福祉	4.4	0.3	-0.6	-3.3	1.5	-0.7	-0.6	2.0	-2.1	-2.9	-0.6	-1.0	0.8	1.7	-0.3
地域活動支援	3.5	-1.2	-1.6	-2.4	-3.5	-0.7	1.0	2.9	-1.2	-0.5	-0.4	-1.4	2.4	0.6	3.0
地球温暖化への対策	2.9	-0.6	-1.0	0.4	-0.4	-0.1	-1.0	-1.8	-0.6	-2.9	1.7	-0.2	0.1	1.9	-1.3
経済的に困っている人の支援	2.6	-0.3	-2.6	-0.4	-0.1	1.1	-2.0	-0.5	-0.3	-2.6	-0.3	1.5	1.1	0.8	-0.2
食品衛生・環境衛生の監視・指導	2.5	2.2	1.3	-0.3	-2.5	0.3	-1.9	1.8	-2.5	-2.5	2.1	-0.4	0.5	0.9	0.8
お住まいの周辺の総合的な環境	8.2	-3.5	-2.4	-3.8	-3.1	-4.5	2.7	2.4	-1.4	-3.7	1.0	-0.7	3.7	3.4	0.7

<悪くなった>

- ・ 性年代別では、「男性 50 代」で「悪くなった」とする項目が多い。
- ・ 「商店街の振興」、「感染症・生活習慣病など保健推進」では、女性より男性のほうが全体より高い傾向がある。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
商店街の振興	16.1	-9.1	-6.5	-7.3	7.6	0.4	5.1	4.1	-9.3	-7.0	-1.5	1.0	2.4	0.9	-3.9
バスの便などの地域交通	11.6	-4.6	-2.0	-6.1	6.2	-1.5	-1.3	0.1	-7.1	-4.0	-2.4	6.9	4.7	0.6	-1.8
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	4.2	-4.2	3.5	-0.9	11.1	-1.4	-0.4	-1.0	2.6	6.4	2.7	3.3	0.2	0.6	-0.9
緑の保全と緑化の推進	4.0	0.7	1.8	-0.7	7.0	4.3	5.6	2.4	-4.0	-2.5	-0.9	0.8	3.4	0.8	-1.6
防犯対策	3.9	-1.6	3.8	-2.8	8.8	0.7	4.4	-1.8	-3.9	-0.9	2.3	2.3	2.0	0.9	-1.5
公園の管理、整備	3.8	10.2	3.9	1.7	6.4	2.6	2.6	-0.6	-1.5	-0.8	0.0	0.3	3.6	-0.4	-2.2
地球温暖化への対策	3.8	-1.5	3.9	-1.6	8.9	-1.0	2.0	0.5	-3.8	0.7	-1.5	3.0	1.4	5.0	0.3
経済的に困っている人の支援	3.8	-3.8	3.9	0.6	8.9	-1.0	0.7	-1.7	-3.8	-0.8	1.6	5.1	3.6	2.3	-1.4
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	3.6	1.1	2.2	4.1	7.4	0.1	4.7	1.7	-3.6	0.9	-1.3	2.6	0.8	-1.6	-2.0
身近な住民窓口サービス	3.4	3.6	2.4	-1.2	10.2	4.9	1.7	-3.4	-3.4	-1.9	2.0	2.8	4.7	-1.4	-1.8
高齢者福祉	3.2	-3.2	2.6	-2.1	9.5	1.4	4.5	-1.1	-3.2	-1.7	0.6	5.0	2.0	1.6	0.1
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	2.6	-0.3	3.2	-1.5	7.6	2.0	0.6	1.7	-2.6	0.4	-0.3	2.2	2.6	3.5	0.7
子育て支援や青少年の健全育成	2.2	2.5	5.5	1.1	8.0	1.5	1.6	-2.2	-2.2	2.3	0.9	4.6	1.5	1.2	-1.4
障害者福祉	2.2	0.1	3.6	-1.1	8.8	0.6	1.6	-0.1	-2.2	-0.7	1.6	5.3	3.0	1.2	-1.4
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	2.1	-2.1	3.7	-1.0	8.9	2.5	1.7	1.1	2.4	-0.6	1.0	4.1	1.6	-0.7	-1.3
災害対策	1.9	0.4	3.9	-0.8	8.3	1.8	1.3	-0.8	-1.9	-0.4	1.2	3.6	1.8	0.8	-1.1
感染症・生活習慣病など保健推進	1.9	-1.9	3.9	0.3	10.8	0.9	2.6	-0.8	-1.9	-0.4	1.2	2.2	1.8	0.1	-0.3
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	1.9	2.8	3.9	1.4	10.0	0.9	-0.6	0.2	-1.9	1.1	1.9	2.9	1.1	0.1	0.5
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.8	5.2	4.0	1.5	7.5	1.9	2.0	1.4	-1.8	-0.3	-0.3	3.0	3.4	0.2	-1.8
食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.4	-1.4	4.4	-0.3	10.5	1.4	0.5	-0.3	-1.4	1.6	0.9	2.7	3.0	2.7	-0.6
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1.3	-1.3	6.4	0.9	8.9	2.4	0.0	-0.2	-1.3	0.2	1.0	2.8	3.1	0.1	-0.5
地域活動支援	0.9	-0.9	4.9	0.2	8.4	1.9	0.4	-0.9	-0.9	0.6	0.6	5.9	2.8	1.1	-0.1
お住まいの周辺の総合的な環境	4.1	0.6	1.7	-3.0	10.3	4.2	3.6	0.2	-4.1	2.0	-0.3	0.7	2.6	1.3	-1.7

■ 地区別 生活環境（以前との比較）

<よくなった>

- ・ 地区別では、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」は、「根岸地区」で全体より高く、「滝頭地区」で全体より低い。
- ・ 「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」は「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」は、「岡村地区」、「汐見台地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198	
公園の管理、整備	16.0	-7.1	-3.6	11.4	-0.6	2.8	-4.5	2.4	-1.1	2.7	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	15.1	1.6	-6.3	0.2	2.3	-6.4	-0.6	1.2	7.9	-4.5	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.5	4.3	-6.4	-2.2	2.3	-4.8	1.0	2.8	-2.0	-1.4	
緑の保全と緑化の推進	12.9	-5.1	-3.2	1.6	5.2	3.0	-5.1	2.9	-2.8	1.7	
感染症・生活習慣病など保健推進	11.5	0.7	-0.9	0.6	1.6	-1.4	-1.8	-0.8	4.0	-0.4	
バスの便などの地域交通	9.5	-1.7	-3.3	7.4	0.5	-5.2	-2.1	3.3	1.3	-2.9	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	9.5	-0.6	-3.3	-0.6	0.5	-0.8	1.3	1.2	-2.1	1.1	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	8.6	7.0	-5.9	-0.5	-0.9	0.1	-0.4	0.6	-0.5	2.5	
身近な住民窓口サービス	8.3	2.8	-0.3	-0.2	1.4	-2.5	0.3	-0.1	-1.5	-0.7	
災害対策	7.4	0.4	-0.3	-2.6	-0.1	2.7	-0.3	2.3	-0.6	-0.3	
高齢者福祉	7.0	-1.4	0.1	-1.4	0.3	-4.1	-0.3	-2.4	1.8	3.6	
防犯対策	6.9	2.0	-0.7	-0.4	1.2	-4.0	-2.8	0.8	-1.5	2.2	
商店街の振興	6.3	-0.7	-5.4	-0.7	-1.7	-3.4	-1.1	0.8	3.8	4.3	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.5	4.5	3.3	1.8	0.7	-5.5	-2.9	3.2	1.3	-4.0	
子育て支援や青少年の健全育成	5.2	-0.8	-2.5	-0.4	0.2	2.0	-1.1	2.5	-1.1	1.4	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	5.1	0.5	1.1	-2.7	1.5	-3.7	0.1	3.1	-1.7	-1.1	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.5	-0.1	0.8	-1.3	-0.3	-1.6	-0.8	2.1	-1.1	1.1	
障害者福祉	4.4	1.2	0.0	-0.4	1.4	-3.0	-1.4	-0.3	-2.4	2.2	
地域活動支援	3.5	0.9	0.0	-1.9	0.7	0.8	-1.3	1.1	-1.5	1.0	
地球温暖化への対策	2.9	0.4	-2.0	-1.3	1.0	0.0	0.8	-0.9	-1.5	1.6	
経済的に困っている人の支援	2.6	1.8	-1.7	-0.2	-0.3	0.3	-1.1	0.0	0.8	0.9	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	2.5	0.8	1.9	-1.7	0.6	-1.1	-1.0	0.1	0.2	0.5	
お住まいの周辺の総合的な環境	8.2	5.1	-2.9	-0.1	0.7	-2.4	-0.8	-0.5	-2.1	2.4	

<悪くなった>

- ・ 地区別では、「商店街の振興」は、「滝頭地区」、「汐見台地区」、「洋光台地区」で全体より高い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、「磯子地区」、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「身近な住民窓口サービス」は、「杉田地区」で全体より高い。

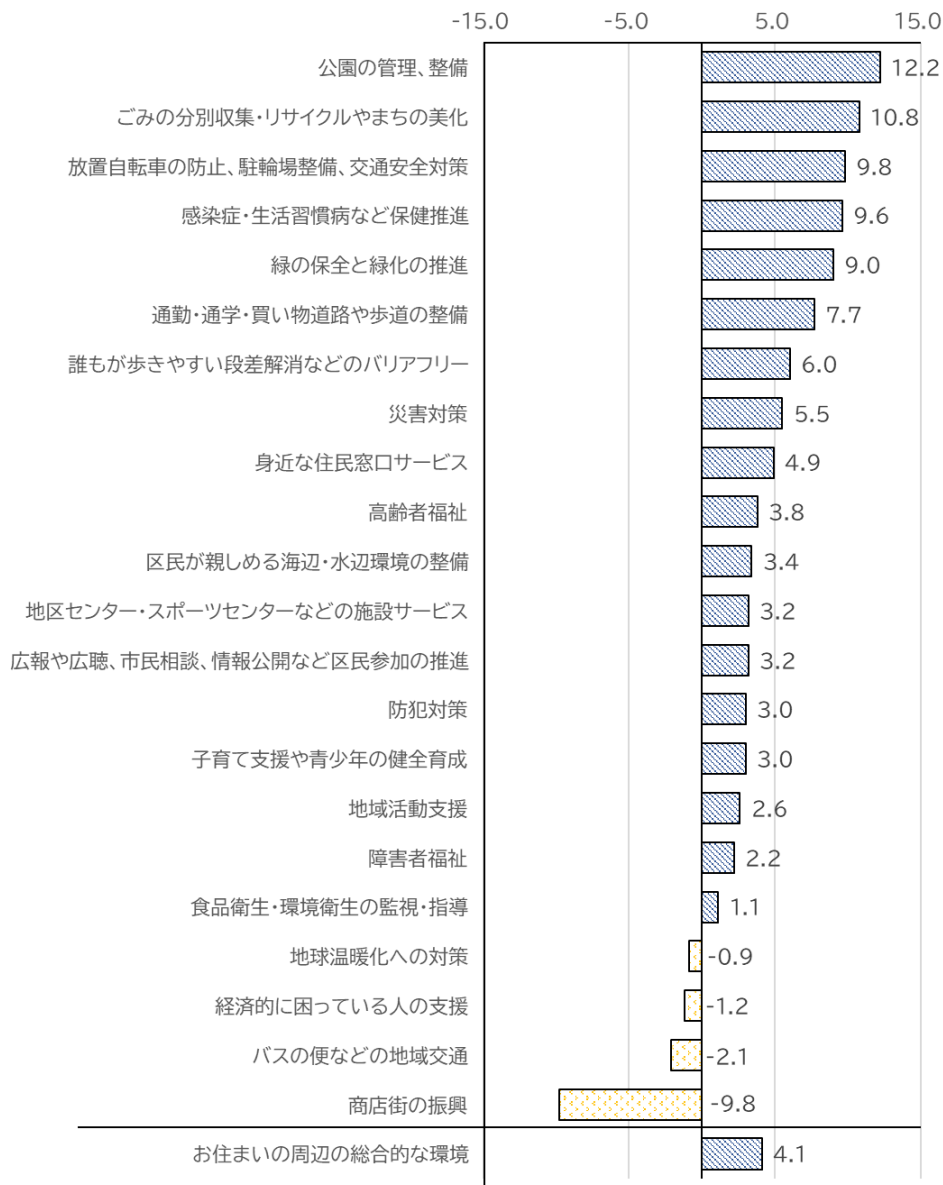
※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198
商店街の振興	16.1	-1.7	4.3	-5.6	-0.7	2.7	-0.1	-0.8	-2.6	4.6
バスの便などの地域交通	11.6	-4.9	-1.0	-3.5	3.5	2.9	0.3	-4.5	8.0	-4.0
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	4.2	-0.9	-0.7	-0.2	0.0	0.1	0.3	1.9	0.5	-1.7
緑の保全と緑化の推進	4.0	-0.7	0.4	-0.8	-1.3	1.8	0.5	0.1	-0.6	1.1
防犯対策	3.9	-0.6	-2.1	-0.7	0.0	-2.5	0.9	0.2	0.8	-1.9
公園の管理、整備	3.8	0.6	1.5	-1.4	1.2	-0.9	1.4	-0.7	-1.8	-1.3
地球温暖化への対策	3.8	1.8	-2.0	0.2	-1.9	-0.9	-0.1	1.3	1.6	1.3
経済的に困っている人の支援	3.8	2.9	-0.3	-3.0	-0.3	-3.8	0.3	2.3	0.3	-0.8
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	3.6	2.0	-2.7	-1.2	0.3	-0.7	-0.6	2.5	-0.2	-0.1
身近な住民窓口サービス	3.4	-3.4	-1.6	-3.4	-0.7	-2.0	-1.2	8.3	0.0	-0.9
高齢者福祉	3.2	2.4	2.1	-0.8	-0.9	-1.8	0.1	1.9	-0.5	-2.2
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	2.6	0.7	0.1	-1.8	-0.7	0.3	1.5	-0.6	0.8	-0.6
子育て支援や青少年の健全育成	2.2	0.0	3.1	-2.2	-0.3	-0.8	0.0	1.9	-1.5	-0.7
障害者福祉	2.2	0.0	-0.4	-1.4	0.1	-0.8	-0.3	2.9	-0.8	-1.2
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	2.1	-2.1	1.4	-0.5	0.6	-0.7	0.5	-0.1	-0.1	-1.1
災害対策	1.9	0.3	-0.1	0.5	-1.5	-0.5	0.7	1.7	-0.5	-0.9
感染症・生活習慣病など保健推進	1.9	1.4	-1.0	-1.9	-1.1	-0.5	0.0	0.1	0.8	1.6
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	1.9	2.5	-0.1	-1.1	-1.1	-0.5	1.1	1.2	-0.5	-0.9
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.8	0.4	0.0	-1.0	1.7	-1.8	0.1	-0.8	0.2	-1.3
食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.4	-1.4	-0.5	0.2	-0.6	0.0	1.6	0.6	-0.7	-0.4
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1.3	3.1	-0.4	-1.3	-0.1	1.6	0.9	-0.8	0.1	-1.3
地域活動支援	0.9	0.2	-0.9	-0.9	0.3	-0.9	0.6	1.1	-0.9	-0.4
お住まいの周辺の総合的な環境	4.1	1.5	3.0	1.5	-0.6	-2.7	0.0	-1.0	1.3	-1.6

■ 生活環境(以前との比較) 加重平均

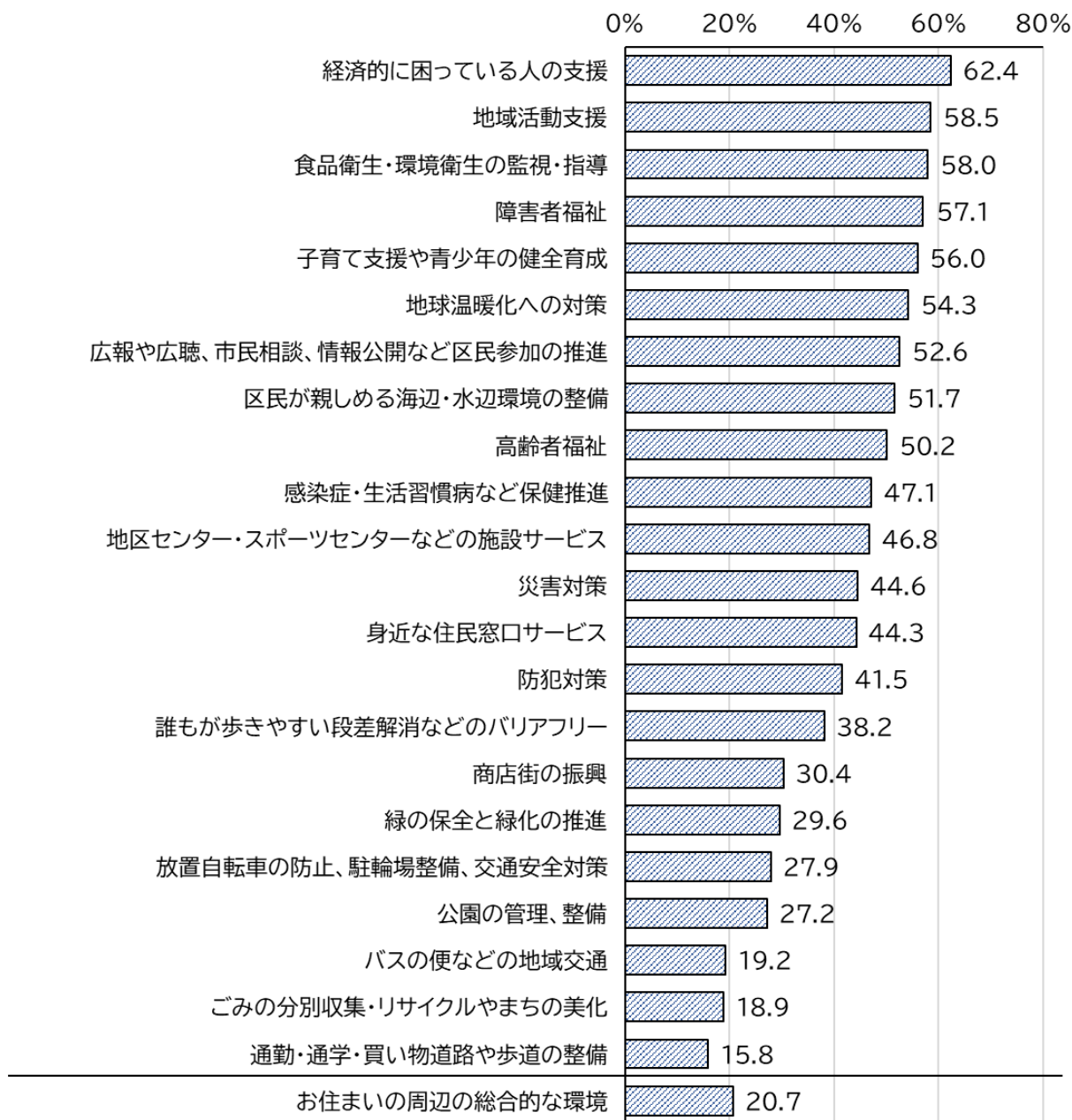
※回答に、「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「よくなった」か「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

- ・ 上位5項目は、「公園の管理、整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「感染症・生活習慣病などの保健推進」、「緑の保全と緑化の推進」である。



■ 生活環境(以前との比較)「わからない」の回答割合

- ・「経済的に困っている人の支援」、「地域活動支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「障害者福祉」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「地球温暖化への対策」、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」、「高齢者福祉」は半数以上の人が「わからない」と回答している。

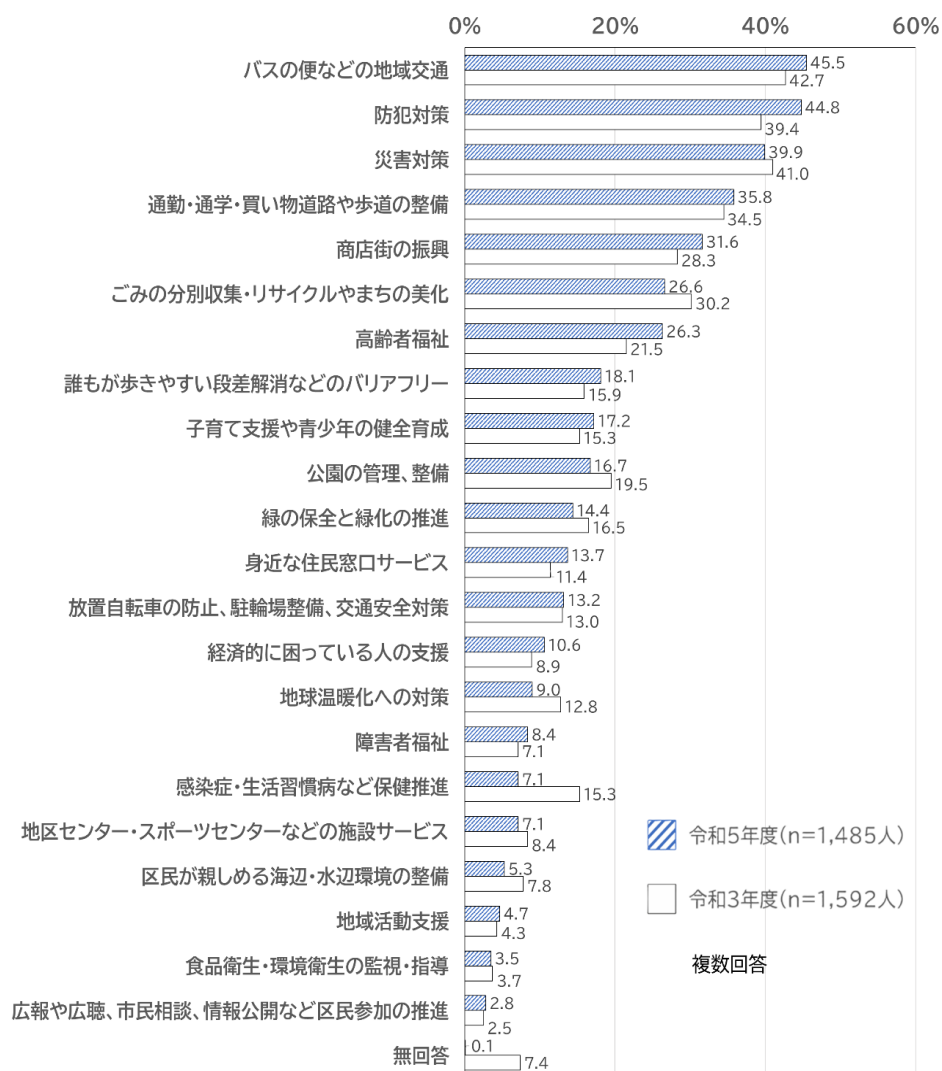


(3) 生活環境(重要度)

問 14-1 ①~②の質問項目のうち、お住まいの周辺的环境にとって、どれが特に重要だと思いますか。(該当する項目の番号を5つまで記入)

重要度が高い上位5項目は、「バスの便などの地域交通」、「防犯対策」、「災害対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「商店街の振興」

- ・ 「バスの便などの地域交通」が 45.5%と最も多く、次いで「防犯対策」(44.8%)、「災害対策」(39.9%)の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「防犯対策」は 5.4 ポイント、「高齢者福祉」は 4.8 ポイント高くなっており、「感染症・生活習慣病など保健推進」は 8.2 ポイント低くなっている。



■ 性年代別 生活環境(重要度)

- ・ 性年代別では、「バスの便などの地域交通」は、男性 50 代以下、女性 40 代以下で全体より高い。
- ・ 「防犯対策」は、「男性 50 代」、「女性 40 代～60 代」で全体より高い。
- ・ 「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
バスの便などの地域交通	45.5	3.3	10.3	9.4	7.0	-6.1	3.2	-16.8	13.6	10.6	6.0	-5.1	-2.5	-2.0	-3.9
防犯対策	44.8	-19.2	-4.4	1.4	8.6	3.8	3.9	-6.5	0.7	-3.9	5.2	3.8	10.0	-7.4	-10.7
災害対策	39.9	-9.7	-9.1	9.6	7.6	1.4	-2.1	-16.5	10.1	-6.6	0.9	3.9	12.7	-2.5	-9.8
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	35.8	17.7	14.2	21.3	-1.1	0.9	-4.4	-8.1	11.9	11.2	8.8	0.5	-3.9	-5.9	-20.4
商店街の振興	31.6	5.6	1.1	5.8	10.8	5.1	0.5	-6.1	-2.1	-7.4	-0.1	-4.2	6.9	-3.0	-4.8
ごみの分別収集・リサイクルや まちの美化	26.6	-8.0	0.3	-6.8	-1.2	-0.9	2.2	6.4	-10.7	0.7	-2.0	2.9	3.8	2.7	0.2
高齢者福祉	26.3	-17.0	-22.5	-13.1	5.9	9.5	9.6	9.9	-19.5	-9.6	-5.5	-2.3	6.3	1.6	7.0
誰もが歩きやすい段差解消などの バリアフリー	18.1	9.8	-12.3	-10.4	-8.8	1.2	1.8	5.3	0.1	-7.5	-3.5	-1.7	2.6	11.2	7.1
子育て支援や青少年の健全育成	17.2	15.4	9.7	22.4	-4.5	0.2	-5.0	-11.9	-1.3	34.3	9.0	-2.8	-8.3	-5.0	-12.3
公園の管理、整備	16.7	11.2	10.2	5.1	-3.1	0.7	1.2	-7.1	-3.1	19.7	-1.3	-8.5	1.1	3.7	-5.3
緑の保全と緑化の推進	14.4	-2.8	8.7	2.1	-0.8	0.3	-0.3	4.7	-9.9	-6.8	-2.9	2.7	1.2	-0.8	1.9
身近な住民窓口サービス	13.7	-4.4	-9.9	-2.7	11.7	2.8	-2.8	0.1	-4.6	-1.6	-0.6	-0.7	1.1	-2.1	0.9
放置自転車の防止、駐輪場整備、 交通安全対策	13.2	3.1	4.1	8.8	-2.2	-0.4	2.8	0.6	-6.4	-1.1	3.7	-1.6	0.9	-3.7	-6.7
経済的に困っている人の支援	10.6	15.0	0.9	-0.7	2.1	-4.2	0.3	-1.0	-3.8	1.5	3.2	4.5	-1.7	-4.5	-3.3
地球温暖化への対策	9.0	-9.0	-3.2	-3.5	-1.4	2.0	0.0	1.6	0.1	-7.5	-3.6	-1.5	3.6	7.3	1.6
障害者福祉	8.4	-6.1	-4.6	-5.1	9.4	-0.1	1.9	2.2	-3.9	-3.9	1.6	-0.2	4.2	-3.0	-3.5
感染症・生活習慣病など保健推進	7.1	-2.4	-5.2	-1.6	1.4	2.1	0.0	3.5	-0.3	-4.1	-5.6	-2.3	1.8	4.5	1.8
地区センター・スポーツセンターなどの 施設サービス	7.1	-0.1	-5.2	5.0	3.1	2.1	-2.0	-5.0	6.5	2.0	-0.2	-1.6	-0.4	3.1	-3.0
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.3	4.0	0.5	1.3	3.2	1.1	2.4	1.1	-3.0	-2.3	0.1	-1.2	-0.9	-2.6	-2.9
地域活動支援	4.7	-2.4	1.1	-1.4	2.1	-1.0	0.4	3.8	-2.4	-0.2	-0.9	-0.6	0.5	0.7	-1.4
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.5	3.5	-1.6	2.0	-0.1	-0.7	-2.2	5.0	1.0	-2.0	-1.2	-0.1	-2.0	0.6	0.6
広報や広聴、市民相談、情報公開など 区民参加の推進	2.8	-2.8	-2.8	-1.7	-1.1	1.8	3.0	0.4	-0.5	-1.3	0.3	0.6	0.2	-0.8	0.5

■ 地区別 生活環境(重要度)

- ・ 地区別では、「バスの便などの地域交通」は、「滝頭地区」、「岡村地区」、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「商店街の振興」は、「汐見台地区」、「杉田地区」、「洋光台地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

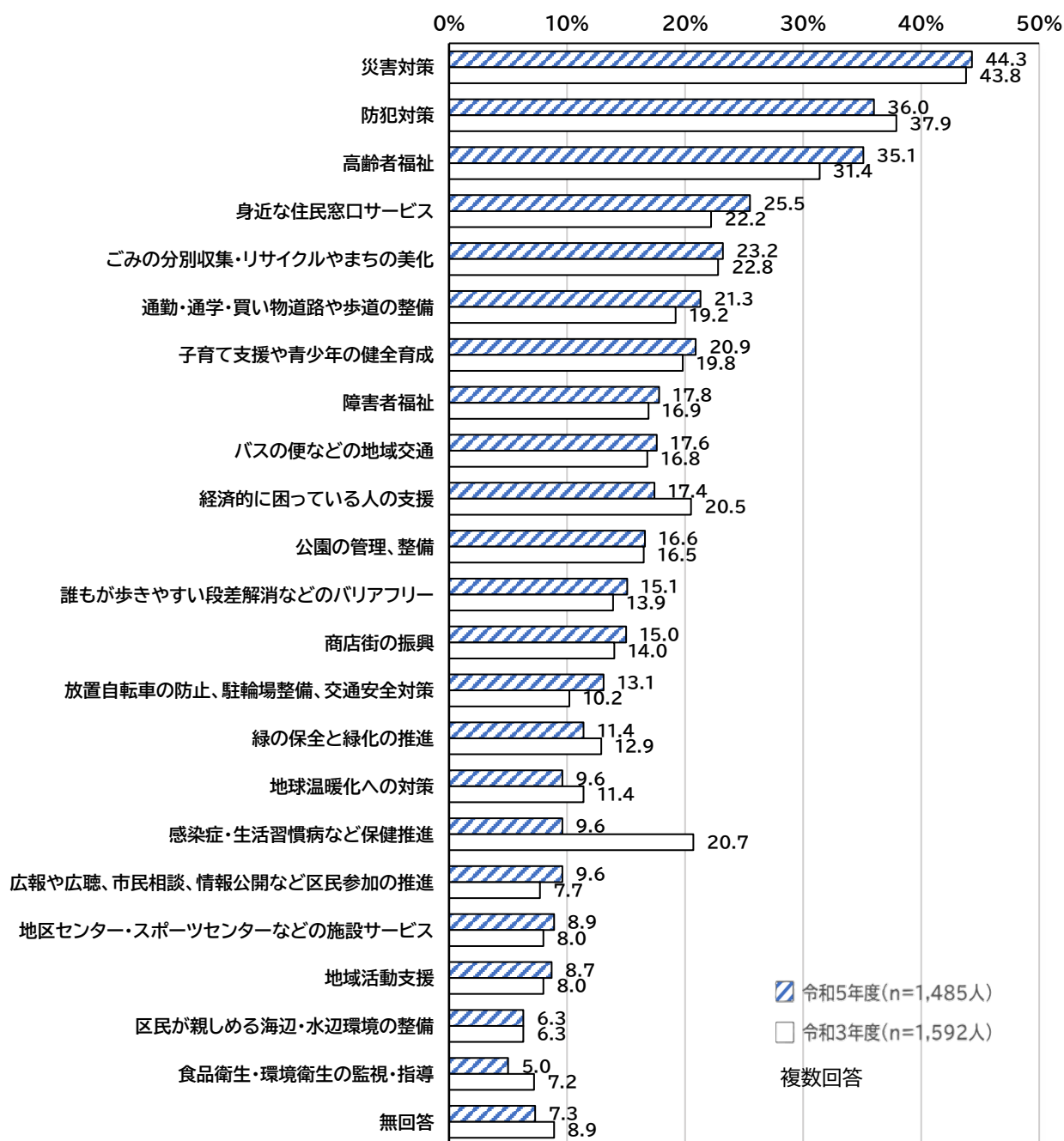
	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198	
バスの便などの地域交通	45.5	-6.2	8.9	4.1	-4.2	18.7	-2.3	-3.8	13.7	-5.2	
防犯対策	44.8	-8.2	-1.3	-7.5	-1.3	-9.0	5.3	4.7	0.1	6.7	
災害対策	39.9	-14.5	2.7	-5.8	4.0	0.2	2.0	1.9	-0.4	8.0	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	35.8	-9.7	3.6	2.6	-2.9	0.9	7.1	3.0	2.5	-7.0	
商店街の振興	31.6	-12.4	-1.2	-8.7	-0.4	3.5	-0.8	5.9	-1.6	10.6	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	26.6	-5.3	-2.5	1.8	-0.9	-7.6	4.1	0.1	3.3	0.9	
高齢者福祉	26.3	-4.6	-2.7	2.5	0.2	7.6	-1.9	-3.3	2.7	5.6	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	18.1	1.1	6.1	2.4	-1.2	-7.7	1.2	2.6	1.1	-4.7	
子育て支援や青少年の健全育成	17.2	2.0	4.3	0.0	-1.8	-5.3	1.3	-0.6	0.0	1.3	
公園の管理、整備	16.7	-3.2	4.7	-5.2	1.3	5.2	-2.7	3.4	-1.6	1.7	
緑の保全と緑化の推進	14.4	-2.0	-4.5	-4.5	4.7	9.0	0.7	-2.0	-2.0	1.0	
身近な住民窓口サービス	13.7	-10.1	-4.6	-4.5	3.6	-0.4	-1.1	3.4	1.5	3.8	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.2	4.7	-4.3	-1.8	-3.8	-4.4	2.1	6.8	-2.3	1.5	
経済的に困っている人の支援	10.6	3.0	3.3	0.2	-0.6	2.7	-1.0	-2.6	2.5	-3.2	
地球温暖化への対策	9.0	-2.3	0.7	-0.9	-0.9	-1.8	-0.4	-0.3	-0.2	4.6	
障害者福祉	8.4	3.0	-4.6	1.6	-1.5	0.6	-1.0	-0.4	1.4	3.5	
感染症・生活習慣病など保健推進	7.1	-4.9	0.9	0.2	3.7	-1.3	0.3	-1.0	-3.0	0.5	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	7.1	-4.9	0.9	0.2	2.2	1.6	-1.2	2.1	-1.7	-0.5	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.3	0.4	1.0	-1.2	2.9	2.0	0.0	-1.6	-0.5	-2.2	
地域活動支援	4.7	1.1	2.6	-0.5	-0.6	4.2	-0.4	-0.4	-1.1	0.0	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.5	-0.1	-1.6	0.6	-0.3	-3.4	3.7	-2.4	-2.0	1.7	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	2.8	1.6	-1.0	-0.4	0.3	0.1	-0.6	0.3	-0.8	1.2	

(4) 区役所が取り組む課題

問 14-2 ①~⑳の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。(該当する項目の番号を5つまで記入)(複数回答)

重要度が高いとされる上位5項目は、「災害対策」、「防犯対策」、「高齢者福祉」、「身近な住民窓口サービス」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」

- ・ 「災害対策」が 44.3%と最も多く、次いで「防犯対策」(36.0%)、「高齢者福祉」(35.1%)の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「感染症・生活習慣病など保健推進」は 11.1 ポイント減少し、大きく順位が入れ替わっている。



性年代別 区役所が取り組む課題

- ・ 性年代別では、「災害対策」は、男性、女性ともに 60 代で全体より高い。
- ・ 「高齢者福祉」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より低い。
- ・ 「子育て支援や青少年の健全育成」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
災害対策	44.3	-7.1	-17.4	-1.4	4.9	14.4	-4.6	-9.2	5.7	-11.0	2.6	1.6	17.2	-5.5	-4.5
防犯対策	36.0	-3.4	-5.2	-0.8	14.8	6.2	0.5	-8.3	-6.5	4.9	6.3	2.4	2.5	-8.1	-11.6
高齢者福祉	35.1	-11.8	-23.6	-8.7	3.9	4.3	5.9	6.4	-19.2	-12.4	-8.2	3.9	10.1	-0.4	8.0
身近な住民窓口サービス	25.5	-2.2	-8.2	-5.7	3.3	0.2	4.6	-4.2	-9.6	-5.8	0.7	1.9	8.6	-1.0	-2.7
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	23.2	-4.6	-4.0	-0.1	3.1	2.5	3.7	3.4	-7.3	-9.6	-5.5	-2.7	9.4	2.7	-3.7
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	21.3	13.6	13.3	16.1	1.6	2.6	-7.2	0.0	3.7	7.5	3.3	-2.1	-9.4	-2.3	7.5
子育て支援や青少年の健全育成	20.9	7.0	9.9	14.3	-6.5	-3.5	-4.2	-12.4	10.9	27.6	4.5	0.3	-1.6	0.9	-12.8
障害者福祉	17.8	-1.5	-6.3	-3.5	8.5	-3.1	-1.8	-9.3	0.4	-5.7	4.5	3.4	8.9	1.2	-7.2
バスの便などの地域交通	17.6	8.0	11.2	8.8	9.5	-4.8	-7.3	-1.6	11.9	8.2	-0.7	-1.2	-10.2	-2.6	-1.3
経済的に困っている人の支援	17.4	15.2	-0.1	2.4	2.1	-4.6	-0.7	-8.9	5.3	-0.7	2.6	9.3	1.1	-3.8	-6.0
公園の管理、整備	16.6	-2.6	4.6	-5.6	3.7	0.8	11.6	1.5	-5.2	4.6	-5.1	-6.3	-1.0	0.4	-2.0
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	15.1	10.5	-9.3	-4.1	-6.6	0.5	-0.4	1.9	3.1	-1.5	-1.3	0.0	0.5	1.9	9.3
商店街の振興	15.0	-1.0	-1.5	5.9	1.3	3.3	1.0	-3.3	5.5	1.7	1.9	-0.6	-6.9	-3.4	-4.4
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.1	5.5	8.1	11.1	3.0	-0.3	-1.6	-1.4	-6.3	2.1	0.0	-4.9	-1.2	0.5	-6.6
緑の保全と緑化の推進	11.4	-4.4	2.1	-4.8	-3.8	2.4	3.3	3.5	-4.6	0.7	-4.5	0.2	3.4	4.2	-1.6
地球温暖化への対策	9.6	-0.3	-1.9	-5.2	-0.3	0.5	1.3	3.2	-2.8	-3.5	-4.2	-0.7	6.0	1.3	0.2
感染症・生活習慣病など保健推進	9.6	-0.3	3.9	-1.9	1.4	-2.3	-3.2	3.5	-2.8	-3.1	-4.2	-2.8	5.2	0.6	4.2
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	9.6	-4.9	-3.8	0.3	-3.7	-0.4	4.5	-3.2	-0.5	-3.5	0.4	2.7	0.0	4.7	-2.3
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.9	-4.2	-5.1	2.1	3.8	3.0	2.0	-0.4	-4.4	7.8	-2.0	0.0	2.2	-0.7	-6.5
地域活動支援	8.7	-4.0	-2.9	3.4	-2.8	0.5	8.6	-4.4	7.2	-1.1	-3.3	-1.2	-0.6	0.8	-2.2
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	6.3	-1.6	3.3	3.6	1.3	2.0	4.0	-1.0	-1.8	2.8	-1.7	-4.2	-1.9	-0.2	-3.9
食品衛生・環境衛生の監視・指導	5.0	-0.3	-5.0	-1.7	-0.8	0.5	-1.2	5.6	4.1	-5.0	-1.9	-1.6	0.2	0.4	3.1

■ 地区別 区役所が取り組む課題

- ・ 地区別では、「災害対策」は、「根岸地区」、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「高齢者福祉」は、「汐見台地区」、「洋光台地区」で全体より高い。
- ・ 「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、「滝頭地区」、「杉田地区」で全体より高く、「洋光台地区」で全体より低い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高く、「根岸地区」で全体より低い。
- ・ 「経済的に困っている人の支援」は、「根岸地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台
n=	1,485	90	113	124	259	69	269	196	148	198
災害対策	44.3	6.0	1.1	-3.7	0.4	6.7	-0.9	-0.1	3.3	-1.1
防犯対策	36.0	4.4	0.7	-6.6	-2.0	0.6	-1.0	1.4	9.0	3.3
高齢者福祉	35.1	5.8	2.5	1.6	-1.9	7.3	-2.0	2.5	3.6	6.7
身近な住民窓口サービス	25.5	6.4	-11.1	-4.3	0.6	-0.7	2.6	7.4	1.7	1.5
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	23.2	2.4	7.8	-5.5	-0.4	-4.4	6.2	4.3	2.3	-0.5
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	21.3	-2.4	7.9	-1.9	-0.1	1.9	1.0	6.3	-0.4	-8.2
子育て支援や青少年の健全育成	20.9	5.8	1.2	0.1	-3.1	-2.1	-0.1	1.5	1.4	0.8
障害者福祉	17.8	4.6	2.8	-0.7	-4.5	2.7	-0.9	-1.8	2.1	8.2
バスの便などの地域交通	17.6	-6.3	-0.6	0.3	0.0	7.2	-1.8	-1.1	8.3	-0.7
経済的に困っている人の支援	17.4	9.4	3.9	1.2	-0.3	-5.7	0.5	2.0	2.4	-0.1
公園の管理、整備	16.6	0.1	0.2	2.8	2.3	2.2	-1.4	0.7	1.0	3.5
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	15.1	-1.7	3.6	1.9	-1.9	2.4	-1.6	5.4	-0.1	2.4
商店街の振興	15.0	-1.6	2.5	-5.2	1.3	-0.4	4.1	0.9	1.4	0.3
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.1	5.9	1.2	-0.9	-3.7	-7.2	2.2	2.8	-3.5	2.7
緑の保全と緑化の推進	11.4	4.2	1.0	-0.9	-0.6	1.6	0.9	-1.7	-0.6	0.2
地球温暖化への対策	9.6	-3.8	3.2	1.1	-0.5	0.7	0.3	0.8	1.4	2.2
感染症・生活習慣病など保健推進	9.6	-1.8	1.9	-0.7	2.4	-3.8	0.8	1.1	2.2	1.5
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	9.6	2.6	2.8	-4.8	1.6	-2.4	0.4	0.1	2.2	0.5
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.9	-3.3	0.8	-2.4	2.7	1.2	0.4	2.3	2.1	2.7
地域活動支援	8.7	-1.8	4.8	2.0	1.9	0.2	-0.3	2.4	0.3	2.4
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	6.3	2.7	3.5	-0.6	0.7	1.0	0.9	-3.1	-0.8	-1.1
食品衛生・環境衛生の監視・指導	5.0	-2.7	2.2	-0.9	-1.0	-2.0	0.7	-0.8	1.9	4.2

(5) 生活環境の満足度×以前との比較

22 の生活環境評価項目及び「お住まいの周辺の総合的な環境」について、満足度と以前との比較をそれぞれ得点化し(注)、比較を行った。

注) 満足度については、回答に「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を、以前との比較については、回答に「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加点し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」か、「よくなった」か「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

また、22 の生活環境評価項目を次の7分野に区分し、分野ごとのまとめりでも評価結果を考察した。

◆ 道路・交通 (ハード整備)

「バスの便などの地域交通」

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」

「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」

□ 商店街の振興

● 環境配慮 (緑化・水辺環境・ごみ分別)

「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

「公園の管理、整備」

「緑の保全と緑化の推進」

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」

「地球温暖化への対策」

▲ 安全 (防災・防犯)

「災害対策」

「防犯対策」

△ 保健・衛生

「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

「感染症・生活習慣病など保健推進」

◇ 福祉

「子育て支援や青少年の健全育成」

「高齢者福祉」

「障害者福祉」

「経済的に困っている人の支援」

「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」

■ 区民サービス

「地域活動支援」

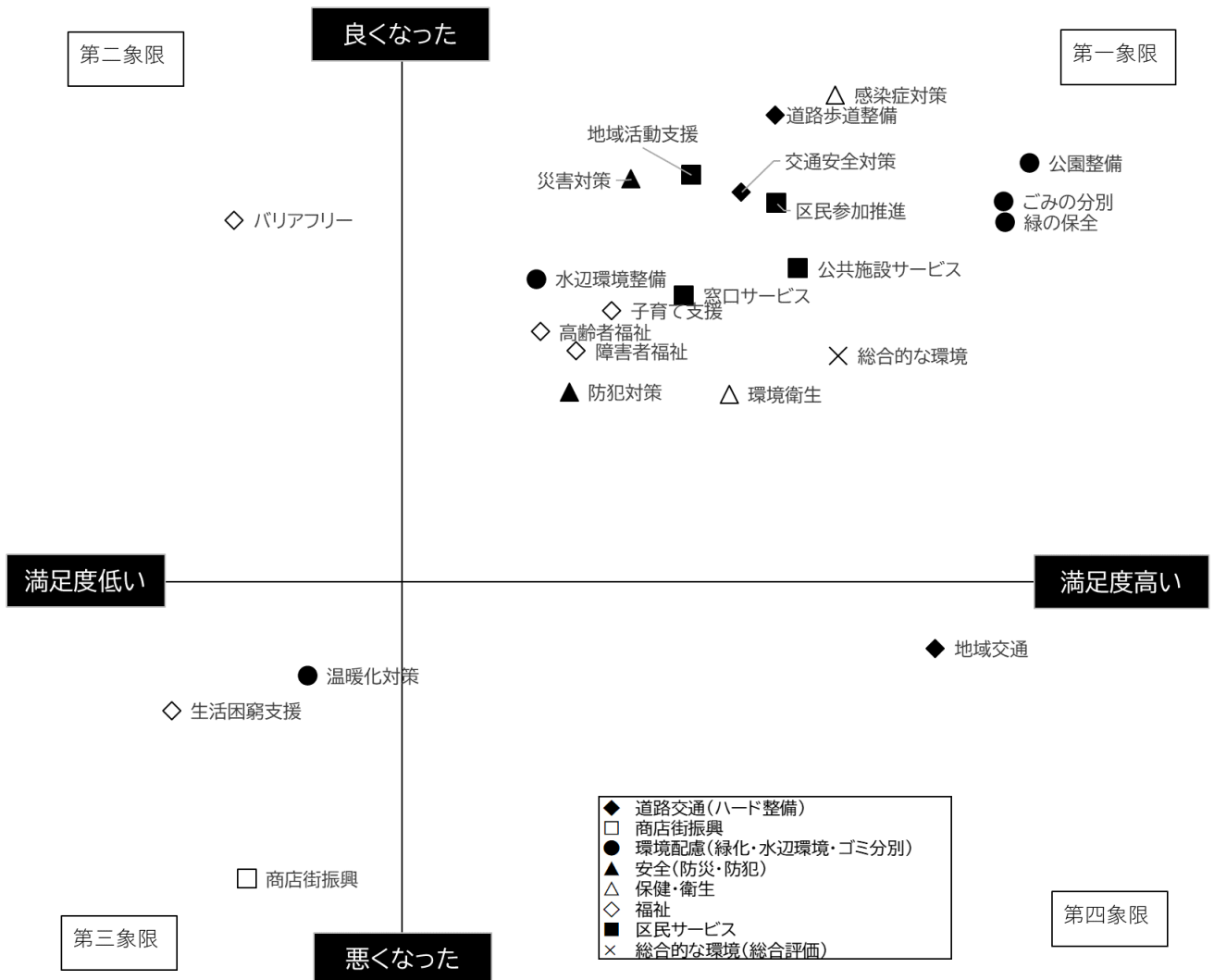
「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」

「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

「身近な住民窓口サービス」

× 総合的な環境 (総合評価)

「お住まいの周辺の総合的な環境」



上図に示されるように、第一象限から第四象限までに区分される。

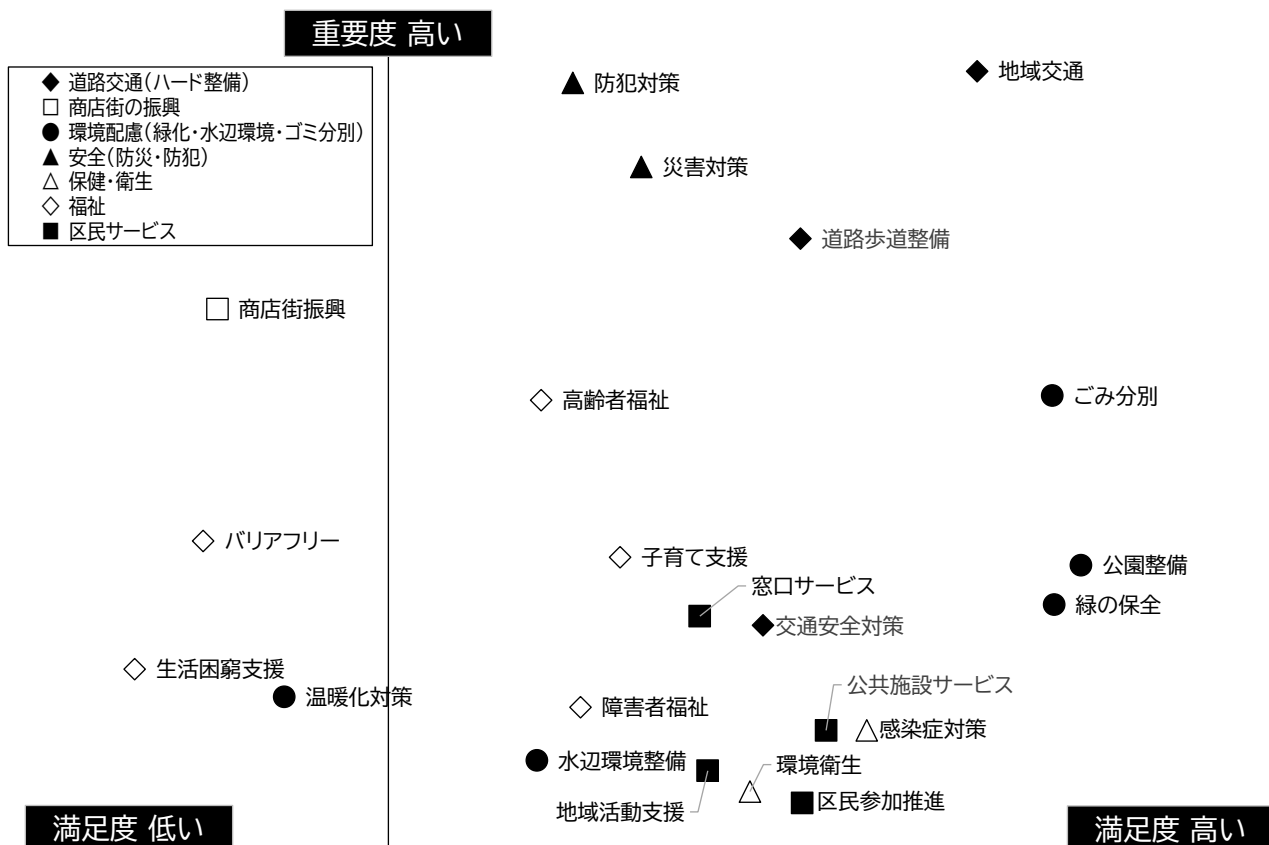
- 多くの項目が第一象限(満足度が高く、以前に比べて良くなった)に位置しており、「お住まいの周辺の総合的な環境」も第一象限に位置している。特に評価が高かったのは、「公園の管理、整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」である。
- 第二象限(以前に比べると良くなってはいるが、満足度はまだ低い)に属しているのは、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」である。
- 第三象限(満足度が低く、以前に比べて悪くなった)に属する項目は、「経済的に困っている人の支援」、「地球温暖化への対策」、「商店街の振興」である。
- 第四象限(満足度は高いが、以前に比べて悪くなった)に属する項目は、「バスの便などの地域交通」である。
- 分野別では、「安全(防災・防犯)」、「区民サービス」、「保健・衛生」において、すべての項目が第一象限に位置しており、評価が高くなっている。

(6) 生活環境の満足度 × 重要度

22 の生活環境評価項目について、得点化した満足度と、重要度をプロットした。

注) 満足度については、回答に「満足」2 点、「やや満足」1 点、「やや不満」-1 点、「不満」-2 点を加算し、加重平均した。「わからない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。) 重要度については、回答結果から無回答を除く構成比をプロットした。

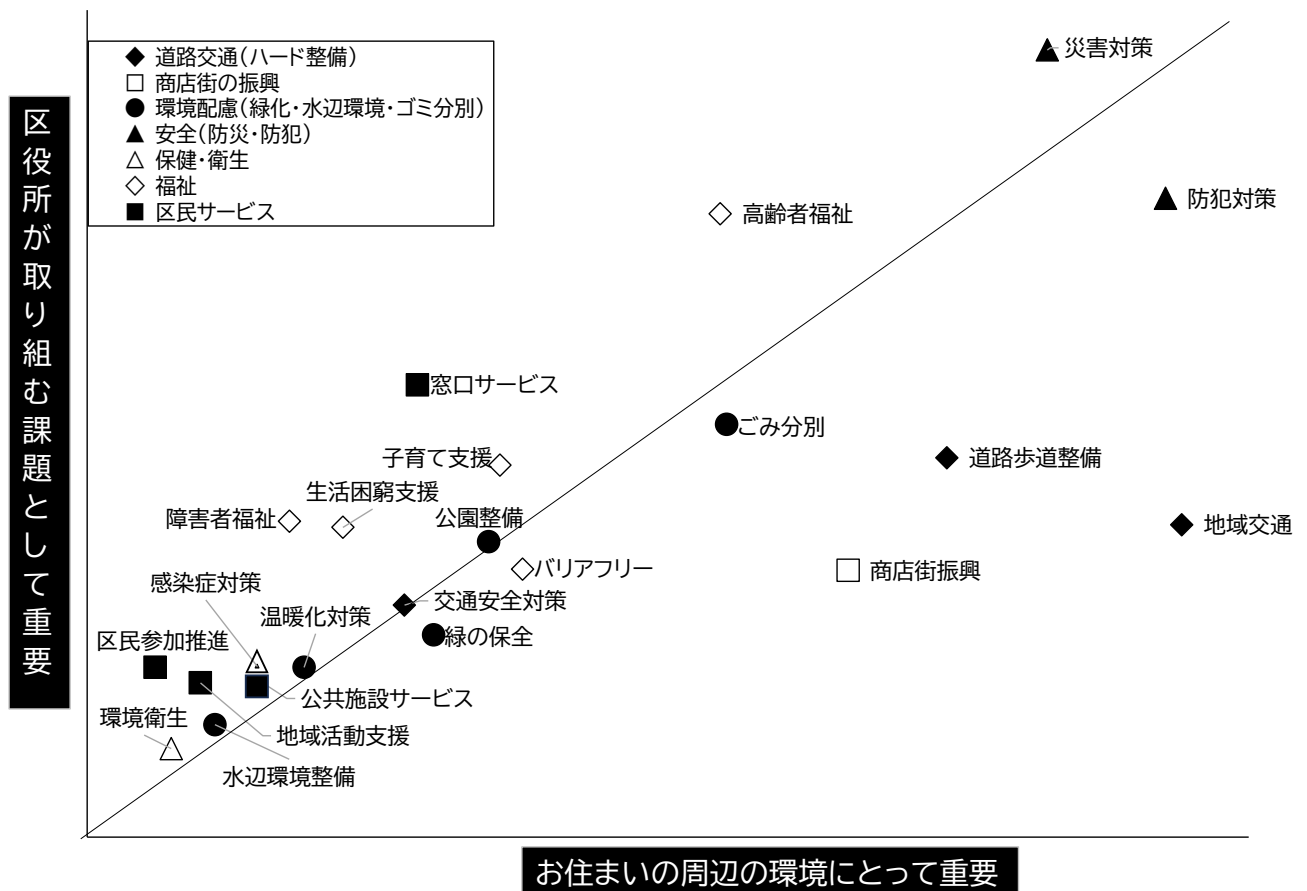
22 の生活環境評価項目を7分野(P81 参照)に区分し、分野ごとのまとめりでも評価結果を考察した。



- ・ 重要度、満足度ともに高い項目は、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」である。
- ・ 重要度は高いが、満足度が低い項目としては、「商店街の振興」が顕著である。
- ・ 分野別では、「道路・交通」は、重要度、満足度ともに高い傾向を示している。
- ・ 「安全」は、重要度は高いが満足度が中位に位置している。

(7) 生活環境の重要度×区役所への期待

22 の生活環境評価項目について、住まいの周辺の環境にとっての重要度と、区役所が取り組む課題としての重要度をプロットした。



- ・ お住まいの周辺の環境にとっての重要度が高く、かつ、区役所が取り組む課題としても重要度が高かったのは「災害対策」、「防犯対策」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」である。
- ・ 「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「商店街の振興」などは住まいの周辺の環境にとっての重要度は高いが、区役所が取り組む課題としては重要度は低い。

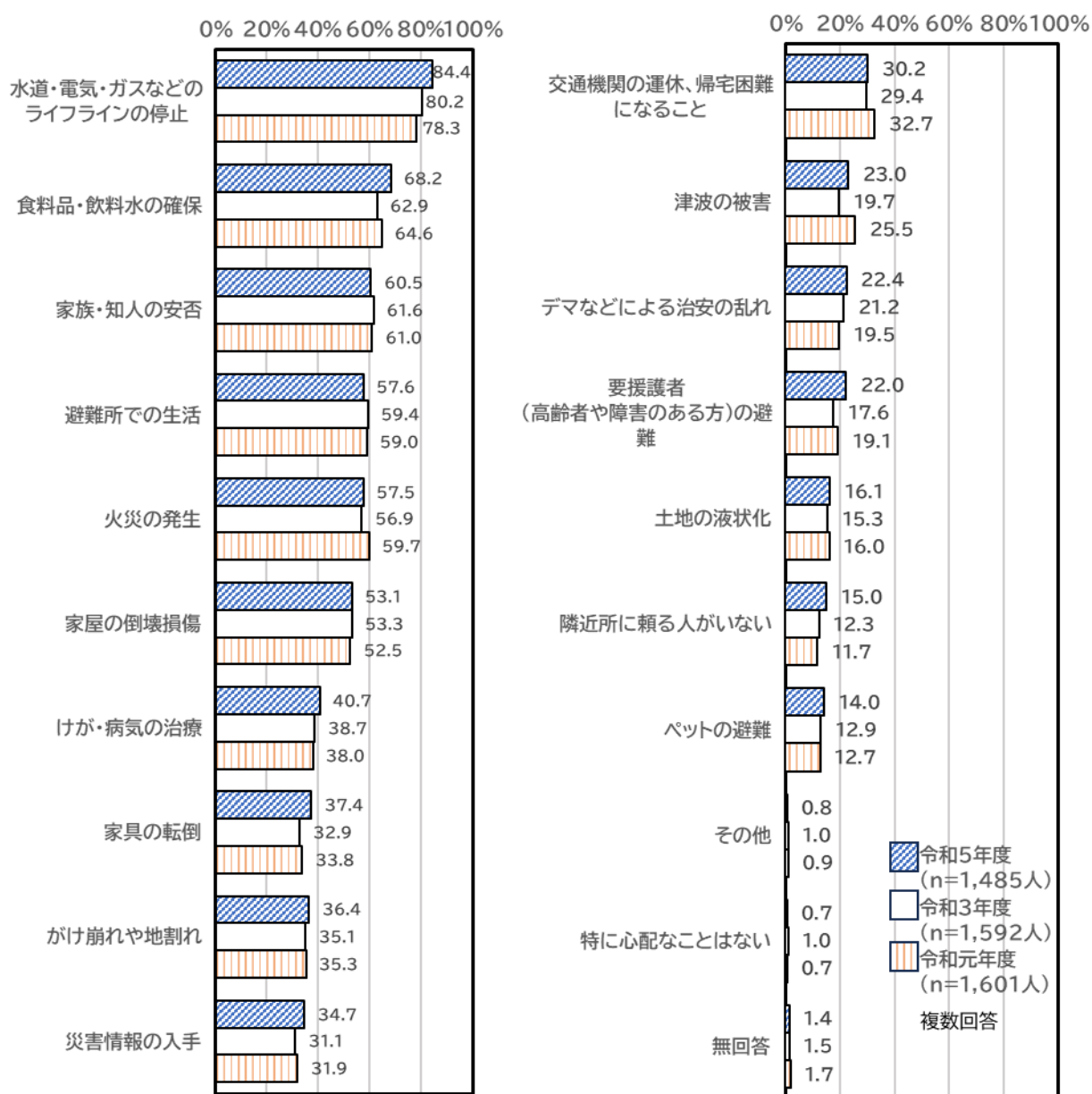
4. 災害対策について

(1) 大地震時に心配なこと

問 15 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことは何ですか。(複数回答)。

「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」が84.4%で最も多い

- ・ 「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」が84.4%と最も多く、次いで「食料品・飲料水の確保」(68.2%)、「家族・知人の安否」(60.5%)、「避難所での生活」(57.6%)、「火災の発生」(57.5%)の順となっている。
- ・ 一方、「特に心配なことはない」は0.7%であり、ほとんどの方は大地震が起きたときに何かしらの心配がある。
- ・ 経年で比較すると、「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」、「けが・病気の治療」は増加傾向となっている。



■ 性年代別 大地震時に心配なこと（複数回答）

- ・ 性年代別では、「家族・知人の安否」は、女性 60 代以下で全体より高い。
- ・ 「がけ崩れや地割れ」、「津波の被害」は、男性、女性ともに 60 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

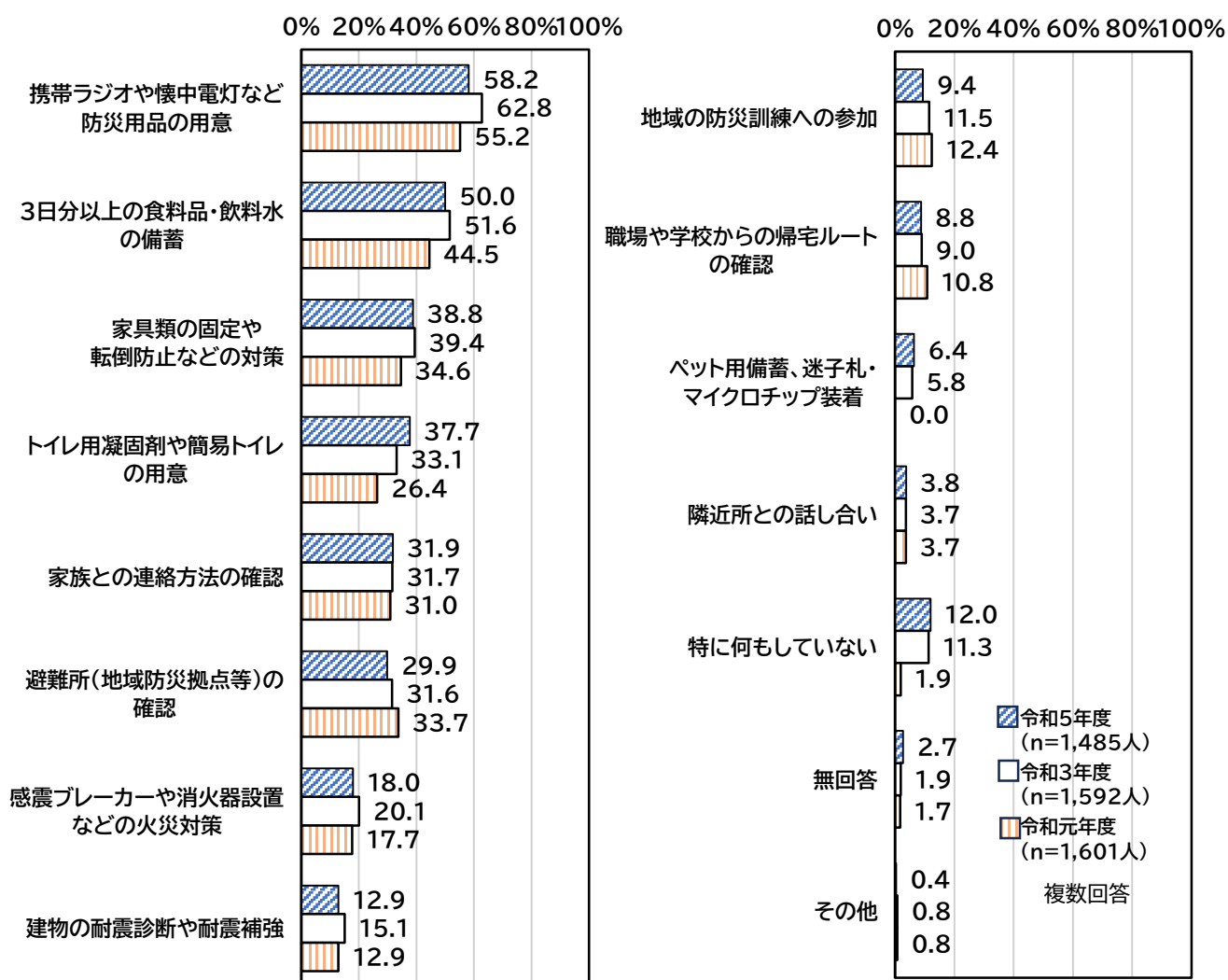
	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
水道・電気・ガスなどのライフラインの停止	84.4	-19.3	-9.4	-4.2	5.4	6.4	0.9	2.8	-9.4	-2.6	0.2	2.6	3.0	1.3	-0.7
食料品・飲料水の確保	68.2	-3.1	-16.3	6.5	12.3	-4.9	3.0	5.2	-4.6	7.6	1.0	6.5	4.4	-15.1	-6.4
家族・知人の安否	60.5	-2.4	1.0	4.3	3.1	-3.2	-5.4	-15.8	14.5	13.7	3.7	12.8	3.4	-5.4	-14.2
避難所での生活	57.6	2.9	-11.4	3.9	-5.1	-7.1	-6.3	-7.6	6.0	19.7	0.1	6.1	12.8	-0.5	-1.5
火災の発生	57.5	0.6	-11.3	-3.7	4.4	5.8	6.6	5.3	-14.3	-1.4	-3.3	-7.5	7.7	-1.7	3.4
家屋の倒壊損傷	53.1	5.0	-5.0	6.2	5.4	6.5	3.3	-4.2	-14.5	-0.1	3.8	-7.2	5.4	-1.4	-6.8
けが・病気の治療	40.7	5.8	-6.1	1.1	3.4	1.5	9.3	5.0	-6.6	-4.3	-3.4	5.8	3.9	-9.4	4.0
家具の転倒	37.4	-4.8	3.0	2.2	2.4	1.1	6.2	6.2	-12.4	-1.0	-6.6	-5.2	2.6	-2.7	6.5
がけ崩れや地割れ	36.4	7.8	21.3	1.0	9.4	-1.5	-9.5	-13.0	9.1	3.0	5.9	6.8	3.6	-5.8	-14.4
災害情報の入手	34.7	2.5	-2.0	1.6	2.6	-13.6	3.1	-1.7	-0.6	9.2	-7.0	3.7	7.5	1.4	-3.0
交通機関の運休、帰宅困難になること	30.2	7.0	12.1	9.4	5.4	3.7	-12.3	-10.0	1.6	15.3	2.9	3.8	1.7	-9.1	-10.7
津波の被害	23.0	21.2	19.3	6.7	5.0	1.8	-10.8	-18.7	11.1	17.9	0.1	7.1	3.7	-12.1	-7.6
デマなどによる治安の乱れ	22.4	10.2	0.7	0.7	-2.9	0.5	-2.5	-1.1	-6.5	6.4	-4.7	0.9	-2.4	2.8	6.1
要援護者(高齢者や障害のある方)の避難	22.0	-5.7	-2.8	-7.7	1.7	-10.1	4.3	21.6	-12.9	-3.4	-6.6	-0.1	3.5	-0.9	17.0
土地の液状化	16.1	2.5	13.5	1.5	7.6	-3.3	-5.8	-12.9	4.4	12.7	3.9	4.4	-1.3	-3.9	-7.2
隣近所に頼る人がいない	15.0	-1.0	-1.5	-0.7	4.5	-1.2	-2.8	-4.4	10.0	3.2	-3.5	-0.6	-3.9	0.6	3.6
ペットの避難	14.0	2.3	-2.5	1.4	2.1	-0.2	-5.0	-11.9	6.5	-1.9	7.5	3.6	2.3	-2.4	-7.5
特に心配なことはない	0.7	-0.7	1.2	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7	1.6	-0.7	-0.7	0.7	-0.7	0.7	1.7
その他	0.8	1.5	1.1	-0.8	0.0	-0.8	-0.8	0.3	-0.8	3.7	-0.8	-0.8	-0.8	-0.1	0.8

(2) 大地震に対する準備

問 16 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(複数回答)

「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」が58.2%で最も多い

- ・ 「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」が58.2%と最も多く、次いで「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」(50.0%)、「家具類の固定や転倒防止などの対策」(38.8%)、「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」(37.7%)、「家族との連絡方法の確認」(31.9%)の順となっている。
- ・ 一方、「特に何もしていない」は12.0%となっている。
- ・ 経年で比較すると、「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」、「家族との連絡方法の確認」は増加傾向となっており、「避難所(地域防災拠点等)の確認」、「地域の防災訓練への参加」、「職場や学校からの帰宅ルートの確認」は減少傾向となっている。



■ 性年代別 大地震に対する準備（複数回答）

- ・ 性年代別では、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」は、男性50代以下、女性40代以下で全体より低く、男性60代以上、女性50代以上で全体より高い。
- ・ 「家具類の固定や転倒防止などの対策」は、男性女ともに50代以下で全体より低い。
- ・ 「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」は、女性より男性のほうが低い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

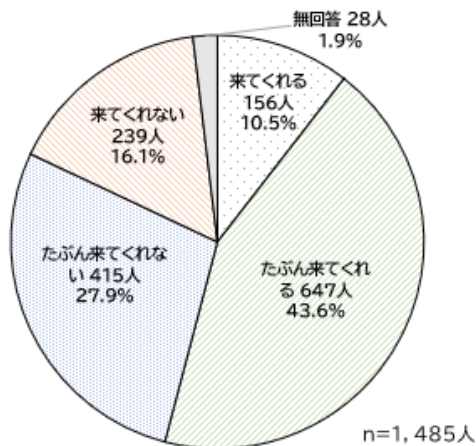
	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意	58.2	-21.0	-17.8	-13.1	-11.6	8.8	2.7	13.1	-17.3	-5.2	-5.9	3.4	10.7	10.5	2.8
3日以上以上の食料品・飲料水の備蓄	50.0	-3.5	-11.5	4.9	-10.2	11.5	1.9	2.1	6.8	-7.6	-2.3	-6.8	1.9	3.1	-7.7
家具類の固定や転倒防止などの対策	38.8	-17.9	-3.0	-3.0	-0.7	0.6	12.5	4.8	-0.2	-10.0	-2.6	-3.2	4.9	6.8	-3.8
トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意	37.7	-21.4	-12.7	-8.0	-7.2	-7.4	-3.9	-0.5	0.9	1.7	1.5	15.0	8.2	10.6	5.4
家族との連絡方法の確認	31.9	-11.0	-14.6	6.6	-2.2	3.0	-4.3	-3.2	-0.1	-6.1	1.2	5.1	2.2	4.2	1.4
避難所(地域防災拠点等)の確認	29.9	-2.0	-6.8	0.9	0.6	-0.5	1.5	-7.6	1.9	0.4	-3.7	2.3	7.1	3.4	-3.1
感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策	18.0	-4.0	-0.7	-10.3	-4.4	-7.9	9.6	15.0	-3.9	-3.9	-3.0	-2.2	2.0	5.8	9.6
建物の耐震診断や耐震補強	12.9	-5.9	3.3	2.5	-1.9	-1.0	-2.0	3.1	0.7	-2.3	-2.1	-1.3	7.1	2.1	-5.6
特に何もしていない	12.0	4.3	3.4	-2.1	9.2	-2.8	-1.7	7.1	10.7	10.7	1.1	-4.5	-6.8	-5.9	-1.4
地域の防災訓練への参加	9.4	-9.4	-7.5	-5.0	-6.0	1.1	9.8	3.5	-7.1	-9.4	-3.2	0.9	3.9	2.2	4.4
職場や学校からの帰宅ルートの確認	8.8	7.5	2.7	3.8	0.5	-1.5	-5.6	-5.6	7.1	4.8	3.1	2.8	-2.9	-4.0	-6.4
ペット用備蓄、迷子札・マイクロチップ装着	6.4	0.6	-0.6	0.2	2.1	-0.9	-1.3	-6.4	2.7	-1.9	2.1	5.9	-0.5	0.4	-3.1
隣近所との話し合い	3.8	-1.5	-1.9	-1.6	-2.1	-3.8	0.0	2.6	-1.5	-0.8	0.0	-1.7	0.6	2.3	3.5
その他	0.4	-0.4	1.5	-0.4	0.4	-0.4	0.2	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	1.0	0.4

(3) 災害時の避難支援

問 17 大震災が起こった際に、隣近所(自治会等を含む)の誰が自分の安否確認に来てくれると思いますか。

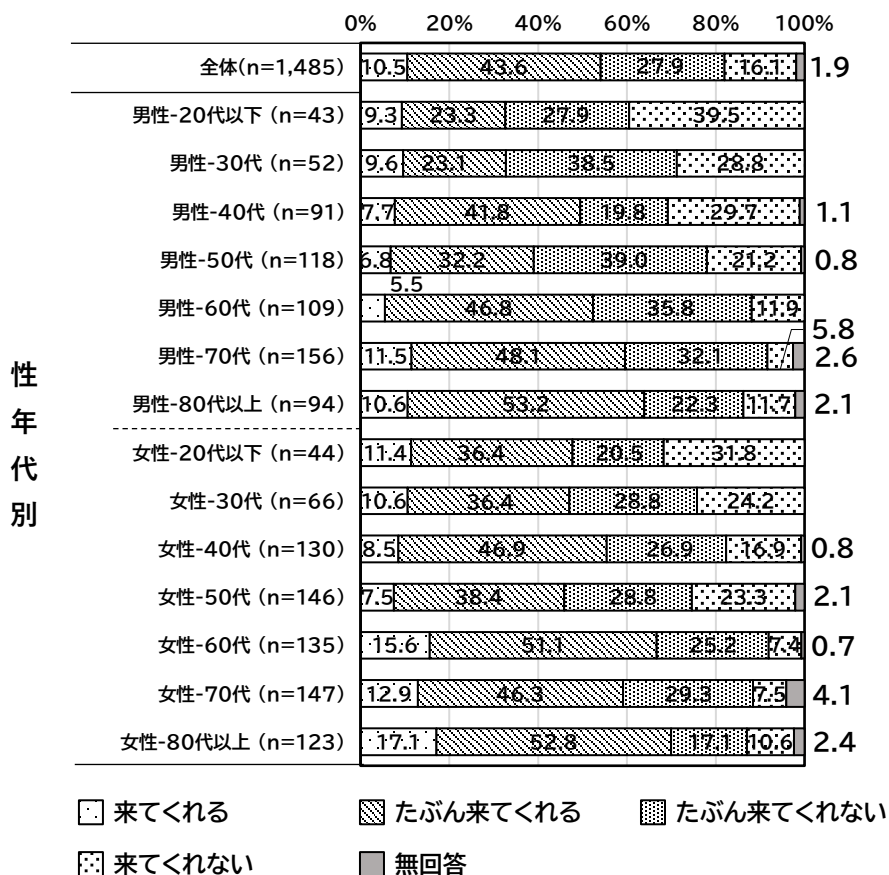
「たぶん来てくれる」が43.6%で最も多い

- 5割以上が「来てくれる」(10.5%)または「たぶん来てくれる」(43.6%)と回答している。



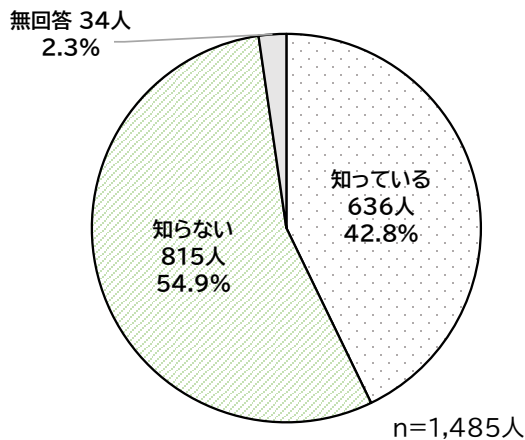
■ 性年代別 安否確認

- 性年代別では、「来てくれる」、「たぶん来てくれる」を合わせるとは、男性 60 代以上、「女性 40 代」、60 代以上で全体より高い。
- 「来てくれる」は男性 70 代以上、女性 30 代以下、女性 60 代以上で全体より高い。特に女性 60 代と 80 代以上は全体より 5 ポイント以上高い。
- 「来てくれない」は男性女性ともに 50 代以下で全体より高い。



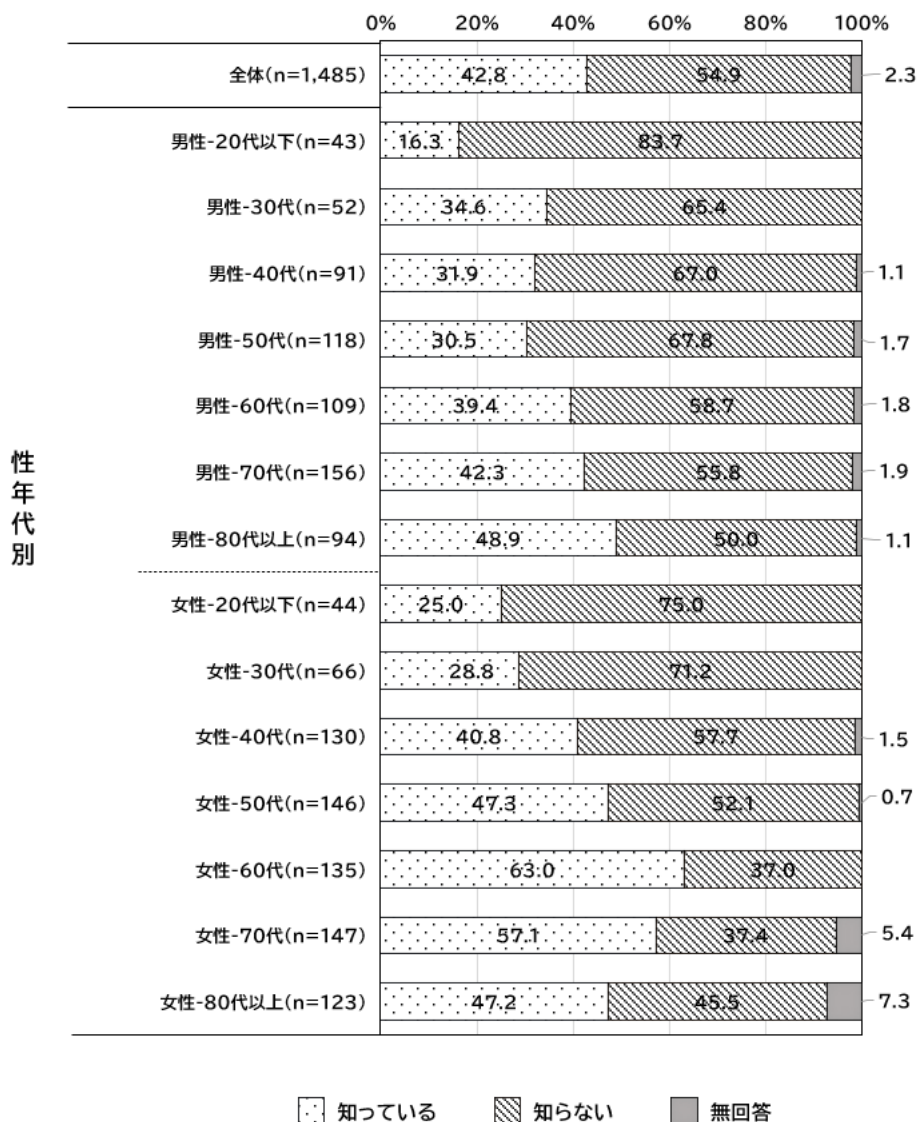
問 18 磯子区に配布している「災害時安否確認バンドナ」の使用方法を知っていますか。

「知らない」が54.9%で「知っている」42.8%より12.1ポイント高い



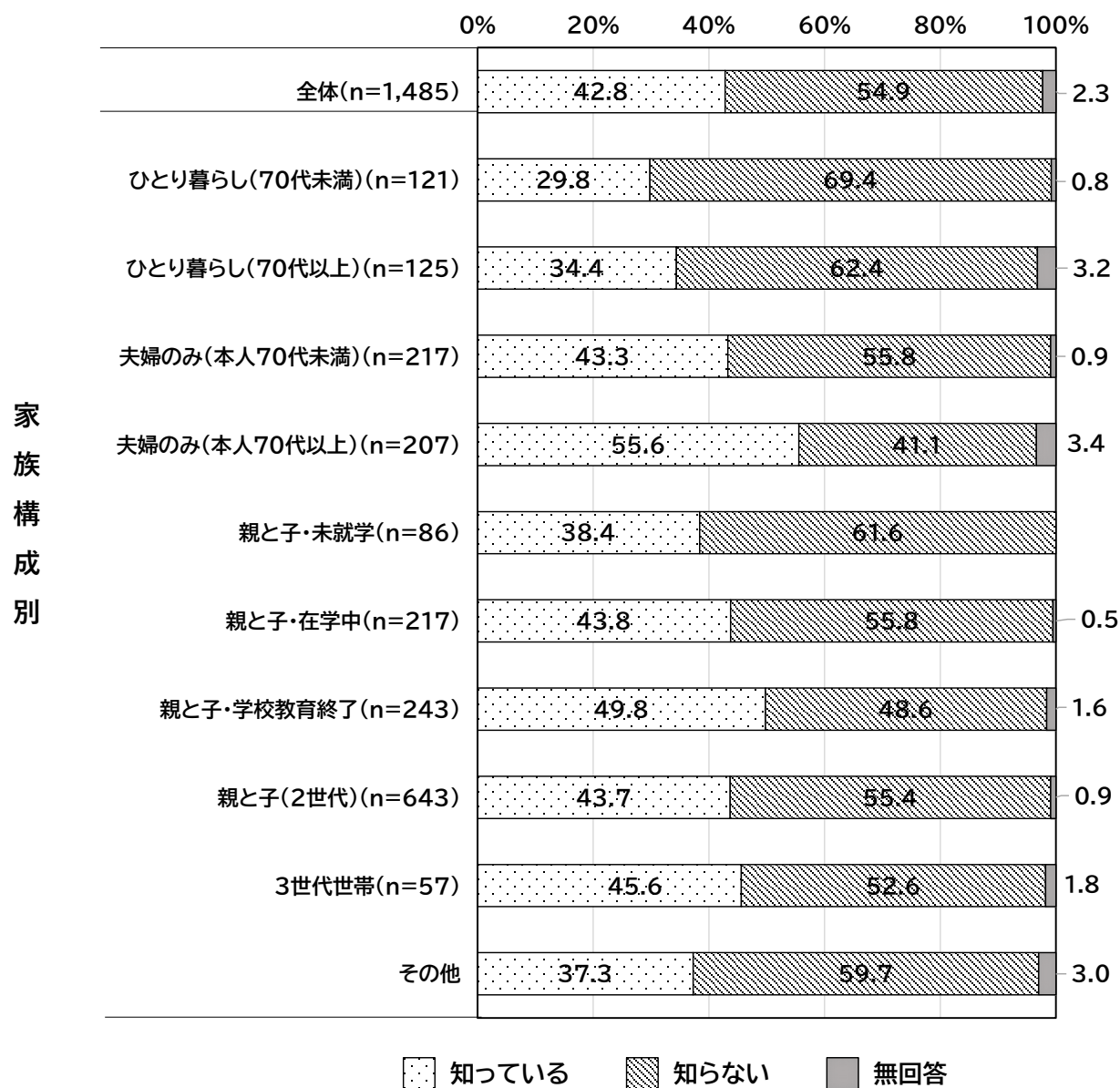
■ 性年代別「災害時安否確認バンドナ」の使用方法の認知度

- ・ 性年代別では「知っている」が男性80代以上、女性50代以上で全体より高い。



■ 家族構成別「災害時安否確認バンドナ」の使用法の認知度

- ・ 家族構成別では「災害時安否確認バンドナ」の使用方法を「知っている」が夫婦のみ(70代未満)、夫婦のみ70代以上、親と子・在学中、親と子・学校教育終了、親と子(2世代)、3世代世帯では全体より高い。

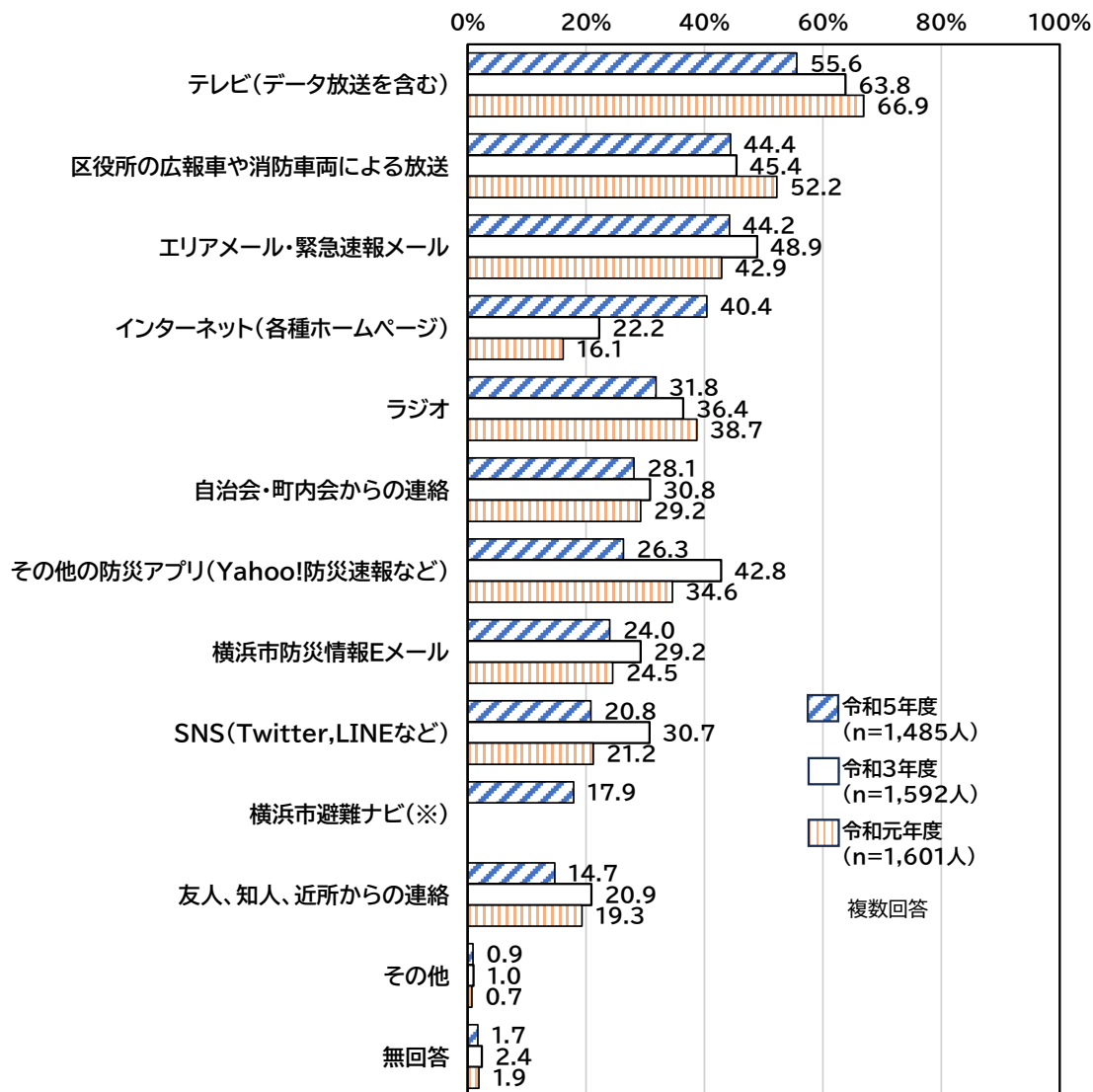


(4) 災害時の避難情報

問 19 あなたは、豪雨や台風が発生している場合の避難に関する情報(「高齢者等避難」、「避難指示」など)について、どのような手段で入手できるとよいと思いますか。(複数回答)

「テレビ(データ放送を含む)」が55.6%で最も多い

- ・ 「テレビ(データ放送を含む)」が55.6%と最も多く、次いで「区役所の広報車や消防車両による放送」(44.4%)、「エリアメール・緊急速報メール」(44.2%)、「インターネット(各種ホームページ)」(40.4%)、「ラジオ」(31.8%)の順となっている。
- ・ 経年で比較すると、「インターネット(各種ホームページ)」は増加傾向となっている。



(※): 令和5年度のみ

■ 性年代別 災害時の避難情報（複数回答）

- ・ 性年代別では、「テレビ（データ放送を含む）」は、「男女ともに 50 代以下」で全体より低い。
- ・ 「エリアメール・緊急速報メール」では、男の 50 代以下、女性 60 代以下で全体より高く、男性、女性ともに 70 代以上で全体より低い。
- ・ 「自治会・町内会からの連絡」は、男性 70 代以上、女性 60 代以上で全体より高く、男性 60 代以下、女性 50 代以下で全体より低い。
- ・ 「防災アプリ(Yahoo!防災速報など)」は、男性 40～50 代、女性 50 代以下で全体より高く、男性、女性ともに 70 代以上で全体より低い。
- ・ 「SNS(Twitter、LINE など)」は、男性、女性ともに 50 代以下で全体より高く、60 代以上で全体より低い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
テレビ(データ放送を含む)	55.6	-11.4	-5.6	-14.9	-3.9	7.7	7.9	10.4	-5.6	-2.6	-12.5	-15.2	11.8	13.8	3.7
区役所の広報車や消防車両による放送	44.4	-16.5	-5.9	-4.8	-7.1	-4.0	9.4	5.6	-14.9	-3.5	-1.3	-4.0	2.3	5.9	12.5
エリアメール・緊急速報メール	44.2	11.6	23.1	25.0	4.1	-2.0	-6.4	-26.1	3.5	11.9	15.0	5.1	3.4	-14.9	-23.9
インターネット(各種ホームページ)	40.4	20.1	19.2	14.5	19.8	22.0	-5.1	-33.0	18.7	15.7	13.4	1.4	-1.1	-21.4	-33.1
ラジオ	31.8	-3.9	-4.9	-1.0	2.1	-4.3	4.1	7.6	-6.8	-4.5	-11.8	-8.5	4.5	9.7	7.2
自治会・町内会からの連絡	28.1	-14.1	-10.8	-11.6	-3.6	-8.8	10.4	25.2	-21.3	-11.4	-13.5	-3.9	2.3	10.0	24.7
その他の防災アプリ(Yahoo!防災速報など)	26.3	1.6	-1.3	17.7	11.0	2.1	-1.3	-22.0	7.8	16.1	6.8	10.0	1.1	-14.7	-17.4
横浜市防災情報Eメール	24.0	-10.0	-10.5	2.4	10.7	9.9	0.4	-9.1	-5.8	-1.3	1.4	14.4	3.4	-10.4	-11.0
SNS(Twitter、LINEなど)	20.8	32.7	19.6	12.2	3.0	-11.6	-12.5	-15.5	42.8	27.7	10.0	1.1	-6.0	-14.7	-17.5
横浜市避難ナビ	17.9	-3.9	-6.4	-6.9	-4.3	5.0	5.2	-4.1	-4.3	-8.8	1.3	4.0	7.3	1.1	-2.5
友人、知人、近所からの連絡	14.7	6.2	-3.2	-9.2	-6.2	-9.2	-1.2	10.8	-3.3	-4.1	-0.1	-1.7	-2.1	5.0	16.2
その他	0.9	3.8	1.0	-0.9	-0.9	0.0	-0.9	1.2	-0.9	-0.9	-0.1	-0.2	-0.9	0.5	1.5

5. 地域福祉保健について

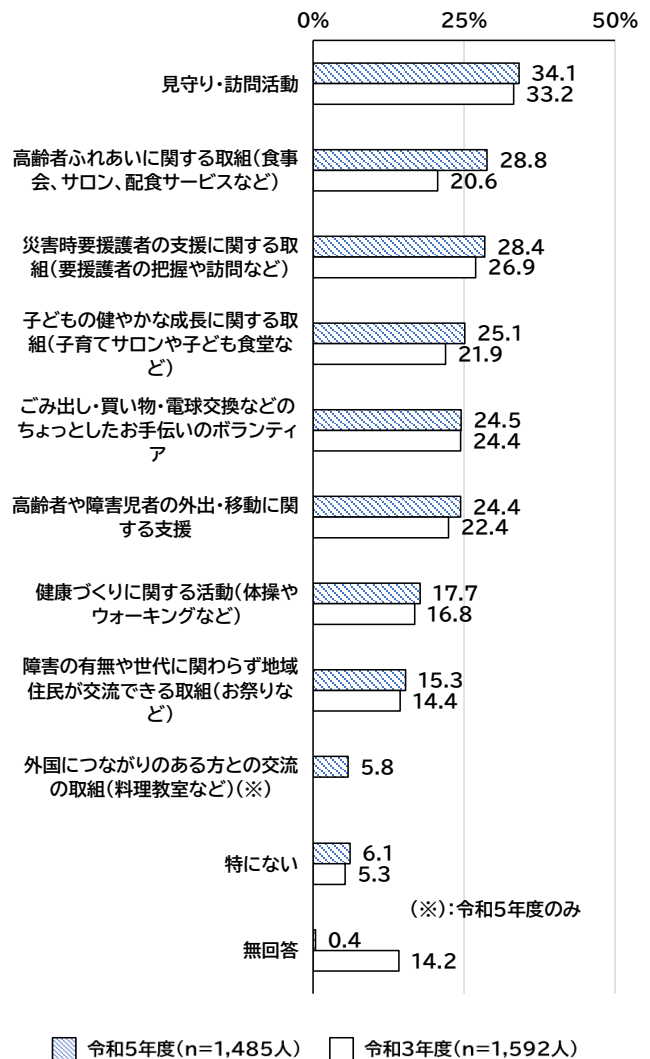
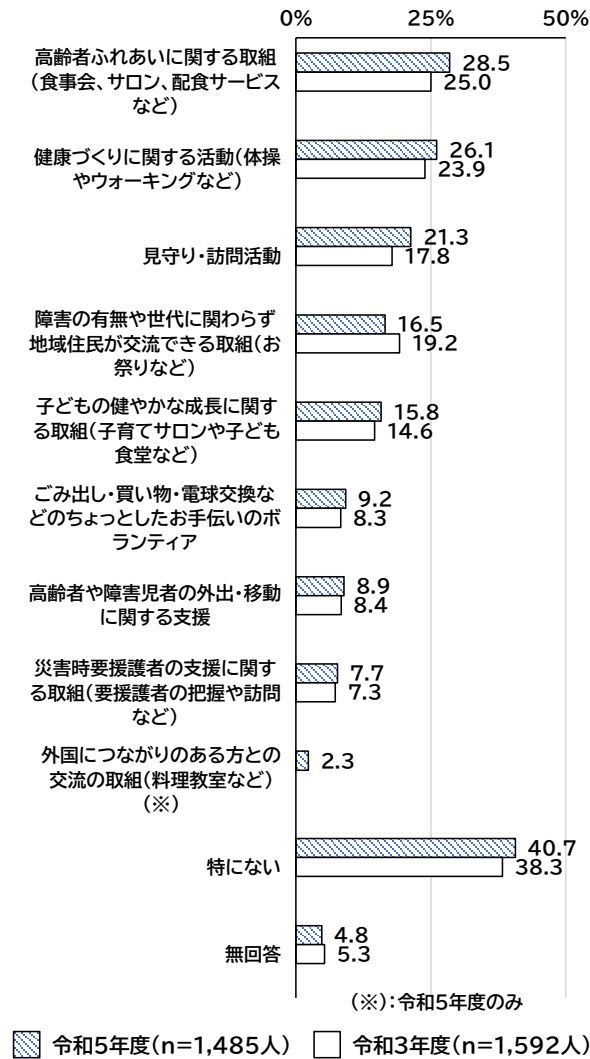
(1) 福祉保健に関する取組

問 20 あなたのお住まいの地域で行われている福祉保健に関する取組について知っているものを教えてください。(複数回答)

問 20-1 上記1~10の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「高齢者ふれあいに関する取り組み」が28.5%で最も多い

「見守り・訪問活動」が34.1%で最も多い



(地域で行われている福祉保健に関する取組で知っている取組について)

- ・ 高齢者ふれあいに関する取組(食事会、サロン、配食サービスなど)が(28.5%)で最も多く、次いで健康づくりに関する運動(体操やウォーキング等)が26.1%と多くなっている。

(地域で充実していくと良いと思う取組について)

- ・ 「見守り・訪問活動」が34.1%と最も多く、次いで「高齢者ふれあいに関する取組(食事会、サロン、配食サービスなど)」(28.8%)、「災害時要援護者の支援に関する取組(要援護者の把握や訪問など)」(28.4%)の順となっている。

■ 性年代別 地域で行われている福祉保健に関する取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、全体的に、男性より女性の認知度が高い傾向にある。
- ・ 「健康づくりに関する活動(体操やウォーキングなど)」は、女性 60 代以上で全体より高い。
- ・ 「子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)」は、女性 30～40 代で全体より高い。
- ・ 「特にない」は男性 60 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
高齢者ふれあいに 関する取組 (食事会、サロン、 配食サービスなど)	28.5	-21.5	-22.7	-9.8	-9.9	-13.8	1.0	10.9	-26.2	1.8	-3.1	1.0	12.2	14.4	17.8
健康づくりに 関する活動(体操 やウォーキング など)	26.1	-21.4	-16.5	-9.6	-6.6	-14.2	0.8	1.6	-17.0	1.2	1.6	7.5	10.2	13.4	6.4
見守り・訪問 活動	21.3	-5.0	-15.5	-1.5	-6.9	-0.2	-3.4	0.0	-9.9	1.4	0.2	0.6	3.9	8.0	8.8
障害の有無や 世代に関わらず 地域住民が交流 できる取組(お祭 りなど)	16.5	-2.5	-8.8	-4.4	-8.9	-9.2	2.1	-2.7	-5.1	4.7	1.2	6.1	7.2	5.9	-0.2
子どもの健やか な成長に関する 取組(子育てサロ ンや子ども食堂 など)	15.8	-8.8	-2.3	7.3	-8.2	-8.5	-11.3	-13.7	-2.2	32.7	15.0	8.2	5.7	-0.2	-8.5
ごみ出し・買 い物・電球交換 などのちょっとした お手伝いのボラ ンティア	9.2	2.4	-7.3	-0.4	1.8	-2.8	-0.2	2.5	-6.9	-4.7	-1.5	-0.3	0.4	3.7	3.8
高齢者や障害 児者の外出・移 動に関する支援	8.9	-1.9	-5.1	-5.6	0.4	-3.4	-2.5	1.7	-6.6	-4.4	3.4	2.7	3.7	2.7	1.7
災害時要援護 者の支援に関 する取組(要援 護者の把握や訪 問など)	7.7	-7.7	-3.9	-4.4	-1.8	1.5	1.3	0.8	-7.7	-4.7	-3.1	4.6	3.4	5.2	-0.4
外国につなが りのある方との 交流の取組(料 理教室など)	2.3	0.0	-2.3	-0.1	-1.5	-2.3	-1.0	-1.2	-2.3	-2.3	5.4	3.9	-0.1	0.4	-1.5
特にない	40.7	19.8	30.5	12.0	17.8	15.3	4.8	-9.8	25.2	-3.9	-0.7	-1.0	-14.0	-15.5	-21.2

■ 性年代別 地域で充実していくと良いと思う福祉保健に関する取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア」は、女性 50 代以上で全体より高い。
- ・ 「子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より高い。

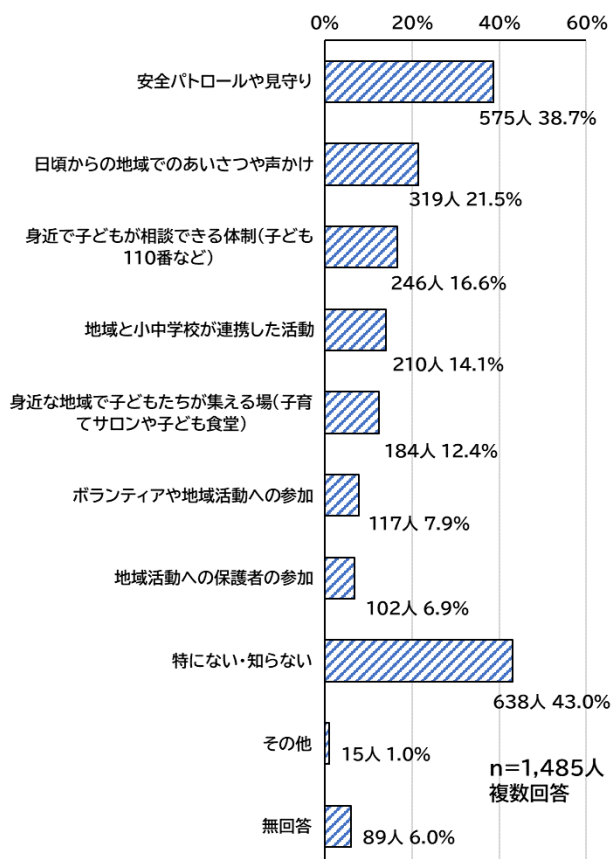
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
見守り・訪問活動	34.1	-6.2	-9.1	-2.2	5.7	10.9	2.4	2.1	-18.2	0.7	-4.1	6.3	-3.0	-0.1	-2.4
高齢者ふれあひに関する取組(食事会、サロン、配食サービスなど)	28.8	-5.5	-15.3	-12.3	-4.2	-1.3	-4.4	7.4	-17.4	-10.6	5.8	-1.4	5.3	11.3	14.3
災害時要援護者の支援に関する取組(要援護者の把握や訪問など)	28.4	-16.8	-16.9	5.7	3.8	3.3	5.6	-0.7	-3.4	-7.2	0.1	-1.7	6.4	-1.2	-4.8
子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)	25.1	26.1	19.1	15.6	-9.0	-3.1	-5.9	-20.8	20.4	40.1	3.7	0.9	-2.9	-8.8	-17.8
ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア	24.5	-5.9	-18.7	-4.7	1.8	5.8	-0.8	-7.5	-6.3	-15.4	-5.3	2.2	10.3	4.1	11.3
高齢者や障害児者の外出・移動に	24.4	-17.4	-9.0	-4.6	1.9	3.6	0.6	9.6	-15.3	-13.8	2.5	2.3	10.4	-7.4	-1.6
健康づくりに関する活動(体操やウォーキングなど)	17.7	5.6	3.5	-2.3	-0.8	-2.1	-1.7	2.5	5.0	2.0	-1.5	0.1	0.8	4.1	-4.7
障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組(お祭りなど)	15.3	-3.7	0.1	2.3	4.2	-8.9	3.9	-1.5	7.4	4.4	3.2	2.5	1.7	-4.4	-8.0
外国につながる方との交流の取組(料理教室など)	5.8	3.2	1.9	4.1	0.1	-3.0	-3.9	-5.8	3.3	3.3	5.7	1.0	-0.6	-0.4	-5.0
特いない	6.1	7.9	15.1	1.6	5.8	0.3	-4.2	-4.0	9.8	1.5	0.1	0.7	-2.4	-3.4	-5.3

(2) 子どもたちに対する取組

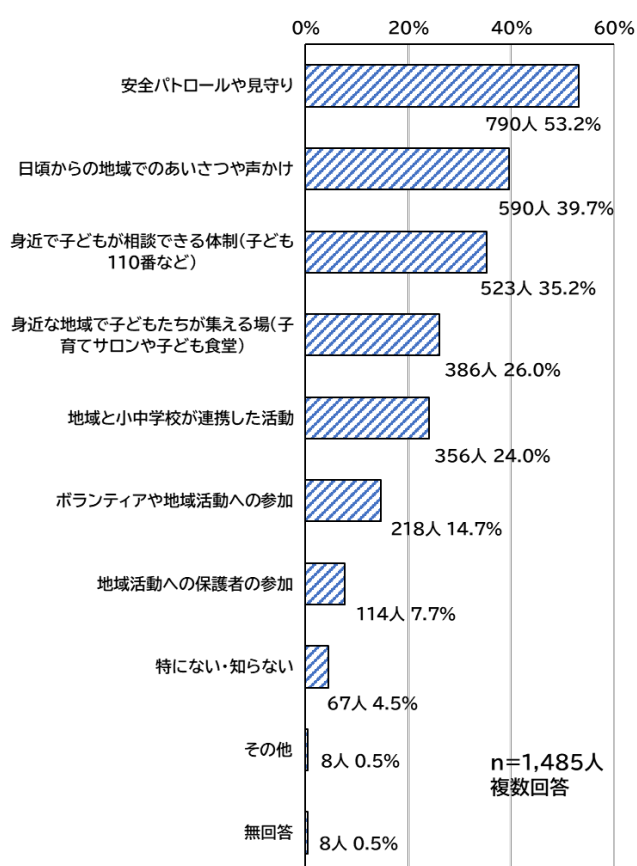
問 21 子どもたちが地域で安心して過ごし、健やかに成長するために、様々な取り組みが行われていますが、あなたのお住まいの地域で行われている取組を教えてください。（複数回答）

「安全パトロールや見守り」が38.7%で最も多い



問 21-1 上記1~9の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「安全パトロールや見守り」が53.2%で最も多い



(地域で行われている子どもたちに対する取組について)

- 「安全パトロールや見守り」が38.7%で最も多く、次いで「日頃からの地域でのあいさつや声かけ」(21.5%)、「身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)」(16.6%)の順となっている。
- 一方、「特にない・知らない」が43.0%だった。

(地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組について)

- 「安全パトロールや見守り」が53.2%と最も多く、次いで「日頃からの地域でのあいさつや声かけ」(39.7%)、「身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)」(35.2%)の順となっている。

■ 性年代別 地域で行われている子どもたちに対する取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、全体的に、男性よりも女性の認知度が高い傾向がある。
- ・ 「安全パトロールや見守り」は、女性の40代と男性の20代以下で特に全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)」は、「男性30代」と女性50代以下で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」は、「女性30代」で全体より高い。
- ・ 「特にない・知らない」は、「男性50代～70代」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性								女性							
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上		
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123		
安全パトロールや見守り	38.7	12.5	-0.2	5.3	9.0	5.7	-7.9	-2.5	6.8	5.2	15.1	5.1	0.6	3.5	-13.5		
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	21.5	-0.6	-8.0	1.6	-1.2	4.1	-3.6	6.2	-1.0	2.7	3.1	1.1	-0.8	7.8	-5.2		
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	16.6	2.0	8.4	1.0	-0.5	-1.0	-10.2	-9.2	8.4	4.6	11.1	8.1	1.9	-1.6	-9.3		
地域と小中学校が連携した活動	14.1	4.5	3.2	5.7	-2.2	2.4	-7.0	-2.4	-7.3	-2.0	10.5	4.4	8.1	6.6	-7.6		
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	12.4	-0.8	4.9	4.1	-0.5	5.1	-7.3	-6.0	1.2	16.4	5.3	4.0	1.7	-0.8	5.9		
ボランティアや地域活動への参加	7.9	-0.9	-4.1	-1.3	0.6	-2.4	-1.5	4.9	-1.1	-0.3	2.9	3.1	0.2	0.9	4.6		
地域活動への保護者の参加	6.9	0.1	0.8	3.0	-1.8	-2.3	-3.7	1.6	4.6	0.7	3.1	2.0	1.2	0.6	-2.8		
特にない・知らない	43.0	5.8	5.1	1.0	12.1	6.5	17.3	-7.9	2.5	-12.7	-14.5	-1.2	-8.2	5.6	5.0		
その他	1.0	1.3	-1.0	1.2	-0.2	-1.0	-0.4	1.1	-1.0	0.5	1.0	-0.3	-1.0	-0.3	2.3		

■ 家族構成別 地域で行われている子どもたちに対する取組の認知度(複数回答)

- ・ 家族構成別では、「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」、「地域と小中学校が連携した活動」は、「子と同居(未就学)」で全体より高い。
- ・ 「特にない・知らない」は、「ひとり暮らし(本人70代未満)」で全体より高い。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし(70代未満)	ひとり暮らし(70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	親と子・未就学	親と子・在学中	親と子・学校教育終了	親と子(2世代)	3世代世帯
n=	1,485	121	125	218	207	86	217	243	643	57
安全パトロールや見守り	38.7	-20.5	-12.3	-2.9	-1.5	10.1	20.3	4.9	8.7	1.7
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	21.5	-13.2	-4.7	-0.9	1.7	4.1	9.8	1.1	4.5	-4.0
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	16.6	-11.6	-7.8	-0.5	-6.9	6.7	15.2	5.6	6.3	4.5
地域と小中学校が連携した活動	14.1	-10.0	-9.3	-14.1	-3.0	10.3	13.5	1.1	-13.8	12.2
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	12.4	-0.8	-6.8	-2.8	-5.6	21.3	11.1	-0.5	4.2	5.1
ボランティアや地域活動への参加	7.9	-4.6	-5.5	-1.5	2.2	1.4	2.2	3.6	2.2	-2.6
地域活動への保護者の参加	6.9	-6.1	-2.9	0.9	2.1	4.7	5.5	3.0	2.9	0.1
特にない・知らない	43.0	24.8	6.6	6.5	4.3	-15.1	-20.9	-6.4	-8.9	-4.4
その他	1.0	-0.2	0.6	-1.0	-0.5	-1.0	-0.1	0.6	0.2	-1.0

■ 性年代別 地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「安全パトロールや見守り」は、男性 20 代以下、女性 20 代～50 代で全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110 番など)」は、「男性 30 代」、女性 20 代～50 代で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」は、「女性 30 代」で全体より高い。
- ・ 「地域と小中学校が連携した活動」は、「男性 40 代以下」、女性 30～50 代で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性								女性							
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上		
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123		
安全パトロールや見守り	53.2	2.6	2.6	7.2	0.2	2.7	-1.3	-3.2	1.3	7.4	9.9	5.7	8.3	9.7	-13.4		
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	39.7	-0.2	-10.9	7.6	1.0	0.7	2.6	1.8	-5.6	9.4	1.8	-2.0	1.8	6.6	-5.6		
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	35.2	2.0	12.9	3.3	6.3	4.0	-1.9	-12.9	14.8	14.8	2.5	-0.3	7.0	9.3	-10.0		
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	26.0	-5.1	10.5	-1.8	4.0	-2.1	4.8	-5.8	1.3	14.9	7.1	1.4	4.4	3.6	-4.0		
地域と小中学校が連携した活動	24.0	-3.1	24.1	6.8	-0.3	7.2	-7.3	-14.4	5.5	9.3	9.1	4.1	0.4	7.0	-11.0		
ボランティアや地域活動への参加	14.7	1.6	-10.9	-7.0	1.1	3.6	4.5	3.4	1.2	7.1	4.7	-0.3	0.9	8.4	-4.9		
地域活動への保護者の参加	7.7	-0.7	1.9	6.6	-2.6	0.6	1.3	2.9	-5.4	-3.2	3.1	5.0	4.2	2.5	-0.4		
特にない・知らない	4.5	9.5	1.3	3.2	7.4	-0.8	-2.6	-2.4	2.3	-1.5	-1.4	2.3	-1.5	-3.8	-1.2		
その他	0.5	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5	0.4	0.8	0.6	1.8	1.0	0.3	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5		

■ 家族構成別 地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組(最大3つまで)

- ・ 家族構成別では、「安全パトロールや見守り」は、「夫婦のみ(本人 70 代未満)」、「親と子・未就学」、「3世代世帯」で全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110 番など)」は、「ひとり暮らし(本人 70 代未満)」、「夫婦のみ(本人 70 代未満)」、「親と子・未就学」で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」、「地域と小中学校が連携した活動」は、「親と子・未就学」、「親と子・在学中」、「3世代世帯」で全体より高い。

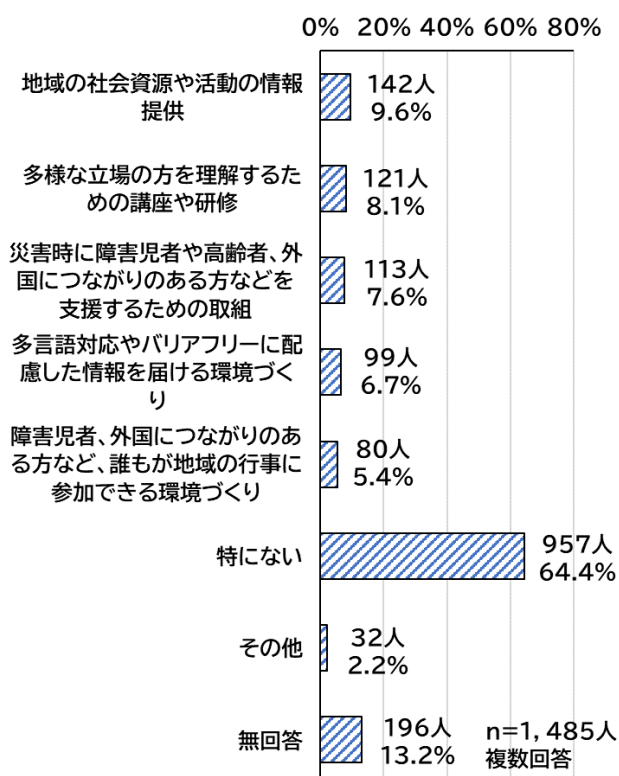
※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし(70代未満)	ひとり暮らし(70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	親と子・未就学	親と子・在学中	親と子・学校教育終了	親と子(2世代)	3世代世帯
n=	1,485	121	125	218	207	86	217	243	643	57
安全パトロールや見守り	53.2	-2.8	-18.0	7.8	-5.9	8.4	4.4	1.5	3.4	10.0
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	39.7	-5.8	-0.5	0.7	0.9	-6.0	2.2	3.5	2.4	-9.9
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	35.2	7.8	-10.4	7.5	-3.8	5.5	0.7	-5.2	0.1	-0.1
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	26.0	2.1	-5.2	-1.7	-2.8	21.7	8.1	-0.9	3.1	-4.9
地域と小中学校が連携した活動	24.0	-2.5	-12.8	-1.5	-8.5	20.2	11.0	3.6	5.9	14.6
ボランティアや地域活動への参加	14.7	1.8	-1.1	-1.4	3.7	-8.9	-3.6	3.0	-1.3	-0.7
地域活動への保護者の参加	7.7	1.9	-3.7	-2.2	2.4	0.4	-2.2	4.6	1.0	1.1
特にない・知らない	4.5	5.4	0.3	0.5	-3.1	-2.2	2.4	-1.6	0.6	-4.5
その他	0.5	-0.5	-0.5	0.0	0.0	-0.5	0.0	0.3	0.4	-0.5

(3) 誰もがいきいきと暮らすための取組

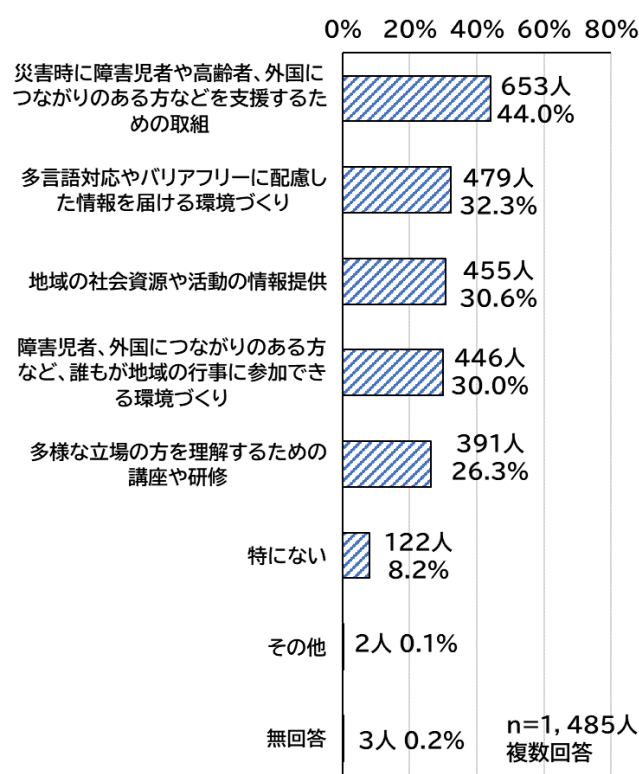
問 22 年齢、性別、国籍、病気や障害の有無などに関わらず、誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らすための取組が地域で行われています。あなたのお住まいの地域で行われている取組で、知っているものを教えてください。
(複数回答)

「地域の社会資源や活動の情報提供」(9.6%)が最も多いが、どの取組も認知度は1割未満



問 22-1 上記1~7の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組」が44.0%で最も多い



(誰もがいきいきと暮らすために地域で行われている取組で知っている取組について)

- ・ どの取組も認知度は1割に満たない。
- ・ 一方、「特にない」は64.4%となっている。

(誰もがいきいきと暮らすために地域で充実していくと良いと思う取組について)

- ・ 「災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組」が44.0%と最も多く、次いで「多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり」(32.3%)、「地域の社会資源や活動の情報提供」(30.6%)の順となっている。

■ 性年代別 誰もがいきいきと暮らすために地域で行われている取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、「特にない」が、男性 30～50 代、女性 30 代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
地域の社会資源や活動の情報提供	9.6	2.0	-3.8	-1.9	-2.0	1.4	1.3	1.0	1.8	-3.5	-1.1	-0.7	2.3	-0.1	-0.7
多様な立場の方を理解するための講座や研修	8.1	-1.1	-0.4	-4.8	-2.2	1.1	-1.7	5.7	-3.6	-3.6	4.2	5.6	0.8	-0.6	-4.8
災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組	7.6	-2.9	2.0	0.1	-0.8	2.5	-3.1	7.3	-0.8	-1.5	-1.4	0.6	-0.2	-0.1	-1.1
多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり	6.7	9.6	2.9	2.1	0.1	-2.1	-5.4	2.9	2.4	-0.6	-1.3	3.6	-1.5	-0.6	-2.6
障害児者、外国につながる方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり	5.4	3.9	0.4	1.2	-2.0	0.1	-2.2	-0.1	-0.9	0.7	1.5	2.1	1.3	-2.0	-0.5
特にない	64.4	0.7	14.4	11.4	14.4	4.4	-0.3	-10.1	19.7	14.4	3.3	2.0	-1.4	-10.7	-22.1
その他	2.2	0.1	-2.2	-1.1	-1.4	-0.4	1.6	-0.1	-2.2	0.8	-1.4	1.9	-2.2	-2.2	4.3

■ 性年代別 誰もがいきいきと暮らすために地域で充実していくと良いと思う取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり」は、「男性 20 代以下」「男性 40 代」、「女性 30 代以下」で全体より高い。
- ・ 「障害児者、外国につながる方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり」は、「男性 40 代」、「女性 40 代」「女性 60 代」で全体より高い。
- ・ 「多様な立場の方を理解するための講座や研修」は、「男性 70 代」「女性 50 代」「女性 60 代」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

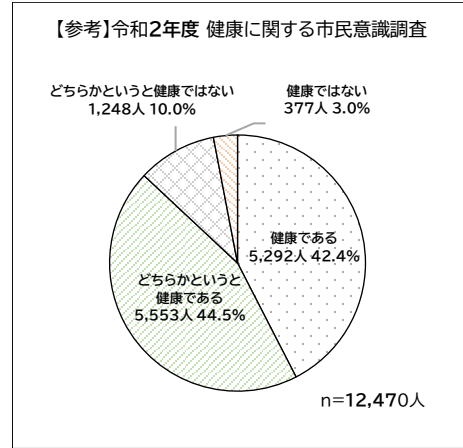
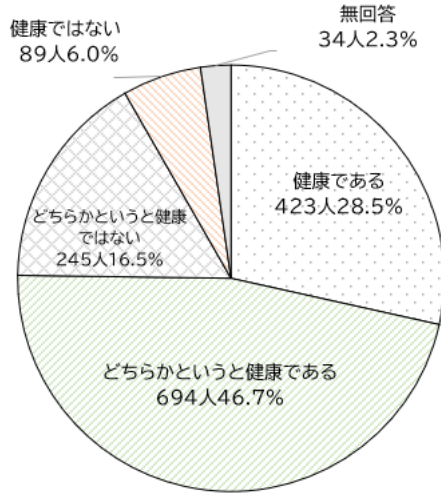
	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組	44.0	-16.1	-19.0	-3.3	3.5	3.7	-0.4	-1.4	1.5	-4.6	6.0	3.9	10.1	-0.5	-5.0
多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり	32.3	14.2	-5.4	9.5	0.8	-9.4	-6.7	-14.2	24.5	17.7	3.9	4.0	7.7	-4.4	-12.8
地域の社会資源や活動の情報提供	30.6	-9.7	7.9	3.5	-0.9	9.8	4.7	-0.8	-5.6	5.8	-9.1	-1.1	2.7	-3.4	-4.6
障害児者、外国につながる方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり	30.0	0.2	-3.1	5.2	-2.0	0.3	-1.8	-2.3	1.8	0.3	6.9	0.1	13.7	-4.1	-10.5
多様な立場の方を理解するための講座や研修	26.3	-5.4	-5.1	-3.2	-0.9	0.3	3.8	0.3	-3.6	1.0	-0.9	7.3	3.3	-3.9	-3.5
特にない	8.2	10.4	13.0	0.6	7.9	-1.8	-4.4	-3.9	7.7	3.9	2.6	1.4	-2.3	-4.1	-7.4
その他	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.8	-0.1	-0.1	-0.1	1.4	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1

6. 健康づくりについて

(1) 最近の健康状態

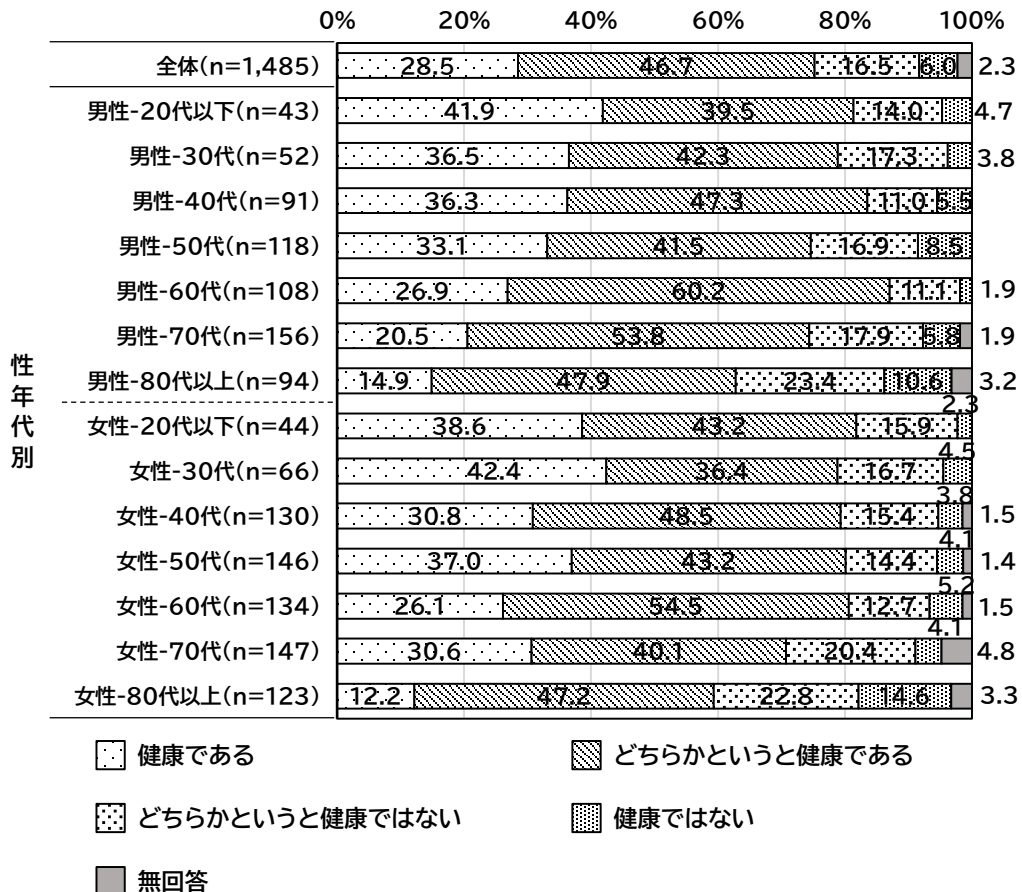
問 23 あなたのこの1か月間の健康状態はいかがですか。最も近いと思うものをお選びください。

- ・ どちらかという健康である」が 47%で最も高く、次いで「健康である」(28%)、「どちらかという健康ではない」(17%)、「健康ではない」(6%)と続いている。



■ 性年代別 あなたのこの1か月間の健康状態はいかがですか。

- ・ 「男性 70代」では「なるべく体を動かしたり、運動をする」(12.1%)「食事はバランスよく食べるよう心がける」(11.4%)が全体より高い。
- ・ 「女性 50代」では「休養や睡眠を十分にとる」(20.8%)「食事はバランスよく食べるよう心がける」(20.2%)、「女性 60代」では「食事はバランスよく食べるよう心がける」(27.4%)、「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(18.5%)、「女性 70代」では「食事はバランスよく食べるよう心がける」(25.7%)、「なるべく体を動かしたり、運動したりする」。

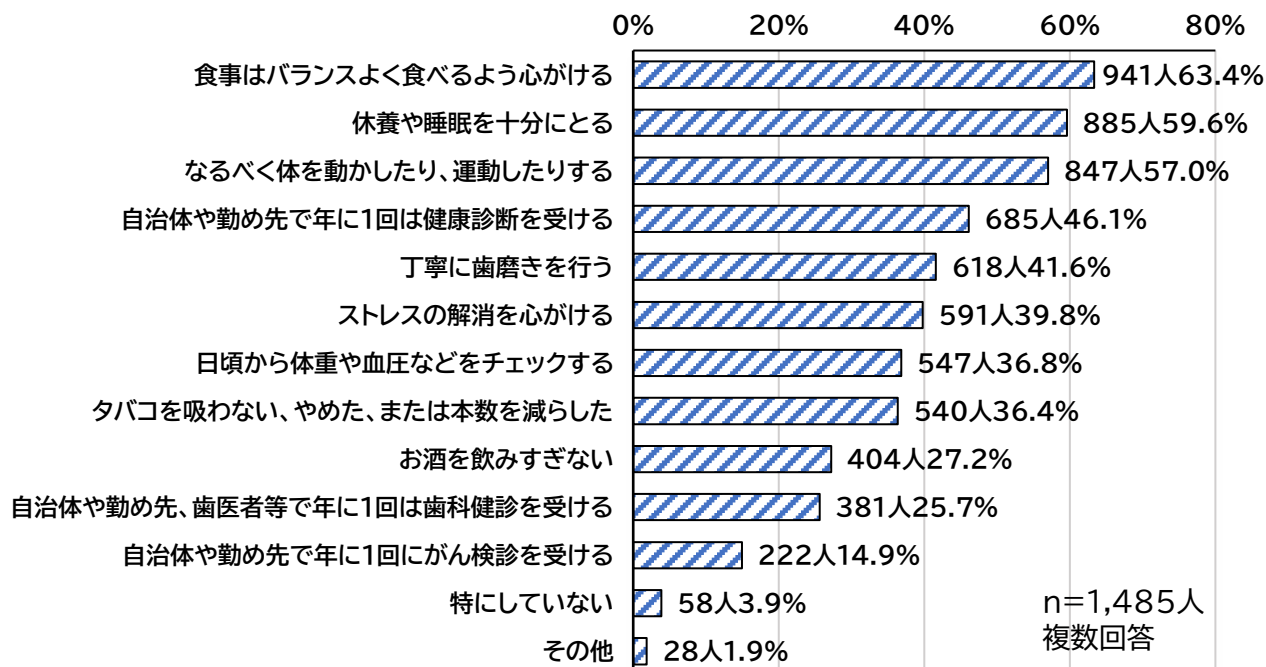


(2) 健康のために気を付けていること

問 24 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。(複数回答)

「食事はバランスよく食べるよう心がける」が 63.4%で最も多い

- ・ 「食事はバランスよく食べるよう心がける」が最も多く 63.4%、次いで「休養や睡眠を十分にとる」(59.6%)、「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(57.0%)となっている。



■ 性年代別 健康のために気をつけていること(複数回答)

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

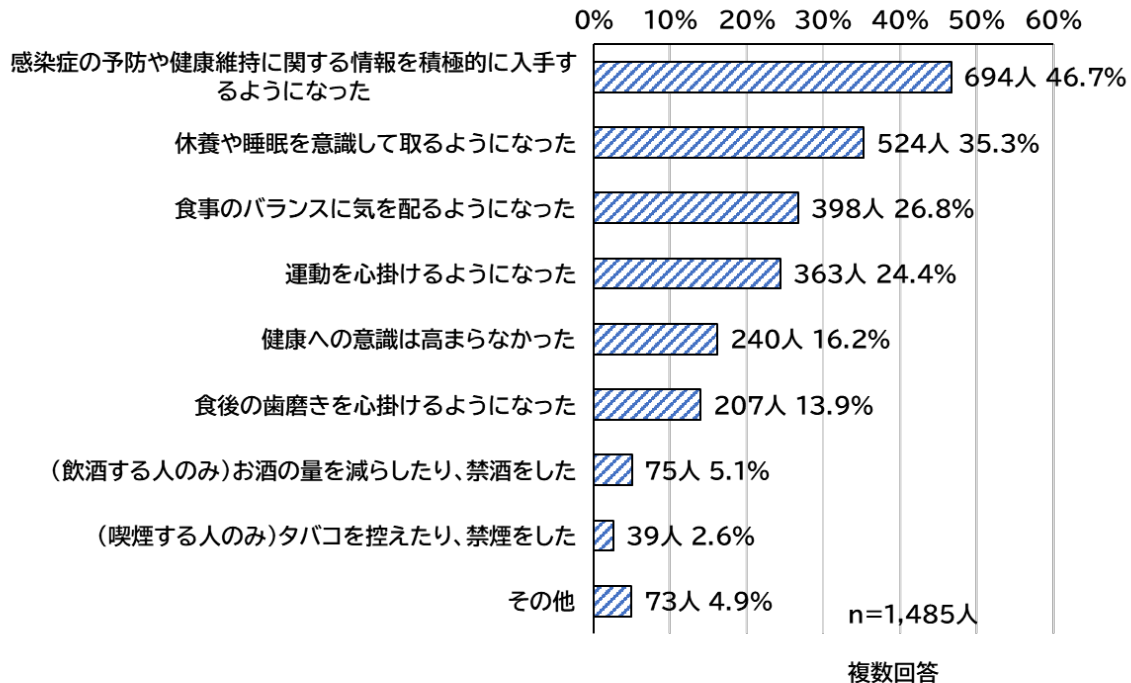
	全体(n=1,485)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
食事はバランスよく食べるよう心がける	63.4	-12.8	-16.6	-4.5	-7.0	-6.3	-6.5	10.0	-7.0	-17.6	-16.2	-2.9	10.4	10.3	-7.2
休養や睡眠を十分にとる	59.6	-16.9	-15.3	-15.0	-13.4	-3.8	-0.6	4.7	-8.9	9.3	1.1	2.4	12.9	9.4	14.6
なるべく体を動かしたり、運動したりする	57.0	-3.8	1.9	1.9	-7.1	-9.1	1.9	10.6	13.1	13.1	-0.4	6.8	0.4	-6.5	-1.9
自治体や勤め先で年に1回は健康診断を受ける	46.1	18.3	1.3	2.0	1.7	-6.8	-9.0	-12.1	12.5	14.7	1.0	4.7	4.6	5.1	-7.3
丁寧に歯磨きを行う	41.6	-32.1	-27.2	-15.9	-7.1	7.2	20.9	23.8	-18.6	-23.2	-23.0	-12.8	9.9	20.1	26.6
ストレスの解消を心がける	39.8	-14.9	-14.9	-0.6	-5.6	4.4	3.7	-1.1	-12.6	-5.8	1.3	3.4	3.1	0.1	1.1
日頃から体重や血圧などをチェックする	36.8	-8.9	3.9	16.5	7.3	14.5	-3.8	-16.3	-16.6	13.0	3.9	6.6	3.7	-3.7	-20.9
タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした	36.4	-18.7	-6.5	-3.7	4.5	-3.7	4.5	-8.7	-3.0	3.1	-0.3	5.8	15.8	7.6	1.9
お酒を飲みすぎない	27.2	-4.4	-1.2	-13.0	-17.0	4.9	3.1	3.4	-9.8	6.9	-0.8	0.2	14.7	11.5	5.6
自治体や勤め先、歯医者等で年に1回は歯科健診を受ける	25.7	-8.5	4.0	2.3	4.3	4.0	16.2	15.7	-6.9	0.0	4.9	-4.2	-0.8	7.8	-10.4
自治体や勤め先で年に1回にがん検診を受ける	14.9	5.4	5.5	6.9	0.8	5.8	5.5	6.8	-2.2	9.2	0.5	-3.9	0.2	-3.8	-13.4
特にしていない	3.9	-7.7	-0.1	-0.6	2.0	0.7	-0.1	-0.7	5.2	-2.4	1.5	1.8	-1.7	1.9	-0.6
その他	1.9	1.9	1.9	1.9	-1.1	0.9	1.3	1.3	-1.9	1.9	1.1	0.2	-0.4	0.1	2.2

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大時の健康意識の変化

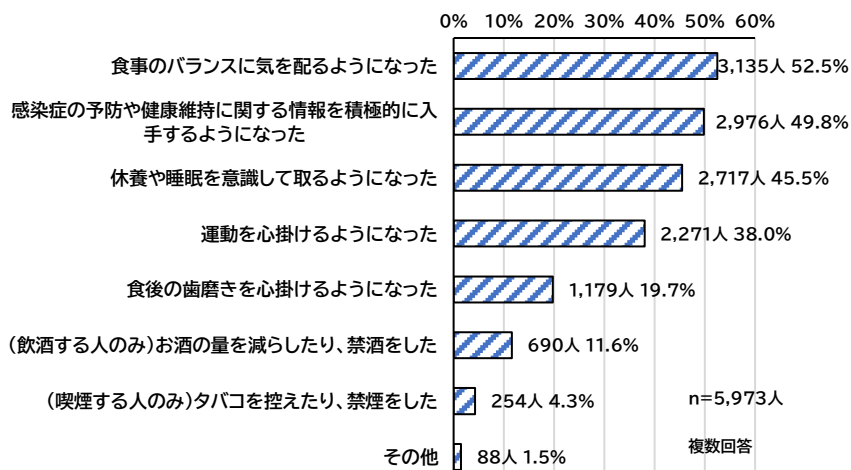
問 25 新型コロナウイルスの感染症拡大を機に、あなたの健康への意識が高まったものはありますか。

(複数回答)

- ・ 体では「感染症の予防や健康維持に関する情報を積極的に入手するようになった」694 人で最も高く、次いで「給与言うや睡眠を意識してとるようになった」524 人と続いている。



【参考】令和2年度健康に関する市民意識調査



・令和2年度調査には「健康への意識は高まらなかった」はない

■ 性年代別 新型コロナウイルスの感染症拡大を機に、健康への意識が高まったこと(複数回答)

「食事はバランスよく食べるよう心がける」が全体で 13.9%で最も高い。

- 「食事はバランスよく食べるよう心がける」が全体で 13.9%で最も高い。次いで「休養や睡眠を十分にとる」(13.1%)、「なるべく体を動かしたり、運動したりする」(12.5%)となっている。女性20代以下が「休養や睡眠を十分にとる」では全体より高く、男性、女性とも20代以下では「ストレスの解消を心がける」が全体より高い。「日頃から体重や血圧などをチェックする」では男性、女性ともに80代以上が全体より高く、男性40代以下と女性50代以下では全体より低くなっている。

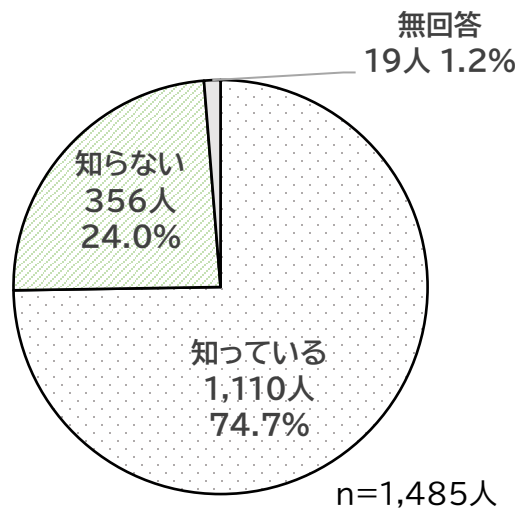
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性							女性						
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,485	43	52	91	118	109	156	94	44	66	130	146	135	147	123
感染症の予防や健康維持に関する情報を積極的に入手するようになった	46.7	-14.1	-19.8	-4.9	-4.3	-6.3	7.1	1.2	-1.2	-2.8	4.1	-0.8	10.3	6.4	1.3
休養や睡眠を意識して取るようになった	35.3	-12.0	-6.5	-3.4	-11.6	1.4	0.0	19.0	5.6	-0.5	-1.5	5.8	-2.0	-2.0	8.6
食事のバランスに気を配るようになった	26.8	-19.8	-21.0	-8.1	-13.2	-2.9	-1.8	9.4	-6.3	-2.6	-7.6	-2.8	6.5	14.7	23.6
運動を心掛けるようになった	24.4	-8.1	-10.9	-4.6	-5.8	0.4	1.2	10.7	-10.8	-13.8	-10.6	-3.9	5.2	16.4	8.9
健康への意識は高まらなかった	16.2	11.7	20.3	15.7	10.9	-1.5	-5.3	-4.5	-0.3	8.0	4.6	-4.6	-5.8	-8.7	-8.1
食後の歯磨きを心掛けるようになった	13.9	-6.9	-8.1	-9.5	-7.1	-4.7	2.8	10.6	-2.5	-9.4	-5.4	-5.0	-0.6	12.0	16.2
(飲酒する人のみ)お酒の量を減らしたり、禁酒をした	5.1	-0.4	0.7	1.5	0.0	4.1	5.2	2.3	-2.8	-0.6	0.3	-1.7	-1.4	-4.4	-4.3
(喫煙する人のみ)タバコを控えたり、禁煙をした	2.6	-0.3	-0.7	-0.4	0.8	2.0	4.5	2.7	-0.3	-2.6	-1.8	-0.5	-1.1	-1.9	-1.8
その他	4.9	4.4	-1.1	-0.5	2.7	1.5	-0.4	-0.6	1.9	8.7	-4.1	-0.8	-1.9	0.5	-2.5

問 26 歯周病は、「歯だけではなく全身に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関係があることを知っていますか。

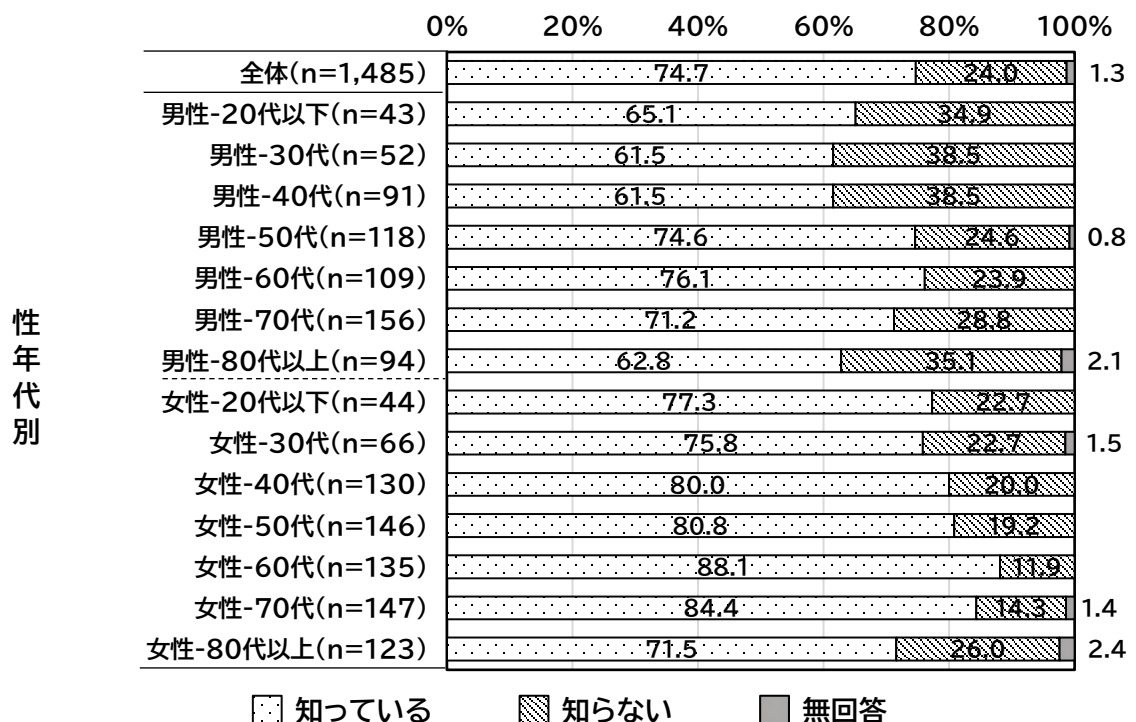
歯周病が全身疾患と関係があることを「知っている」方は、全体の74.7%

- ・ 歯周病が全身疾患と関係があることを「知っている」方は全体の74.7%で約4分の3を占める。「知らない」は24.0%で大きな差が出ている。



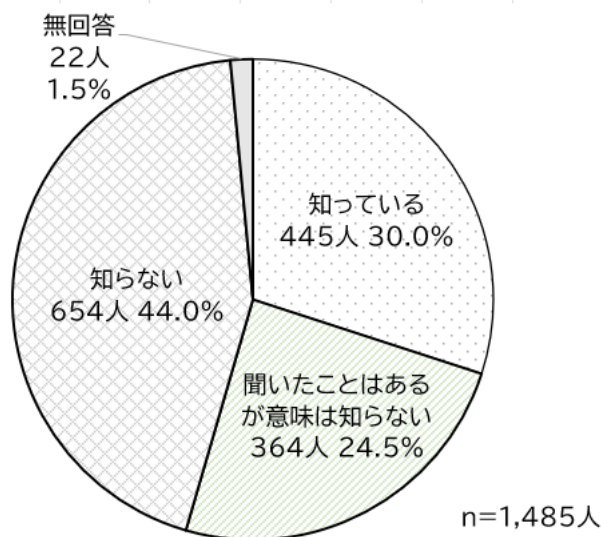
■ 性年代別 歯周病は、「歯だけではなく全身に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関係があることを知っていますか。

・性年代別では市種苗が全身疾患と関係があることを「知っている」は男性60代、女性20代～70代で全体より高い。



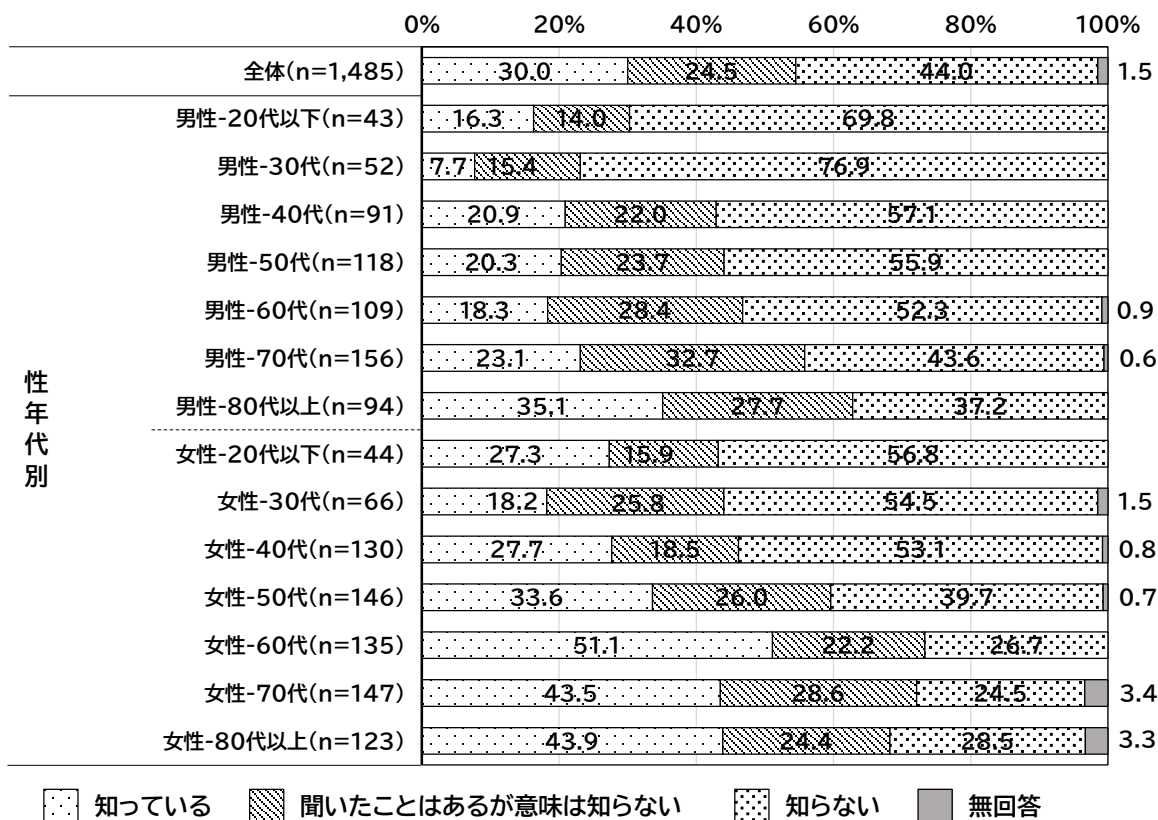
問 27 健康で長生きするためには、全身の衰え「フレイル」を予防することが大切です。特にちょっとした歯とお口の機能の低下「オーラルフレイル」(食べこぼし、滑舌が悪くなった、など)に早めに気づき、対応することが大切です。あなたはオーラルフレイルについて知っていますか。

「オーラルフレイル」を知らない人が 44.0% で最も多い。



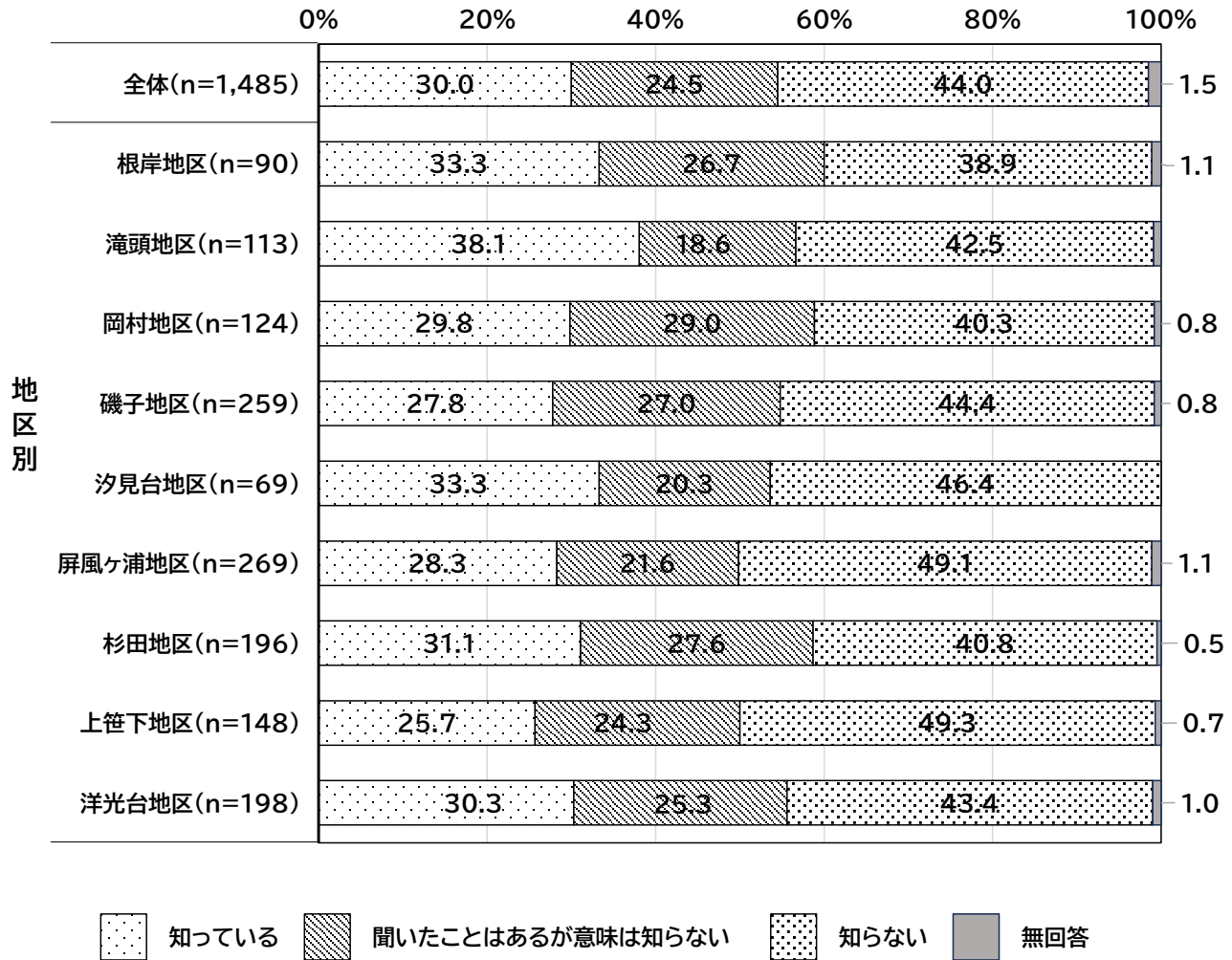
■ 性年代別 オーラルフレイルの認知度

- ・ 性年代別では、「知っている」は「女性 60 代」で 51.1% と最も多く、次いで「女性 70 代」(43.5%)、「女性 80 代以上」(43.9%) の順となっている。
- ・ 女性の 50 代以上では、「知っている」が全体より高い。
- ・ 男性は女性と比較すると「オーラルフレイル」について「知らない」が多い傾向がある。



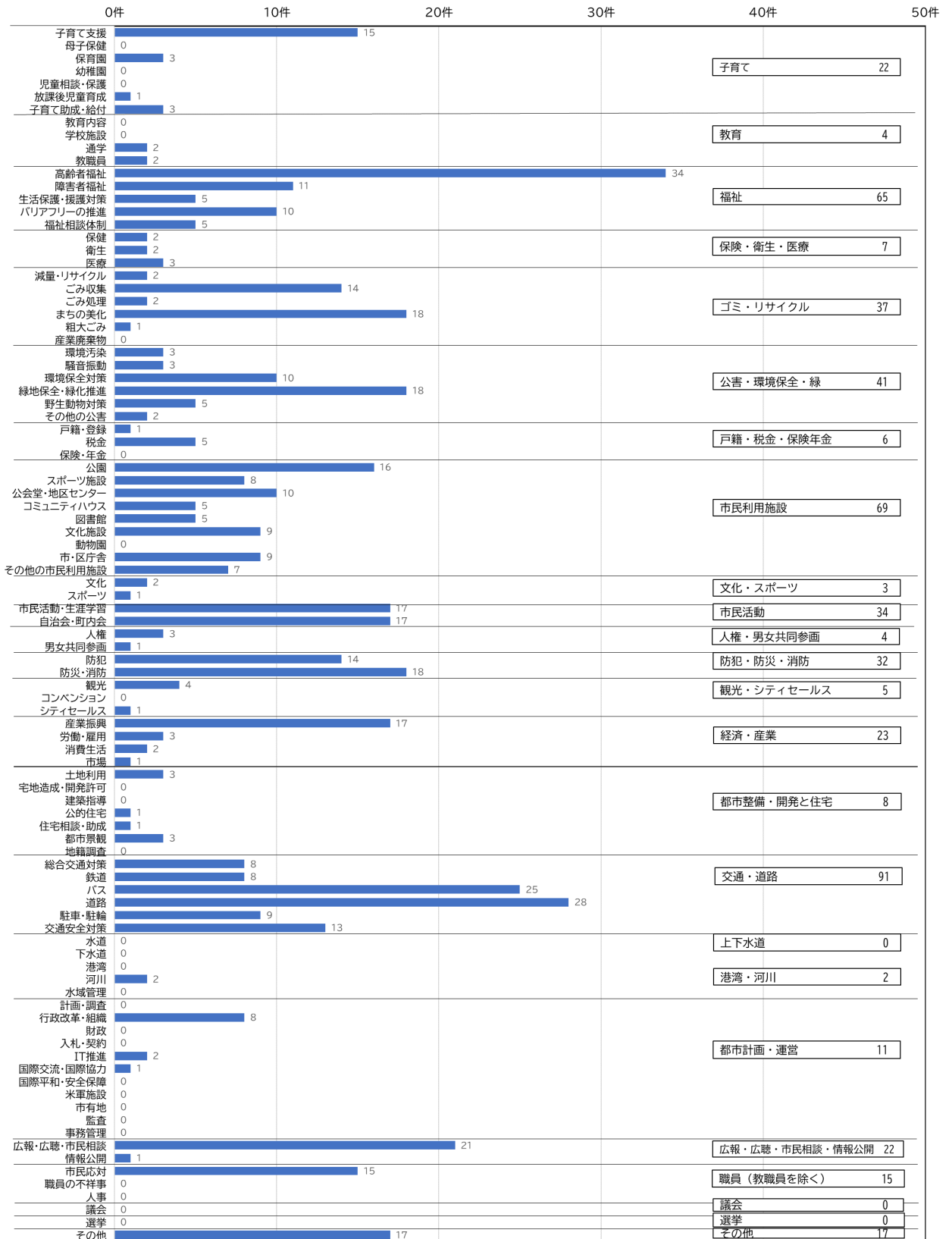
■ 地区別 オーラルフレイルの認知度

- ・ 地区別では、「知っている」は、「滝頭地区」が 38.1%と最も高く、次いで「根岸地区」、「汐見台地区」の順となっている。
- ・ 「知っている」が最も低いのは「上笹下地区」の 25.7%で、全体と比べると 4.3 ポイント低い。



7. 区政運営や住まいの地域を良くするための意見・提案(自由記述)

「交通・道路」に関するご意見・ご提案が多い



(自由回答) 回答者数:403名、意見総数:518件

令和5年度 磯子区民意識調査（調査票）

磯子区では、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を平成17年度より継続しています。

区民の皆様のご意見を生かした行政運営を行うために、ぜひアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

※なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

今回の調査結果につきましては、12月ごろにホームページ等で公表する予定です。

◆区民意識調査に関するホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kusei/tokei/ishikichosa.html>

●調査に関するお問い合わせ先●

担当：磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係

電話：045（750）2331

FAX：045（750）2533

電子メール：is-kikaku@city.yokohama.jp

◆回答方法について◆

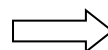
- ・この調査は、封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ・回答方法については、郵送かインターネットのいずれかをお選びください。
※回答によって、個人が特定されることはありません。

【 郵送で回答の場合 】 回答期限 6月30日(金)までに投函

- ・ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて回答期限までにポストへ投函ください（切手及び記名は不要です）。

【 インターネットで回答の場合 】 回答期限 6月30日(金)〇時までに回答

- ・スマートフォンの方はこちらの QR コードからお願いします。



QRコード

- ・パソコン等で回答を希望の方は、以下の URL から回答をお願いします。



なお、インターネットでご回答の際は、下記の整理番号を必ずご記入ください。

※整理番号は1人が複数回答することを避けるためであり、個人を特定するものではありません。

整理番号

なお、本アンケート調査にお答えいただいた方の中から抽選で50人に磯子区限定グッズを差し上げます。

ご希望の方は同封の応募券に、ご住所・お名前をご記入の上、調査票と一緒にご返送ください。インターネットで回答された方は、応募券に整理番号をご記入の上、返信用封筒に入れてご返送ください。応募券にご記入いただいた個人情報、抽選及び発送以外の目的には一切使用いたしません。

また、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

あなたの普段の生活についてお伺いします。

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1 満足しているほう | 3 どちらともいえない | 5 不満があるほう |
| 2 まあ満足しているほう | 4 やや不満があるほう | 6 分からない |

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 自分の病気や老後のこと | 8 住宅のこと |
| 2 景気や生活費のこと | 9 事故・災害のこと |
| 3 家族の健康や生活上の問題 | 10 環境問題のこと |
| 4 子どもの保育や教育のこと | 11 近隣からの悪臭・騒音 |
| 5 仕事や職場のこと | 12 心配ごとや困っていることはない |
| 6 失業・倒産や収入が減ること | 13 その他 () |
| 7 犯罪や防犯のこと | |

問3 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 顔もよく知らない | 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている |
| 2 道で会えば挨拶ぐらいする | 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする |
| 3 たまに立ち話をする | |

問4 あなたの生活が豊かになるために、住んでいる地域でどのような交流が充実すると良いと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 近所付き合いなどお隣さん同士の交流 | 4 インターネットやSNSを利用した地域住民の交流 |
| 2 自治会・町内会活動による交流 | 5 特にない |
| 3 お店等を拠点にした地域住民の交流 | 6 その他 () |

問5 あなたは、地震・大雨・台風などの災害やコロナ禍で地域住民同士のかかわりに対する意識に変化はありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 地域での関係が大切に思えるようになった | 3 分からない |
| 2 今までと意識に変わりはない | |

問6 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

1 加入している	2 加入していない	3 分からない
----------	-----------	---------

問6で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問5-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 自治会・町内会の存在を知らないから	5 近所づきあいがわずらわしいから
2 加入のメリットが分からないから	6 役員への就任などが重荷だから
3 加入するきっかけや誘いがないから	7 特にな
4 管理組合があるから	8 その他 ()

問6で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

問5-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1 近隣の人と親しくなれた、顔見知りになれたこと
2 地域の情報が得られること
3 災害が起きた時に安心、頼りになること
4 困ったときに助け合うことができること
5 楽しいイベント等に参加できること
6 特にな
7 その他 ()

問7 横浜市では行政サービスの提供にあたって、利便性の向上のためにスマートフォン・タブレットやパソコンの活用を進めています。あなたは、スマートフォン・タブレットやパソコンをお持ちですか。

(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問7-1 問7で「2 いいえ」と答えた方にお伺いします。

問7-1-1 持っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 必要性がない	4 費用がかかる	7 その他 ()
2 操作が難しそう	5 犯罪などに巻き込まれる不安がある	
3 文字が見えづらい	6 操作を教えてくれる人がいない	

問7-1-2 どうすれば持ちたい・使いたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 色々なサービスや手続きが新たにできるようになる	5 費用負担の軽減
2 身近な場所でスマートフォン(パソコン)講座が受けられる	6 端末自体が使いやすくなる
3 マニュアルが分かりやすい	7 その他 ()
4 個別のレクチャーが受けられる	

問7-1-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、

手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問7-2 問7で「1 はい」と答えた方にお伺いします。

問7-2-1 日ごろスマートフォン・タブレットやパソコンで行っていることは何ですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 通話 | 5 情報検索・ホームページ閲覧 |
| 2 電子メール | 6 動画の閲覧 |
| 3 LINE 等によるメッセージの送受信 | 7 その他 () |
| 4 Twitter や Instagram 等の SNS | |

問7-2-2 問7-2-1で利用していないサービスや用途があるのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|----------------|-----------|
| 1 操作が難しい | 4 用語や名称がわかりにくい | 7 その他 () |
| 2 機能を知らない | 5 利用料・費用がかかる | |
| 3 利用する必要がない | 6 他の代替手段で対応できる | |

問7-2-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、
手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問7-2-4 スマートフォン・タブレット、パソコンなどの使い方はどのように学びましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 家族や身近な人に教えてもらった | 4 自分で公式HPやWeb 検索をしながら学んだ |
| 2 学校の普通の授業 | 5 その他 () |
| 3 スマートフォン (パソコン) 講座 | |

地域への愛着や、地域での活動についてお伺いします。

問8 あなたは、「横浜」や「磯子区」、「お住まいの地域」に対して、愛着や誇りを感じていますか。
(○はそれぞれ1つ)

問8-1 横浜に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問8-2 磯子区に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問8-3 お住まいの地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問9 磯子区の魅力は何だと思えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 自然が豊かであること | 12 景色・眺望が良いこと |
| 2 商店街・商業施設 | 13 生活に便利であること |
| 3 教養・文化施設 | 14 治安が良いこと |
| 4 地域活動が活発であること | 15 公共施設(図書館、地区センター等) |
| 5 子育てや教育に適した環境 | 16 歴史があること |
| 6 有名人の出身地であること | 17 活気があること |
| 7 スポーツ施設 | 18 庶民的であること |
| 8 都会的であること | 19 将来性があること |
| 9 物価が安いこと | 20 特になし |
| 10 温かみがあること | 21 その他() |
| 11 住環境が落ち着いていること | |

問10 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思えますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 1 住み続ける | 3 たぶん転居する | 5 分からない |
| 2 たぶん住み続ける | 4 転居する | |

問 11 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 2 身近な道路や公園などの清掃活動
- 3 文化・芸術活動への参加や振興
- 4 祭りや盆踊り、運動会などのイベント
- 5 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- 6 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）などの自然環境の保全
- 7 在日外国人や海外との交流・支援などの活動
- 8 自治会・町内会の活動
- 9 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 10 P T A活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど
- 11 保育ボランティアなどの子育て支援
- 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり
- 14 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
- 15 その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に： _____）
- 16 参加している活動はない

問 11-1 問 11 で「16 参加している活動はない」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-1-1 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 忙しくて時間がない | 6 近所づきあいが面倒 |
| 2 体力的に自信がない | 7 地域でどんな活動をしているか分からない |
| 3 一人で参加する勇気がない | 8 他の世代と交流することに不安がある |
| 4 自分がやりたい活動がない | 9 その他（ _____ ） |
| 5 関心がない | |

問 11-2 問 11 で「1」～「15」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-2-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 活動に参加したいという意欲があったから | 5 趣味や特技を生かしたかったから |
| 2 友人や近所の人に勧められたから | 6 持ち回り当番などやむを得なかったから |
| 3 時間に余裕があったから | 7 その他（ _____ ） |
| 4 家族が参加していたから | |

問 11-2-2 活動に参加する楽しみは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 社会貢献ができる | 7 人から感謝される |
| 2 充実感が得られる | 8 仲間や友人が作れる |
| 3 友人や近所の人と交流ができる | 9 知識や教養が身につけられる |
| 4 家族とのふれあいの時間が持てる | 10 気分転換になり、リフレッシュできる |
| 5 趣味や特技を生かせる | 11 参加する楽しみはない |
| 6 活躍の場が得られる | 12 その他（ _____ ） |

問 12 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと

思いますか。(○は1つ)

- 1 してみたいと思う 2 してみたいが今はできない 3 してみたいとは思わない

問 12 で「1」、「2」と答えた方にお伺いします。

問 12-1 どのような活動であれば参加できますか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 2 身近な道路や公園などの清掃活動
- 3 文化・芸術活動への参加や振興
- 4 祭りや盆踊り、運動会などのイベント
- 5 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- 6 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）などの自然環境の保全
- 7 在日外国人や海外との交流・支援などの活動
- 8 自治会・町内会の活動
- 9 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 10 P T A活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど
- 11 保育ボランティアなどの子育て支援
- 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり
- 14 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
- 15 分からない・特に思いつかない
- 16 その他 ()

問 13 あなたは地域の活動に関する情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 家族 | 7 チラシ・パンフレット |
| 2 友人・知人 | 8 地域情報紙 |
| 3 隣人など近所の人 | 9 ホームページ |
| 4 回覧板 | 10 SNS (Twitter、LINE など) |
| 5 掲示板 | 11 情報を入手する機会がない |
| 6 広報よこはま (市・区発行の広報紙) | 12 その他 () |

生活環境全般に対する満足度・重要度についてお伺いします。

問 14 現在のお住まいの周辺の環境にどの程度満足していますか。また、以前(4～5年前)と比べてどのように変わったと思いますか。(「満足度」「以前と比べて」のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

記入例	満足度					以前と比べて			
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない
① バスの便などの地域交通	1	2	3	4	5	1	2	3	4
② 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
③ 放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
④ 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑤ 商店街の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥ 公園の管理、整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑦ 緑の保全と緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑨ 地球温暖化への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑩ 災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑪ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑫ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑬ 子育て支援や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑭ 感染症・生活習慣病など保健推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑮ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑯ 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑰ 経済的に困っている人の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑱ 地域活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑲ 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑳ 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉑ 身近な住民窓口サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉒ 誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	1	2	3	4	5	1	2	3	4
○ お住まいの周辺の総合的な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4

問 14-1 上記①～㉒の質問項目のうち、お住まいの周辺の環境にとって、どれが特に重要だと思いますか。

(該当する項目の番号を5つまで記入)

--	--	--	--	--

問 14-2 上記①～㉒の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。

(該当する項目の番号を5つまで記入)

--	--	--	--	--

災害対策についてお伺いします。

問 15 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 家屋の倒壊損傷 | 11 避難所での生活 |
| 2 家具の転倒 | 12 けが・病気の治療 |
| 3 火災の発生 | 13 要援護者（高齢者や障害のある方）の避難 |
| 4 津波の被害 | 14 隣近所に頼る人がいない |
| 5 土地の液状化 | 15 交通機関の運休、帰宅困難になること |
| 6 がけ崩れや地割れ | 16 デマなどによる治安の乱れ |
| 7 災害情報の入手 | 17 ペットの避難 |
| 8 家族・知人の安否 | 18 特に心配なことはない |
| 9 水道・電気・ガスなどのライフラインの停止 | 19 その他（) |
| 10 食料品・飲料水の確保 | |

問 16 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 建物の耐震診断や耐震補強 | 8 3日分以上の食料品・飲料水の備蓄 |
| 2 家具類の固定や転倒防止などの対策 | 9 地域の防災訓練への参加 |
| 3 感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策 | 10 隣近所との話し合い |
| 4 家族との連絡方法の確認 | 11 職場や学校からの帰宅ルートの確認 |
| 5 避難所（地域防災拠点等）の確認 | 12 ペット用備蓄、迷子札・マイクロチップ装着 |
| 6 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意 | 13 特に何もしていない |
| 7 トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意 | 14 その他（) |

問 17 大地震等で被災した際、隣近所（自治会等を含む）の誰かが自分の安否確認に来てくれると思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|------------|-------------|----------|
| 1 来てくれる | 2 たぶん来てくれる | 3 たぶん来てくれない | 4 来てくれない |
|---------|------------|-------------|----------|

問 18 磯子区在住世帯に配付している「災害時安否確認バンダナ」の使用方法を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 19 あなたは、豪雨や台風が発生している場合の避難に関する情報（「高齢者等避難」「避難指示」など）について、どのような手段で入手できるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 区役所の広報車や消防車両による放送 | 7 横浜市避難ナビ |
| 2 自治会・町内会からの連絡 | 8 その他防災アプリ（Yahoo!防災速報など） |
| 3 友人、知人、近所の人からの連絡 | 9 横浜市防災情報Eメール |
| 4 テレビ（データ放送を含む） | 10 エリアメール・緊急速報メール |
| 5 ラジオ | 11 SNS（Twitter、LINEなど） |
| 6 インターネット（各種ホームページ） | 12 その他（具体的に：) |

地域福祉保健についてお伺いします。

問 20 あなたのお住まいの地域で行われている取組について知っているものを教えてください。
(○はいくつでも)

- 1 高齢者のふれあいに関する取組 (食事会、サロン、配食サービスなど)
- 2 見守り・訪問活動
- 3 ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア
- 4 高齢者や障害児者の外出・移動に関する支援
- 5 健康づくりに関する活動 (体操やウォーキングなど)
- 6 災害時要援護者の支援に関する取組 (要援護者の把握や訪問など)
- 7 子どもの健やかな成長に関する取組 (子育てサロンや子ども食堂など)
- 8 障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組 (お祭りなど)
- 9 外国につながるのある方との交流の取組 (料理教室など)
- 10 特になし

問 20-1 上記 1～10 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3
つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

問 21 子どもたちが地域で安心して過ごし、健やかに成長するために、様々な取り組みが行われていますが、
あなたのお住まいの地域で行われている取組を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 日頃からの地域でのあいさつや声かけ | 6 地域と小中学校が連携した活動 |
| 2 安全パトロールや見守り | 7 身近で子どもが相談できる体制
(子ども 110 番など) |
| 3 身近な地域で子どもたちが集える場
(子育てサロンや子ども食堂) | 8 特になし・知らない |
| 4 ボランティアや地域活動への参加 | 9 その他 () |
| 5 地域活動への保護者の参加 | |

問 21-1 上記 1～9 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3
つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

問 22 年齢、性別、国籍、病気や障害の有無などに関わらず、誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らすための取組が地域で行われています。あなたのお住まいの地域で行われている取組で、
知っているものを教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--|-----------|
| 1 多様な立場の方を理解するための講座や研修 | |
| 2 災害時に障害児者や高齢者、外国につながるのある方などを支援するための取組 | |
| 3 障害児者、外国につながるのある方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり | |
| 4 多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり | |
| 5 地域の社会資源や活動の情報提供 | |
| 6 特になし | 7 その他 () |

問 22-1 上記 1～7 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3
つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

あなたの健康づくりについてお伺いします。

問 23 あなたのこの1か月間の健康状態はいかがですか。最も近いと思うものをお選びください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 健康である | 3 どちらかという健康ではない |
| 2 どちらかという健康である | 4 健康ではない |

問 24 あなたはご自身の健康のためにどのようなことに気をつけていますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 なるべく体を動かしたり、運動したりする |
| 2 食事はバランスよく食べるよう心がける |
| 3 休養や睡眠を十分にとる |
| 4 ストレスの解消を心がける |
| 5 日頃から体重や血圧などをチェックする |
| 6 自治体や勤め先で年に1回にがん検診を受ける |
| 7 自治体や勤め先で年に1回は健康診断を受ける |
| 8 自治体や勤め先、歯医者等で年に1回は歯科健診を受ける |
| 9 丁寧に歯磨きを行う |
| 10 タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした |
| 11 お酒を飲みすぎない |
| 12 特にしていない |
| 13 その他 () |

問 25 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、あなたの健康への意識が高まったものはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1 食事のバランスに気を配るようになった |
| 2 (飲酒する人のみ) お酒の量を減らしたり、禁酒をした |
| 3 (喫煙する人のみ) タバコを控えたり、禁煙をした |
| 4 運動を心掛けるようになった |
| 5 休養や睡眠を意識して取るようになった |
| 6 食後の歯磨きを心掛けるようになった |
| 7 感染症の予防や健康維持に関する情報を積極的に入手するようになった |
| 8 健康への意識は高まらなかった |
| 9 その他 () |

問 26 歯周病は、「歯」だけでなく全身に影響を及ぼします。あなたは歯周病が、糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 27 健康で長生きするためには、全身の衰え「フレイル」を予防することが大切です。特にちょっとした歯とお口の機能の低下「オーラルフレイル」(食べこぼし、滑舌が悪くなった、など)に早めに気づき、対応することが大切です。あなたはオーラルフレイルについて知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------------------|--------|
| 1 知っている | 2 聞いたことはあるが意味は知らない | 3 知らない |
|---------|--------------------|--------|

あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)(※選択することに違和感のある場合は回答不要です)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1 10代 | 3 30代 | 5 50代 | 7 70代 |
| 2 20代 | 4 40代 | 6 60代 | 8 80代以上 |

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|------|
| 1 既婚(配偶者あり) | 2 既婚(離死別) | 3 未婚 |
|-------------|-----------|------|

F 3で「1 既婚(配偶者あり)」と答えた方にお伺いします。

F 3-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 フルタイム共働き |
| 2 パートタイム共働き(夫婦の一人、または両方がパートタイム) |
| 3 していない |

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 7 学校教育終了—未婚—同居 |
| 2 小学校在学中 | 8 学校教育終了—未婚—別居 |
| 3 中学校在学中 | 9 学校教育終了—既婚—同居 |
| 4 高校在学中 | 10 学校教育終了—既婚—別居 |
| 5 各種学校・専修・専門学校在学中 | 11 子どもはいない |
| 6 短大・大学・大学院在学中 | 12 その他() |

F 5 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子(2世代) | 5 その他 |
| 2 夫婦のみ | 4 祖父母と親と子(3世代) | () |

F 6 あなたの住んでいる町名をお選びください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|-------------|
| 1 磯子一～八丁目 | 10 汐見台一～三丁目 | 19 田中一・二丁目 | 28 広地町 |
| 2 磯子台 | 11 下町 | 20 中浜町 | 29 丸山一・二丁目 |
| 3 鳳町 | 12 新磯子町 | 21 中原一～四丁目 | 30 峰町 |
| 4 岡村一丁目 | 13 新杉田町 | 22 西町 | 31 森一～六丁目 |
| 5 岡村二～八丁目 | 14 新中原町 | 23 馬場町 | 32 森が丘一・二丁目 |
| 6 上町 | 15 新森町 | 24 原町 | 33 洋光台一～六丁目 |
| 7 上中里町 | 16 杉田一～九丁目 | 25 東町 | |
| 8 栗木一～三丁目 | 17 杉田坪呑 | 26 久木町 | |
| 9 坂下町 | 18 滝頭一～三丁目 | 27 氷取沢町 | |

F 7 あなたのお住いの形態をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 5 借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅） |
| 2 持家（マンション・共同住宅） | 6 借家（社宅、公務員住宅） |
| 3 借家（一戸建て） | 7 借家（民間アパート、民間賃貸マンション） |
| 4 借家（県営・市営の共同住宅） | 8 その他（ ） |

F 8 あなたは今のお住いにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 65年以上前〔昭和33年(1958年)以前〕 |
| 2 55～64年前〔昭和34～43年(1959～1968年)〕 |
| 3 45～54年前〔昭和44～53年(1969～1978年)〕 |
| 4 35～44年前〔昭和54～63年(1979～1988年)〕 |
| 5 25～34年前〔昭和64～平成10年(1989～1998年)〕 |
| 6 15～24年前〔平成11～20年(1999～2008年)〕 |
| 7 10～14年前〔平成21～25年(2009～2013年)〕 |
| 8 5～9年前〔平成26～30年(2014～2018年)〕 |
| 9 5年未満〔平成31年(2019年)以降〕 |

F 9 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 自営業・自由業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者） |
| 2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など） |
| 3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など） |
| 4 事務職（事務職、営業職、教員など） |
| 5 現業職（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者） |
| 6 学生 |
| 7 専業主婦・主夫 |
| 8 無職 |

→ F 9で「1」～「6」に○印を付けた方にお伺いします。

F 9-1 あなたの勤務地や通学している場所はどこですか。複数ある場合は、主な場所をお選びください。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1 磯子区 | 4 東京都内 |
| 2 横浜市内の他の区 | 5 その他（ ） |
| 3 神奈川県内の他市町村 | |

F 10 あなたが普段利用している鉄道駅は、次のうちのどこですか。複数ある場合は、最も利用頻度の高い駅をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|---------------|
| 1 根岸駅 | 5 港南台駅 | 9 普段、鉄道を利用しない |
| 2 磯子駅 | 6 上大岡駅 | 10 その他（ ） |
| 3 新杉田駅 | 7 屏風浦駅 | |
| 4 洋光台駅 | 8 杉田駅 | |

自由意見欄

区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>=====</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は同封いたしました返信用封筒に入れて、

令和5年6月30日（金）までにご投函ください（切手及び記名は不要です）。

令和6年1月発行

横浜市磯子区役所 総務部 区政推進課
〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1
TEL 045(750)2331
FAX 045(750)2533
mail is-kusei@city.yokohama.jp